

平成 22 年度

決算に係る施策の成果報告書

天 草 市

《 目 次 》

1. 普通会計決算の概要	1
2. 一般会計	8
3. 国民健康保険特別会計	245
4. 老人保健医療特別会計	256
5. 介護保険特別会計	257
6. 後期高齢者医療特別会計	277
7. 公共下水道事業特別会計	279
8. 特定環境保全公共下水道事業特別会計	282
9. 農業集落排水事業特別会計	285
10. 漁業集落排水事業特別会計	287
11. 浄化槽市町村整備推進事業特別会計	290
12. 簡易水道事業特別会計	292
13. 国民健康保険診療施設特別会計	304
14. 歯科診療所特別会計	305
15. 埠頭事業特別会計	306
16. 斎場事業特別会計	307
17. 一町田財産区特別会計	309
18. 新合財産区特別会計	309
19. 富津財産区特別会計	309

- (注) 1. 決算額は四捨五入で記載。
2. 決算額の財源内訳欄2段書きの場合、下段()は補助率に基づいた額。

1. 普通会計決算の概要

(1) 決算規模及び決算収支

平成22年度の決算は、歳入が前年度と比較して2.8%、1,672,895千円の減で 58,442,711千円、歳出が3.0%、1,718,776千円の減で 56,414,022千円となりました。歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支が 2,028,689千円、この額から繰越明許費のために翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は 1,498,801千円の黒字となっています。

実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は 77,190千円の黒字となり、この単年度収支に基金積立金 2,511,962千円、繰上償還金 844,314千円を加算し、積立金取崩額を差し引いた実質単年度収支は 3,433,466千円の黒字となっています。

〔決算の収支状況〕

(単位：千円・%)

区 分		平成21年度	平成22年度	差 引	伸 率
歳 入 総 額	A	60,115,606	58,442,711	1,672,895	2.8
歳 出 総 額	B	58,132,798	56,414,022	1,718,776	3.0
形 式 収 支	C = A - B	1,982,808	2,028,689	45,881	2.3
翌年度繰越財源	D	561,197	529,888	31,309	5.6
実 質 収 支	E = C - D	1,421,611	1,498,801	77,190	5.4
単 年 度 収 支	F	612,479	77,190	535,289	87.4
積 立 金	G	537,518	2,511,962	1,974,444	367.3
繰 上 償 還 金	H	433,350	844,314	410,964	94.8
積立金取崩額	I	277,715	0	277,715	皆減
実質単年度収支	F + G + H - I	1,305,632	3,433,466	2,127,834	163.0

普通会計とは、個々の地方公共団体の財政比較や統一的な掌握のために、地方財政統計（決算統計）上統一的に用いられる会計区分です。具体的には、公営事業会計以外の会計を統合して一つの会計としてとりまとめたもので、天草市では、一般会計、歯科診療所特別会計、斎場事業特別会計を合算して、その合計額から重複部分（繰出金、繰入金）を控除した純計決算額です。

(2) 歳入

平成22年度歳入決算額は 58,442,711千円で、前年度に比べ 1,672,895千円減少しています。歳入項目ごとの、決算額は下表のとおりです。

前年度と比較しますと、自主財源は長引く景気の低迷により市税等が減少したものの、減債基金を繰り入れたことにより繰入金が大幅に増額したため、全体では 6.4%増加しています。

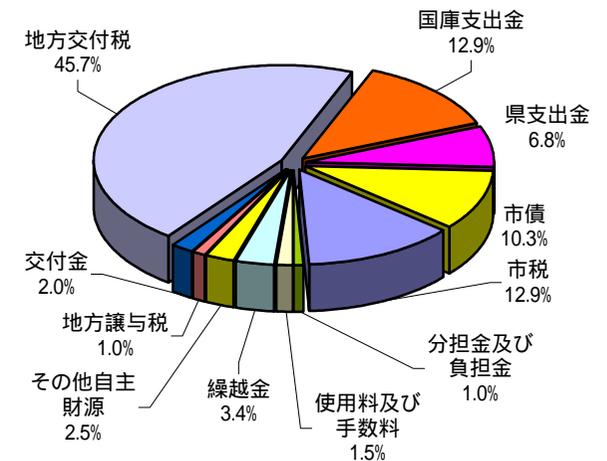
一方、依存財源は、普通交付税は増加しましたが、国庫支出金が定額給付金事業の完了等に伴い大幅に減、市債が学校建設、まちづくり交付金事業等の完了等により減額となったため、依存財源全体では 5.0%の減額となりました。

歳入決算額

(単位：千円・%)

区 分		平成21年度	平成22年度	差 引 額	伸 率	構成比
自 主 財 源	市 税	7,641,273	7,554,234	87,039	1.1	12.9
	分 担 金 及 び 負 担 金	532,398	580,866	48,468	9.1	1.0
	使 用 料 及 び 手 数 料	828,876	829,018	142	0.0	1.5
	財 産 収 入	169,318	160,870	8,448	5.0	0.3
	寄 附 金	110,126	51,342	58,784	53.4	0.1
	繰 入 金	427,935	552,823	124,888	29.2	1.0
	繰 越 金	1,012,731	1,982,808	970,077	95.8	3.4
	諸 収 入	897,480	646,555	250,925	28.0	1.1
	小 計	11,620,137	12,358,516	738,379	6.4	21.3
依 存 財 源	地 方 譲 与 税	634,409	609,840	24,569	3.9	1.0
	利 子 割 交 付 金	24,680	24,385	295	1.2	0.0
	配 当 割 交 付 金	5,805	6,577	772	13.3	0.0
	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	2,555	2,821	266	10.4	0.0
	地 方 消 費 税 交 付 金	879,002	877,493	1,509	0.2	1.5
	ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	10,213	9,534	679	6.6	0.0
	自 動 車 取 得 税 交 付 金	131,805	104,673	27,132	20.6	0.2
	地 方 特 例 交 付 金	120,318	172,151	51,833	43.1	0.3
	地 方 交 付 税	25,080,641	26,720,340	1,639,699	6.5	45.7
	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	12,671	11,791	880	6.9	0.0
	国 庫 支 出 金	10,075,032	7,549,625	2,525,407	25.1	12.9
	県 支 出 金	3,754,938	3,992,865	237,927	6.3	6.8
	市 債	7,763,400	6,002,100	1,761,300	22.7	10.3
	小 計	48,495,469	46,084,195	2,411,274	5.0	78.7
合 計	60,115,606	58,442,711	1,672,895	2.8	100.0	

22年度構成比



(3) 歳出

平成22年度歳出決算額は 56,414,022千円で、前年度に比べ 1,718,776千円減少しています。目的別・性質別の項目ごとの金額は次のとおりです。

目的別歳出

歳出の目的別分類は、行政活動のどの分野にどれだけの経費が投入されたかをみるためのものです。行政目的により、議会費、総務費、民生費、衛生費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、教育費、災害復旧費、公債費等に大別することができます。これらを前年度と比較し、増減が大きいものについて説明します。

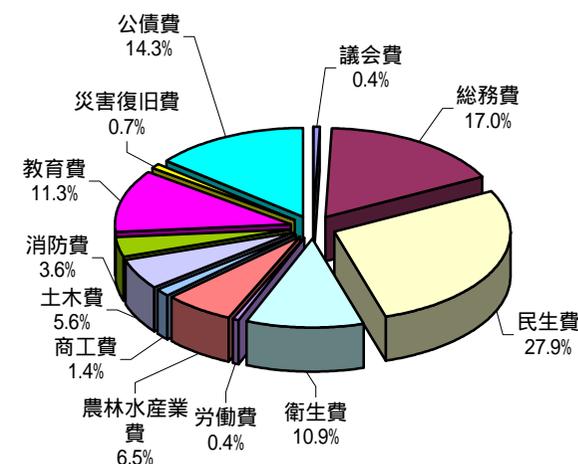
民生費	国民健康保険特別会計繰出金、子ども手当の増
衛生費	病院事業会計負担金、簡易水道事業特別会計繰出金の減
農林水産業費	農道舗装事業（経済危機対策臨時交付金）、農産物共同利用施設整備事業（経済危機対策臨時交付金）の減
商工費	地域振興券交付事業（生活対策・経済危機対策臨時交付金）、観光施設整備事業（経済危機対策臨時交付金）の減
土木費	生活対策・経済危機対策臨時交付金を活用した市道改良事業及び市道維持補修事業の減
教育費	新本渡中学校建設事業、まちづくり交付金事業の減

目的別歳出決算

（単位：千円・％）

区 分	平成21年度	平成22年度	差 引 額	伸 率	構 成 比
議 会 費	252,432	252,791	359	0.1	0.4
総 務 費	9,814,852	9,568,542	246,310	2.5	17.0
民 生 費	13,890,125	15,739,351	1,849,226	13.3	27.9
衛 生 費	6,497,763	6,125,354	372,409	5.7	10.9
労 働 費	157,416	210,215	52,799	33.5	0.4
農 林 水 産 業 費	4,096,515	3,686,450	410,065	10.0	6.5
商 工 費	1,106,603	808,964	297,639	26.9	1.4
土 木 費	4,601,988	3,148,477	1,453,511	31.6	5.6
消 防 費	1,981,993	2,013,123	31,130	1.6	3.6
教 育 費	7,588,578	6,386,827	1,201,751	15.8	11.3
災 害 復 旧 費	323,552	421,307	97,755	30.2	0.7
公 債 費	7,820,981	8,052,621	231,640	3.0	14.3
諸 支 出 金					
合 計	58,132,798	56,414,022	1,718,776	3.0	100.0

22年度構成比



性質別歳出

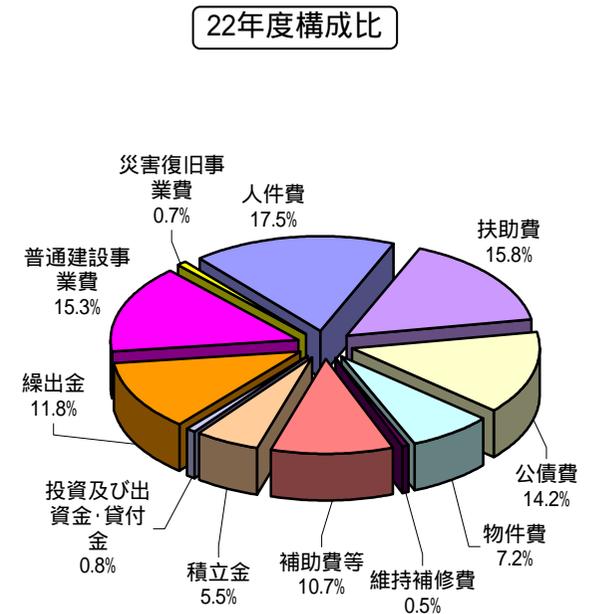
地方自治体の経費を性質別に分類すると、人件費・扶助費・公債費のように法令上又はその性質上支出を義務づけられている義務的経費。道路橋梁・公園・学校・公営住宅等の建設に要する経費である投資的経費。物件費、繰出金、補助費等のその他の経費に大別することができます。これらを前年度と比較し、増減が大きいものについて説明します。

扶助費	子ども手当、就労継続支援費、生活保護費の増
補助費等	定額給付金事業、地域振興券交付事業、病院事業会計補助金の減
積立金	財政調整基金積立金、住民生活に光をそそぐ交付金基金積立金の増
繰出金	国民健康保険特別会計繰出金、介護保険特別会計繰出金等の増
普通建設事業費	新本渡中学校建設事業、まちづくり交付金事業、牛深し尿処理場整備事業の減

性質別歳出決算

(単位：千円・%)

区 分	平成21年度	平成22年度	差 引 額	伸 率	構成比	
義務的経費	人 件 費	9,898,991	9,854,819	44,172	0.4	17.5
	扶 助 費	7,731,943	8,926,892	1,194,949	15.5	15.8
	公 債 費	7,820,981	8,009,750	188,769	2.4	14.2
	計	25,451,915	26,791,461	1,339,546	5.3	47.5
その他の経費	物 件 費	4,171,993	4,086,747	85,246	2.0	7.2
	維 持 補 修 費	294,071	290,585	3,486	1.2	0.5
	補 助 費 等	7,963,691	6,041,512	1,922,179	24.1	10.7
	積 立 金	1,058,488	3,105,823	2,047,335	193.4	5.5
	投資及び出資金・貸付金	534,212	431,545	102,667	19.2	0.8
	繰 出 金	5,788,260	6,668,658	880,398	15.2	11.8
計	19,810,715	20,624,870	814,155	4.1	36.5	
投資的経費	普通建設事業費	12,546,616	8,576,384	3,970,232	31.6	15.3
	災害復旧事業費	323,552	421,307	97,755	30.2	0.7
	失業対策事業費					
	計	12,870,168	8,997,691	3,872,477	30.1	16.0
合 計	58,132,798	56,414,022	1,718,776	3.0	100.0	



(4) 財政指標の推移

財政力指数

団体の財政力の強弱を、基準財政需要額に対する基準財政収入額の割合で判断するもので、1に近くあるいは1を超えるほど財源に余裕があるものとされています。

経常収支比率

市税・普通交付税を中心とする経常一般財源が、人件費・扶助費・公債費のように容易に縮減することの困難な経常経費に、どの程度投入されているかによって、財政構造の弾力性を判断するものです。一般的には、この数値が低いほど財政構造に弾力性があります。平成22年度は、分母である経常一般財源等が、景気の低迷により地方税及び各交付金は減少したものの、普通交付税や臨時財政対策債が増加したため、全体では1,960,411千円の増額となりました。また、分子である経常経費に充当した一般財源についても、子ども手当の創設などに伴う扶助費等の増加により全体では306,566千円の増額となりましたが、分母の増額幅が大きかったため、経常収支比率は85.0%と昨年度より4.0ポイント好転しました。

実質公債費比率

公債費による財政負担の程度を客観的に示す指標として、実質的な公債費（普通会計の公債費＋公営企業の元利償還金への一般会計からの繰出金＋一部事務組合等の公債費への負担金等の公債費類似経費）に費やした一般財源の額が、標準財政規模（地方公共団体の一般財源の標準規模を表すもの）に占める割合を表すもので、実質公債費比率が18%以上の団体については、地方債の発行に許可が必要になります。平成22年度決算では、平成19年度から平成21年度にかけて実施した補償金免除繰上償還により定期償還額が減少したため、1.6ポイント好転し12.9%になりました。

積立金現在高

天草市合併直後の現在高は91億円でしたが、その後決算剰余金の積み立て等により増加しており、平成22年度末現在高は149.6億円となっています。

市債現在高

天草市財政運営の基本方針として、市債借入額は元金償還金を超えないこととしており、天草市合併後から順調に減少してきました。平成22年度においては、将来負担の軽減を図るため公営住宅整備事業債の任意繰上償還を実施したことにより、平成22年度末現在高は、前年比11億円の減となっています。

	財政力指数	経常収支比率 (%)	実質公債費比率 (%)	積立金現在高 (億円)	市債現在高 (億円)
平成19年度	0.298	98.4	16.2	112.0	627.2
平成20年度	0.311	95.6	15.7	117.0	605.0
平成21年度	0.303	89.0	14.5	123.5	613.9
平成22年度	0.284	85.0	12.9	149.6	602.7

(5) 他団体との比較

決算額

団体名	天草市	県内市	類似団体
金額（億円）	564.1	411.2	273.4

天草市の決算額は、県内市の1.4倍弱あり、類似団体の約2.1倍になっています。2市8町が合併したということもありますが、かなり過大になっていますので、財政健全化計画に沿って適正規模に縮小しなければなりません。

財政力指数

団体名	天草市	県内市	類似団体
指数	0.284	0.462	0.640

天草市の指数は、県内市の約5分の3となっており、県内の市では下から2番目となっています。類似団体と比較すると、2分の1以下となっており、全国の類似団体でも下位となっています。

経常収支比率

団体名	天草市	県内市	類似団体
比率（％）	85.0	92.4	91.8

天草市の比率は、類似団体と比較すると約7ポイント下回っていますが、今後普通交付税の大幅な減額が見込まれるため、経常的な経費を削減しなければ、硬直化が進み、市の判断で自由に執行できる金額が少なくなります。

実質公債費比率

団体名	天草市	県内市	類似団体
比率（％）	12.9	14.1	13.9

天草市の比率は、県内、類似団体と比較すると約1ポイント下回っていますが、今後も市債の計画的かつ適正な発行を行う等、公債費の減額に努めなければなりません。

積立金現在高

団体名	天草市	県内市	類似団体
金額（億円）	149.6	49.3	55.2

天草市の現在高は、県内市、類似団体と比較しても約3倍の金額がありますので、予期しない急な支出があっても積立金の範囲内は対応できます。しかし、今後の財源不足に対応するためには、ある程度の金額を確保しておく必要があります。

市債現在高

団体名	天草市	県内市	類似団体
金額（億円）	602.7	454.5	290.5

天草市の現在高は、県内市の約1.3倍あり、類似団体と比較すると2倍以上もあります。合併前にそれぞれの団体で借り入れた市債がたくさんありますので、今後はできるだけ借入額を少なくして、適正な規模まで減少させなければなりません。

県内市は単純平均。類似団体は、人口や産業構造の比率に近い全国の団体の平均。数値は県内市、類似団体ともに平成21年度決算分。

平成22年度 普通会計決算状況	団体名	コード番号	432156
	熊本県 天草市	市町村類型	Ⅱ-1
		交付税種地	Ⅰ-2

歳入の状況(千円・%)					
区分	決算額	構成比	対前年比	経常一般財源	構成比
地方税	7,554,234	12.9	△1.1	7,220,843	21.7
地方譲与税	609,840	1.0	△3.9	609,840	1.8
利子割交付金	24,385	0.0	△1.2	24,385	0.1
配当割交付金	6,577	0.0	13.3	6,577	0.0
株式等譲渡所得割交付金	2,821	0.0	10.4	2,821	0.0
地方消費税交付金	877,493	1.5	△0.2	877,493	2.6
ゴルフ場利用税交付金	9,534	0.0	△6.6	9,534	0.0
自動車取得税交付金	104,673	0.2	△20.6	104,673	0.3
地方特例交付金	172,151	0.3	43.1	172,151	0.5
地方交付税	26,720,340	45.7	6.5	24,122,490	72.6
内 普通	24,122,490	41.3	6.6	24,122,490	72.6
内 特別	2,597,850	4.4	5.7		
小 計	36,082,048	61.6	4.5	33,150,807	99.7
交通安全対策特別交付金	11,791	0.0	△6.9	11,791	0.0
分担金及び負担金	580,866	1.0	9.1		
使用料	621,374	1.1	0.7	27,942	0.1
手数料	207,644	0.4	△1.9		0.0
国庫支出金	7,549,625	12.9	△25.1		
県支出金	3,992,865	6.8	6.3		
財産収入	160,870	0.3	△5.0	50,841	0.2
寄附金	51,342	0.1	△53.4		
繰入金	552,823	1.0	29.2		
繰越金	1,982,808	3.4	95.8		
諸収入	646,555	1.1	△28.0	4,245	0.0
地方債	6,002,100	10.3	△22.7		
合 計	58,442,711	100.0	△2.8	33,245,626	100.0

性質別歳出の状況(千円・%)						
区分	決算額	構成比	対前年比	充当税等額	経常経費充当一般財源	経常収支比率
人件費	9,854,819	17.5	△0.4	9,215,402	8,819,866	24.6
うち職員給	5,849,102	10.4	△5.3	5,514,812	5,451,286	15.2
扶助費	8,926,892	15.8	15.5	2,901,352	2,842,807	7.9
公債費	8,009,750	14.2	2.4	7,819,966	6,975,652	19.5
内 元利償還金	8,009,750	14.2	2.4	7,819,966	6,975,652	19.5
内 一時借入金		0.0	△100.0			0.0
小 計	26,791,461	47.5	5.3	19,936,720	18,638,325	52.0
物件費	4,086,747	7.2	△2.0	3,271,827	2,897,136	8.1
維持補修費	290,585	0.5	△1.2	230,707	230,707	0.6
補助費等	6,041,512	10.7	△24.1	5,092,436	4,132,688	11.5
うち一部組合負担金	2,496,771	4.4	0.5	2,387,571	2,317,909	6.5
積立金	3,105,823	5.5	193.4	2,608,075		0.0
投資及び出資金・貸付金	431,545	0.8	△19.2	5,045		0.0
繰出金	6,668,658	11.8	15.2	6,028,098	4,579,652	12.8
投資の経費	8,997,691	16.0	△30.1	3,418,865		
うち人件費	451,489	0.8	△1.4	418,614		
普通建設事業費	8,576,384	15.3	△31.6	3,324,478		
うち補助事業費	4,151,804	7.4	△15.7	332,335		
うち単独事業費	4,208,618	7.5	△42.3	2,869,546		
うち県事業負担金等	215,962	0.4	△33.5	122,597		
災害復旧事業費	421,307	0.7	30.2	94,387		
失業対策事業費						
合 計	56,414,022	100.0	△3.0	40,591,773		

目的別歳出の状況(千円・%)				
区分	決算額(a)	構成比	(a)のうち普通建設事業費	(a)の充当税等額
議会費	252,791	0.4		252,791
総務費	9,568,542	17.0	735,271	7,935,657
民生費	15,739,351	27.9	204,594	8,877,286
衛生費	6,125,354	10.9	805,920	5,172,582
労働費	210,215	0.4		340
農林水産業費	3,686,450	6.5	1,644,326	2,086,125
商工費	808,964	1.4	58,912	648,261
土木費	3,148,477	5.6	1,818,955	2,175,339
消防費	2,013,123	3.6	116,293	1,713,471
教育費	6,386,827	11.3	3,192,113	3,812,724
災害復旧費	421,307	0.7		94,387
公債費	8,052,621	14.3		7,822,810
合 計	56,414,022	100.0	8,576,384	40,591,773

繰入一般財源			
区分	金額	構成比	経常収支比率
経常一般財源等	42,620,462 千円		85.0 %
経常経費充当一般財源等	35,865,926 千円		
経常経費充当一般財源等	30,478,508 千円		
自主財源	12,358,516 千円		
臨時財政対策債	2,620,300 千円		

繰出金の状況	
区分	金額
簡易水道	733,220
下水道(6事業)	964,316
国民健康保険	1,635,924
老人保健	6,675
後期高齢	1,931,818
介護保健	1,321,403
上水道	382,063
病院	826,138
その他	74,819
合 計	7,876,376

人口	17年国調	96,473人
	12年国調	102,907人
	H23.3.31	91,653人
住民基本台帳人口	H 22.3.31	93,098人
	H 21.3.31	94,525人
	増減率	△1.55%
人口集中地区人口	17年国調	20,179人
	12年国調	21,711人
面積	683.25km ²	人口密度 130人

産業構造		
区分	17年国調	12年国調
第1次	7,128人 16.6%	7,925人 17.0%
第2次	8,390人 19.5%	10,610人 22.7%
第3次	27,533人 63.9%	28,168人 60.3%

指定団体等の指定状況	
過疎	○
山振	○
離島	○
半島	○
産炭	
低開発	
農工	○
国立公園	○
市町村圏	○
指数表選定	○
リゾート	○
農山村	○

一部事務組合加入状況	
伝染病	
ごみ処理	○
火葬場	
常備消防	○
退職手当	
税務事務	
老人福祉	
その他	○

収支の状況(千円)		
区分	平成22年度	平成21年度
歳入総額	58,442,711	60,115,606
歳出総額	56,414,022	58,132,798
歳入歳出差引額	2,028,689	1,982,808
翌年度に繰越すべき財源	529,888	561,197
実質収支	1,498,801	1,421,611
単年度収支	77,190	612,479
積立金	2,511,962	537,518
繰上償還金	844,314	433,350
積立金とりくずし額		277,715
実質単年度収支	3,433,466	1,305,632

区分	職員数(人)	給料月額(千円)	一人当たり平均月額(円)
一般職員	878	291,837	332,388
技能労務職員	104	33,672	323,769
教育公務員	32	11,472	358,500
消防職員			
臨時職員			
合計	1,014	336,981	332,328

職名	定数	適用開始年月日	一人当たり平均月額(円)
市長	1	H18.3.27	870,000
副市長	1	H18.12.26	665,000
教育長	1	H18.3.27	605,000
議会議長	1	"	407,000
議会副議長	1	"	366,000
議会議員	28	"	348,000

財政数値の状況		
22年度	基準財政収入額(合併算定)	6,792,758
	基準財政需要額(合併算定)	30,915,248
	標準税収入額	8,637,003
	標準財政規模	32,759,493
	財政力指数(20~22年度)	0.284
	実質収支比率	4.6
	経常一般財源比率	101.5
	公債費比率	9.1
	公債費に準ずる債務負担含む公債費比率	11.3
	公債費負担比率	18.3
	起債制限比率	7.4
	実質公債費比率	12.9
	義務的経費比率	47.5
積立金現在高	財政調整基金	11,513,287
	減債基金	537,469
	その他	2,908,518
	計	14,959,274
地方債現在高	政府資金	44,628,076
	その他	15,645,670
	計	60,273,746
債務負担行為翌年度以降支出予定額	物件の購入等	821,048
	債務保証損失補償	
	その他	3,250,395
	計	4,071,443
	収益事業収入	
	土地開発基金現在高	50,373

2. 一般会計

(1) 議会費 (1) 議会費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
53 54	1 議会費	政務調査費	9,801	一般財源 9,801	(交付総額) 月額3万円×12月×25名＝ 9,000,000円 月額3万円×11月×5名＝ 1,650,000円 【小計】 10,650,000円 (返済額) 849,208円 (使途総額) 9,800,792円 (使途内容) ①視察研修費 5,963,066円 ②資料作成費 200,450円 ③書籍購入費 765,798円 ④広報広聴費 3,840,771円 ⑤その他費用 4,691円 【うち自己負担】 973,984円	地方自治法第100条第14項及び第15項の規定に基づき、天草市議会議員の調査研究に資するため、必要な経費の一部として交付するもの。報告に当たっては、領収証及びその他資料を添えての報告を義務付けている。 執行に当たっては、議員各位が明確な目的意識をもつての視察研修や、議会だよりの発行、必要専門図書の購入等を図り、有益に活用されている。 また、平成22年度における執行率は約92%と平成21年度執行率(約94%)を下回っているが、使途総額に自己負担を含めると交付総額を上回っている現状である。

(2) 総務費 (1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
54 55	1 一般管理費	国際交流事業	321	一般財源 321	【市民交流事業】 ・牛深ハイヤ祭り 参加人数24人 ・ALT歓迎パーティ 参加人数36人 ・本町ぶらりウォーク 参加人数12人 ・忠清大学ホームステイ受入 学生11人 【姉妹都市交流事業】 ・エンシニタス市訪問団受入 5人 ・エンシニタス市への学生訪問団派遣 生徒6人、教員1人 (事業内訳) 報償費 152,000円 需用費 153,995円 役務費 15,000円 計 320,995円	市内に在住する外国人に日本の伝統文化を体験してもらおうため、また同時に、外国人と地域住民との交流を深めてもらうため、イベントへの参加を呼びかけた。左記のイベントへの参加を通して、その目的を果たすことができた。 また、市と韓国忠清大学が締結した「官学共同に関する協定」の趣旨に基づき、学生のホームステイ受け入れを実施。交流を通して双方の理解を深め、更なる友好関係を築くことができた。 姉妹都市エンシニタス市から5人の訪問団を受け入れ、交流会や中学校訪問を行い、市民との交流を図った。また、エンシニタス市へ学生訪問団の派遣を行った。 エンシニタス市民と交流する機会を持つことで親睦が深まり、お互いの文化や生活習慣に触れることができた。交流者同士の友好関係も築かれた。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
55 ＼ 56	2 行政管理費	情報公開制度	0		【情報公開制度の運用実績】 ① 請求者数 58人 ② 請求件数 837件 ※請求件数は、領収書、支出伝票等の書類を1件としてカウントしている。 ③ 請求に係る決定 ・全部公開 291件 ・一部公開 533件 ・非公開 13件	本制度の実施により、市が保有する行政文書の公開を請求する市民の権利が明確になるとともに、市政についての市民の知る権利が保障されることで、市民の市政への参加が促進され、透明性の高い公正で民主的な市政の発展が図られている。
		個人情報保護制度	0		【個人情報保護制度の運用実績】 ① 請求者数 3人 ② 請求件数 5件 ※1件の請求で複数の文書が対象となる場合は、当該文書ごとにカウントしている。 ③ 請求に係る決定 ・全部開示 0件 ・一部開示 4件 ・非開示 1件	本制度の実施により、市が保有する個人情報の開示及び訂正を求める権利が明らかになることで、個人の権利・利益の保護、市政の適正かつ円滑な運営が図られている。
56 ＼ 57	3 交通安全対策費	防犯灯維持事業 (緊急雇用創出交付金)	40,623	県支出金 658 一般財源 39,965	防犯灯の維持管理 (事業費内訳) ＊共済費 83,706円 ＊賃金 574,418円 ＊電球購入他 9,923円 ＊電気料 30,509,303円 ＊修繕料(球替:2,151基) 4,508,680円 ＊修繕料(器具修繕:302基) 4,936,482円 計 40,622,512円	防犯灯の維持管理については、適宜、玉換えや器具の修繕を行い夜間における通学路および地域住民の生活の安心安全確保を図った。また、緊急雇用対策事業により、施設の適正な維持管理を執行するため、防犯灯台帳の整備を実施した。(平成22年度末の防犯灯数:9,940基)
		防犯灯整備事業	6,650	国庫支出金 4,225 その他 273 一般財源 2,152	防犯灯の整備 工事請負費(一般防犯灯) 6,650,214円 平成21年度末保有基数 9,785基 平成22年度整備基数 155基	防犯灯の整備については、まだ未整備箇所が多く「安心安全なまちづくり」の面から、防犯灯の整備を行い通学路及び地域住民の夜間の安心安全が確保された。また、本年度から環境に配慮したソーラーLED防犯灯を導入した。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																				
56 57	3 交通安全対策費	交通安全施設整備事業	12,727	一般財源 12,727	交通安全施設の整備 *カーブミラー設置 37基 *防護柵 338.5m *区画線 5,998m (事業費内訳) *修繕料 152,546円 *工事請負費 12,574,833円 計 12,727,379円	交通安全施設の整備により、道路における交通環境の改善を行い交通事故防止と交通の円滑化を図った。																				
		交通安全運動	1,446	一般財源 1,446	各季の交通安全運動の実施により交通安全の啓発活動を実施。 交通安全運動出発式参加者 延べ2,378人 *事業費内訳 報償費 30,000円 ランドセルカバー (730個) 114,208円 黄色帽子 (730個) 259,844円 反射タスキ (840本) 96,138円 広報媒体他 897,120円 ハードライン(道路用ペンキ) 48,226円 計 1,445,536円	警察署他各関係機関と連携して、交通安全運動を通じて市民に広く交通事故防止の啓発に努めた。 *交通事故件数等の推移 (天草市) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>死亡者</th> <th>負傷者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成19年</td> <td>322件</td> <td>6人</td> <td>414人</td> </tr> <tr> <td>平成20年</td> <td>251件</td> <td>2人</td> <td>314人</td> </tr> <tr> <td>平成21年</td> <td>223件</td> <td>3人</td> <td>301人</td> </tr> <tr> <td>平成22年</td> <td>236件</td> <td>8人</td> <td>280人</td> </tr> </tbody> </table>		件数	死亡者	負傷者	平成19年	322件	6人	414人	平成20年	251件	2人	314人	平成21年	223件	3人	301人	平成22年	236件	8人	280人
			件数	死亡者	負傷者																					
平成19年	322件	6人	414人																							
平成20年	251件	2人	314人																							
平成21年	223件	3人	301人																							
平成22年	236件	8人	280人																							
交通事故防止対策	7,402	一般財源 7,402	交通指導員を設置し、子どもたちの通学時の交通街頭指導及びイベント時の交通整理等を実施。 交通指導員数 141人 交通教室の開催状況 18回の延べ2,535人 *事業費内訳 報酬 6,482,165円 報償費(交通教室講師謝礼) 206,500円 費用弁償 364,300円 需用費 262,595円 研修時車借上 86,340円 計 7,401,900円	春・秋・年末年始の各期交通安全運動に加え、定期の街頭指導、各種イベント時の交通整理など、交通事故防止に寄与した。 ○交通指導員活動状況(延べ実績) *街頭指導・イベント時の交通指導 86回・・・1,251人 *交通教室等 18回・・・32人 交通安全協会、自転車二輪車商協同組合、警察署等と連携して年齢にあった交通教室を実施することにより幼児から高齢者までの交通安全教育の実践が図れた。 ○交通教室受講者状況(内訳) <table border="1"> <tbody> <tr> <td>幼・保育園</td> <td>2回(140人)</td> </tr> <tr> <td>小・中学校</td> <td>13回(2,210人)</td> </tr> <tr> <td>老人会他</td> <td>3回(185人)</td> </tr> </tbody> </table>	幼・保育園	2回(140人)	小・中学校	13回(2,210人)	老人会他	3回(185人)																
幼・保育園	2回(140人)																									
小・中学校	13回(2,210人)																									
老人会他	3回(185人)																									

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
56 57	3 交通安全対策費	交通安全協会補助金	1,357	一般財源 1,357	<p>地域の交通安全、事故防止対策を推進し交通事故の抑制と快適な交通環境の確立を図るため活動助成を行う。</p> <p>(事業費内訳) 天草市補助金内訳</p> <p>【天草署管内決算額】 (天草地区へ) 17,452,200円 918,000円</p> <p>【牛深署管内決算額】 (牛深地区へ) 9,179,711円 439,000円</p> <p>計 1,357,000円</p>	各種交通安全活動の実施により交通安全に対する普及啓発が図られた。また、各種イベント時に協力をを受け、円滑な事業の運営に寄与された。
57 60	4 人事管理費	職員健康管理	8,491	一般財源 8,491	<p>【人間ドック受検】 30歳以上の職員を対象に人間ドック受検を実施 受検者 603人</p> <p>【職員健康診断】 人間ドック受検者を除く職員及び臨時・非常勤職員を対象に、天草中央総合病院及び市立4病院へ委託し、定期健康診断を実施 受診者 1,346人</p> <p>【心の健康づくり】 メンタルヘルス健康講座 受講者 290人</p> <p>【職場巡視】 職場における公務災害や健康障害のリスクを事前に把握し、対策を講じるため、天草市衛生委員による職場巡視を実施</p> <p>・第1回職場巡視 (10月) 巡視場所：出張所など16事業場</p> <p>・第2回職場巡視 (1月) 巡視場所：出張所など28事業場</p> <p>(事業費内訳)</p> <p>健診委託料 8,479,800円 需用費 11,250円</p> <p>計 8,491,050円</p>	<p>人間ドック受検では、生活習慣病の早期発見に繋がっている。</p> <p>精密検査が必要な職員には、二次検査報告書を提出させ、重症化の防止に努めている。</p> <p>また、40歳以上の特定保健指導該当者には、訪問型特定保健指導を実施し、指導員による栄養指導・運動指導を行い、体重の減少などの効果があがっている。</p> <p>熊本県市町村職員共済組合からの派遣講師による健康講座を開催し、メンタルヘルス対策を講じた。市役所内相談員には、研修会に参加させ、スキルアップを図った。</p> <p>職場における危険箇所など懸念される事項については指摘を行い、職場環境の整備など逐次改善を図っている。</p>

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
60	5 職員研修費	職員研修事業	5,564	その他 1,024 一般財源 4,540	1 一般研修 (1) 新規採用職員研修（前期・中期・後期）11人 (2) 管理職研修 66人 (3) 監督者研修（課長補佐級、係長級） 95人 (4) 一般職研修（参事・主任・主査） 163人 (5) 人事評価研修 93人 2 専門研修 (1) 自治大学校（30歳以上の係長級職員）2人 (2) 市町村アカデミー 15人 住民とのコミュニケーション、地域間連携など (3) 熊本縣市町村職員研修協議会 36人 新規採用職員研修、新任係長研修など (4) 天草広域連合 22人 3 派遣研修 内閣府（2年間）1人、熊本大学（2年間）1人 熊本県（1～2年間）12人、テクノ財団（2年間）1人 4 職場研修 (1) 接遇リーダー研修 88人 5 その他研修 (1) IT人材育成支援事業研修 131人 (2) 自主研究グループ研修 17人 本市の課題を職員自らが調査・検討することにより、能力開発、資質の向上を目的に実施。 (3) 特別講演（2回） 306人 (事業費内訳) 講師等謝礼 11,000円 研修旅費 2,901,744円 需用費（消耗品費） 9,811円 審査手数料 36,750円 職員研修委託料 1,467,820円 職員研修負担金 967,162円 職員研修補助金 170,000円 計 5,564,287円	○新規採用職員研修では、公務員としての基礎知識、農漁業体験、管理職研修は、組織のマネジメント、監督者研修は、問題解決の方法、一般職は、報告・連絡・相談の徹底について研修を実施した。 また、人事評価研修は、評価の基礎知識、評定方法等の研修により、評定者の能力向上に努めた。 研修後の調査による検証を行った。（満足度85%、役立度97%など） ○各専門機関で行われている研修を受講し、公務員としての基礎知識の再確認、各専門分野の知識の習得を図るとともに、他自治体職員との交流により、人的ネットワークの面でも効果的な研修となった。 また、自治大学校修了者は、研修講師としての資格を取得し、新規採用職員研修等の講師を努め指導する面でも成果をおさめている。 ○職員派遣により専門的知識及び技能の習得に努め、平成22年度末の帰任職員は、4月の人事配置で研修が活かせる部署への配置を実施した。 ○接遇の基本、苦情内容などの解決方法の研修を実施した。また、受講職員が各課の職員に対し研修を実施し、更なる接遇マナーの向上に努めた。 ○自主研究グループ研修では、課題や問題点等に関し、職員自らが広く協働し、調査・検討等を行うことにより、能力の開発、資質の向上を図るとともに、その成果を施策に反映させるため自主研究グループ研修を実施。（グループ：3班 17人）。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
61 62	7 広報広聴費	広報広聴事業	28,375	その他 737 一般財源 27,638	【市政だよりの発行】 ・発行回数 24回（月2回） ・1回当たりの発行部数 約35,100部 ・年間発行部数 842,512部 ・1回当たりの単価 36.03円 （1部44頁の場合） ・年間発行総頁数 560頁 （本紙264頁、お知らせ296頁） 【市勢要覧の発行】 ・発行部数 1,500部 ・1部（60頁）当りの単価 665円 【ホームページの更新】 毎月の市政だよりの天草本紙の一部のほか、「市長随筆」「お知らせ」を抜粋して掲載した。 ・更新、公開した件数 1,267件 【広聴事業】 ホームページのご意見箱や郵便などにより、市への意見や質問、要望などが多く寄せられた。その意見などを各部署へ連絡し、投稿者への対応依頼や秘書課で文書による回答を行った。 ・ホームページご意見箱等 182件（文書回答64件） ・郵便などによるもの 1件（文書回答1件） （事業費内訳） 報酬（事務補助嘱託員） 1,245,600円 共済費 178,777円 需用費 17,792,336円 役務費 1,084,900円 委託料 7,875,000円 使用料及び賃借料 174,373円 負担金補助及び交付金 24,000円 計 28,374,986円	・市民の暮らしに必要なお知らせや市政運営状況などの行政情報を掲載し、市民への周知を図った。 ・市の産業や自然、行事等を写真や文章、統計資料を用いて作成し、市外から訪れた人や市内の公共機関などに配付して、天草市を広く県内外に紹介することができた。 ・観光イベントや行事などの市の情報をホームページに掲載し、市内外へ発信することができた。 ・市民からの行政への意見や質問、要望などに回答することで、市政の現状を理解していただくとともに、意見を踏まえて事務を改善することで、市民サービスの向上を図ることができた。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
62 5 65	9 財産管理費	本庁舎管理費	102,602	その他 4,639 一般財源 97,963	【本庁舎等（庁用車を除く）の維持管理】 (事業費内訳) 需要費 30,397,982円 役務費 27,829,879円 委託料 31,189,312円 使用料及び賃借料 13,179,978円 原材料費外 5,250円 計 102,602,401円	庁舎の安全管理及び環境衛生の保全と快適環境の維持に努め、庁舎全体の保全及び付帯施設の機能向上と延命を図った。 また、市有財産の火災・盗難・不法行為・事故防止のための維持管理を行い、安全確保と適正管理に努めた。
		市有財産管理費	12,103	その他 3,018 一般財源 9,085	【市有財産の維持管理】 (事業費内訳) 需用費 3,031,741円 役務費 4,754,256円 委託料 3,938,680円 その他の事業費 378,709円 計 12,103,386円	遊休市有地の有効活用を図るため、用地境界測量委託や土地建物鑑定委託を行い、民間へ売却処分し、財源の確保に努めた。 ○遊休市有地等の売却 土地・建物 84件 79,866,264円
		本庁等営繕工事	66,962	一般財源 66,962	【事業内訳】 ・旧赤崎小学校解体工事外 35,601,300円 ・市有地治山工事 10,918,331円 小計 46,519,631円 ・同上 設計委託料 3,181,500円 ・本庁他4支所耐震診断委託 17,260,410円 小計 20,441,910円 計 66,961,541円	老朽化した施設の解体及び市有地の治山工事を行い、地域住民の安全確保を図った。また、本庁を含め、有明、倉岳、栖本、五和各支所の耐震診断業務委託を実施した。
		普通財産環境整備事業 (緊急雇用創出交付金)	2,026	県支出金 2,026	【事業内訳】 ・東部地区景観保全事業外1件 2,026,402円	普通財産の維持管理（除草作業等）のため、失業者を対象とした雇用対策を実施した。 新規雇用の失業者数 6人

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
6.2 ） 6.5	9 財産管理費	車両管理費	42,956	その他 3,138 一般財源 39,818	(事業費内訳) 旅費 9,800円 需用費 18,639,919円 役務費 9,488,922円 委託料 353,430円 使用料及び賃借料 12,218,921円 公課費 788,200円 賠償金 1,456,692円 計 42,955,884円	本市公用車の適正な維持管理を行い、車両の故障を未然に防止し事故防止等に努めた。 *平成22年度(H23 . 3月末) 公用車保有台数：327台
6.6 ） 6.7	1.1 企画費	総合計画策定事業	1,190	一般財源 1,190	【総合計画策定審議会】 審議会の開催 5回 【市政に関するアンケート】 市民アンケート実施回数 1回 市民アンケート回収率 44.7% (事業費内訳) 審議会委員報酬 276,000円 審議会委員費用弁償 109,895円 印刷製本費 406,350円 その他事務費 398,000円 計 1,190,245円	平成19年度から平成22年度までの前期基本計画の取り組みを総括・評価し、市民の意見を反映させるため、市政に関するアンケートやパブリック・コメントを実施した。 その結果を踏まえ、総合計画策定審議会での審議を経て、平成23年度から平成26年度までに取り組むべきものを明らかにした後期基本計画を策定した。 市政に関するアンケートでは、市政に対する施策の満足度・重要度、合併の評価などを調査し、市民の意見・ニーズを把握することができた。
		島原・天草・長島架橋建設 促進期成会負担金	510	一般財源 510	【期成会負担金】 島原・天草・長島架橋建設促進活動への負担金 510,000円	要望活動や各種スポーツ大会等を通じた交流活動の実施等により、地元の期待と熱意を伝えるとともに、架橋の必要性を広くアピールし、架橋建設の早期実現へ向けた活動を実施した。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果										
6.6 } 6.7	1.1 企画費	行政改革推進事業	748	一般財源 748	<p>【第1次天草市行政改革大綱及び実施計画（集中改革プラン）の推進】</p> <p>【第2次天草市行財政改革大綱及び天草市行財政改革アクションプランの策定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政改革推進本部会議 4回開催 行政改革審議会 6回開催 職員研修会の実施 平成22年10月5日～8日（4箇所） <p>(事業費内訳)</p> <table> <tr> <td>委員報酬</td> <td>444,000円</td> </tr> <tr> <td>旅費等</td> <td>270,055円</td> </tr> <tr> <td>会議負担金</td> <td>33,600円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>747,655円</td> </tr> </table>	委員報酬	444,000円	旅費等	270,055円	会議負担金	33,600円	計	747,655円	<p>平成19年2月に策定した第1次天草市行政改革大綱及び実施計画（集中改革プラン）に基づき、10年後の天草市を見据えた持続可能な行政運営の確立を目標に改革を推進しており、概ね計画どおり進行している。</p> <p>推進期間：平成18年度から平成22年度の5年間</p> <p>第1次行政改革の反省を踏まえ、“10年後の天草市を見据えた持続可能な行財政運営の確立”を目指し、第2次天草市行財政改革大綱及び天草市行財政改革アクションプランを策定した。平成23年度よりこれに基づき行財政改革を推進する。</p> <p>推進期間：平成23年度から26年度の4年間</p>		
		委員報酬	444,000円													
旅費等	270,055円															
会議負担金	33,600円															
計	747,655円															
行政評価推進事業	0		<p>【行政評価の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての事務事業並びに施策評価について自己評価を実施 行政評価職員説明会を実施 平成22年5月12日～13日 4回開催 参加者 154人 職員研修会の実施 平成22年10月5日～8日（4箇所） 	<p>施策概要書及び行政評価統合システムを活用した事務事業調書を整備し、全ての施策評価並びに事務事業について自己評価を実施した。</p> <p>所管ごとの施策、事務事業の評価及び職員向け研修会を行うことで、行政評価の目的、内容の認識が深まってきた。</p>												
6.7 } 6.9	1.2 地域振興費	まちづくり推進事業	726	一般財源 726	<p>【視察研修、講演会等の実施】</p> <table> <tr> <td>講師謝礼</td> <td>105,000円</td> </tr> <tr> <td>車両借上料</td> <td>126,000円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>395,896円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>99,549円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>726,445円</td> </tr> </table>	講師謝礼	105,000円	車両借上料	126,000円	旅費	395,896円	消耗品費	99,549円	計	726,445円	<p>地域づくり講演会の開催、自治活動研修などを開催し、市民と行政の協働の推進を図るとともに、地域リーダーの育成や担当職員の資質向上を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域づくり視察研修 1回（まちづくり関係者15人） 講演会 1回（232人） 担当職員研修 4回（延べ157人） 地域づくり職員研修 1回（延べ54人）
講師謝礼	105,000円															
車両借上料	126,000円															
旅費	395,896円															
消耗品費	99,549円															
計	726,445円															

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果		
6.7 地域振興費 6.9	1.2	宝島地域資源開発事業	6,116	県支出金 3,076	【地域資源の発掘・パンフレット作成等】 旅費 115,520円 印刷製本費 1,155,000円 広告料 240,000円 消耗品費 168,000円 委託料 4,437,300円 計 6,115,820円	様々な地域資源等(ツーリズム、まち歩き)を掲載したパンフレットの作成、モニターツアーの実施を行い、地域活動の更なる推進を図り、交流人口の増加を目指したもの。 ・ツーリズムパンフレット作成(1万部)、まち歩き(5種類・各5,000部)、その他試食会やグッズ製作 ・モニターツアーの実施(3ヶ所)		
		渡船運航事業		一般財源 1,521			【運航業務委託料】 ・横浦島(御所浦町)渡船運航業務 173,250円 ・横島(新和町)渡船運航業務 1,348,200円 計 1,521,450円	離島地区(御所浦町、新和町)の日常生活における交通手段を確保することができた。 (輸送実績) ・横浦島 17人(H22.4月~6月) ・横島 396人/年
		天草空港利用促進協議会負担金		一般財源 4,064			【協議会負担金】 協議会は利用促進対策としてPR事業、旅行企画商品助成事業を実施。 ・旅行商品企画助成事業利用者数 4,296人 【負担金額】 4,064,000円	天草空港に就航する天草エアラインの利用促進事業を実施することで、空港のPR及び利用促進が図られ地域・観光振興に寄与した。 (輸送実績) 62,357人/年
		天草地域フェリー航路利用促進協議会負担金		一般財源 1,500			【協議会負担金】 協議会は天草地域と他県を結ぶフェリー定期航路の利用促進を図るためPR事業、また旅行企画商品等への助成事業を実施。 ・旅行商品企画助成事業利用者数 3,354人 【負担金額】 1,500,000円	天草地域から他県へ就航しているフェリー航路の利用促進事業を実施することで、航路PR及び利用促進が図られ地域・観光振興に寄与した。
		地域公共交通活性化・再生総合事業		一般財源 20,000			【天草市公共交通連携協議会負担金】 協議会は平成20年度に策定した計画に基づき、下記の事業を行った。 【事業内容】 ・超快速バス実証運行(本渡~熊本間) ・福祉バスを路線バスとして再編する実証運行 ・バス停ポール交換(54箇所)ほか 【負担金額】 20,000,000円	平成20年度に策定した天草市地域公共交通総合連携計画に基づき多様化・高度化する住民ニーズに応えるための公共交通の確保、アクセス強化等の事業に取り組んだことにより、利用者の利便性の向上及び路線バスに対する市負担額の抑制につながった。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
6.7 ） 6.9	1.2 地域振興費	地域自立コミュニティ活動 支援事業	16,846	地方債 16,800 一般財源 46	【まちづくり協議会への補助金交付】 本渡まちづくり協議会 4,444,000円 牛深まちづくり協議会 2,575,000円 有明まちづくり協議会 1,416,000円 御所浦まちづくり協議会 1,009,000円 倉岳まちづくり協議会 984,000円 栖本まちづくり協議会 837,000円 新和まちづくり協議会 1,081,000円 五和まちづくり協議会 1,988,000円 天草まちづくり協議会 1,139,000円 河浦まちづくり協議会 1,373,000円 計 16,846,000円	それぞれの地域において住民が主体となって地域の自立に向けた様々な取り組みがなされており、「住民主体・行政支援型」のまちづくりを全市的に浸透させることができた。 *その後宝島パトナーシップ推進交付金へ移行
		地方バス路線運行維持対策費	249,480	県支出金 26,979 一般財源 222,501	【地方バス運行等特別対策補助金】 地域の生活交通としての路線バスを運行する事業者に対し、路線運行の損失額を補助する。 路線数 35路線 【補助金額】 249,480,000円	地域の生活交通としての路線バスの運行が確保され、住民福祉の向上が図られた。 (輸送実績) 497,754人/年
		乗合自動車運行事業	9,883	一般財源 9,883	【御所浦地域乗合自動車運行補助金】 御所浦地域の生活交通としての乗合バスを運行する事業者に対し、運行の損失額を補助する。 路線数 5路線 日曜、第2・4土曜運休 【補助金算出基礎】 運行経費 - 運行収入 運行経費 12,203,222円 運行収入 2,320,000円 損失額(補助金額) 9,883,222円	御所浦地域の生活交通として必要な乗合バスの運行が確保され、地域住民の福祉向上が図られた。 (輸送実績) 8,472人/年
		コミュニティ助成事業	6,070	県支出金 1,070 その他 5,000	【地域活動に対する助成】 二江まちづくり振興会 900,000円 御所浦太鼓保存会 2,500,000円 棚底獅子舞保存会 1,600,000円 小宮地地区振興会 1,070,000円 計 6,070,000円	(財)自治総合センターや(財)地域振興財団、県の助成金(全額補助)を有効に活用し、コミュニティの健全な発展を図ることができた。 ・二江まちづくり振興会：イベント活動 ・御所浦太鼓保存会：太鼓整備 ・棚底獅子舞保存会：獅子舞関係備品整備 ・小宮地地区振興会：高齢者を活用した事業

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
67 5 69	12 地域振興費	天草エアライン機材維持費 補助金	111,495	地方債 111,400 一般財源 95	【機材維持費補助金】 航空機の機材整備費に対し、熊本県、天草市、上天草市、苓北町で協調し補助金を支出する。下記費用を出資割合で負担する。 (整備費内訳) エンジン整備 (1基) 102,865,179円 機体構造検査 103,863,523円 通常整備 147,865,571円 計 354,594,273円 【天草市負担分】 111,495,000円	天草エアライン(株)が運航する航空機の機材整備費に対し補助金を支出し、機体の安全性向上、安全運航と健全な会社運営を支援することで、島民の高速交通手段の確保及び地域・観光振興に寄与した。 (輸送実績) 62,357人/年
		御所浦・水俣航路対策事業 補助金	4,768	地方債 4,700 一般財源 68	【航路対策事業補助金】 御所浦・水俣間の海上交通としての乗合海上タクシーを運航する事業者に対し、運航の損失額を補助する。 週3日・1日3便運航 【補助金算出基礎】 運航経費－運航収入(乗船料金) 運航経費 7,113,400円 運航収入 2,345,500円 損失額(補助金額) 4,767,900円	御所浦・水俣間の海上交通手段を確保し、生活交通としての利便性を高めることで住民福祉の向上が図られた。 (輸送実績) 2,462人/年
		ふるさと応援交付金事業	5,284	その他 5,284	【まちづくり協議会・地区振興会補助金】 本渡各地区振興会 125,000円 牛深まちづくり協議会他 631,000円 有明各地区振興会 280,000円 御所浦各地区振興会 195,000円 栖本まちづくり協議会他 1,043,000円 倉岳各地区振興会 230,000円 新和まちづくり協議会他 105,000円 五和各地区振興会 1,500,000円 天草各地区振興会 80,000円 河浦まちづくり協議会他 1,095,000円 計 5,284,000円	天草市ふるさと応援寄附金の中で、各まちづくり協議会及び地区振興会を指定された寄附金を財源とした「天草市ふるさと応援交付金」(補助金)を交付した。 ・本渡地区 8件 ・牛深地区 11件 ・有明地区 7件 ・御所浦地区 5件 ・栖本地区 3件 ・倉岳地区 2件 ・新和地区 5件 ・五和地区 9件 ・天草地区 3件 ・河浦地区 8件 計61件

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
6.7 ） 6.9	1.2 地域振興費	宝島づくりパートナーシ ップ推進交付金事業	46,218	地方債 46,200 一般財源 18	【まちづくり協議会への補助金】 本渡まちづくり協議会 12,418,000円 牛深まちづくり協議会 6,999,000円 有明まちづくり協議会 3,954,000円 御所浦まちづくり協議会 2,952,000円 倉岳まちづくり協議会 2,560,000円 栖本まちづくり協議会 1,915,000円 新和まちづくり協議会 2,977,000円 五和まちづくり協議会 5,949,000円 天草まちづくり協議会 3,025,000円 河浦まちづくり協議会 3,469,000円 計 46,218,000円	それぞれの地域において住民が主体となって地域の自立に向けた様々な取り組みがなされており、「住民主体・行政支援型」のまちづくりを全市的に浸透させることができた。 *平成22年度より本交付金制度を実施。
		宝島づくりチャレンジ支援 交付金事業	8,230	一般財源 8,230	【まちづくり協議会・地区振興会への補助金】 ・コミュニティモデル事業 五和まちづくり協議会 720,000円 赤崎地区振興会 660,000円 中田地区振興会 115,000円 亀場地区振興会 1,000,000円 ・コミュニティビジネス創設支援事業 城河原地域づくり振興会 900,000円 新合地区振興会 189,000円 下田南地区振興会 708,000円 牛深地区振興会 1,000,000円 宮地岳地区振興会 301,000円 手野まちづくり振興会 270,000円 楠浦地区振興会 475,930円 ・地域コミュニティ活性化事業 富津地区振興会 487,000円 福連木里づくり振興会 441,000円 鬼池まちづくり振興会 450,000円 碓石地区振興会 333,000円 浦地区振興会 180,000円 計 8,229,930円	平成22年度から施行した制度。まちづくり協議会や地区振興会が実施する事業に対し補助するものであり、3つの対象事業（コミュニティモデル事業・コミュニティビジネス創設支援事業・地域コミュニティ活性化事業）がある。 各振興会等では、事業を実施することによって地域の課題解決や個性の伸張を図っている。 コミュニティモデル事業：4団体 コミュニティビジネス創設支援事業：7団体 地域コミュニティ活性化事業：5団体

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
6.7 } 6.9	1.2 地域振興費	島内周遊バス運行事業補助金	1,660	一般財源 1,660	【島内周遊バス運行事業補助金】 空路・航路等との二次交通として運行されている周遊バスを市民・観光客等へ認知度を向上させるため、車輦を天草色にラッピング等をする経費に対し補助を行う。 (事業内訳) 車輦ラッピング等 【補助金額】 1,660,000円	周遊バスにラッピング等を行ったことで、島外からの来訪客に対する周知が図られ、天草到着後の二次交通としての重要な役割を果たした。
		天草エアライン機材整備費 緊急対策資金等貸付金	140,000	その他 140,000	【機材整備費緊急対策資金等貸付金】 天草エアラインの突発的な機材不具合が生じた場合の緊急的な整備資金、また会社の運営資金に不足が生じた場合の資金として、会社に対し関係自治体を代表して天草市が貸付を行う。 【貸付実績額】 機材整備資金貸付金 0円 会社運営資金対策貸付金 140,000,000円	会社の運営資金不足に対する貸付を行ったことで、空路の維持が図られ、島民の高速交通手段の確保及び地域・観光振興に寄与した。
6.9 } 7.2	1.3 電算情報処理費	携帯電話等エリア整備事業	47,731	県支出金 31,820 地方債 10,600 その他 5,302 一般財源 9	【携帯電話等エリア整備事業】 平成21年度繰越事業 河浦町板之河内地区及び銭瓶地区 (板之河内局及び銭瓶局を整備) ・設計、施工監理業務委託 14,442,750円 ・伝送路、鉄塔他工事 28,805,874円 ・通信機器購入費 4,482,429円 計 47,731,053円 ・県補助金(2/3) 31,820,000円 ・事業者負担金(1/9) 5,302,000円 ・本市負担額(2/9) 10,609,053円	いづれの携帯電話会社のサービスを受けられない不感地域の整備を行った。 これにより河浦町の板之河内地区及び銭瓶地区の約56世帯・130人が居住地における携帯電話の利用が可能となった。 また、携帯電話会社によるインターネットサービスも可能となり情報通信格差の解消が図られた。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
69 ↳ 72	13 電算情報処理費	地域情報基盤整備事業	52,221	国庫支出金 52,221	【地域情報基盤整備事業】 〈平成21年度繰越事業〉 市補助金(事業費の1/4) 52,221,000円 (参考) 総事業費 事業費×1/4 ・五和町地区 (83,470,601円) 20,867,000円 ・倉岳町、新和町、下浦町地区 (125,417,529円) 31,354,000円	第三セクター法人の天草ケーブルネットワーク(株)が実施する地域情報基盤整備事業に対して、国の交付金を財源として補助を行った。これにより、地上デジタル放送の提供を始め、BSデジタル、CSデジタルの多チャンネル放送サービス及びケーブルインターネットサービスの提供が可能となり、地域間の情報格差の是正が図られた。 ・整備地区：五和町(鬼池、二江地区)、倉岳町(宮田、棚底、浦地区)、新和町(大多尾地区)、下浦(小手) ・対象世帯：2,420世帯
		天草Webの駅普及促進事業 (緊急雇用創出交付金)	2,998	県支出金 2,998	【天草Webの駅普及促進事業】 ・講習業務委託 2,997,750円 内人件費 3人・延320日 (2,117,583円) 内新規雇用人件費 (1,536,966円) (2人×5ヶ月/継続雇用無)	天草Webの駅の機能を活用し、情報発信、情報交流及び地域商店等の販路拡大へ役立てるための研修会を緊急雇用創出交付金を財源として実施した。 ・17会場にて51日間実施 ・受講者：延232人
		天草地域情報通信基盤整備 推進事業 (緊急雇用創出交付金)	2,109	県支出金 2,109	【天草地域情報通信基盤整備推進事業】 ・調査業務委託 2,109,450円 内人件費 1人・延151日 (1,521,450円) 内新規雇用人件費 (1,521,450円) (1人×8ヶ月/継続雇用有)	天草市の光ファイバーケーブルを貸与し、インターネット通信環境及び有線放送環境等の拡充により、情報格差を是正し地域情報化の推進を行うために必要な環境調査を緊急雇用創出交付金を財源として実施した。 ・事業所及び住民へのアンケート調査 (本渡地区以外：200事業所、1,800世帯) ・インターネット等の通信環境調査及び分析
		地域情報化事業	913	一般財源 913	【地域情報化事業】 ・郵便料 292,435円 ・調査業務委託 620,550円 計 912,985円	情報基盤整備後の利活用を推進するため、住民の情報化にかかる意識調査をアンケートにて実施した。また、携帯電話エリア等環境図を作成した。 ・事業所及び住民へのアンケート調査 (本渡地区：174事業所、1,256世帯) ・携帯電話エリア等環境図作成

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
69 5 72	13 電算情報処理費	広域ネットワーク等管理運用事業	34,895	その他 445 一般財源 34,450	【広域ネットワーク等管理運用事業】 (事業内訳) 電柱共架料 12,713,619円 土地借上げ料(62件) 125,630円 施設配線工事等(12件) 3,845,310円 共架柱支障移転(6件) 2,701,755円 海底光ケーブル現況調査委託 3,129,000円 伝送路維持管理委託料 10,120,950円 電気料他需用費 722,307円 通信機器等購入費 1,536,150円 計 34,894,721円	平成19年度から平成21年度に構築した広域ネットワークの管理運用を行い、基幹系・情報系・教育系・住民開放、光ケーブル貸出に係るネットワークの安定運用を行った。 また、海底光ケーブル整備海域の関係漁協との協議により、整備後の現況調査を実施し、底引き網漁等による埋設深度に影響は見受けられなかった。 電柱共架等関係 共架柱：7,523本 (九州電力及びN T T柱) 自設柱：190本 管路：4,104m
		地域ICT利活用事業		17,863	一般財源 17,863	【地域ICT利活用事業】 (事業内訳) セキュリティ等更新費 687,960円 システム管理委託料 4,652,550円 システム改修委託料 2,337,867円 OA機器借上料 945,000円 研修及び普及促進業務委託 9,240,000円 計 17,863,377円

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
69 ↳ 72	13 電算情報処理費	熊本県・市町村電子自治体 共同運営協議会負担金	4,287	一般財源 4,287	【運営協議会の平成22年度事業費概要】 本市負担額 4,286,768円 (本市負担割合：人口割・事業費の約2.52%) (参考) 【事業費】 一般会計：運営費 (7,200,000円) 事業会計：電子申請分 (162,750,000円) 計 (169,950,000円) 本市負担額：一般会計 (182,000円) " : 事業会計 (4,104,768円) 計 (4,286,768円)	熊本県と県下の市町村が共同で開発した電子申請受付システムの運用管理を行い、電子申請にかかる経費削減と県下統一の電子申請方式による利便性の向上を図った。 利用可能な電子申請の手続きは、県及び市で812手続。 なお、運用開始から6年が経過し、機器等の更新時期となっていることから、平成23年度より新システムへ移行すると共に経費削減を行うことが決定されている。
		電算システム運用管理事業	85,070	一般財源 85,070	【事業概要】 電算システムの安定運用を図る。 ・住民基本、戸籍、税、介護、保険、住宅、選挙、図書館、福祉、財務会計等のシステムの保守 (システム管理委託料) 35,525,910円 ・情報処理支援業務委託 (電算処理委託料) 24,998,400円 ・中心機器等保守費 (OA機器管理委託料) 4,868,388円 ・パソコン等のリース継続 (OA機器借上料) 3,943,142円 ・戸籍等のシステム使用料 (システム借上料) 6,256,500円 ・制度改正等に伴う改修 (システム改修委託料) 7,182,000円 ・共通用紙印刷及び点検手数料等 (システム管理事務経費) 2,295,510円 計 85,069,850円	天草市が単独で運用する電子計算機によるシステムの保守や制度改正等に伴う改修を委託し、業務の安定運用を行った。(平成20年度に天草広域連合から継承した後、単独運用へ移行した基幹系システムを含む) また、合併時に旧自治体で保有していた業務用のパソコン等について、再リースを含むリース契約を継続し、電子計算機を使用する行政事務を停滞なく行うことができた。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
69 ↳ 72	13 電算情報処理費	新電算システム整備事業	40,949	一般財源 40,949	【システム開発委託料】 ・物品契約管理システム 2,996,700円 ・コンビニ収納拡張 1,085,700円 ・国税連携システム 4,242,000円 ・全棟調査事業データ変換 5,171,250円 ・納税組合管理、新国保受給者証作成 2,446,500円 計 15,942,150円 【機械器具類購入費】 ・サーバ更新 4台 ・老朽化パソコン等の更新 PC164台、プリンタ22台他 ・防災用WEBカメラ 4台 計 25,006,800円 合計 40,948,950円	広域ネットワークを活用し、物品契約管理システムや国税連携システム等の導入を行い行政事務の効率化を図った。 また、コンビニ収納可能な帳票を拡張し住民サービスの向上を図った。 さらに、全棟調査事業の完了に伴い課税処理データへの変換作業等を実施し、適正課税の準備を行った。 老朽化に伴う機器の更新を行い、行政事務の迅速化を図った。 また、防災監視用カメラを4台購入し、各地域に配備する。(観光用10台、防災用10台は配備済)
72 ↳ 73	14 男女共同参画費	人権啓発活動地方委託事業	775	国庫支出金 682 一般財源 93	【人権の花運動の実施】 花の栽培を通して、人権意識の高揚を図る。 小学校2校で実施(島子小学校、下田南小学校) 【地域人権啓発活動活性化事業の実施】 天草つんでフェスタ(天草町開催)において、介護問題に関する寸劇・パネルディスカッション、記念講演(講師：辻イト子さん)等を実施 (事務費内訳) 報償費 98,600円 旅費 45,130円 需用費 252,786円 役務費 119,805円 委託料 233,930円 使用料及び賃借料 25,200円 計 775,451円	【人権の花運動】 花の生育状況の観察や発表会を通じて、命の大切さや思いやりの心など人権擁護の意識が育成された。 【地域人権啓発活動活性化事業】 高齢化率が最も高い天草町での開催であったこともあり、認知症に関する寸劇や介護体験者によるパネルディスカッションでは、参加者の多くが身近なこととして考え介護問題に対する正しい理解と知識が深まった。また、知的障がいのある長女の子育てや父の介護体験を踏まえた記念講演では、人権を尊重する意識の普及高揚が図られると共に、男女共同参画推進への理解が得られた。

(2) 総務費 (1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果										
72 5 73	14 男女共同参画費	男女共同参画社会推進団体 等補助金	129	一般財源 129	<p>【男女共同参画推進団体等への事業補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティかめば塾 ・With Amakusa ・いいお産の日 in 天草2010実行委員会 <p>【男女共同参画関係研修会に参加する市民への補助】</p> <p>県地域リーダー育成事業1人 (事業費内訳) 補助金 128,500円</p>	男女共同参画社会を推進する団体等が主催する講演会及びイベントの開催に対し、補助金を交付し支援することによって、市民の意識の高揚と団体活動の活性化が図られた。また、リーダーとしての意識を持つ市民に対し、研修参加費用の一部を補助することで、幅広い知識と行動力を備え、積極的に地域社会で活躍する人材の育成に繋がった。										
		男女共同参画推進ネット ワーク事業活動補助金	200	一般財源 200	<p>【天草市男女共同参画推進ネットワークつので ネット～風～へ補助】</p> <p>市と協働で情報交換や交流を深め女性のエンパ ワーメントを図り、男女共同参画社会の実現を目的 とする「天草市男女共同参画推進ネットワークつん のでネット～風～」が平成19年9月に設立。団体育 成のため補助を行う。</p> <p>(事業費内訳) 補助金 200,000円</p>	男女共同参画推進団体 17団体、個人33人が加 入。北京JAC15周年全国シンポジウムサプライズツ アーの企画・運営、市男女共同参画週間事業「高齢 者の笑顔とパワーで地域づくり講演会」を市と協働 で実施する等、活発な事業が展開された。行政との 協働事業に更なる展開が期待できる。										
		NPO支援事業	206	一般財源 206	<p>【日本の宝島“天草”NPOセミナー】</p> <p>3回開催 延べ20人参加</p> <p>【NPOマネジメントセミナー等】</p> <p>助成金セミナー 2回開催 延べ59人参加 組織、団体を活性化させるヒント 15人参加 NPOと行政の意見交換会 12団体22人参加</p> <p>【相談事業】</p> <p>NPO法人化に向けた相談事業(随時受付) NPOの運営等に関する相談事業(随時受付)</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">報償費</td> <td style="text-align: right;">22,000円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">159,830円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">21,275円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td style="text-align: right;">3,000円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">206,105円</td> </tr> </table>	報償費	22,000円	旅費	159,830円	役務費	21,275円	負担金	3,000円	計	206,105円	NPOセミナー(基礎と法人設立のポイントを学 ぶ)をはじめ、多くのNPOが課題としている助成 金獲得や組織の活性化といったマネジメントセミ ナー、NPOと行政の意見交換会をとおして、市民 のNPOに関する理解促進とNPO活性化のためヒ ントを得ることができた。 そのほか、NPOに関する相談事業を実施し、設 立に向けたアドバイス等を行った。
報償費	22,000円															
旅費	159,830円															
役務費	21,275円															
負担金	3,000円															
計	206,105円															

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果														
7.2 ┆ 7.3	1.4 男女共同参画費	男女共同参画推進事業	835	一般財源 835	<p>【男女共同参画週間事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天草つんのでフェスタ 天草町で開催 市民250人参加 ・高齢者の笑顔とパワーで地域づくり！講演会 99人参加 <p>【男女共同参画のまちづくり講座の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本渡・有明・新和・河浦の4箇所で実施 延べ307人参加 <p>【ステップアップセミナーの開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業支援セミナーを6回連続講座で実施 (うち3回はH23実施) 22人参加 <p>【各種研修への参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県地域リーダー育成事業(埼玉県他 3泊4日) 職員2人 <p>【その他取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政だより天草に、男女共同参画啓発記事の特集号を3回掲載 ・男女共同参画に関する市民意識調査の実施 20歳以上の男女2,000人に郵送 回収率：42.0% <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">報償費</td> <td style="text-align: right;">165,100円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">125,966円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">88,687円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">368,108円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">73,920円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td style="text-align: right;">12,765円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">834,546円</td> </tr> </table>	報償費	165,100円	旅費	125,966円	需用費	88,687円	役務費	368,108円	備品購入費	73,920円	負担金	12,765円	計	834,546円	<p>【男女共同参画週間事業】</p> <p>天草つんのでフェスタは、男女共同参画を各地域に根づかせるため、毎年開催地域を変え開催している。イベント参加者に意識啓発を行えたことに加え、地域住民で実行委員会を組織しフェスタの企画・運営に主体的に関わっていただくことにより、男女共同参画の理解者が増え地域の活性化に繋がった。</p> <p>講演会については、お互いが支えあい生き生きと安心して地域で生きるためにはどう動くべきか、市民一人ひとりの意識啓発を図るとともに、市民活動団体など組織としての活動や連携のとり方を学ぶことができた。</p> <p>【ステップアップセミナー】</p> <p>女性を対象に起業支援セミナーを実施。自分のキャリアやネットワーク等の価値を認識したうえで理念を明確にし、実務的な知識(財務・労務管理)の習得など起業するための実践的なセミナーとなった。また参加者同士の緩やかなネットワークができた。</p> <p>【市政だより特集号掲載による啓発】</p> <p>市民の多くが読む市政だよりに、対談方式の特集号を掲載したことによって、市民目線での記事に反響が大きく、男女共同参画を効果的に啓発することができた。</p>
報償費	165,100円																			
旅費	125,966円																			
需用費	88,687円																			
役務費	368,108円																			
備品購入費	73,920円																			
負担金	12,765円																			
計	834,546円																			
		天草人権擁護委員協議会補助金	810	一般財源 810	<p>【天草人権擁護委員協議会へ補助】</p> <p>人権擁護委員 34人</p> <p>(事業費内訳)</p> <p>人権擁護委員協議会補助金 810,415円</p>	<p>基本的人権を擁護し人権思想の高揚のために、支所単位で特設人権相談所の開設や子どもから高齢者までへの人権啓発活動などを実施し、市民の意識の高揚及び救済が図られた。</p>														

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
74 ↳ 77	16 支所及び出張所 費	支所施設管理経費	145,808	一般財源 145,808	【各支所施設管理経費】 ・牛深支所 43,773,592円 うち営繕工事 6,624,450円 ・有明支所 22,858,792円 ・御所浦支所 6,194,844円 ・倉岳支所 8,059,995円 ・栖本支所 10,292,666円 ・新和支所 14,021,807円 ・五和支所 19,489,756円 ・天草支所 11,385,505円 ・河浦支所 9,731,457円 計 145,808,414円	支所庁舎の安全管理及び環境衛生の保全及び快適環境の向上に努め、庁舎本体の保全及び付帯設備の機能向上と維持を図った。これにより市民の対応や各種行政活動の場として機能することができた。
		緊急対応事業	20,497	一般財源 20,497	【各支所緊急対応事業経費】 ・牛深支所 4,460,260円 ・有明支所 2,195,853円 ・御所浦支所 2,215,949円 ・倉岳支所 1,522,140円 ・栖本支所 1,720,656円 ・新和支所 1,161,502円 ・五和支所 2,988,657円 ・天草支所 1,664,332円 ・河浦支所 2,568,027円 計 20,497,376円	道路への崩土や倒木除去、海岸や河川へ流れ着いた流木等漂着物の処理等、緊急即応的に対応すべき事案を適切に処理できた。
77 ↳ 79	17 アーカイブズ費	アーカイブズ施設管理経費	2,985	一般財源 2,985	・本館書庫断熱隔壁層追加、 北浜書庫木部取払い床修繕 (事業費内訳) 修繕料 578,707円 役務費(電話料・手数料) 528,219円 委託料(警備・保守点検) 1,432,620円 その他 445,559円 計 2,985,105円	本館及び館外書庫の適正な維持管理及び修繕を実施し、作業環境の改善と、史料(資料)保存の環境整備を進めた。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
77 ↳ 79	17 アーカイブズ費	アーカイブズ費事務経費	4,107	一般財源 4,107	<ul style="list-style-type: none"> ・アーカイブズ運営審議会 4回 ・天草アーカイブズ企画展 657人 ・巡回アーカイブズ写真展 約6,050人 (事業費内訳) 報酬(館長・運営審議員) 2,228,400円 旅費 632,260円 その他(消耗品等) 1,246,480円 計 4,107,140円	運営審議会の答申及び運営計画をもとに、各地での普及活動を実施し、また、職員が研修会等に参加することでアーカイブズの充実が図られた。
		資料整理事業	16,783	一般財源 16,783	学芸員(公文書・地域史料) 2人 事務補助嘱託員 7人 【行政文書の受入及び調査】 <ul style="list-style-type: none"> ・22年度移管受入公文書 1,152箱 (移管公文書保存総数) 18,078箱 ・目録作成済み公文書 14,841箱 ・イントラ検索可能公文書 14,841箱 【地域史料の受入及び調査】 <ul style="list-style-type: none"> ・夏期史料調査(8/1～8/6) 29人 ・地域史料状況調査(10～1月) 3人 ・郷土新聞のマイクロフィルム化 20本 ・写真史料調査(目録作成) 7,800コマ (事業費内訳) 報酬等(嘱託員・学芸員) 13,570,656円 報償費等(調査協力員等) 1,065,300円 委託料 1,260,000円 その他 887,192円 計 16,783,148円	本年度から公文書整理事業と地域史料整理事業を統合し、効率的な事業運営を図った。 行政文書については、移管文書の目録データ化の進展で、庁内イントラでの検索が容易となり、行政利用が進んだ。 地域史料については、目録作成作業とマイクロフィルム化による2次資料作成を進め、市民の閲覧利用できる史料の充実が図られた。
79 ↳ 80	19 庁舎建設費	御所浦支所庁舎建設事業	183,145	県支出金 45,000 地方債 119,700 一般財源 18,445	【事業内訳】 需用費 1,327,258円 役務費 2,404,172円 委託料 2,742,900円 工事請負費 170,640,916円 備品購入費他 6,029,453円 計 183,144,699円	御所浦支所機能の充実と水俣病被害者をはじめとする地域住民の交流による地域の再生・融和とともに、地域住民の健康不安の解消と健康増進を図る拠点とした。 平成22年10月1日落成 事業年度：平成19年度～平成22年度 事業費：347,100千円 建築面積：913.86㎡(鉄骨造、2階建)

(2) 総務費 (1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
80 5 82	20 地域活性化費	地域振興調整事業	7,693	一般財源 7,693	【各支所地域振興調整事業経費】 ・牛深支所 3,711,660円 ・有明支所 451,180円 ・御所浦支所 679,870円 ・倉岳支所 110,150円 ・栖本支所 0円 ・新和支所 582,526円 ・五和支所 1,746,056円 ・天草支所 0円 ・河浦支所 411,619円 計 7,693,061円	「いきいき地域創造事業」の成熟度を上げるために、調査や研究を行い各事業を実施した。
		ハイヤの里づくり事業 (牛深支所)	8,444	一般財源 8,444	【事業概要】 牛深ハイヤをテーマに、牛深の歴史、文化、景観、自然資源等を連携させた地域活性化事業。 ・うしぶか公園等の案内看板整備 ・牛深海の玄関環境整備 (臨港道路周辺、フェリー発着場周辺の景観整備、牛深ハイヤモニュメントの設置、牛深ハイヤ銘板設置) ・牛深ハイヤ祭り調査、分析 (事業費内訳) 景観整備委託料 480,680円 維持補修業務委託料 1,284,675円 設置委託料 5,759,250円 調査委託料 919,800円 計 8,444,405円	フェリー発着場周辺や臨港道路花壇への花の植栽などを実施し、観光地としての景観を維持することができた。 牛深ハイヤ娘モニュメント、牛深ハイヤ銘板をフェリー発着場近くに設置することで、市外からの来訪者に対し牛深ハイヤのPR効果が期待できる。記念撮影をする観光客も増えている。 牛深ハイヤ祭りを現地調査やアンケート調査により分析し、結果を第40回牛深ハイヤ祭りの企画等に反映させた。
		リップルランド周辺整備事業 (有明支所)	2,518	一般財源 2,518	【有明支所いきいき地域創造事業】 リップルランドを天草の玄関口として周知し、観光客等の増加を図るため、周辺に看板等を設置した。 (事業費内訳) 委託料 2,517,900円	有明地域の地域活性化拠点施設であるリップルランド公園の活用と交流人口の拡大を図るため、周辺に案内看板等を設置した。 看板等の設置によりリップルランド公園への案内が改善され、平成22年度は12,000人の集客増となった。観光・交流客の利便性と本市の玄関口としてのインフォメーション機能が向上した。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
80 5 82	20 地域活性化費	市内地域間交流推進事業 (御所浦支所)	1,089	一般財源 1,089	<ul style="list-style-type: none"> 御所浦アイランドツーリズム推進協議会と委託契約を締結し、業務を実施した。 体験業務の提供 4団体 延べ78人 (事業費内訳) <ul style="list-style-type: none"> 体験学習業務委託料 1,088,940円 	御所浦町において、自然体験や地域学習を行うことで、子どもたちの健全な心身の育成を図り、体験や交流を通して「天草」に対する郷土愛を深めることを目的に実施した。参加した子どもたちには好評を得ることができた。
		離島地域交流促進事業 (御所浦支所)	432	その他 200 一般財源 232	<ul style="list-style-type: none"> 国土交通省が主催する、全国の離島が一同に参加する島の祭典「アイランダー2010」に参加し、島の情報発信を行なった。 期日 平成22年11月27日・28日 場所 池袋サンシャインシティ（東京都） (事業費内訳) <ul style="list-style-type: none"> 旅費 266,933円 需用費 94,306円 役務費 17,050円 使用料及び賃借料 53,400円 計 431,689円 	ブース名を天草諸島（熊本県天草市）として、島の自然、物産、歴史などを紹介するポスターの掲示やチラシの配布を行った。また、体験ブースを設けて貝化石のレプリカづくりを実施し、来場者に提供した。 ・2日間の入場者 延べ約15,000人
		中浦地区景観整備事業 (倉岳支所)	4,833	一般財源 4,833	<ul style="list-style-type: none"> 消耗品費 393,662円 <ul style="list-style-type: none"> ひまわり種子 31,500円 コスモス種子（混合） 61,100円 黒川寒咲種 78,000円 球根リコリスラジータ 200,000円 2,000個×100円 肥料（苦土石灰・硫酸） 23,052円 委託料 中浦地区景観整備事業景観保全業務委託料 455,700円 工事請負費 中浦地区景観整備事業 3,983,164円 客土運搬・敷均し工 A=4,640㎡ 区画道路整備工 L=885m (A=4,425,00㎡) 	中浦地区の景観整備事業においては、前年に荒均しを行った土地の内、50aの客土、併せて管理道路の整備を行い環境整備ができた。 また、埋立地の管理については、浦地区振興会に委託し、菜の花、ひまわり等の植栽や草刈り作業等が実施され、地域住民の協力体制や連携がさらに深まっている。 今後においても、地区内の美しい景観を目指すとともに観光客の増加を図っていく。

(2) 総務費 (1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
80 5 82	20 地域活性化費	地域資源活用事業 (倉岳支所)	882	一般財源 882	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費 199,500円 ・棚底散策マップ(カラー)1,000部 ・役務費(手数料) 414,120円 倉岳作業道整備手数料 135,240円 倉岳山頂遊歩道整備(2Km) 278,880円 ・委託料 165,438円 石垣保全管理業務委託料(棚底地区内) 1工区~4工区までの4ヶ所 ・原材料費 102,690円 生コンクリート 4m³ 63,000円 再生クラッシャーラン 39,690円 	棚底散策マップの作成により、今後、町内の若者や町外の観光客などに棚底の史跡や石垣やこぐり等を広く紹介していく資料として活用していきたい。 また、倉岳山頂の遊歩道の整備をさらに進め、天草最高峰「倉岳」を広くアピールしていきたい。
		天草東海岸の魅力づくり事業 (栖本支所)	841	一般財源 841	<ul style="list-style-type: none"> 看板の設置及び花木の購入・植栽を行った。 ・看板の製作・設置委託費 270,900円 ・花木等購入費 569,995円 <li style="text-align: right;">計 840,895円 	東海岸の新たな魅力づくりとして、地区振興会や自治会等が、憩いの場としての河川護岸や地区の広場、道路沿いの整備を行っているため、花木の植栽を共同で実施することで、さらに成果が出ている。 また、環境美化の看板を設置し、美しい景観を守るための啓発活動を行うことができた。
		健康農園整備事業 (栖本支所)	116	一般財源 116	<ul style="list-style-type: none"> 遊休農地の活用を図るため、サツマイモを老人会等により栽培し、遊休地の活用をPRした。また、保育園児等に収穫体験をさせるとともに、保育園及び学校給食等への提供をした。さらに、地区振興会が開催している栖本かつば祭りへの提供、特産品開発の食材としても提供した(栽培面積20a)。 ・苗、肥料、資材等購入 116,427円 	高齢者の健康増進や生きがいつくりの場として効果をあげている。さらに、付加価値を付けての販売の方法として、啓発ができた。
		ふれあいランドスポーツ振興事業 (新和支所)	18,062	地方債 16,200 一般財源 1,862	<ul style="list-style-type: none"> ひだまり館、作物選別所、育苗ハウスの施設を改修すると共に、起伏のある1kmのトレーニングコースを新設しスポーツ合宿の拠点とする。スポーツ合宿誘致により市内のスポーツ振興と交流人口の増大を図ると共に、遊休施設の活用と地元経済の振興が図られる。 (事業費内訳) 需用費 369,500円 工事請負費 17,692,631円 <li style="text-align: right;">計 18,062,131円 	スポーツ合宿誘致のためのひだまり館管理施設、屋内練習場B、屋内照明を改修整備すると共に、起伏のあるトレーニングコース341.9mを新設、197mの舗装工事を実施し、総延長1kmの整備を図った。 また、誘致に伴う受入団体の育成等を行い、スポーツ団体等のスムーズな受け入れ態勢づくりに取り組んだ。

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果										
80 5 82	20 地域活性化費	宮南半島ツーリズム事業 (新和支所)	674	一般財源 674	<p>【仕切網漁体験事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般募集で仕切網漁体験事業を実施。 ・仕切網漁体験とすり身作り・魚さばき・芋植え体験を合わせた宿泊型のツーリズムを推進 <p>【ツーリズム推進協議会の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮南半島ツーリズム事業の推進を図るため、海、山、健康を柱に新和型ツーリズムの確立のため内容検討を行う等、宮南半島ツーリズム推進協議会の育成を図る。 <p>【モニターツアーの実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスツーリズムのモニターツアーを天草宝島観光協会とともに開催し、ヨガ体験・海岸ウォーク・養殖マグロへの餌やり見学等、自然を生かした体験型ツアーを取り入れることにより、交流人口の拡大を図る。 <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">旅費</td> <td style="text-align: right;">49,320 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">需用費</td> <td style="text-align: right;">94,094 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">役務費</td> <td style="text-align: right;">31,400 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">委託料</td> <td style="text-align: right;">498,750 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">673,564 円</td> </tr> </table>	旅費	49,320 円	需用費	94,094 円	役務費	31,400 円	委託料	498,750 円	計	673,564 円	<p>宮南半島ツーリズム事業推進を図るため、宮南半島ツーリズム推進協議会を中心に交流人口拡大のため、宿泊型体験事業を実施した。</p> <p>仕切網漁体験とすり身作り・魚さばき・芋植え体験を合わせた宿泊型ツーリズム事業では、県内外から170人の参加があり、市外客が95%以上と新たな交流人口の開発が出来た。</p> <p>また、ヘルスツーリズムのモニターツアーを実施したことにより、養殖マグロの餌やり見学等、地域資源やイベントを活用した体験プランの発掘や受入体制の整備を行うことにより、新たな交流人口拡大への展望が図られる。</p>
旅費	49,320 円															
需用費	94,094 円															
役務費	31,400 円															
委託料	498,750 円															
計	673,564 円															
		農林水産業振興調査研究事業 (五和支所)	888	一般財源 888	<p>【農林業振興モデル事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果樹育成としてブルーベリー、アボガド、ホワイトサボテの試験栽培を実施 <p>【水産業資源対策モデル事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アワビ餌用コンブの試験育成を実施 ・ウニ、アワビ等のCAS冷凍加工実験を実施 <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">委託料</td> <td style="text-align: right;">55,000円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">需用費</td> <td style="text-align: right;">69,365円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">原材料費</td> <td style="text-align: right;">763,535円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">887,900円</td> </tr> </table>	委託料	55,000円	需用費	69,365円	原材料費	763,535円	計	887,900円	<p>本事業により、平成21年度から新規作物栽培研究(オリーブ・ブルーベリー・アボカド・ホワイトサボテ)や既存製品の加工研究(アワビ・ウニ・高菜)を実施してきた。新規作物導入については、ブルーベリーは収穫を確認、ジャムやジュースなどの加工まで行ったが、その他の作物については当面は引き続き生育状況を検証する必要がある。加工研究については、一定の成果を得られたが、商品開発のみならず販路開拓、販売促進まで検討するため、今後は商工会等とも連携しながら、6次産業を創出するための協議会を設立し、商品開発、人材育成、販路開拓等に取り組んでいきたい。</p>		
委託料	55,000円															
需用費	69,365円															
原材料費	763,535円															
計	887,900円															

(2) 総務費 (1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果								
80 ） 82	20 地域活性化費	体験型観光拠点整備事業 (五和支所)	19,648	地方債 5,000 一般財源 14,648	<p>【観光拠点施設事業】</p> <p>イルカウォッチング発着所周辺整備の一環として、二江漁港用地内駐車場用地の舗装工事に向けた測量及び整備工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イルカウォッチング発着所周辺整備測量設計委託 ・イルカウォッチング発着所周辺駐車場整備工事 <p>1工区 AS舗装 A = 1,506㎡ 構造物一式 付属施設設置工一式</p> <p>2工区 AS舗装 A = 713㎡ 付属施設設置工一式</p> <p>イルカの里としてのイメージ向上及びPR並びに観光客へのおもてなし向上を図るため、インフォメーション前にイルカモニュメントを設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イルカモニュメント設置業務委託 <p>モニュメント製作・設置・看板製作 (事業費内訳)</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">3,832,500円</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td style="text-align: right;">15,815,450円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">19,647,950円</td> </tr> </table>	委託料	3,832,500円	工事請負費	15,815,450円	計	19,647,950円	<p>本事業は、天草型ツーリズムを推進するための拠点整備である。初年度である平成21年度はシーカヤック体験の受入体制整備を重点的に行い、修学旅行等団体客の受入も可能となった。平成22年度は、天草観光の目玉であるイルカウォッチング客で賑わう二江地区を中心とした体験型観光の拠点整備の一環として、発着所前の駐車場舗装工事と観光客へのおもてなし向上を図るためイルカモニュメントの設置を行った。特にイルカモニュメントについては、記念撮影スポットとして観光客に好評である。</p> <p>五和地区の地域振興においては、年間10万人が訪れるイルカウォッチング客をターゲットに経済効果を生み出す事業展開が重要であるため、今後も体験メニューや商品開発に取り組むとともに6次産業化の拠点としてイルカウォッチング発着所周辺への観光施設整備に力を入れていく。</p>		
委託料	3,832,500円													
工事請負費	15,815,450円													
計	19,647,950円													
		天草西海岸魅力発見事業 (天草支所)	1,406	一般財源 1,406	<p>【周遊バスの運行】</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>・運行回数</td> <td style="text-align: right;">72回</td> </tr> <tr> <td>・利用者数</td> <td style="text-align: right;">305人</td> </tr> <tr> <td>・1回当たりの利用者数</td> <td style="text-align: right;">4.2人</td> </tr> </table> <p>・天草西海岸魅力発見ツアーを実施した。コースについては、「夕陽散策コース」「名所巡りコース」「夕陽とイルミネーションコース」を計画し、アンケート実施による観光客のニーズの把握と、ガイドによる魅力ある観光案内を行った。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>車輛運行业務委託料</td> <td style="text-align: right;">1,406,160円</td> </tr> </table>	・運行回数	72回	・利用者数	305人	・1回当たりの利用者数	4.2人	車輛運行业務委託料	1,406,160円	<p>国道等の整備により西海岸観光の景勝地が見どころさつつある中、下田温泉の観光商品としてツアーの定着を図った。今後は民間主導型へ移行し、下田温泉と天草西海岸観光地の魅力を発信する。</p>
・運行回数	72回													
・利用者数	305人													
・1回当たりの利用者数	4.2人													
車輛運行业務委託料	1,406,160円													

(2) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
80 ↳ 82	20 地域活性化費	「宝の海・夕陽」日本一づくり事業 (天草支所)	6,000	一般財源 6,000	【基本計画策定】 ・熊本県立大学との包括協定により実施計画を策定した (事業費内訳) 委託料 6,000,000円	熊本県立大学との包括協定により専門家の視点を取り入れた実施計画書が作成できた。 今後は本計画を基に、夕陽スポットの整備、また写真コンテストなどのPR事業を開催し、夕陽を素材とした地域活性化を図る。
		河浦ニューツーリズム地域事業 (河浦支所)	235	一般財源 235	「産島（無人島）体験」モニターツアーの実施。 ・参加者数 30人 ・地元協力者数 8人 (事業費内訳) 報償費 40,000円 需用費 18,772円 使用料及び賃借料 176,200円 計 234,972円	事業実施後、参加者にアンケートを実施したところ、船釣りやタコ取りなどの体験が大好評で、「来年もぜひ参加したい」という意見が約8割だった。 また、受け入れ協力団体の方々（上平区民）も大変協力的であり、事業発展が期待できる。
		コレジヨの里づくり事業 (河浦支所)	2,614	一般財源 2,614	多くの人が訪れるコレジヨ跡公園周辺を、観光客及び市民の「憩いと交流の場」として、また地域振興の拠点及び観光資源として活用する。 ・桜の木のテングス病の治療・剪定 ・景観を著しく阻害している不要木の伐採 ・公園周辺整備（広場的公園化）のための測量設計 (事業費内訳) 需用費 3,150円 役務費 20,000円 委託料 2,566,200円 原材料費 24,150円 計 2,613,500円	桜は剪定等により樹勢が増し、開花時に良好な景観が保てた。また、不要木の伐採により周辺環境の景観が向上した。
		浦河町物産交流事業 (河浦支所)	75	一般財源 75	旧河浦町が平成8年に友好交流町を締結した北海道浦河町との物産交流に柑橘類を送付（送料等の負担）し、経済的交流を推進する。 (事業費内訳) 役務費 75,375円 ※300箱の送料の一部及び腐食補償分15箱の送料全額負担	浦河町の産業祭において好評を得ている。

(2) 総務費 (2) 徴税費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
82 5 83	2 課 税 費	固定資産税管理支援業務委託事業	1,365	一般財源 1,365	【固定資産情報管理システムの経年異動処理】 ・対象 旧本渡市管内 ・地籍データ取込変換 一式 ・地番不突合処理 10,000筆 ・家屋現況図データ更新 500棟 ・路線価データ取込み 一式 (事業費内訳) 委託料 1,365,000円	地籍データ及び土地・家屋のデータを更新することにより、最新のデータが使用できるようになった。 また、天草市全域の航空写真データと重ねて表示することにより、窓口での土地・家屋の所在地確認及び地目の認定等評価全般に活用している。
		固定資産標準地鑑定業務委託事業	25,000	一般財源 25,000	【状況類似地区区分見直し・時点修正意見書作成】 平成24年度評価替えに向けて、用途地区区分及び状況類似地区区分見直し、時点修正意見書作成等を行った。(21～23年度事業) ・用途地区区分及び状況類似地区区分見直し 30地区 ・標準宅地の選定・鑑定評価書の作成 432地点 ・時点修正意見書作成 一式 ・路線価の見直し 1,356本 (事業費内訳) 委託料(契約額) 48,825,000円 うち22年度部分払額 25,000,000円	住宅地開発や道路状況の変化等により状況類似地区区分の見直しが必要と思われる地区30地区について見直しを行った。 また、地価下落が認められる全標準地について平成22年7月1日時点における下落修正ができた。最大下落率を示した標準地は、前年比△9.4%であった。
		家屋全棟調査事業	33,026	一般財源 33,026	【家屋全棟調査事業】 19～22年度事業 固定資産税の調査客体(家屋)の現況を的確に把握し、バラツキのない評価の統一を図り、適正かつ公平な課税の実現を図るため、市内89,447棟の在来家屋を4年間で調査する。 (事業費内訳) 社会保険料等(臨時職員) 4,245,955円 臨時職員賃金 27,144,736円 消耗品費 1,369,559円 複写機・印刷機使用料 265,608円 計 33,025,858円	平成19年度から実施した家屋全棟調査は、未評価5,588棟、増築4,430棟、一部滅失526棟、滅失3,515棟、地番錯誤等22,987棟の二次調査を実施し、平成22年度で終了した。すでに課税されている家屋との公平を期し適正な課税が実現できる。

(2) 総務費

(3) 地籍調査費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
84 5 85	1 地籍管理費	過年度数値情報化業務事業	134	一般財源 134	宮地岳町中岳地区（ほ場整備事業） ・対象筆数 93筆 委託料 134,400円	土地改良事業（ほ場整備事業）による現地と地籍図及び筆属性（地番・地目・地積等）のデータを整備し、地籍情報管理システムへ移行する事により、住民へ最新情報のデータを提供することができた。
		地籍管理システム整備事業	630	一般財源 630	地籍管理システム図根点データ修正業務 ・五和地区 37,474点 ・御所浦地区 16,763点 ・河浦地区 81,601点 ・総点数 135,838点 委託料 630,000円	旧市町の地籍管理システムからデータを移行し、天草市地籍管理システムを運用しているが、旧市町ごとにデータ配列が異なっていたため、図根点名称を正常に認識させることにより、正しく表示できるようになった。
		地籍図根点復元作業業務事業	8,845	一般財源 8,845	本渡地区（志柿町外）（本庁） ・地籍図根三角点設置点数 2点 ・地籍図根多角点復元点数 145点 五和町御領・鬼池地区（五和支所） ・地籍図根三角点設置点数 6点 ・地籍図根多角点復元点数 269点 ・総点数 422点 委託料 8,844,681円	公共工事等で滅失している地籍基準点（図根三角点・図根多角点）を復元設置することにより、公共事業及び土地家屋調査士等による土地異動（分筆・合筆）等の測定の基準として役立った。
		地積測量図作成業務事業	105	一般財源 105	二浦町亀浦地区（牛深支所） ・対象筆数 2筆 有明町大浦地区（有明支所） ・対象筆数 2筆 委託料 105,000円	旧牛深市・旧有明町において、地籍図において現地復元測量時地図と現地に不整合が生じた。地図と現地を整合することにより、不動産登記法14条第1項の地図が整備できた。
		登記嘱託事務事業	350	一般財源 350	昭和45年度調査の地積更正、地図訂正 佐伊津町字東通町 ・対象筆数 2筆 委託料 350,059円	地籍調査時の成果が法務局に送付された後、当該成果に係る誤り（地図訂正、地積更正）があり、これを修正する事により、不動産登記法第14条第1項の地図が明確になり現地との整合性を図ることができる。

(2) 総務費 (3) 地籍調査費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果								
85 ↳ 86	2 地籍調査費	地籍調査事業	87,944	県支出金 64,987 一般財源 22,957	<p>【補助事業】</p> <p>業務内容：一筆地調査及び地籍調査測量業務 調査地区：天草市牛深・久玉町の各一部</p> <ul style="list-style-type: none"> 一筆地調査：24字、7,615筆 (2.60 k m²) 測量業務委託：70,665,000円 <p>[委託内訳]</p> <p>H21調査区域 3.83 k m² (G・H工程) H22調査区域 2.60 k m² (C・D・F1工程)</p> <p>業務内容：過年度数値情報化業務委託 業務場所：天草市魚貴・二浦・牛深町の各一部 委託料：1,522,500円</p> <p>[委託内訳]</p> <ul style="list-style-type: none"> H18調査区域 面積3.98 k m² 筆数1,151筆 H19調査区域 面積6.48 k m² 筆数4,227筆 <p>[事業費内訳]</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>報酬</td> <td style="text-align: right;">9,657,000円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">72,345,000円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td style="text-align: right;">5,941,970円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">87,943,970円</td> </tr> </table>	報酬	9,657,000円	委託料	72,345,000円	事務費	5,941,970円	計	87,943,970円	<p>国土調査法に基づき、一筆毎の土地について、その所有者、地番及び地目を調査し、境界を確認して測量を行い、地積を算出し、地籍簿、地籍図を作成する。</p> <p>その成果は国土交通大臣の承認を経て県知事が認証し、法務局へ送付され不動産登記法第14条第1項の地図として旧字図に代わり備え付けられる。</p> <p>また、地籍の成果は公共事業の計画、防災対策、安全な土地取引の円滑化、課税の適正化など多方面で幅広く活用され、公共の福祉に貢献している。</p> <p>牛深区域については、昭和59年度に着手し、平成22年度末で全体計画89.01 k m²のうち84.07 k m²（進捗率94.5%）であるが、未調査4.94 k m²（5.5%）を平成24年度までに一筆地調査を完了するよう事業の推進を図る。</p> <p>地籍調査の成果を数値情報化させ地籍管理システムへ移行させたことにより、法務局からの異動登記（分筆・所有権移転）等の処理を直営で行えるようになり迅速かつ経費削減が図られた。</p> <p>平成23年度からは、各種公共事業の計画や用地買収などの事業実施への利活用及び一般市民への最新の地籍成果品の交付・閲覧が図られる。</p>
報酬	9,657,000円													
委託料	72,345,000円													
事務費	5,941,970円													
計	87,943,970円													

(2) 総務費

(4) 戸籍住民基本台帳費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
8.6 } 8.7	1 戸籍住民基本台 帳費	戸籍住民基本台帳事務	301,625	国庫支出金 502 県支出金 179 その他 61,019 一般財源 239,925	戸籍・住民基本台帳業務処理件数 戸籍届出件数 出生 1,427件 死亡 2,044件 結婚 1,680件 離婚 316件 その他 1,377件 住民異動関係事務処理状況 転入 2,004件 転出 2,722件 転居 2,252件 世帯変更 1,486件 記載変更 2,113件 その他 130件 パスポート取扱件数 903件	戸籍・住民基本台帳等の窓口業務については、平成19年11月17日から日本渡市・有明町以外の戸籍電算化を行い、平成21年2月9日より稼動した新基幹システムの導入に伴い、これまでの窓口業務に加え税関係証明発行を行うことができる総合窓口の導入を図ったところであり、個人情報保護に配慮し、迅速・丁寧な対応を心がけ住民サービスの向上に努めた。 また、平成22年2月1日からは、県内市町村では最初の取組みとして、パスポートの発給業務を開始し住民サービスの向上を図った。 戸籍・住民諸証明実績 戸籍関係 55,878件 24,695,000円 住民票関係 49,395件 12,945,900円 印鑑証明関係 40,570件 12,433,200円 税証明関係 29,074件 9,086,000円 その他 5,797件 1,746,010円 合計 180,714件 60,906,110円

(2) 総務費

(5) 選挙費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
8.8	3 市長及び市議会 議員選挙費	天草市議会議員一般選挙及 び天草市長選挙	14,700	一般財源 14,700	(平成21年度からの繰越) 【平成22年4月22日任期満了に伴う選挙のポスター 掲示場設置委託費】 告示日 平成22年3月21日 投票日 平成22年3月28日 (事業内訳) 委託料 14,700,000円 業務履行期間 自 平成22年2月15日 至 平成22年4月12日	ポスター掲示場設置箇所数 346箇所 投票率 市議選挙 男 77.76% 女 79.20% 計 78.54% 市長選挙 男 77.75% 女 79.20% 計 78.54% 平成22年3月21日の告示日に、市議選挙32人、市長選挙3人の立候補届出があり、3月28日に投票、即日開票、選挙会を行い、市議30人と市長の当選が決定した。

(2) 総務費 (5) 選挙費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
88 ↳ 89	6 県議会議員選挙 費	熊本県議会議員天草市・天 草郡選挙区一般選挙	2,033	県支出金 1,992 一般財源 41	<p>【平成23年4月29日任期満了に伴う選挙】</p> <p>告示日 平成23年4月 1日 投票日 平成23年4月10日</p> <p>(事業内訳)</p> <p>職員手当等 500,619円 賃金 160,608円 旅費 17,360円 需用費 873,730円 役務費 197,630円 委託料 283,500円</p> <p style="text-align: right;">計 2,033,447円</p> <p>(平成23年度へ繰越 3,801,000円)</p>	平成23年4月1日の告示、立候補受付、4月10日投票日に向けて、投票所入場券の印刷、選挙啓発看板の作成設置、ポスター掲示場設置業務委託の発注等を行った。
89 ↳ 90	8 参議院議員選挙 費	第22回参議院議員通常選挙	55,137	県支出金 55,137	<p>【平成22年7月25日任期満了に伴う選挙】</p> <p>公示日 平成22年6月24日 投票日 平成22年7月11日</p> <p>(事業内訳)</p> <p>報酬 7,950,300円 職員手当等 30,161,543円 賃金 488,194円 報償費 992,303円 旅費 21,700円 需用費 2,785,796円 役務費 4,889,711円 委託料 6,204,450円 使用料及び賃借料 778,570円 備品購入費 864,297円</p> <p style="text-align: right;">計 55,136,864円</p>	<p>有権者数 男 35,237人 女 41,892人 計 77,129人</p> <p>投票率</p> <p>○県選挙区 男 67.85% 女 67.65% 計 67.74%</p> <p>○比例区 男 67.85% 女 67.65% 計 67.74%</p> <p>平成22年6月24日の公示日に、熊本県選挙区定数1人に対し5人立候補届出、全国比例区定数48人に対し名簿届出政党が12政党あり、7月11日投票、即日開票を行った。</p>

(2) 総務費

(6) 統計調査費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
90	1 統計調査総務費	統計調査員確保対策事業	55	県支出金 55	【統計調査員確保対策事業】 ・国が実施する統計調査に際して統計調査員の選任が困難となっている現状を改善するため、あらかじめ統計調査員希望者を登録し、統計調査員の確保に資するとともにその資質の向上を図る。 (事業費内訳) 需用費 41,700円 郵便料 13,300円 計 55,000円	広報紙やホームページでの募集や各種統計調査の説明会のおりに登録を依頼。 平成22年度の登録者数は35人で、年度末登録者数は191人(男33人、女158人)となった。 新規登録者に小冊子を配布、また、調査員だよりを発行し資質の向上を図った。
90 ↳ 91	2 基幹統計調査費	基幹統計調査事業	40,183	県支出金 39,545 一般財源 638	【基幹統計調査の実施】 ・学校基本調査 調査日：平成22年 5月 1日 (毎年実施) ・工業統計調査 調査日：平成22年12月31日 (毎年実施) 指導員 1人 調査員 19人 ・国勢調査 調査日：平成22年10月 1日 (5年周期) 指導員73人 調査員535人 ・農林業センサス 調査日：平成22年 2月 1日 (5年周期) 調査票提出日：平成22年 4月 6日 調査票再審査：平成22年 5月24日、6月16日 調査票再提出日：平成22年 6月21日 ・経済センサス調査区管理 調査日：平成22年 5月31日 (事業費内訳) 調査員等報酬 32,888,562円 その他事務費 7,294,240円 計 40,182,802円	各種基幹統計調査を実施し、我が国における社会情勢を明らかにするとともに、各種行政施策のための基礎数値を得た。

(3) 民生費 (1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
9.2 ） 9.4	1 社会福祉総務費	社会福祉協議会補助金	172,440	一般財源 172,440	天草市社会福祉協議会 人件費延33名分 170,389,828円 地区社会福祉協議会運営費 1,100,000円 ボランティア活動事業 950,000円 計 172,439,828円	在宅福祉サービスや母子・父子活動、児童福祉活動、ボランティア活動など地域福祉の充実を図る活動を支援することができた。
		ふれあい総合相談事業	3,560	一般財源 3,560	心配ごと相談所、福祉事務所、民生委員等への相談ケースのうち、専門的援助が必要なケースを対象とする。 H22相談件数（本所） 134件 "（牛深支所） 325件 委託先 天草市社会福祉協議会 委託金額 3,560,000円	本所・牛深支所で、総合相談窓口として各関係機関の協力を得ながら、地域の住民が抱える生活上の諸問題を解決するための援助活動を行うことにより、生活の安定と維持向上を図り、地域福祉の一層の推進が図られた。
		民生委員・児童委員協議会補助金	20,598	県支出金 1,974 一般財源 18,624	民生委員・児童委員定数 274名 主任児童委員定数 28名 民児協数 14民児協 ・補助金額 6,778,400円 ・活動手当 12,736,480円 ・伝達式等経費 1,082,394円 計 20,597,274円	地域福祉の担い手である民生委員・児童委員の活動費等を補助することにより、地域福祉向上のための活動が推進された。平成22年12月一斉改選（任期3年）を行い、委嘱状伝達式を実施した。
		招魂祭・慰霊祭事業	2,230	一般財源 2,230	各支所で挙行される戦没者追悼式の運営費 ・需用費（供物・献花代） 650,191円 ・役務費（郵便料） 130,000円 ・祭壇設置委託料 850,800円 ・賃借料（バス借上料） 699,440円 計 2,330,431円	各支所（9ヶ所）で無宗教方式、献花方式で挙行。戦没者の霊をまつり、遺族の心を癒すとともに恒久の平和を祈願した。
		遺族会補助金	785	一般財源 785	本渡地区遺族会ほか 運営費補助・県戦没者合同追悼式参列（8月15日） 785,000円	戦没者追悼式への参加を通じて恒久平和を願い、会員相互の親睦が図られた。

(3) 民生費 (1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
9.2 } 9.4	1 社会福祉総務費	福祉有償運送運営事業	130	一般財源 130	有償運送事業実施団体より申請がある場合や福祉有償運送事業の実施状況報告等について、審議会を開催するための経費等(2回開催) ・審議会委員報酬 84,000円 ・審議会委員費用弁償他 45,985円 計 129,985円	移動制約者(単独では公共交通機関を利用できない高齢者や障がい者等)の交通手段を確保するため、NPO等の非営利法人・団体による有償(タクシーの半額程度)での輸送を行いサービスを提供する。 ・運送事業所1箇所(ステップバイステップ) ・運送利用者数(平成22年度登録者数43名・利用者14名)
		地域福祉計画推進支援事業	153	その他 153	「天草市地域福祉計画」及び「天草市地域福祉活動計画」策定後の地域福祉事業への取り組みについて審議・報告に伴う、策定審議会開催のための経費等(2回開催) ・審議会委員報酬 66,000円 ・審議会委員費用弁償他 86,500円 計 152,500円	地域に視点を置いた福祉活動を推進するため、平成18・19年度の2か年をかけて、行政が取り組むべき事柄を記載した「天草市地域福祉計画」と、この計画をもとに天草市社会福祉協議会に実践していただく事柄を記載した「天草市地域福祉活動計画」をもとに、支えあいのまちづくり、地域の福祉コミュニティの形成、「地域の福祉力」醸成のために「天草市地域福祉フォーラム」「地域福祉先進地研修」「天草市社会福祉協議会各支所視察研修」等開催し地域福祉の推進を図った。
		地域福祉ネットワーク事業	1,200	国庫支出金 600 一般財源 600	学校区を単位として、各関係機関・行政機関と連携を図り、地域住民による自主的な活動及びネットワークづくりを行政・社協と共同にて進める。 ・ネットワーク事業説明会 215回 ・ネット数(支援体制) 3,565ネット ・地域福祉ネットワーク事業協力事業所との協定 ・協力事業所との協定 35事業所 ・委託先 天草市社会福祉協議会 ・委託金額 1,200,000円 補助率：国1/2	天草市各地区の現状と地域福祉ネットワーク事業の必要性を住民に理解してもらい、見守り活動や支えあいの意識を高め、地域における福祉の自主的支援活動の体制づくりの意識付けと本事業への協力依頼を目的とし、座談会等開催した。また、行政・社協職員、区長、民生委員等に対して、ネットワーク事業研修会、先進地研修会、マップ作成研修会、ネットワーク活動推進員養成研修会等開催し関係者間の共通認識を図った。また、熊本県の「地域ケア・命のバトン普及モデル事業」を本渡北・本渡南地区において取組んだ。また、市内の新聞販売店やガス会社など35事業所と、高齢者等の見守り活動に取り組む協定を結んだ。
		熊本県英霊顕彰会負担金	67	一般財源 67	熊本県英霊顕彰会負担金 算式 5,776柱×11.55円 66,712円 (熊本県下 57,730柱)	県内戦没者に対する慰霊事業である県戦没者追悼式(毎年8月15日)への参加、関係団体が実施する英霊顕彰事業及び遺族援護事業にかかる負担金として、熊本県英霊顕彰会会長あてに負担金を納めた。

(3) 民生費 (1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
9.2) 9.4	1 社会福祉総務費	天草戦没者追悼式実行委員会負担金	448	一般財源 448	「天草戦没者追悼式」挙行のため2市1町の負担金 事業費(柱数で按分) ・天草市 448,000円 ・上天草市 190,000円 ・苓北町 62,000円	4月の第一土曜日(4/3)に天草市民センターにおいて挙行。2市1町で実行委員会を立ち上げ、天草都市の英霊に対し、慰霊と感謝のまことを捧げ、その偉勲を顕彰するとともに、恒久平和を祈念する「天草戦没者追悼式」を行った。参加者：468人
		災害時要援護者避難対策事業	6,029	国庫支出金 3,441 (3,014) その他 2,588 一般財源 (427)	災害時要援護者避難対策会議を天草市及び各支所単位で開催し、地域における避難体制及び避難所の支援体制を確立し、住み慣れた地域で安心して生活できる環境整備を進める。 ・対策会議委員報酬 792,000円 ・対策会議委員費用弁償等 55,180円 ・消耗品、郵便料 141,800円 ・システム改修 5,040,000円 計 6,028,980円 補助率：国1/2	平成18年度に策定した「天草市災害時要援護者避難支援計画」を基に、「災害時要援護者支援マニュアル」及び「災害時要援護者向けマニュアル」を策定し、要援護者、避難支援者の「日頃の備え」と「災害発生時の行動」を具体的に示した。また、22年度は要援護者参加型の訓練を楠浦・大江地区において実施し、地域における協力体制を呼びかけながら、理解促進を図った。併せて、大江地区の訓練状況を収録したものを各地区の要援護者対策会議、住民説明会等において紹介し、事業の理解と各地区における要援護参加型の避難訓練の開催にむけた呼びかけを行った。さらに、災害時要援護者管理システムを改修し、地図情報・防災関係情報を取り入れ、平常時、災害発生時、発生後の対策に向けての取り組みを進めることができた。
9.4) 9.7	3 障害福祉費	地域療育センター事業	8,491	県支出金 3,286 その他 1,115 一般財源 4,090	在宅の重症心身障がい児(者)、知的障がい児(者)、身体障がい児及びそれらの疑いがある児童並びにその保護者、施設等に対して、身近な地域で療育指導、相談支援等を行う。 天草圏域(2市1町)事業として実施しており、天草市が代表市となっている。 療育相談員設置事業 1箇所 3,192,000円 在宅支援等訪問療育等指導事業 135件×5,700円 在宅支援等外来療育等指導事業 469件×2,700円 施設支援一般指導事業 222件×14,700円 計 8,491,200円 個別相談：延604件 保育所、学校等の機関からの相談：延222件 補助率：県1/2	障がい児療育等に経験を積んだ専任の相談員を設置することにより、障がいや発達遅れのある乳幼児等の様々な相談に応じ、一人ひとりに適した療育機関での早期療育につなげるとともに、保護者の障害受容に努め、社会生活の適応や自立に向けた支援を図ることができた。

(3) 民生費 (1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
94 ） 97	3 障害福祉費	訪問入浴サービス事業	388	国庫支出金 176 県支出金 88 一般財源 124	一人での入浴が困難な重度心身障がい児(者)宅に、訪問入浴車と入浴介助スタッフを派遣し、簡易浴槽での入浴の支援を行なう。 年間利用実人員 2名 年間延利用回数 39回 補助率：国1/2以内 県1/4以内	在宅において常時介護を必要とする重度の障がい者等に対して、訪問入浴車と入浴介助スタッフを派遣し、定期的に入浴サービスを行うことにより、障がい者等の身体の保持と心身機能の維持が図られた。 また、介護者の負担の軽減が図られた。
		移動支援事業	12,761	国庫支出金 5,772 県支出金 2,886 一般財源 4,103	屋外での移動が困難な障がい児(者)に対し、生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加のための外出の際の支援を行なう。 【事業所】星光園、グリーン、ポランの広場、ステップバイステップ、天草市社会福祉協議会、ニチイ学館、セントケア、ひなたぼっこ、菊愛会、河浦きぼうの家 【延べ利用者数】1,340件 【延べ利用時間】延21,821時間 補助率：国1/2以内 県1/4以内	通所や通学、余暇活動等の社会生活上必要不可欠な外出の支援を行うことにより、地域での自立した生活及び社会参加を促進することができた。
		相談支援事業	22,862	その他 7,072 一般財源 15,790	障がい者、その保護者、介護者などからの相談に応じ、必要な情報などを提供する。 年間相談件数 3,035件 (身体) 星光園 5,715,600円 (知的) 本渡通勤寮 5,715,600円 (精神) グリーン 5,715,600円 (児童) 第2はまゆう療育園 5,715,600円 計 22,862,400円 交付税措置	障がい者やその保護者等からの相談に応じ、必要な情報を提供することにより、障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができた。 また、保護者や介護者の精神的な支援も行なうことができた。
		コミュニケーション支援事業	656	国庫支出金 296 県支出金 148 一般財源 212	聴覚、言語機能、音声機能、視覚などの障がいのため、意思疎通を図ることに支障がある人と他の人との意志疎通を仲介するため、手話通訳や要約筆記、点訳等を行なう人を派遣する。 手話通訳者派遣 1日×34件・半日×91件 655,800円	手話奉仕員、又は要約筆記者等を派遣することにより、障がい者の社会参加と自立を促進することができた。

(3) 民生費 (1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
94 ） 97	3 障害福祉費	地域活動支援センター基礎 的事業	17,817	その他 1,261 一般財源 16,556	地域で暮らす障がい者等に、創作活動又は生産活 動の機会を提供し、地域生活の安定と継続を支援す る。さらに社会との交流を広げる事を目的とした事 業を展開する。 型 グリーン 3,800,000円 星光園 3,800,000円 型 NPO法人ワークョップ ひなたぼっこ 3,800,000円 型 NPO法人天草きぼうの家 2,016,666円 NNPO法人ひだまりの家 2,200,000円 NPO法人河浦きぼうの家 2,200,000円 計 17,816,666円 登録者数(天草圏域) 233人 延べ利用者数(天草圏域) 14,044人 交付税措置	障がい者等が日中活動の場として通所し、創作活 動、生産活動、地域社会との交流を図ることで、本 人の楽しみや生きがいづくりとなり、地域での生活 の安定が図られた。 また、地域との交流により近隣住民の理解を深め ることができた。
		地域活動支援センター機能 強化事業	19,375	国庫支出金 8,763 県支出金 4,381 その他 498 一般財源 5,733	障がい者等の地域生活支援の促進を図るために、 地域活動支援センターの機能を充実・強化する。 型 グリーン 6,000,000円 星光園 6,000,000円 型 NPO法人ワークョップ ひなたぼっこ 3,000,000円 型 NPO法人天草きぼうの家 1,375,000円 NNPO法人ひだまりの家 1,500,000円 NPO法人河浦きぼうの家 1,500,000円 計 19,375,000円 補助率：国1/2以内 県1/4以内	地域活動支援センターの機能を充実・強化するこ とにより、地域で暮らす障がい者等に対して安定し たサービスを提供することができた。
		日中一時支援事業	13,198	国庫支出金 5,969 県支出金 2,985 一般財源 4,244	障がい者等の日中における活動の場を確保し、事 業所において社会に適応するための日常的な訓練、 見守り、その他市町村が認めた支援を行う。 【事業所】ステップバイステップ、星光園、南海 寮、天草学園、湧水の里、はまゆう、なぎさ寮 利用者実人員 71人 利用量 4,126日 13,198,128円 補助率：国1/2以内 県1/4以内	障がい者等の日中における活動の場を提供するこ とにより、障がい者等の家族の就労支援及び障がい 者等を日常的に介護している家族の一時的な負担の 軽減を図ることができた。 また、障がい者等の自立を支援することができ た。

(3) 民生費 (1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
94 ） 97	3 障害福祉費	在宅障がい者介護手当支給事業	6,900	一般財源 6,900	日常生活において常時介護を必要とする重度心身障がい児(者)を在宅介護している者に対して、介護者手当を支給する。 年額100,000円 6,900,000円	介護者手当を支給することにより、介護者の精神的、経済的負担を軽減し、在宅福祉の向上を図ることができた。
		身体障害者福祉協議会等補助金	5,735	一般財源 5,735	障がい者団体の育成及び障がい者の社会参加を促進し、障がい福祉の増進に寄与することを目的に補助金を交付する。 天草市身体障害者福祉協議会 5,255,000円 天草市視力障害者福祉協会 320,000円 天草市聴覚障害者福祉協会 160,000円 計 5,735,000円	身体障がい者の各種団体へ補助金を交付することにより、各種団体の育成を図り、障がい者の社会参加の促進とそれぞれの分野において障がい福祉の増進に寄与している。
		重度心身障害者医療費助成事業	317,094	県支出金 157,655 一般財源 159,439	重度心身障がい者に対し医療費を助成する。 資格要件 身体障害者手帳 1～2級 療育手帳 A1～A2 精神障害者手帳 1級 受給者証交付実人員 3,692人 助成延件数 46,467件 317,093,899円 補助率：県1/2(1月～12月)	心身に重度の障がいを持つ方の保健の向上と福祉の増進が図られた。 また、重度心身障がい者及び家族の経済的負担を軽減することができた。
		重度心身障害者住宅改造助成事業	2,978	県支出金 1,480 一般財源 1,498	在宅の重度心身障がい児(者)が、日常生活が容易になるように住居や浴室等を改造するときに、改造に要する費用の一部を助成する。 助成件数 6件 2,978,000円 内容：段差解消、スロープ、手すり設置など 補助率：県1/2	住宅改造により、日常生活が容易となり、在宅での自立促進、寝たきり防止及び介護者の負担軽減が図られた。
		居宅介護サービス	43,393	国庫支出金 19,422 県支出金 9,711 一般財源 14,260	在宅の障がい者に対し、入浴、排せつ及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事並びに生活等に関する相談及び助言その他の生活全般にわたる援助を行う。 利用者実人員 112人 利用量 16,624.5時間 43,393,299円 補助率：国1/2 県1/4	身体障がい者が、居宅において日常生活を営めるように介護や家事、また外出時における移動介護等のサービスを提供することにより、在宅での自立生活を促進することができた。 また、余暇活動を楽しみ、社会活動に参加するための支援も併せて図られている。

(3) 民生費 (1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
94) 97	3 障害福祉費	更生医療費給付事業	75,113	国庫支出金 46,885 (37,557) 県支出金 23,442 (18,778) 一般財源 4,786 (18,778)	身体障がい者が、日常生活能力、職業能力を回復・改善するために必要な医療（人工透析療法、腎移植手術、心臓手術、関節形成手術など）を行なうときに、指定医療機関で医療を受ける場合に医療費の自己負担分の一部を助成する。 【心臓】 入院 受給者数 19人 10,397,613円 【腎臓】 入院 受給者数 183人 10,072,302円 入院外 受給者数 185人 51,310,125円 【肝臓】 入院 受給者数 1人 102,930円 入院外 受給者数 5人 1,429,415円 【肢体不自由】 入院 受給者数 23人 1,488,544円 入院外 受給者数 3人 2,086円 【聴覚・平衡機能障害】 対象者なし 【免疫機能障害】 入院外 受給者数 1人 310,264円 計 75,113,279円 補助率：国 1/2 県1/4	必要な医療を施すことで障がいの除去や軽減ができ、日常生活の改善と職業能力の回復が図られた。また、治療費の自己負担分を助成することにより、障がい者及び家族の経済的負担を軽減することができた。
		特別障害者手当等支給事業	41,065	国庫支出金 30,839 (30,799) 一般財源 10,226 (10,266)	身体又は知的・精神に著しく重度の障がいがあり、日常生活に常に特別の介護を必要とする在宅の重度障がい児（者）に対し手当を支給する。 特別障害者手当 延1,291人 34,134,040円 障害児福祉手当 延422人 6,068,360円 経過的福祉手当 延60人 862,800円 計 41,065,200円 補助率：国3/4	特別障害者手当等を支給することにより、障がい児（者）及び介護者の経済的支援と精神的、身体的な軽減が図られ、在宅での生活を容易にする一助となっている。

(3) 民生費 (1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
94 ） 97	3 障害福祉費	身体障害者旧法施設支援事業	397,672	国庫支出金 198,779 県支出金 99,443 一般財源 99,450	《更生施設》 肢体不自由者が入所又は通所し、適切な医学的心理学的管理のもとに機能訓練、職能訓練等を行い、社会復帰を促進することを目的とした施設。 《療護施設》 身体の著しい障がいのため常時介護を必要としながらも、家庭では十分な介護を受けることが困難な身体障がい者が入所し、適切な治療及び養護を行なうことを目的とした施設。 《授産施設》 身体が不自由なために一般の職場に雇用されることが困難な障がい者を入所又は通所させ、就労の場を提供すると共に必要な訓練指導を行うことにより自立できるよう援助する施設。働きに応じて工賃が支払われる。 更生施設（入所）： 14人 30,128,536円 療護施設（入所）： 91人 333,301,255円 療護施設（通所）： 13人 16,553,873円 授産施設（入所）： 21人 4,980,397円 授産施設（通所）： 3人 290,060円 補足給付 12,303,444円 特別対策 114,530円 計 142人 397,672,095円 補助率：国1/2 県1/4	《更生施設》 肢体不自由者が入所又は通所し、適切な医学的心理学的管理のもとに機能訓練、職能訓練等を行なうことで、社会復帰を促進することができた。 《療護施設》 身体の著しい障がいのために、常時介護を必要とする身体障がい者が入所し、適切な健康管理のもとリハビリによる機能減退防止、維持向上を図り、豊かな環境のもとで明るく楽しい、生きがいのある日常生活を過ごせることができた。 《授産施設》 雇用困難とされる身体障がい者が入所又は通所して、介護を受けながら職業訓練等を受けると共に、働きに応じて工賃が支払われるため、障がい者の自立を図ることができた。
		知的障害者通勤寮支援費	9,766	国庫支出金 4,857 県支出金 2,467 一般財源 2,442	就労している知的障がい者を職場に通勤させながら、一定期間（原則として2年以内）入所させて対人関係の調整、余暇の活用、健康管理等自立生活に必要な事項の指導を行い、障がい者の社会適応能力を向上させ、円滑な自立生活移行を図る。 入寮者：8人 9,714,042円 特別対策費 52,090円 計 9,766,132円 補助率：国1/2 県1/4	就労している知的障がい者が一定期間入所し、対人関係の調整、余暇の活用、健康管理など自立に向けた必要事項の指導を受けることで社会適応能力の向上が図られ、知的障がい者の円滑な自立生活移行が図れた。 また、費用の一部を支援することにより、経済的な負担の軽減が図られ、障がい者が安心して生活することができた。

(3) 民生費 (1) 社会福祉費

(単位 : 千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
94) 97	3 障害福祉費	知的障害者旧法施設支援費	660,060	国庫支出金 330,001 県支出金 165,041 一般財源 165,018	<p>《更生施設》 18歳以上の知的障がい者を入所又は通所させ、社会生活適応・生活習慣確立のための生活支援、職業訓練など、障がい者が自立し地域で社会生活を行なえるよう支援又は訓練する施設。</p> <p>《授産施設》 作業能力を有するが雇用されることが困難な18歳以上の知的障がい者を入所又は通所させ、職業訓練や生活支援を行なうと共に職業を与えて自活させることを目的とする施設。働きに応じて工賃が支払われる。</p> <p>更生施設（入所）：174人 495,825,272円 更生施設（通所）：30人 30,559,526円 授産施設（入所）：32人 87,184,824円 授産施設（通所）：39人 11,234,404円 補足給付 35,197,318円 特別対策 59,100円 計 275人 660,060,444円</p> <p>補助率：国1/2 県1/4</p>	<p>《更生施設》 知的障がい者が入所又は通所して、生活習慣の確立と社会生活への適応を高める生活支援や職業に対する適応能力を高める作業指導などを受けることで、自立した社会生活を営むことができた。</p> <p>《授産施設》 障がい者が入所又は通所して、職業訓練や生活支援を受けると共に職業を与えられ、働きに応じて工賃が支払われるため、障がい者の自立を図ることができた。</p>
		高額障害福祉サービス費	475	国庫支出金 237 県支出金 118 一般財源 120	<p>同世帯に障がい福祉サービスを利用する者が複数いたり、障がい福祉サービスと介護保険サービスを併用するなど、それらのサービスの世帯全体の利用者負担額の合計が一定額を超えた場合、その超えた額の払い戻しを行う。</p> <p>利用者実人員 2人 474,532円 補助率：国1/2 県1/4</p>	<p>世帯全体の利用者負担額の合計が一定の額を超えた場合、その超えた額を払い戻すことにより、世帯の家計の負担を軽減することができた。</p>
		自動車運転免許取得・改造助成事業	400	国庫支出金 181 県支出金 91 一般財源 128	<p>身体障がい者及び知的障がい者の自動車運転免許の取得又は身体障がい者が所有する自動車の改造に要する費用の一部を助成する。</p> <p>運転免許取得助成 1件 100,000円 自動車改造助成 3件 300,000円 計 400,000円</p> <p>補助率：国1/2以内 県1/4以内</p>	<p>費用の一部を助成することにより、障がい者の地域での自立及び社会参加を促進することができた。</p>

(3) 民生費 (1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
94 ） 97	3 障害福祉費	補装具給付事業	23,042	国庫支出金 11,521 県支出金 5,760 一般財源 5,761	<p>身体の欠損または損なわれた身体機能を補完・代替するため、身体に装着（装用）して日常生活又は就学・就労など長期間継続して使用する用具の購入又は修理に係る費用の一部を支給する。</p> <p>【視覚障がい】 盲人安全つえ 10件 40,426円 眼鏡 6件 144,643円</p> <p>【聴覚障がい】 補聴器交付46件・修理17件 3,770,745円</p> <p>【肢体不自由】 義肢、装具交付61件・修理6件 5,801,027円 車いす交付32件・修理27件 11,104,167円 電動車いす交付3件・修理12件 歩行器 1件 31,930円 歩行補助つえ 4件 23,731円</p> <p>【障がい児】 座位保持装置交付5件・修理3件 2,125,273円</p> <p>計 23,041,942円</p> <p>補助率：国1/2 県1/4</p>	<p>身体の失われた部分や、思うように動かすことのできない障がいのある部分を補い、必要な身体機能を獲得するために用いられる用具の交付・修理を行うことで、生活上の不便さが解消又は軽減でき、社会参加の促進を図ることができた。</p> <p>また、費用の一部を助成することにより、障がい者及び家族の経済的負担を軽減することができた。</p>
		短期入所サービス事業	11,582	国庫支出金 5,791 県支出金 2,895 一般財源 2,896	<p>居宅においてその介護を行う者の疾病その他の理由により、一時的に介護が困難となった場合、障がい者を短期間入所させ、入浴、排せつ又は食事の介護等必要な支援を行う。</p> <p>利用者実人員 38人 利用量 1,200日 11,582,388円</p> <p>補助率：国1/2 県1/4</p>	<p>障がい者を介護している家族等が、疾病等の理由により介護が一時的に困難となった場合、障がい者を施設で短期間保護することにより、障がい者の生活の場及び介護の確保ができた。</p> <p>また、家族の精神的・身体的な負担の軽減を図ることができた。</p>

(3) 民生費 (1) 社会福祉費

(単位 : 千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
94) 97	3 障害福祉費	日常生活用具給付等事業	20,807	国庫支出金 9,275 県支出金 4,937 一般財源 6,595	重度障がい児(者)に対して、日常生活の便宜を図り、福祉の増進に資することを目的として、自立生活支援用具等を給付又は貸与する。 介護・訓練支援用具(特殊寝台、特殊マット等) 9件 1,099,840円 自立生活支援用具(入浴補助用具、便器等) 39件 1,912,799円 在宅療養等支援用具(電子式たん吸引器、盲人用体温計等) 9件 430,851円 情報・意志疎通支援用具(拡大読書器、盲人用時計等) 21件 1,436,695円 排泄管理支援用具(ストーマ装具、紙おむつ等) 433件 14,965,685円 住宅改修費(居宅生活動作補助用具) 6件 660,763円 特別対策事業分 4件 300,000円 計 20,806,633円 補助率: 国1/2以内 県1/4以内	重度障がい児(者)へ日常生活に必要な用具を給付又は貸与することにより、日常生活の利便性の向上及び介護者の負担軽減が図られた。 また、費用の一部を助成することにより、障がい者及び家族の経済的負担を軽減することができた。
		自立訓練費	33,055	国庫支出金 15,800 県支出金 9,014 一般財源 8,241	自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、一定期間、身体機能又は生活能力の向上のために必要な訓練を行う。 身体障がい者: 機能訓練 利用者実人員 6人 利用量 283日 知的・精神障がい者: 生活訓練 利用者実人員 27人 利用量 4,195日 事業費 31,600,277円 特別対策費 1,454,810円 計 33,055,087円 補助率: 国1/2 県1/4	必要な訓練等を受けることで、自立した日常生活を送ることができた。

(3) 民生費 (1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
94 ） 97	3 障害福祉費	児童デイサービス事業	21,051	国庫支出金 10,525 県支出金 5,263 一般財源 5,263	障害のある子どもたちのための、発達支援、遊びや運動などを通じた様々なプログラムを提供することで、日常生活における基本的動作の指導や集団生活への適応訓練を行う。 利用者実人員 110人 利用量 3,094日 21,050,580円 補助率：国1/2 県1/4	発育・発達に遅れがあると思われる児童に対して、様々な領域の遊びや基本的な生活習慣指導を取り入れ、社会生活へ適応できるように相談・援助・機能訓練を行うことにより、児童の発育を促すことができた。
		共同生活援助サービス事業	71,211	国庫支出金 28,327 県支出金 25,412 一般財源 17,472	地域において共同生活を営むのに支障のない障がい者に対して、共同生活を営むべき住居（グループホーム）において家事及び相談等の日常生活上の援助を行う。 利用事業所数 26箇所 利用者実人員 90人 利用量 27,096日 事業費 56,653,478円 特別対策費 14,557,840円 計 71,211,318円 補助率：国1/2 県1/4	グループホームで共同生活する障がい者に対し、世話人により家事等の日常生活上の支援、日常生活における相談支援、日中活動に係る事業所等との連絡調整を行なうことにより、地域の方々と同様の生活を送ることができた。
		療養介護費	2,899	国庫支出金 1,449 県支出金 724 一般財源 726	進行性筋萎縮症に罹患している身体障がい者に対して、専門の医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の世話をを行う。 利用者 1人 利用量 333日 2,898,750円 補助率：国1/2 県1/4	専門の医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の支援を受けることにより、生きがいのある日常生活を過ごせることができた。
		療養介護医療費	821	国庫支出金 410 県支出金 205 一般財源 206	進行性筋萎縮症に罹患している身体障がい者に対して、専門の医療機関で必要な治療を行う。 利用者実人員 1人 820,769円 補助率：国1/2 県1/4	専門の医療機関で必要な治療を受けることにより、身体機能の維持が図られ、生きがいのある日常生活を過ごせることができた。

(3) 民生費 (1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
94) 97	3 障害福祉費	就労移行支援事業	11,782	国庫支出金 5,907 県支出金 2,953 一般財源 2,922	一般就労を希望する障がい者に対し、事業所での作業訓練や一般企業での職場実習を通して就労訓練し、また、就労後も職場に定着できるよう支援を行う。 利用者実人員 13人 利用量 1,407日 11,781,754円 補助率：国1/2 県1/4	一般就労を希望する障がい者に対し、職場体験、知識の取得、能力の向上のための訓練、求職活動に関する支援、就職後の相談等の支援を行うことにより、就労及び職場への定着が図られた。
		施設入所支援費	37,564	国庫支出金 18,485 県支出金 9,771 一般財源 9,308	施設に入所する障がい者に、主として夜間において、入浴、排せつ又は食事の介護等を行う。 利用者実人員 49人 利用量 14,928日 事業費 27,806,033円 補足給付 9,163,257円 特別対策費 594,720円 計 37,564,010円 補助率：国1/2 県1/4	夜間において、入浴、排せつ又は食事の介護支援等を受けることで、安心した入所生活を送ることができた。
		生活介護費	35,998	国庫支出金 17,999 県支出金 8,999 一般財源 9,000	常時介護を要する障がい者に、主として昼間において、障害者支援施設等において行われる入浴、排せつ又は食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会を提供する。 利用者実人員 21人 利用量 3,498日 35,998,460円 補助率：国1/2 県1/4	入浴、排せつ又は食事の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事、生活等に関する相談及び助言など日常生活に必要な支援並びに創作的活動及び生産活動の機会を与えられることにより、身体機能又は生活能力の向上が図られた。
		通所サービス利用促進支援費	4,897	県支出金 3,673 一般財源 1,224	送迎サービスを行った事業所に対し、送迎に要する経費を助成する。 事業所：やじろべえ、南海寮、かしの木学園、星光園、菊陽学園、ワーク菊陽、ワーク大津、ねんりん、らばーる、三気の里。 補助率：県3/4 4,897,471円	送迎に要する経費を助成することにより、利用者が送迎サービスを利用しやすくなったとともに、利用者の負担の軽減が図られた。

(3) 民生費 (1) 社会福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果												
94) 97	3 障害福祉費	就労継続支援事業	258,489	国庫支出金 121,741 県支出金 73,007 一般財源 63,741	<p>【A型】就労の機会を通じ、就労に必要な知識及び能力の向上を図ることにより、当事業所において雇用契約に基づく就労が可能である者(65歳未満)に対して支援(雇用者には最低賃金補償)を行う。 一般就労に必要な知識・能力が高まった者は一般就労の移行に向けて支援を行う。</p> <p>【B型】就労の機会を通じ、就労に必要な知識及び能力の向上・維持が期待できる者で、年齢や体力の面で一般企業に雇用されることが困難である者に対して支援を行う。(雇用契約は結ばない)</p> <table border="0"> <tr> <td>就労継続支援A型</td> <td>45人</td> <td>50,266,227円</td> </tr> <tr> <td>就労継続支援B型</td> <td>160人</td> <td>193,216,853円</td> </tr> <tr> <td>特別対策費</td> <td></td> <td>15,005,530円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>258,488,610円</td> </tr> </table> <p>補助率：国1/2 県1/4</p>	就労継続支援A型	45人	50,266,227円	就労継続支援B型	160人	193,216,853円	特別対策費		15,005,530円		計	258,488,610円	通常の事業所に雇用されることが困難な障がい者に対し、生産活動の提供など、必要な訓練やその他の支援を行うことで、就労に必要な知識の取得や能力の向上が図られた。
就労継続支援A型	45人	50,266,227円																
就労継続支援B型	160人	193,216,853円																
特別対策費		15,005,530円																
	計	258,488,610円																
		進行性筋萎縮症者療養等給付費	112	国庫支出金 84 一般財源 28	<p>平成18年9月30日において進行性筋萎縮症者療養等給付事業受給者であった者に対して、利用者負担の激変緩和措置のための給付金を支給する。</p> <table border="0"> <tr> <td>利用者実人員</td> <td>1人</td> <td>112,000円</td> </tr> </table> <p>補助率：県3/4</p>	利用者実人員	1人	112,000円	給付金を支給することにより、障がい者の経済的負担を軽減し、生活環境の大幅な変化を緩和することができた。									
利用者実人員	1人	112,000円																
		地域自殺対策緊急強化事業費	629	県支出金 623 一般財源 6	<p>市民一人ひとりが自殺予防のために行動(「気づき」「つなぎ」「見守り」)ができるようにするため、普及啓発活動を強力に実施する。</p> <table border="0"> <tr> <td>需用費</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td></td> <td>570,000円</td> </tr> <tr> <td>燃料費</td> <td></td> <td>59,460円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>629,460円</td> </tr> </table> <p>補助率：県10/10</p>	需用費			消耗品費		570,000円	燃料費		59,460円		計	629,460円	自殺予防に対し、市政だより掲載や関係機関へのパンフレット配布、特定健診結果説明時や健康教育開催時に「心のミニ健康教室」の実施、地域福祉ネットワーク事業とタイアップした保健師による自殺予防講話などを行い、市民への自殺予防啓発を行った。また、消費生活相談員と連携し、相談時の同席や同行訪問を行った。
需用費																		
消耗品費		570,000円																
燃料費		59,460円																
	計	629,460円																

(3) 民生費 (1) 社会福祉費

(単位 : 千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
9.7) 9.8	4 国民年金費	国民年金事業	22,801	国庫支出金 17,109 一般財源 5,692	【適用関係受付】 ・異動届 3,040件 ・新規 311 ・再取得 1,314 ・種別変更 316 ・住所変更 925 ・その他 174 ・資格喪失 845件 ・公的年金加入等 24 ・転出 753 ・死亡 68 【給付関係受付】 ・裁定等受付 183件 ・老齢 30 ・障害 47 ・遺族 0 ・寡婦 2 ・死亡一時金 27 ・未支給(死亡届) 77 ・未支給年金請求受付 874件 (回送 797件含む) ・福祉年金 1,591件 ・老齢 10 ・障害 1,570 ・給付金 5 ・未支給等 6 【保険料関係受付】 ・免除受付 5,492件 ・一般免除 5,031 (一般・納付猶予含む) ・学生特例 461 【年金記録確認】 ・保険料納付状況照会 5件 ・第三者委員会照会 7件	急速にすすむ少子・高齢社会の中で、老後の生活安定化のために重要性が増大している国民年金において、市民一人ひとりの年金権確保と制度の基盤強化を図るため本渡年金事務所と協力連携して業務を推進した。 日本年金機構が抱える年金記録問題に関しては、市民からの最寄り窓口として解決へ向けての相談対応を行い、日本年金機構熊本事務センターおよび第三者委員会からの依頼に対し当市記録の提供協力を行った。

(3) 民生費

(2) 高齢者福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
98 ↳ 99	1 高齢者福祉総務費	敬老祝金	22,760	一般財源 22,760	【敬老祝金の支給】 満88歳 622人×30,000円 18,660,000円 満100歳 41人×100,000円 4,100,000円 計 22,760,000円	敬老の意を表することを目的に、表彰状と祝金を支給した。市民に対する敬老意識の啓発及び高齢者福祉の増進が図られた。
		緊急通報体制整備事業	3,801	一般財源 3,801	緊急通報装置設置台数 1,104台 (事業費内訳) 需用費(火災感知器) 362,250円 (ペンダント送信機他) 125,685円 (端末機整備点検修理) 359,100円 役務費(電話料) 194,023円 (設置手数料) 843,150円 委託料(システム保守点検) 151,200円 負担金(天草広域連合) 1,766,000円 計 3,801,408円	緊急時に消防署へ通報する緊急通報装置の無償貸与により、おおむね65歳以上の一人暮らしの高齢者や身体障害者等の急病・火災等の緊急事態に迅速かつ適切な対応が図られた。 また、撤去した端末機162台の点検整備を行い再利用することとし、新規に購入はしなかった。 平成22年度は、新規に72台設置した。
		金婚夫婦表彰事業	887	一般財源 887	金婚夫婦表彰 228組 (事業費内訳) 需用費 消耗品費(夫婦湯呑他) 873,853円 印刷製本費 12,895円 計 886,748円	結婚50年を迎えられたご夫婦を熊日新聞社主催において新聞掲載や巡回表彰式を行い、熊日新聞社と市より記念品を贈呈し、長寿・夫婦円満を祝福した。 <表彰式> 日時：9月7日(火) 場所：天草市民センター <記念品> 熊日新聞社：表彰状・写真立て 市：額縁・夫婦湯呑み
		緊急通報システム相談センター事業	4,000	一般財源 4,000	【相談・安否確認業務】 ・安否確認対象台数 417台 ・安否確認回数 8,361回 ・相談件数 148件 ・訪問件数 164件 委託料 4,000,000円	天草市社会福祉協議会に相談センター相談員を配置し、利用者からの相談事に対応している。また、安否確認を定期的に行っており、緊急通報装置を設置している一人暮らし高齢者等の不安軽減が図られた。
		天草市老人クラブ連合会補助金	19,916	県支出金 7,369 一般財源 12,547	【老人クラブ活動補助】 市連合会 400,000円 各支部(10支部) 6,916,000円 単体クラブ(252クラブ) 12,600,000円 計 19,916,000円	老人クラブの社会奉仕活動・教養講座・健康増進事業等の活動を補助することにより、高齢者の生きがいがづくり、健康づくり等幅広い支援を行った。 平成22年度 252クラブ、会員数 14,601人

(3) 民生費 (2) 高齢者福祉費

(単位 : 千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
9.8) 9.9	1 高齢者福祉総務費	シルバー人材センター補助金	14,090	一般財源 14,090	運営費補助 10,560,000円 運営費加算額 1,530,000円 企画提案単独型 2,000,000円 計 14,090,000円	働く意欲のある高齢者が豊富な経験と知識を活用し働くことにより、地域づくりに寄与し、高齢者の生きがい充実・社会参加の推進が図られた。 平成22年度末会員数 776人 契約件数 4,769件
		ふれあいいきいきサロン事業補助金	2,120	国庫支出金 1,060 一般財源 1,060	【ふれあいいきいきサロン活動状況】 ・サロン数 176サロン ・登録者数 3,134人 ・実施回数 3,802回 ・延参加人数 45,153人 ・ふれあいいきいきサロン交流大会の実施 東ブロック大会(6/12) 有明体育館 284人 中央ブロック大会(6/26) 五和体育館 314人 西ブロック大会(10/9) 牛深総合体育館 502人 サロン事業補助金 2,120,000円	天草市社会福祉協議会の各支所を事務局として実施している「ふれあいいきいきサロン事業」を補助することにより、一人暮らし高齢者の閉じこもり防止、健康づくり(介護予防)等の活動支援を行った。また、利用者の安否確認など見守り活動ができた。 ボランティアリーダーの育成を行い1419人の参加があった。 交流大会へは、中学・高校生・一般の244人のボランティア参加があった。
9.9) 10.0	2 高齢者福祉施設費	本渡老人福祉センター	4,639	一般財源 4,639	・利用者数 18,065人 ・入浴者数 2,392人 ・開館日数 314日 指定管理委託料 4,250,000円 修繕料(自動ドア開閉修繕) 325,500円 備品購入費(液晶テレビ) 63,595円 計 4,639,095円	在宅高齢者の憩いの場として各教室の開催、勉強会・娯楽活動・レクリエーション・発表会等の利用及び入浴利用として提供することにより、高齢者の生きがいづくりと健康づくりが図られた。
		牛深老人福祉センター	4,526	一般財源 4,526	・利用者数 10,154人 ・入浴者数 705人 ・開館日数 295日 指定管理委託料 4,461,000円 備品購入費(液晶テレビ) 64,565円 計 4,525,565円	在宅高齢者の憩いの場として各教室の開催、勉強会・娯楽活動・レクリエーション・発表会等の利用及び入浴利用として提供することにより、高齢者の生きがいづくりと健康づくりが図られた。
		有明老人福祉センター	5,437	一般財源 5,437	・利用者数 7,470人 ・入浴者数 3,173人 ・開館日数 314日 指定管理委託料 4,891,000円 修繕料 461,475円 備品購入費(液晶テレビ) 85,000円 計 5,437,475円	在宅高齢者の憩いの場として各教室の開催、勉強会・娯楽活動・レクリエーション・発表会等の利用及び入浴利用として提供することにより、高齢者の生きがいづくりと健康づくりが図られた。 ソーラー循環ポンプ、温水ヒーター、浄化槽ブローア、マンホール等設備の修繕を行った。

(3) 民生費 (2) 高齢者福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
9.9 ） 100	2 高齢者福祉施設 費	倉岳老人福祉センター	2,824	一般財源 2,824	・利用者数 4,766人 ・開館日数 246日 指定管理委託料 2,814,000円 消耗品費(地デジチューナー) 9,800円 計 2,823,800円	在宅高齢者の憩いの場として各教室の開催、勉強会・娯楽活動・レクレーション・発表会等の利用に提供することにより、高齢者の生きがいづくりと健康づくりが図られた。
		河浦老人福祉センター	3,946	一般財源 3,946	・利用者数 9,685人 ・入浴者数 6,442人 ・開館日数 306日 指定管理委託料 3,633,000円 修繕料(ボイラー温度調節器) 241,500円 備品購入費(液晶テレビ) 71,379円 計 3,945,879円	在宅高齢者の憩いの場として各教室の開催、勉強会・娯楽活動・レクレーション・発表会等の利用及び入浴利用として提供することにより、高齢者の生きがいづくりと健康づくりが図られた。
		在宅介護支援サテライト施設	4,775	一般財源 4,775	(サテライト施設おにき) ・利用者数 3,785人 ・開館日数 291日 指定管理委託料 2,952,000円 消耗品費(地デジチューナー) 5,980円 (サテライト施設ふたうら) ・利用者数 1,357人 ・開館日数 291日 指定管理委託料 1,811,000円 消耗品費(地デジチューナー) 5,980円 計 4,774,960円	在宅高齢者の憩いの場として、介護予防・生きがいづくり活動・健康づくり推進・家族介護支援事業などを提供することにより、高齢者の憩いと交流を促進し、健康及び福祉の向上が図られた。
		新和高齢者生活福祉センター	7,431	一般財源 7,431	・利用者数 7,591人 ・入浴者数 4,934人 ・開館日数 311日 ・入居者数 7人 指定管理委託料 7,267,000円 修繕料(火災報知受信機) 163,800円 計 7,430,800円	在宅高齢者の憩いの場としてデイサービスや娯楽活動等の利用に提供することにより、高齢者の生きがいづくりと健康づくりが図られた。また、在宅生活に不安のある高齢者に対し、住居を提供することにより、地域住民との交流が図られ、各種相談・緊急時の対応や利用者の不安軽減・生活環境の向上が図られた。
		河浦生活支援ハウス	4,923	一般財源 4,923	・入居者数 9人 指定管理委託料 4,914,000円 消耗品費(地デジチューナー) 8,977円 計 4,922,977円	在宅生活に不安のある高齢者に対し、住居を提供することにより、地域住民との交流が図られ、各種相談・助言・緊急時の対応や利用者の不安軽減・生活環境の向上が図られた。

(3) 民生費 (2) 高齢者福祉費

(単位 : 千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
9.9 } 100	2 高齢者福祉施設費	御所浦老人憩いの家	287	その他 49 一般財源 238	・利用者数 2,432人 運営費(光熱水費) 286,784円	在宅高齢者の憩いの場として各教室の開催、娯楽活動・発表会等の利用に提供することにより、高齢者の生きがいづくりと健康づくりが図られた。
		嵐口老人憩いの家	120	その他 9 一般財源 111	・利用者数 1,551人 運営費(光熱水費) 103,369円 役務費(汲み取り料) 16,967円 計 120,336円	在宅高齢者の憩いの場として各教室の開催、娯楽活動・発表会等の利用に提供することにより、高齢者の生きがいづくりと健康づくりが図られた。
		倉岳地域福祉センター	62	一般財源 62	・利用者数 0人 運営費(光熱水費) 62,101円	館内に併設していた宮田出張所も平成21年度から公民館へ移転し、デイサービス等も倉岳老人福祉センターを利用することになったため、平成22年9月30日をもって廃止した。
100 } 101	3 高齢者支援費	地域住民グループ支援事業	2,400	国庫支出金 1,200 一般財源 1,200	・シルバーヘルパー登録者数 1,743人 ・訪問対象者 27,720人 ・訪問活動件数 86,586件 ・委託料交付限度回数 48,000回 委託料(1回につき50円) 2,400,000円	一人暮らし高齢者等に対し地域の元気高齢者のグループ(シルバーヘルパー)が、定期的な訪問活動や自主グループ活動育成を行うことによって、安否確認がなされ、緊急的な病気や災害への対応、孤独死等への対応が図られた。
		老人ホーム措置事業	415,719	その他 64,968 一般財源 350,751	【平成22年度措置状況】 ・天草島内 松風園 63人 明照園 49人 梅寿荘 43人 和光園 8人 寿康園 25人 ・天草島外 8施設 11人 199人(H22.4)-22人(退所)+22人(入所)=199人 報酬 78,000円 費用弁償 7,440円 普通旅費(入所状況調査) 2,640円 印刷製本費(納付書) 15,750円 委託料 415,615,249円 計 415,719,079円	環境上又は経済上の理由により在宅での生活が困難な高齢者に対し、養護老人ホームへの入所措置をすることにより、高齢者の生活を守り、心身の健康の保持、自立支援が図られた。

(3) 民生費 (2) 高齢者福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
100 ） 101	3 高齢者支援費	外出支援サービス事業	18,166	その他 743 一般財源 17,423	<p>【リフト付車両】 社会福祉協議会委託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者数 32人 ・利用件数 223件 委託料 892,000円 <p>【福祉バス】(天草・河浦地区のみ)委託：4事業所</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録者数(天草：15人 河浦：38人) 53人 ・利用件数 2,574件 委託料 7,372,000円 天草(運行日数：194日) 8,000円/日 河浦(運行日数：194日) 30,000円/日 <p>【福祉タクシー】 委託：24事業所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額 基本料金(初乗り料金) ・登録者数 449人 ・利用枚数 15,411枚 印刷製本費(タクシー利用券) 71,400円 扶助費 9,831,200円 計 18,166,600円 	<p>【リフト付車両】</p> <p>寝たきり等のため一般の交通手段を利用することが困難な人に対しては、リフト付車両を利用した外出支援サービス事業を実施することにより、高齢者・心身障害者等の在宅生活の支援、介護者の負担軽減が図られた。</p> <p>【福祉バス】</p> <p>公共交通機関運行路線のない地区の高齢者や障害者等の交通手段の確保及び外出支援として福祉バスを運行し、高齢者の社会参加及び生活支援が図られた。</p> <p>【福祉タクシー】</p> <p>高齢者および重度心身障害者等がタクシーを利用した際に、基本料金(初乗料金)を助成することにより、高齢者等の福祉の増進及び在宅生活の支援が図られた。</p>
		ヘルパー派遣事業	6,534	一般財源 6,534	<ul style="list-style-type: none"> ・委託事業所 18事業所 ・登録者数 124人 ・派遣時間数 3,431時間 委託料1,900円×3,380時間 6,422,000円 生保受給者2,200円×51時間 112,200円 計 6,534,200円 	在宅の虚弱な高齢者等に対し、ヘルパーの訪問により、日常生活の指導・支援を行い、要介護状態への予防と、自立支援・生活の質の改善が図られた。
		高齢者支援センター運営事業	6,834	一般財源 6,834	<p>【実態把握調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実態把握調査数 417件 委託料 2,000円×417件 834,000円 <p>【運営委託料】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会へ委託 6,000,000円 計 6,834,000円 	高齢者及び要援護高齢者等からの相談に応じ、実態を調査し、高齢者福祉サービスの紹介・啓発・申請代行を行い、地域の高齢者福祉の向上が図られた。
		ショートステイ事業	332	一般財源 332	<ul style="list-style-type: none"> ・委託事業所 8事業所 ・利用人員 16人 ・延利用日数 83日 委託料 332,000円 	支援が必要な高齢者又は一時的に保護を要する高齢者に対し、短期間の宿泊で各種サービスを提供することにより、高齢者の社会的孤立感の解消、介護予防及び家族の負担軽減が図られた。

(3) 民生費 (2) 高齢者福祉費

(単位 : 千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
100 ┆ 101	3 高齢者支援費	配食サービス事業	11,692	一般財源 11,692	<ul style="list-style-type: none"> ・委託事業所 17事業所 ・登録人数 229人 ・配食数 24,396食 ・利用者負担 課税世帯 500円/食 非課税世帯300円/食 委託料 300円×2,529食 758,700円 500円×21,867食 10,933,500円 計 11,692,200円	食事の確保が困難な在宅の一人暮らし高齢者等に配食サービスを提供することにより、在宅生活を維持することができ、食生活の改善と健康増進が図られた。
		生きがいデイサービス事業	17,175	一般財源 17,175	<ul style="list-style-type: none"> ・委託事業所 16事業所 ・登録者数 271人 ・延利用者数 8,186人 委託料2,000円×8,186人 16,372,000円 送迎加算100円×8,031人 803,100円 計 17,175,100円	要介護状態になるおそれのある高齢者に対し、通所サービスを提供することにより、閉じこもりや認知症予防・介護予防が図られた。
		高齢者住宅改造助成金	1,731	県支出金 580 一般財源 1,151	<ul style="list-style-type: none"> ・申請者数 6人 366,500円3/3(非課税) 366,000円 197,500円3/3(非課税) 197,000円 362,825円2/3(課税) 241,000円 275,923円2/3(課税) 183,000円 174,450円3/3(非課税) 174,000円 570,700円3/3(非課税) 570,000円 1,731,000円 県補助額は、市補助額の1/2	在宅の要介護等高齢者・心身障害者等がいる世帯に対し、住宅改造に必要な経費を助成することにより、在宅での自立促進・寝たきり防止及び介護者の負担軽減が図られた。
		在宅寝たきり老人等介護者手当	19,300	一般財源 19,300	<ul style="list-style-type: none"> ・該当者数 193人 支給額(年額) 100,000円 扶助費 19,300,000円	65歳以上の寝たきり等高齢者を在宅で1年以上介護している人に対し、介護者手当を支給することにより、介護者の経済的・精神的負担軽減が図られた。
		日常生活用具給付費	40	一般財源 40	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 2人 扶助費 電磁調理器一式 2台 39,400円	火の取り扱いに不安がある高齢者に電磁調理機等を給付することで、在宅の日常生活の支援が図られた。

(3) 民生費 (3) 児童福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
102 } 103	2 母子福祉費	施設入所委託料	3,244	国庫支出金 1,645 (1,622) 県支出金 823 (811) 一般財源 776 (811)	母子生活支援施設措置費 1施設(1世帯4名) 4月～3月(12ヶ月分) 3,243,524円 補助率：国 2/4 県 1/4	配偶者のない女子に監護すべき児童がいる場合、保護者とその児童を母子生活支援施設等において支援を行い、福祉の増進を図ることができた。
		親子ふれあい事業補助金	752	一般財源 752	主催：天草市社会福祉協議会 行先：西ブロック「熊本動物園」熊本市 東ブロック「イルカウォッチング」五和町 中央ブロック「化石発掘」御所浦町 参加者：203人(保護者・児童 176人、その他 27人)	母子家庭、父子家庭の親子の交流を図ることで、協調性や連帯感を深め、明るい家庭づくりと児童の健全育成が図られた。
		児童扶養手当	371,009	国庫支出金 123,687 (123,609) 一般財源 247,322 (247,400)	世帯数 834世帯 全部支給者 5,239人 一部支給者 4,184人 補助率：国 1/3 371,008,690円 支給額41,720円～9,850円 2人目5,000円、3人目以降3,000円加算	父母の離婚などで、父または母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭において、生活の安定と自立促進、児童の福祉の増進を図ることができた。(8月より父子家庭にも支給)
		母子家庭自立支援教育訓練 給付金事業	0	国庫支出金 7 (0) 一般財源 7 (0)	母子家庭の母の主体的な能力開発の取り組みを支援し、母子家庭の自立の促進を図る。 給付額：本人の支払額の20% (4,001円以上100,000円以下) 0件 0円 補助率：国 3/4	教育訓練給付の指定講座であるホームヘルパー2級を受講対象講座として1名指定したが、支給申請がなかった。
		母子家庭高等職業訓練促進 給付金事業	16,208	国庫支出金 3,678 県支出金 8,478 一般財源 4,052	母子家庭の母が経済的自立に効果的な資格を取得する期間、修学時の生活の安定を支援し、母子家庭の自立の促進を図る。 給付額：月 141,000円×104ヶ月=14,664,000円 月 70,500円×18ヶ月=1,269,000円 修了支援金：50,000円×5件=250,000円 修了支援金：25,000円×1件=25,000円 補助率国：3/4 16,208,000円	本渡看護専門学校他に在学中の母子家庭11名を対象に、修学時の生活の安定と看護師・准看護師の資格を取得する支援ができ、母子家庭の自立助長と生活の安定を図ることができた。 本渡看護専門学校 2名 上天草看護専門学校 1名 熊本看護専門学校(通信) 1名 天草准看護高等専修学校 7名

(3) 民生費 (3) 児童福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
102) 103	2 母子福祉費	ひとり親家庭等医療費助成	18,494	県支出金 9,180 一般財源 9,314	医療費個人負担の2/3を助成 助成 947世帯 10,611件 18,493,262円 補助率 県：暦年支出の1/2	ひとり親家庭等における、父又は母と子の健康を保持し、家庭の経済的負担を軽減することで、自立助長と生活の安定が図られた。
103) 106	3 保育所費	保育所運営費	1,074,405	その他 124,997 一般財源 949,408	入所延人員 8,010人(月平均：668人) 定員 830名(充足率：80.42%)	公立保育所20園の運営費で、入所児童の福祉向上に寄与した。
		社会福祉施設整備補助金	115,064	県支出金 76,709 一般財源 38,355	和貴保育園改築 84,808,500円 総事業費 117,818,000円 県補助金 56,539,000円(基準額×1/2) 市補助金 28,269,500円(県補助×1/2) 設置者負担 33,009,500円 <平成21年からの繰越> 箱ノ水保育園改築 30,255,000円 総事業費 129,900,000円 移転補償 89,558,300円 県補助金 20,170,000円(基準額×1/2) 市補助金 10,085,000円(県補助×1/2) 設置者負担 10,086,700円	園舎の耐震化及び安全で衛生的な保育環境の整備が図られた。
106) 108	4 児童育成費	特別保育事業(延長保育促進事業)補助金	183,724	県支出金 122,482 地方債 61,200 一般財源 42	対象 35ヶ所 183,724,000円 利用数 6,060人 補助率 県 2/3	延長保育に対する需要に対応し、児童福祉の増進が図られた。
		特別保育事業(一時預かり事業)補助金	1,265	国庫支出金 575 一般財源 690	対象 5ヶ所 1,265,000円 利用者 928人 補助率：国 1/2以内	育児疲れ解消や急病など一時的な保育需要に対応することにより、児童福祉の向上に寄与した。

(3) 民生費 (3) 児童福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
106 ） 108	4 児童育成費	特別保育事業(障害児保育事業)補助金	7,531	一般財源 7,531	対象 8ヶ所 9人 7,531,154円	集団保育可能で日々通所できる障害児の入所保育所へ補助することで、障害児の処遇向上が図られた。
		特別保育事業(軽度障害児保育事業)補助金	8,591	一般財源 8,591	対象 14ヶ所 19人 8,591,365円	集団保育可能で日々通所できる軽度の障害児の入所保育所へ補助することで、障害児の処遇向上が図られた。
		特別保育事業(保育所地域活動事業)補助金	8,550	国庫支出金 3,890 一般財源 4,660	対象 27ヶ所 育児講座22、低学年児童受入12 地域特性保育需要4 補助率：国 1/2以内 8,550,000円	育児講座、低学年児童受入等の実施を通して、保育所の地域社会資源としての機能を果たした。
		特別保育事業(障害児保育環境改善事業)補助金	1,864	県支出金 1,242 一般財源 604	整備実施 2ヶ所 補助率：県2/3 1,864,000円	障害児保育に必要な設備整備を行うことで、障害児の保育処遇向上が図られた。
		特別保育事業(休日保育事業)補助金	1,888	県支出金 1,258 一般財源 629	対象 4ヶ所 利用者 170人 補助率：県2/3 1,887,600円	休日保育を行う事業に対し、補助を行うことで、休日に保育に欠ける児童の福祉向上が図られた。
		放課後児童健全育成事業委託料	30,695	県支出金 20,695 (20,463) 一般財源 10,000 (10,232)	実施数 12ヶ所 登録児童 334人 補助率：県2/3 30,694,811円	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校低学年児童に対し、指導・育成、遊びによる発達の助長などのサービスを行うことで、健全育成を図った。
		民間保育所事務協力費	2,246	一般財源 2,246	対象 天草市内私立保育園33園 単価 1,000円×10月1日現在園児数 2,246,000円	保育料納付について、保護者の利便を図るとともに、効果的な徴収を実施した。 (保育料徴収率 99.73)

(3) 民生費 (3) 児童福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
106 ） 108	4 児童育成費	地域子育て支援センター委託料	25,253	国庫支出金 11,599 一般財源 13,654	実施数 7ヶ所 利用者 12,240人 補助率：国 1/2以内 25,253,000円	育児不安等の相談指導やサークル等の育成を通して、子育て家庭への支援に貢献した。
		つどいの広場事業	3,443	国庫支出金 1,520 一般財源 1,923	実施数 1ヶ所 利用者 9,630人 補助率：国 1/2以内 3,442,828円	子育て親子の交流、集いの場の提供等に多数の親子が参加し、子育ての負担感を緩和することにより、子育て支援に貢献した。
		子どもデイサービス事業委託料	2,835	一般財源 2,835	実施数 5ヶ所 利用者 2,626人 2,835,167円	小学校の長期休業中の昼間、保護者が労働等により家庭にいない小学校低学年児童に対し、指導・育成、遊びによる発達の助長などのサービスを行うことで、健全育成を図った。
		ファミリーサポートセンター事業委託料	1,734	国庫支出金 682 一般財源 1,052	提供会員数 92人 依頼会員数 231人 活動件数 993人 補助率：国 1/2以内 1,734,259円	あらかじめ登録をした人の自宅などで、子育て支援が必要な家庭の子どもを預かるなど、住民同士の子育て援助活動を支援することができた。
		私立保育所運営費負担金	2,583,854	国庫支出金 947,553 県支出金 473,776 その他 447,158 一般財源 715,367	・法人立保育所 37園 入所延人員 28,993人(月平均2,416人) 2,583,461,300円 負担割 支弁額-国基準徴収金 = 基本額 国庫負担：基本額×1/2 県費負担：基本額×1/4 ・広域入所保育 392,290円 合計 2,583,853,590円	児童福祉の中心的な担い手である、法人立保育所の健全運営が図られたことで、入所児童の福祉向上に寄与した。

(3) 民生費 (3) 児童福祉費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																													
106) 108	4 児童育成費	児童手当	110,595	国庫支出金 46,970 県支出金 31,762 一般財源 31,863	児童手当 (延児童数) 被用者 2,144人 21,440,000円 非被用者 1,047人 10,470,000円 特例給付 20人 200,000円 小学校修了前特例給付 被用者 8,281人 49,730,000円 非被用者 4,622人 28,755,000円 計 16,114人 110,595,000円	小学校修了前までの児童養育家庭における、生活の安定と、次代を担う児童の健全育成と資質の向上に資することができた。 平成22年度は2ヶ月分支給 支給額 3歳未満 月額 10,000円 3歳以上 第1子・第2子 月額 5,000円 第3子以降 月額10,000円																													
		子ども手当		1,318,967	国庫支出金 1,014,904 県支出金 151,842 一般財源 152,221	子ども手当 (延児童数) 3歳未満 被用者 11,039人 143,507,000円 非被用者 5,075人 65,975,000円 小学校修了前 被用者 39,893人 518,609,000円 非被用者 21,464人 279,032,000円 中学生 被用者 15,044人 195,572,000円 非被用者 8,944人 116,272,000円 計 101,459人 1,318,967,000円	次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを、社会全体で支援することができた。 支給額 子ども一人当たり 月額13,000円																												
					(負担率)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">児童手当</th> <th rowspan="2">特例給付</th> <th colspan="2">小学校修了前</th> </tr> <tr> <th>被用者</th> <th>非被用者</th> <th>被用者</th> <th>非被用者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>8/10</td> <td>1/3</td> <td>10/10</td> <td>1/3</td> <td>1/3</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>1/10</td> <td>1/3</td> <td>—</td> <td>1/3</td> <td>1/3</td> </tr> <tr> <td>市</td> <td>1/10</td> <td>1/3</td> <td>—</td> <td>1/3</td> <td>1/3</td> </tr> </tbody> </table>		児童手当		特例給付	小学校修了前		被用者	非被用者	被用者	非被用者	国	8/10	1/3	10/10	1/3	1/3	県	1/10	1/3	—	1/3	1/3	市	1/10	1/3	—	1/3	1/3	
	児童手当		特例給付	小学校修了前																															
	被用者	非被用者		被用者	非被用者																														
国	8/10	1/3	10/10	1/3	1/3																														
県	1/10	1/3	—	1/3	1/3																														
市	1/10	1/3	—	1/3	1/3																														
				(負担率)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">支給対象児童</th> <th>国</th> <th>県</th> <th>市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">0歳～3歳未満</td> <td>被用者</td> <td>11/13</td> <td>1/13</td> <td>1/13</td> </tr> <tr> <td>非被用者</td> <td>19/39</td> <td>10/39</td> <td>10/39</td> </tr> <tr> <td>3歳以上～</td> <td>第1子・第2子</td> <td>29/39</td> <td>5/39</td> <td>5/39</td> </tr> <tr> <td>小学校修了前</td> <td>第3子以降</td> <td>19/39</td> <td>10/39</td> <td>10/39</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td></td> <td>10/10</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	支給対象児童		国	県	市	0歳～3歳未満	被用者	11/13	1/13	1/13	非被用者	19/39	10/39	10/39	3歳以上～	第1子・第2子	29/39	5/39	5/39	小学校修了前	第3子以降	19/39	10/39	10/39	中学生		10/10	—	—	
支給対象児童		国	県	市																															
0歳～3歳未満	被用者	11/13	1/13	1/13																															
	非被用者	19/39	10/39	10/39																															
3歳以上～	第1子・第2子	29/39	5/39	5/39																															
小学校修了前	第3子以降	19/39	10/39	10/39																															
中学生		10/10	—	—																															

(3) 民生費 (3) 児童福祉費

(単位 : 千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
106 } 108	4 児童育成費	乳児家庭全戸訪問事業	4,408	国庫支出金 2,112 一般財源 2,296	生後4カ月を迎えるまでの間に、保健師・看護師等が家庭訪問し支援を実施。 ・育児や不安の相談、子育て支援の情報提供 ・乳児及び保護者の心身の様子や養育環境の把握 対象世帯数 604世帯 訪問数 540世帯 訪問率 89.4% 事業費 4,407,611円 補助率：国 1/2以内	乳児のいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐため、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行った。また、支援が必要な家庭には適切なサービス提供に努め、地域の中で子どもが健やかに育成できる環境整備を図った。
		子ども未来センター（仮称）設置事業	496	一般財源 496	子ども未来センター構想の検討・立案 検討委員会の設置（11課16名） ・現状の把握 ・分析（調査研究） ・スケジュールの検討 先進地視察（福岡県 大野城市、糸島市） 事業費 496,290円	子育てに関する相談窓口を明確にし、専門的な支援がスムーズに受けられる体制づくりのため、関係機関と効果的・効率的な支援体制を検討した。 検討結果を基に平成23年4月、子育て支援・相談の総合窓口となる「子ども総合相談室」を設置した。
108 } 110	5 児童館費	地域組織活動育成費補助金	374	県支出金 249 一般財源 125	（助成実績） 374,000円 102千円×3団体 = 306千円、68千円×1団体 山口母親地域活動クラブ 557人 二江児童館ファミリークラブ 地域活動 547人 NPO法人つわの花 731人 あけぼの母親クラブ 682人 計 2,517人 補助率：県2/3	各児童館単位で結成されている地域組織活動クラブ（母親クラブ）への助成を行うことにより、児童館との連携を図りながらの活動の活性化が図られ、児童の健全育成に寄与した。
		民間児童館活動事業補助金	1,939	県支出金 1,292 一般財源 647	実施数 1ヶ所 1,939,000円 補助率：県 2/3	自然体験活動や子どもボランティア育成支援、児童健全育成支援など、民間児童館の創意工夫・柔軟な対応等の特色を生かし、地域の実情・需要に応じた活動を行うことで、地域児童の健全育成に寄与した。
		児童福祉施設併設型民間児童館事業補助金	9,186	県支出金 6,124 一般財源 3,062	実施数 1ヶ所 9,186,000円 補助率：県 2/3	保育園に併設した児童館において、児童福祉施設の専門的な養育機能を活用して、各種児童健全育成事業、子育て相談援助活動、各種子育て支援サービスの利用促進等を実施することで、児童館事業の活性化を図ることに寄与した。

(3) 民生費 (4) 生活保護費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
110 } 111	1 生活保護総務費	住宅手当緊急特別措置事業	4,014	国庫支出金 3,932 一般財源 82	<p>離職者であって住宅を喪失している者又はそのおそれのある者に対して、住宅手当を支給し、住宅及び就労の確保に向けた支援を行う。 (実人数 23世帯)</p> <p>事務費 1,570,012円 負担金補助及び交付金 2,443,900円 計 4,013,912円</p>	<p>平成21年10月1日から実施された事業で、本市においては、住宅を失うおそれのある23世帯から申請があり、全世帯を支給決定している。就労支援員を配置し、住宅の確保と就労支援に取り組んでいるところであるが、常用就職による中止までは至っていない。</p> <p>国庫補助金 補助率 10/10</p>
111 } 112	2 扶 助 費	生活保護費	1,090,906	<p>国庫支出金 793,750 (814,587) 県支出金 7,583 一般財源 289,573 (268,736)</p>	<p><u>生活扶助</u> 衣食その他日常生活の需要を満たすために必要な扶助 延 5,527世帯 (月平均 460.6世帯) 延 7,555名 (月平均 629.6名) 302,616,688円</p> <p><u>住宅扶助</u> 住居費(家賃等)及び住宅維持費(家屋補修等)のために必要な扶助 延 3,289世帯 (月平均 274.1世帯) 延 4,528名 (月平均 377.3名) 61,466,639円</p> <p><u>教育扶助</u> 教材・学用品・給食その他義務教育に伴って必要な扶助 延 274世帯 (月平均 22.8世帯) 延 419名 (月平均 34.9名) 5,142,510円</p> <p><u>介護扶助</u> 介護サービスを受けるために必要な扶助(現物給付) 延 1,013世帯 (月平均 84.4世帯) 延 1,034名 (月平均 86.2名) 13,364,556円</p>	<p>資産、能力、扶養及び他法、他施策を活用してもなお最低生活維持が困難な者に対し、生活困窮の程度や生活保護基準に基づき、生活、住宅、教育、医療、介護、出産、生業、葬祭及び施設事務費などの必要な扶助を行い、最低限度の生活を保障することにより、援助の充実及び自立助長の推進が図られた。</p> <p>国庫負担金 補助率 3/4</p> <p>返還金・徴収金調定額：4,789,410円</p> <p>$(1,090,906,365 - 4,789,410) \times 3/4 = 814,587,716$円</p> <p>22年度交付決定額 793,750,000円</p> <p>$814,587,716 - 793,750,000 = 20,837,716$円 (精算により23年度で追加交付)</p>

(3) 民生費 (4) 生活保護費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
111 } 112	2 扶 助 費	生活保護費 (つづき)			<p><u>医療扶助</u> 病気の治療等に必要な扶助(現物給付)</p> <p>延 5,534世帯 (月平均 461.2世帯)</p> <p>入院 延 927名 (月平均 77.3名)</p> <p>入院外 延 5,725名 (月平均 477.1名)</p> <p style="text-align: right;">624,120,430円</p> <p><u>出産扶助</u> 出産に伴う分娩に必要な扶助</p> <p>1件 318,800円</p> <p><u>生業扶助</u> 生業・技能習得・就職支度・高校就学 のために必要な扶助</p> <p>技能修得費 1件 273,850円</p> <p>高校就学費 19件 3,257,194円</p> <p>就職支度費 1件 15,516円</p> <p style="text-align: right;">計 3,546,560円</p> <p><u>葬祭扶助</u> 死亡に伴う葬祭に必要な扶助</p> <p>12件 1,963,952円</p> <p><u>保護施設事務費</u> 保護施設に対する入所委託事務 費</p> <p>天草園 延 386名 (月 32.2名)</p> <p>千草寮 延 24名 (月 2.0名)</p> <p>銀杏寮 延 10名 (月 0.8名)</p> <p>野坂の浦荘 延 24名 (月 2.0名)</p> <p style="text-align: right;">78,366,230円</p> <p style="text-align: right;">合計 1,090,906,365円</p>	

(3) 民生費

(5) 災害救助費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
112	1 災害救助費	災害見舞金	405	その他 405	(内訳) (火災) 住宅全焼・全損(持家) 3件 × 100,000円 住宅全焼(借家) 2件 × 50,000円 住宅一部損壊(借家) 1件 × 5,000円 合計 6件 405,000円	り災者、またはその遺族に対する災害見舞金、弔慰金又は障害見舞金を支給することにより、り災者の心を癒し、福祉の増進に寄与することができた。

(4) 衛生費 (1) 保健衛生費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
112 ） 114	1 保健衛生総務費	健康増進・食育推進事業	427	一般財源 427	【健康増進・食育推進事業】 ・天草市健康づくり審議会（委員：25名） まちづくり協議会や各種団体の代表で構成し、市民の健康づくりの方策や保健計画・事業計画を審議した。 （審議会） 平成22年7月1日・平成23年2月21日 平成22年9月29日（健康増進計画小委員会） ・天草市健康増進計画及び食育推進計画の推進自治組織及び各種団体への計画周知等（93団体） （事業費内訳） 報酬・費用弁償 354,740円 郵便料他 12,960円 消耗品費 59,062円 計 426,762円	市民の健康づくりを総合的に推進するために、天草市健康づくり審議会を設置し、健康づくり及び疾病予防、健康増進計画・食育推進計画の進捗管理や献血の推進等に関する審議を行った。 また、健康増進計画及び食育推進計画の概要版を使用し、まちづくり協議会や地区振興会、各種団体等に健康習慣の周知・啓発を図った。
		健康フェスタ事業	676	一般財源 676	開催日：平成22年6月5日（土）天草市民センター ：平成22年6月20日（日）天草町勤労者体育館 ：平成22年11月13日（土）栖本福祉会館 対象：乳幼児から成人・高齢者まで（987名参加） 内容：歯科検診・歯垢染め出し・ブラッシング フッ素塗布・骨硬度測定・食生活チェック 体力測定・運動紹介・健康相談などの各種体験コーナー・歯科予防ポスター展示及び表彰式 （事業費内訳） 講師等謝礼・報償費 172,780円 消耗品費他 420,785円 印刷製品費他 82,050円 計 675,615円	生活習慣病予防のためには、若年・壮年層など早い時期から健康に関する意識付けが重要になる。「歯」・「骨」等をテーマに歯科検診やブラッシングの体験、骨硬度測定や体力に合わせた筋力アップのための運動紹介等を行った。自分の歯や骨の状態を知り、う蝕・歯周疾患・骨粗鬆症を予防するための生活を知るきっかけとなり、若い時期からの健康について考える機会となった。 また、小学校31校（天草養護学校含む）から応募があった「歯科予防ポスター」795点全作品を展示し、来場者に鑑賞してもらい、優秀な作品への表彰を行った。
		健康運動事業	6,468	その他 3,411 一般財源 3,057	【健康運動事業】 ・運動教室：24（新規教室：4、自主教室：20） 登録者：320人（延参加：17,348人） ・ウォーキングセミナー 3会場 参加者：58人 ・健康づくり講演会 参加者：196人	生活習慣病及び介護予防を行うため、個人の体力に合わせた筋力アップ運動、エアロバイク・ウォーキングによる有酸素運動等の指導を行い、運動の必要性和自分にあった運動の方法がわかり、自分の健康のために、継続して運動するという意識付けを図ることができた。

(4) 衛生費 (1) 保健衛生費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
112 ） 114	1 保健衛生総務費	健康運動事業 (つづき)			(事業費内訳) 講師等謝礼・旅費 23,640円 消耗品費 1,237,474円 指導委託料 4,583,250円 機器類購入費他 624,015円 計 6,468,379円	また、ウォーキングセミナーを実施し、正しいフォームや継続する方法等について学習の場を設け、運動習慣の定着を図ることができた。 さらに、健康づくり講演会では、スロージョギングを紹介し、市民に生活習慣改善や健康増進の啓発が図れた。
		在宅当番医制運営事業	2,740	一般財源 2,740	在宅当番医制運営委託料 2,740,300円	休日・夜間における急病患者の第1次救急体制の充実が図られた。
		病院群輪番制病院運営事業	23,745	その他 8,225 一般財源 15,520	医療機関運営費補助金 23,744,560円 上天草総合病院、河浦病院、牛深市民病院、天草地域医療センター、天草中央総合病院、天草第一病院、苓北医師会病院、天草慈恵病院、済生会みすみ病院(9施設)	休日・夜間における入院治療を必要とする重症救急患者対策としての、第2次救急医療体制の充実が図られた。 (上天草市、苓北町、宇城市から分担金)
		食生活改善事業	3,503	一般財源 3,503	食生活改善推進員協議会への委託料及び補助金 会員：375人、地区活動：447回 (事業費内訳) 食生活改善推進事業委託料 3,417,000円 消耗品費 85,944円 計 3,502,944円	市民の健康づくりのため、天草市食生活改善推進員協議会に事業を委託し、推進員自らの資質向上を目的とした学習会の開催と、その学びを地域へ広めるための活動を展開した。健全な食習慣の形成を目的とした教室を開催し、乳幼児期における食と歯の大切さを学んだ。
		離島等医療・福祉推進モデル事業	28,867	国庫支出金 28,867	水俣病の被がい者及び家族、地域住民が安心して暮らしていけるように、当該地域の医療、福祉レベルを向上させるための方策の検討に資することを目的として、神経症状の緩和や運動障害等の改善維持につながるリハビリテーション等をモデル事業として実施した。 実施場所：御所浦町横浦島 参加者：98人 (新規) " 御所浦島 参加者：117人 (事業費内訳) 消耗品費 16,128円 委託料 19,068,606円 機械借上げ料 4,070,846円 土地建物借上げ料 5,711,580円 計 28,867,160円	健康機器を利用し、専門的な知識を有する者(理学療法士又は健康運動指導士)が定期的に身体機能評価を行い、併せて集団及び個別プログラムに基づき必要なりハビリテーションを提供することで、対象者の症状の緩和、介護予防及び日常生活の向上が図られた。

(4) 衛生費 (1) 保健衛生費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
114 ） 115	2 予 防 費	新型インフルエンザ対策事業	723	国庫支出金 542 一般財源 181	<平成21年度から繰越> ワクチン接種費用の助成 (事業費内訳) 予防接種委託料 251,650円 予防接種扶助費 471,200円 計 722,850円	(H21年度 新型インフルエンザ予防接種者数) ・優先接種者 2回接種：2,273人、1回接種：21,510人 (H22年度 新型インフルエンザ予防接種者数) ・優先接種者 2回接種：2,620人、1回接種：34,515人
		予防接種事故対策事業	10,775	県支出金 8,262 一般財源 2,513	・種痘接種後遺症：1件(昭和46年支給開始) 障害年金、医療手当等 ・日本脳炎後遺症：1件(平成12年支給開始) 障害年金、医療手当等 (事業費内訳) 扶助費 10,715,024円 償還金利子及び割引料 60,023円 計 10,775,047円	対象者の生活の維持・健康の保持が図られた。
		予防接種事業	151,143	一般財源 151,143	予防接種法に基づく予防接種の実施 ・高齢者(個別接種) インフルエンザ：14,876人 ・児童・生徒(個別接種) 二種混合(小6)：781人 麻しん風しん3期(中1)(単ワクチン含)：851人 麻しん風しん4期(高3)(単ワクチン含)：852人 ・乳幼児(個別接種) 三種混合：延2,622人 麻しん風しん1期(単ワクチン含)：570人 麻しん風しん2期(単ワクチン含)：695人 日本脳炎：1,656人 ・乳幼児(集団接種) ポリオ：1,141人 任意インフルエンザ予防接種助成：6,962人	ポリオの予防接種を除き、個別接種体制で実施することにより、対象児・者が体調の良い時にかかりつけ医のもとで安全に接種を受けることができた。また、65歳以上の高齢者等を対象に、インフルエンザ予防接種を実施し感染症予防が図られた。 日本脳炎については、平成17年度から積極的接種勧奨が差し控え中であったが、接種勧奨が再開され22年度は3歳児に対する積極的勧奨を行った。 また、児童、生徒の予防接種については、学校との連携による接種勧奨を行い、接種率の向上に努めた。乳幼児の予防接種については、他の母子保健事業の機会を通じ、適した時期に予防接種を受けることの重要性の説明や接種勧奨に努めた。また、医療機関との連携が図られたことにより高い接種率となった。 任意の予防接種についても、幼児、小・中高生を対象にインフルエンザ予防接種費用の一部助成を実施し、感染症予防を図った。 予防接種の過誤については、医師会や医療機関との連携が図られたこと、市の予防接種事業が確立してきたこと等により本年度も0件であった。

(4) 衛生費 (1) 保健衛生費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
114 } 115	2 予 防 費	予防接種事業 (つづき)			(事業費内訳) 報酬 4,029,200円 需用費 2,998,706円 役務費 291,757円 委託料 120,504,735円 扶助費 795,100円 償還金利子及び割引料 22,524,000円 計 151,143,498円	
		結核予防事業	3,819	一般財源 3,819	・ B C G接種：705人 (対象児は生後6か月未満まで) ・ レントゲン間接撮影：5,968人 (対象者は65歳以上) 検診委託料 3,818,880円	接種体制の整備や周知の徹底を行うとともに、 3・4ヶ月児健診と同時に実施することで、適した 時期での高い接種率となった。 また、検診により高齢者の結核罹患予防が図られ た。
115 } 116	3 保健センター費	天草中央保健福祉センター	5,790	一般財源 5,790	【施設の維持管理】 ・ 天草中央保健福祉センターの維持管理に係る経費 (事業費内訳) 施設維持管理手数料 60,480円 施設保守点検等委託料 1,348,254円 光熱水費 1,208,830円 修繕料 321,550円 複写機等使用料 195,300円 消耗品費他 2,404,080円 備品購入費 251,295円 計 5,789,789円	天草中央保健福祉センターの安全管理及び環境衛 生の保全並びに快適環境の管理に努め、同センター の保全及び付帯設備の機能向上と維持を図った。
		天草東保健福祉センター	7,348	一般財源 7,348	【施設の維持管理】 ・ 天草東保健福祉センターの維持管理に係る経費 (事業費内訳) 施設維持管理手数料 384,222円 施設保守管理等委託料 1,783,080円 光熱水費他 3,747,664円 修繕料 1,007,211円 清掃用具使用料等 232,864円 備品購入費 192,710円 計 7,347,751円	天草東保健福祉センターの安全管理及び環境衛 生の保全並びに快適環境の管理に努め、同センター の保全及び付帯設備の機能向上と維持を図った。

(4) 衛生費 (1) 保健衛生費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果														
115 } 116	3 保健センター費	有明保健センター	1,019	一般財源 1,019	<p>【施設の維持管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有明保健センターの維持管理に係る経費 <p>(事業費内訳)</p> <table border="0"> <tr> <td>施設維持管理手数料</td> <td>67,300円</td> </tr> <tr> <td>施設管理委託料</td> <td>195,700円</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td>520,394円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費他</td> <td>109,469円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>102,690円</td> </tr> <tr> <td>清掃用具等使用料</td> <td>23,192円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,018,745円</td> </tr> </table>	施設維持管理手数料	67,300円	施設管理委託料	195,700円	光熱水費	520,394円	消耗品費他	109,469円	備品購入費	102,690円	清掃用具等使用料	23,192円	計	1,018,745円	有明保健センターの安全管理及び環境衛生の保全並びに快適環境の管理に努め、同センターの保全及び付帯設備の機能向上と維持を図った。
施設維持管理手数料	67,300円																			
施設管理委託料	195,700円																			
光熱水費	520,394円																			
消耗品費他	109,469円																			
備品購入費	102,690円																			
清掃用具等使用料	23,192円																			
計	1,018,745円																			
116 } 117	4 母子保健費	母子保健事業	70,624	県支出金 19,944 一般財源 50,680	<p>乳幼児の順調な発育・発達と親が安心して子育てできるよう、妊娠から出産・育児にいたるすべての時期に必要な知識の習得や相談事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳の交付：644人 中央：411人、東：119人、西：114人 ・母親学級 中央：3課4クール・43人(延69人) ・母親の心のケア推進事業 要フォロー者：39人 ・妊婦健康診査 初回：628人 2回目：466人 3回目：574人 4回目：591人 5回目：540人 6回目：593人 7回目：555人 8回目：594人 9回目：601人 10回目：560人 11回目：567人 12回目：528人 13回目：456人 14回目：307人 	<p>各母子保健事業による支援により、子どもの健全な発育・発達の促進や保護者の不安の軽減及び健康の保持増進が図られた。</p> <p>母子健康手帳の交付を各保健福祉センター及び各支所で随時行うことにより、交付を受けやすい体制が確保できた。また、医療機関との連携により妊娠11週以下の交付が84.2%と高く、早期から母子の健康管理が図られた。</p> <p>妊婦を対象に妊娠中を健康に過ごし、出産へ向けての準備や仲間作りを目的として実施し、不安の軽減や仲間づくりを図ることが出来たが、産科医療機関で同様の事業が実施されており、参加者も重複していたため、23年度から市での実施は廃止した。</p> <p>産婦人科と連携し、産後うつスクリーニングを実施し、支援が必要な産婦には、家庭訪問等を行い産後うつ予防や悪化防止を図ることが出来た。</p> <p>妊婦健康診査受診票の交付時に、妊婦に対し安全な分娩ができよう妊婦健康診査の重要性を説明し、受診を促した。また、21年度から健診に係る費用の一部助成を5回から14回に拡大しており、妊婦の健診に係る費用の経済的負担の軽減が図られた。</p>														

(4) 衛生費 (1) 保健衛生費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
116 117	4 母子保健費	母子保健事業 (つづき)			<ul style="list-style-type: none"> 健康相談 定期 中央：24回、東：36回、西：64回 不定期 中央：244回、東：142回、西：143回 定期・不定期(延数) 中央：1,880人、東：401人、西：460人 電話相談 中央：2,146人、東：399人、西：428人 乳幼児健康診査 3・4ヶ月児健診(50回) 対象児：659人、受診者：645人 7・8ヶ月児健診(41回) 対象児：662人、受診者：644人 1歳6ヶ月児健診(30回) 対象児：642人、受診者：615人 3歳児健診(30回) 対象児：738人、受診者：707人 5歳児健診(30回) 対象児：650人、受診者：629人 訪問指導 中央：1,172人(延1,551人) 東：406人(延538人)、西：486人(延599人) 育児学級(回数・参加人数) 定期 中央：10回 定期 中央：346人 不定期 中央：7回、東：2回、西：14回 不定期 中央：266人、東：19人、西：332人 思春期対策事業 実施回数：15回 参加人数：1,028人 乳幼児精神発達健康診査 開催回数：24回 実人員：81人 延人員：110人 	<p>定期の健康相談は、各保健福祉センターや各地域で実施。また、各保健福祉センターでは、来所や電話による対応を随時行い、対象者の相談に個別で対応することで、不安の軽減等が図られた。</p> <p>身体発育、栄養状態、精神・運動発達などの確認をし、異常の早期発見や早期対応等につなげることができた。また、保健・栄養・歯科指導等を行うことにより、育児支援が図られた。また、乳幼児健康診査時にあわせて、親が子どもとふれあう方法を知る機会として「ブックスタート事業(本の読み聞かせ)」を行った。健診以後、家庭での読み聞かせの状況も高くなっており、事業の効果が表れた。また22年度から新たな子育て支援の一環として、小児発達医、心理判定員、幼稚園教諭・保育士、保健師などのスタッフで、5歳児健診を開始した。</p> <p>他の事業や関係機関と連携が図れたことにより、早期から個別支援が出来た。</p> <p>子どもやその保護者に対して食事や歯、疾病予防等の健康教育を実施し、正しい知識の提供や生活改善が図られた。</p> <p>将来の本人の健康に影響を及ぼす重要な時期に、自らの健康を高めよい生活習慣を身につけるために、学校と連携を図り、健康教育や健康相談などを通して思春期にある生徒への健康づくりの支援が図られた。</p> <p>乳幼児健康診査等でフォローが必要となった児への検査などを行い、専門機関への受診や療育につなげ、順調な発育・発達が図られた。</p>

(4) 衛生費 (1) 保健衛生費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
116 } 117	4 母子保健費	母子保健事業 (つづき)			(事業費内訳) 報酬 11,964,480円 共済費 225,865円 報償費 185,000円 旅費 330,030円 需用費 2,509,272円 役務費 838,585円 委託料 52,506,460円 負担金補助及び交付金 915,620円 償還金利子及び割引料 1,148,565円 計 70,623,877円	
117	5 成人保健費	人間ドック事業	23,093	一般財源 23,093	人間ドックとして、5年刻みの節目年齢の人を対象に、精度の高い健診を総合的に受診できる体制で実施した。 (事業費内訳) 人間ドック委託料 23,065,780円 消耗品 26,880円 計 23,092,660円	疾病の早期発見・治療・予防につなげることが出来た。 ・対象者：35・40・45・50・55・60・65・70歳 (平成23年4月1日を基準とした満年齢) ・受診者数：992人(H22) ・受診者数：939人(H21) ・受診者数：878人(H20)
		成人健診事業	162,068	国庫支出金 3,762 県支出金 4,442 その他 19,563 一般財源 134,301	地域及び施設において複数の検診を選択して受けられる体制を整備した。 【各種健(検)診受診者数】 生活習慣病予防健診 640人 骨粗しょう症検診 2,631人 肝炎ウイルス検診 457人 胃がん検診 6,861人 大腸がん検査 9,995人 子宮がん検診 5,061人 乳がん検診 6,312人 腹部超音波検診 10,997人 肺部検診 9,729人	特定健康診査及び各種がん検診の実施により、疾病の早期発見・治療・予防が図られた。 また、健康相談・健康教育・訪問指導・健康手帳の交付等の保健事業を総合的に実施したことで、住民の疾病予防、健康保持への意識向上を図ることができた。 【各種健(検)診事業】 健康のしおり・希望調査・健診チラシの配布や広報による周知を行を行うとともに、無料クーポン券の発行による女性特有のがん(子宮がん・乳がん)検診を実施し、受診者の増加につなげる事ができた。 【健康指導事業】 健康手帳については、各保健センター、支所・健診窓口等で交付し、健康意識の高揚が図られた。 健康相談については、健診結果説明会や随時電話相談等での実施により、多くの相談件数へ対応することができた。

(4) 衛生費 (1) 保健衛生費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
117	5 成人保健費	成人健診事業 (つづき)			【健康指導事業実績】 健康手帳交付 1,552人 健康相談 7,230人 健康教育 18,420人 訪問指導 499人 精神保健相談 170人 【熊本県健康管理事業】 特定健診受診者 212人 非特定健診受診者 0人 事後指導 3日間 健康相談 3日間 健康教室 9日間 (事業費内訳) 需用費 1,210,503円 役務費 6,893,830円 委託料 153,206,966円 使用料及び賃借料 432,750円 償還金利息及び割引料 324,000円 計 162,068,049円	健康教育については、65歳未満の世代に対して、生活習慣病（メタボリックシンドローム・糖尿病・高脂血症）を中心に健康教育を実施することで、自らの健康に対する意識付けを喚起できた。 さらに、訪問指導については、住民からの相談や、健診後の事後指導、精密検査未受診者等の要指導者への訪問を実施し的確な指導を行うことができた。 【熊本県健康管理事業】 健康診査については、地域健診の中で実施した特定健康診査を当該事業の健康診査として行った。 健康教室では、健康診査の結果、要指導以上の者のうち、希望する者を対象に、運動プログラムの提供と併せて、自宅のできる運動方法の実践紹介を9回開催し、参加者12名（延べ108人）に対して健康に対する意識付けと、身近でできる健康運動の普及を図ることができた。
6	乳幼児医療費	子ども医療費	181,506	県支出金 31,802 一般財源 149,704	【助成対象】 就学前（平成22年10月診療分から小学3年生）までの全医療費の一部負担金を助成 ・就学前 入院 892件 入院外 92,116件 計 93,008件 ・小学生（3年生まで） 入院 29件 入院外 9,017件 計 9,046件 (事業費内訳) 扶助費（助成額） 177,989,953円 事務費 3,515,704円 計 181,505,657円	熊本県の乳幼児医療費助成事業補助金制度では、3歳までの入院・外来及び4歳から就学前までの多子世帯の入院を対象とし、一定以上所得がある者については、補助対象外となっている。 本市においては、子育て支援、少子化対策の視点から県の基準を取り除いた制度として、平成22年10月診療分より対象年齢を就学前から小学3年生まで拡大し、子育て世代の負担軽減を図った。

(4) 衛生費 (2) 環境費

(単位 : 千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																						
118	1 環境総務費	狂犬病予防事業	2,965	その他 2,965	<p>【狂犬病予防事業】</p> <p>狂犬病の発生、蔓延を未然に防ぐために5月に市内各所を周り狂犬病予防注射（集合注射）を実施した。また未注射犬所有者に対して、予防注射催促ハガキを送付した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>共済費</td> <td style="text-align: right;">228,540円</td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td style="text-align: right;">1,916,567円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">470,382円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">349,905円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">2,965,394円</td> </tr> </table>	共済費	228,540円	賃金	1,916,567円	需用費	470,382円	役務費	349,905円	計	2,965,394円	<p>狂犬病予防注射（集合注射）を市内93カ所で行った。また、9月末時点で未注射の犬（1,411頭）の所有者に対して、予防注射催促ハガキを送付し注射率の向上を図った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>新規登録頭数</td> <td style="text-align: right;">331頭</td> <td>注射接種率</td> <td style="text-align: right;">71.8%</td> </tr> <tr> <td>全登録頭数</td> <td style="text-align: right;">4844頭</td> <td>鑑札再交付件数</td> <td style="text-align: right;">5件</td> </tr> <tr> <td>注射済頭数</td> <td style="text-align: right;">3478頭</td> <td>注射済票再交付件数</td> <td style="text-align: right;">1件</td> </tr> </table>	新規登録頭数	331頭	注射接種率	71.8%	全登録頭数	4844頭	鑑札再交付件数	5件	注射済頭数	3478頭	注射済票再交付件数	1件
共済費	228,540円																											
賃金	1,916,567円																											
需用費	470,382円																											
役務費	349,905円																											
計	2,965,394円																											
新規登録頭数	331頭	注射接種率	71.8%																									
全登録頭数	4844頭	鑑札再交付件数	5件																									
注射済頭数	3478頭	注射済票再交付件数	1件																									
118 } 120	2 環境対策費	生活排水対策事業	731	一般財源 731	<p>【生活排水対策事業】</p> <p>環境保全推進員(24名)を設置し、推進員が各々取り組む年間計画の策定、市が開催する研修会及び報告会、推進員の地域での生活排水対策をはじめとする環境保全普及啓発に努めた。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>報償費</td> <td style="text-align: right;">240,000円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">78,711円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">49,256円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">362,880円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">730,847円</td> </tr> </table>	報償費	240,000円	旅費	78,711円	需用費	49,256円	役務費	362,880円	計	730,847円	<p>24名(本渡地区10名・牛深地区4名・五和、有明地区各2名・その他地区各1名)の環境保全推進員により、次のような活動を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指導員研修会(4回/年) 2. 河川の水質調査の実施(1回/月) 3. 各地域で児童館・小学校・婦人会等のグループを通じた啓発活動の実施。 <p>3月の研修会での活動報告では、各推進員から地域で実施した様々な取り組みが報告され、住民の生活排水に対する浄化意識の啓発を図ることができた。</p>												
報償費	240,000円																											
旅費	78,711円																											
需用費	49,256円																											
役務費	362,880円																											
計	730,847円																											
		ISO14001認証取得事業	759	一般財源 759	<p>【ISO14001認証取得事業】</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>定期審査</td> <td style="text-align: right;">759,150円</td> </tr> </table>	定期審査	759,150円	<p>平成14年12月に旧本渡市がISO14001の認証取得。合併後、全支所へ取り組みの範囲を拡大し継続して認証を受けている。環境保全活動の効果的推進及び環境負荷の軽減、職員の意識高揚が図れた。</p>																				
定期審査	759,150円																											

(4) 衛生費 (2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果										
118 ┆ 120	2 環境対策費	大規模太陽光発電施設活用推進事業	216	一般財源 216	<p>【大規模太陽光発電施設活用推進事業】</p> <p>地球温暖化防止及び二酸化炭素を出さないエネルギーとして期待される大規模太陽光発電施設について先進地視察を行い、本市における大規模太陽光発電施設整備の可能性を検討した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">206,000円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td style="text-align: right;">10,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">216,000円</td> </tr> </table>	旅費	206,000円	使用料及び賃借料	10,000円	計	216,000円	平成22年8月に関係各課からなる天草市太陽光発電施設導入推進会議を設置し3回の会議を開催した。また、北九州市(5人)、長崎県五島市(6人)に先進地視察を行った。これらの結果について平成23年3月に「天草市における太陽光発電施設導入推進についての検討結果」を作成し、太陽光発電施設導入推進のための基本的な考え方をまとめた。				
旅費	206,000円															
使用料及び賃借料	10,000円															
計	216,000円															
		バイオマスタウン事業	8,933	一般財源 8,933	<p>【バイオマスタウン事業】</p> <p>平成19年度に策定したバイオマスタウン構想の実現化に向け、バイオマスセンター建設候補地選定(二次選定)等業務について委託した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">370,480円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">272,790円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">8,277,876円</td> </tr> <tr> <td>負担金補助及び交付金</td> <td style="text-align: right;">12,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">8,933,146円</td> </tr> </table>	旅費	370,480円	役務費	272,790円	委託料	8,277,876円	負担金補助及び交付金	12,000円	計	8,933,146円	平成21年度に抽出した建設候補地5ヶ所について、「施設計画」「経済性」「環境影響」に関して、それぞれ評価を行った。
旅費	370,480円															
役務費	272,790円															
委託料	8,277,876円															
負担金補助及び交付金	12,000円															
計	8,933,146円															
		公共施設地上デジタル放送受信調査事業	2,825	一般財源 2,825	<p>【公共施設地上デジタル放送受信調査事業】</p> <p>平成23年7月にテレビのアナログ放送が停止し、デジタル放送へ完全移行することに伴い、公共施設の受信設備を地上デジタル放送対応にする必要があり、その改修の要否等を判断するため次の調査を行った。</p> <p>地上デジタル放送の受信不明な施設の受信点調査 施設内のテレビの末端端子の受信レベル調査</p> <p>[平成22年度実績]</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>調査実施施設数</td> <td style="text-align: right;">56施設</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">2,824,500円</td> </tr> </table>	調査実施施設数	56施設	委託料	2,824,500円	中継局の開局に伴い順次56施設の調査を行い、各所管課へ改修等の実施を促した。						
調査実施施設数	56施設															
委託料	2,824,500円															

(4) 衛生費 (2) 環境費

(単位 : 千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
118 } 120	2 環境対策費	環境実態調査事業	1,575	一般財源 1,575	<p>【環境実態調査事業】</p> <p>【大気測定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測定地点数 4地点 ・調査項目 窒素酸化物 (NO, NO2, NOX) 浮遊粒子状物質 (SPN) <p>【交通騒音測定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測定地点数 4地点 ・調査項目 等価騒音レベル、交通量、 走行速度 <p>【河川水質測定】 (生活環境項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測定地点数 45河川、55地点 ・調査項目 9項目 <p>(健康項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測定地点数 5河川、7地点 ・調査項目 27項目 <p>委託料 <u>1,575,000円</u></p>	<p>【大気測定】</p> <p>国道324号及び266号の沿線4地点(天草信用金庫前 亀場幼稚園前 道の駅有明付近 リック横田前)で24時間連続の観測を実施した。4地点とも調査項目は環境基準値を下回っていた。</p> <p>【交通騒音測定】</p> <p>大気測定と同4地点で観測を実施した。4地点とも環境基準値を下回っていた。</p> <p>【河川水質測定】</p> <p>天草市内全域の主要河川について調査を実施した。水素イオン濃度 (PH) 等環境基準を上回っている地点があり、今後、天草保健所をはじめ関係機関と連携を図り水質改善に努める。</p>
		共聴施設整備事業	550,442	国庫支出金 165,677 地方債 194,900 一般財源 189,865	<p>【共聴施設整備事業】</p> <p>共同受信施設の地上デジタル放送受信への改修補助または新設補助</p> <p>改修10施設 新設40施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本渡(9施設) 69,146,000円 ・牛深(6施設) 18,488,000円 ・有明(13施設) 147,375,000円 ・栖本(3施設) 50,413,000円 ・新和(8施設) 68,203,000円 ・五和(3施設) 62,777,000円 ・天草(2施設) 32,886,000円 ・河浦(6施設) 101,154,000円 <p>計50施設 <u>550,442,000円</u></p>	<p>山間地等の地理的条件により、アナログ放送の難視聴解消を目的に設置された共同受信施設を、地上デジタル放送対応の共同受信施設に改修したり、新たな難視聴地区に、共同受信施設を設置することにより、難視聴地区の解消を図った。</p> <p>現年度 550,442千円 繰越 210,964千円</p> <p>H22 全50施設のうち繰越19施設</p>

(4) 衛生費 (2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
118 } 120	2 環境対策費	共聴施設整備事業 (つづき)			《平成23年度へ繰越》 繰越施設 改修1施設、新設18施設 ・本渡(5施設) 144,362,000円 ・牛深(3施設) 25,150,000円 ・有明(3施設) 10,131,000円 ・栖本(2施設) 10,672,000円 ・新和(5施設) 14,059,000円 ・河浦(1施設) 6,590,000円 計19施設 210,964,000円	
		住宅用太陽光発電システム 設置費補助金	43,858	一般財源 43,858	【住宅用太陽光発電システム設置費補助金】 太陽電池1kW当たり 50,000円 1件の上限 200,000円 補助件数 227件 最大発電出力総計 1097.80kW (事業費内訳) 補助金 43,858,000円	住宅用太陽光発電システムを設置したものに対し、システムの能力に応じた補助金を交付することで、新エネルギーを積極的に導入し、地球温暖化をはじめとする環境悪化の軽減を図った。 H18 87件 15,195千円 H19 57件 9,643千円 H20 53件 8,996千円 H21 193件 36,644千円 H22 227件 43,858千円 計 617件 114,336千円

(4) 衛生費 (2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
118 } 120	2 環境対策費	浄化槽設置整備事業	75,509	国庫支出金	【浄化槽設置整備事業補助金】 補助金額(1基当り)	浄化槽を設置することで生活排水による公 共用水域の水質汚濁防止を図り、生活環境の 保全に努めた。
				25,079		
				県支出金	7人槽 521,000円	
				14,801	10人槽 687,000円	
				一般財源	単独槽転換上乘せ 90,000円	
				35,629		
					平成22年度(設置基数)	(平成22年度設置内訳及び普及人口)
					5人槽 84基 35,112,000円	区域 設置基数 普及人口
					7人槽 73基 38,033,000円	本渡 53基 170人
					10人槽 2基 1,374,000円	牛深 41基 121人
					単独槽上乘せ(11基) 990,000円	有明 18基 52人
					計 159基 75,509,000円	御所浦 8基 17人
						栖本 2基 8人
						五和 29基 93人
						河浦 8基 27人
						計 159基 488人
120 } 122	3 塵芥処理費	天草クリーンアップ事業 (不法投棄対策)	21,959	県支出金	【不法投棄対策事業】	熊本県の緊急雇用創出交付金を受けて地域 の失業者雇用確保のため、臨時職員22人を 採用し、不法投棄の実態調査及び不法投棄防 止看板設置、防犯パトロールを行った。市全 域の実態調査の結果、不法投棄箇所3,580ヶ 所、投棄量は約1,100tであった。
				21,881		
				一般財源	・車両借上代(11台分) 4,577,250円	
				78	・需用費(看板・燃料代他) 2,273,609円	
					・役務費 76,180円	
					計 21,959,434円	
		天草クリーンアップ事業 (海岸漂着物対策)	812	一般財源	【海岸漂着物対策事業】	美しい天草の海岸保全のため、海岸漂着物 を適正に処理することができた。
				812	・処理量(流木等) 33.49t	
					・廃棄物処理手数料 811,596円	

(4) 衛生費 (2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																										
120 ┆ 122	3 塵芥処理費	ごみ処理施設運営管理	142,591	その他	牛深クリーンセンター（平成4年4月稼働）	設備機器等の機能を維持し、牛深地区で発生する可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ及び資源物を適正に処理することができた。 (受入量) (t)																										
				18,164	・焼却処理施設(処理能力：36t / 8h)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可燃</td> <td>5,815</td> <td>5,446</td> <td>5,406</td> <td>5,490</td> </tr> <tr> <td>不燃</td> <td>301</td> <td>291</td> <td>278</td> <td>299</td> </tr> <tr> <td>資源</td> <td>658</td> <td>625</td> <td>334</td> <td>318</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,774</td> <td>6,362</td> <td>6,018</td> <td>6,107</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H19	H20	H21	H22	可燃	5,815	5,446	5,406	5,490	不燃	301	291	278	299	資源	658	625	334	318	計	6,774	6,362	6,018	6,107
				区分	H19		H20	H21	H22																							
可燃	5,815	5,446	5,406	5,490																												
不燃	301	291	278	299																												
資源	658	625	334	318																												
計	6,774	6,362	6,018	6,107																												
一般財源 124,427	・粗大ごみ処理施設(処理能力：10t / 5h)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可燃</td> <td>601</td> <td>580</td> <td>572</td> <td>551</td> </tr> <tr> <td>不燃</td> <td>70</td> <td>62</td> <td>64</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>資源</td> <td>229</td> <td>164</td> <td>174</td> <td>219</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>900</td> <td>806</td> <td>810</td> <td>838</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H19	H20	H21	H22	可燃	601	580	572	551	不燃	70	62	64	68	資源	229	164	174	219	計	900	806	810	838					
区分	H19	H20	H21	H22																												
可燃	601	580	572	551																												
不燃	70	62	64	68																												
資源	229	164	174	219																												
計	900	806	810	838																												
		御所浦クリーンセンター（平成4年9月稼働）	設備機器等の機能を維持し、御所浦町で発生する可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ及び資源物を適正に処理することができた。 (受入量) (t)																													
		・焼却処理施設(処理能力：10t / 8h)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可燃</td> <td>2,158</td> <td>2,115</td> <td>2,116</td> <td>1,955</td> </tr> <tr> <td>不燃</td> <td>90</td> <td>74</td> <td>92</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>資源</td> <td>350</td> <td>321</td> <td>322</td> <td>323</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,598</td> <td>2,510</td> <td>2,530</td> <td>2,369</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H19	H20	H21	H22	可燃	2,158	2,115	2,116	1,955	不燃	90	74	92	91	資源	350	321	322	323	計	2,598	2,510	2,530	2,369				
区分	H19	H20	H21	H22																												
可燃	2,158	2,115	2,116	1,955																												
不燃	90	74	92	91																												
資源	350	321	322	323																												
計	2,598	2,510	2,530	2,369																												
		・不燃物処理資源化設備(処理能力：3t / 5h)																														
		・事業費内訳																														
		人件費(嘱託8人) 12,302,380円																														
		需用費 38,172,385円																														
		(燃料費、修繕料ほか)																														
		役務費 531,384円																														
		委託料 7,196,336円																														
		汚染負荷量賦課金ほか 626,201円																														
		58,828,686円																														
		御所浦クリーンセンター（平成4年9月稼働）	設備機器等の機能を維持し、御所浦町で発生する可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ及び資源物を適正に処理することができた。 (受入量) (t)																													
		・焼却処理施設(処理能力：10t / 8h)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可燃</td> <td>601</td> <td>580</td> <td>572</td> <td>551</td> </tr> <tr> <td>不燃</td> <td>70</td> <td>62</td> <td>64</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>資源</td> <td>229</td> <td>164</td> <td>174</td> <td>219</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>900</td> <td>806</td> <td>810</td> <td>838</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H19	H20	H21	H22	可燃	601	580	572	551	不燃	70	62	64	68	資源	229	164	174	219	計	900	806	810	838				
区分	H19	H20	H21	H22																												
可燃	601	580	572	551																												
不燃	70	62	64	68																												
資源	229	164	174	219																												
計	900	806	810	838																												
		・不燃物処理資源化設備(処理能力：3t / 5h)																														
		・事業費内訳																														
		人件費(臨時3人) 2,425,720円																														
		需用費 22,570,333円																														
		(燃料費、修繕料ほか)																														
		役務費 497,994円																														
		委託料 14,569,851円																														
		使用料、負担金 1,533,110円																														
		41,597,008円																														
		西天草クリーンセンター（平成7年4月稼働）	設備機器等の機能を維持し、天草町及び河浦町で発生する可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ及び資源物を適正に処理することができた。 (受入量) (t)																													
		・焼却処理施設(処理能力：17t / 8h)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可燃</td> <td>2,158</td> <td>2,115</td> <td>2,116</td> <td>1,955</td> </tr> <tr> <td>不燃</td> <td>90</td> <td>74</td> <td>92</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>資源</td> <td>350</td> <td>321</td> <td>322</td> <td>323</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,598</td> <td>2,510</td> <td>2,530</td> <td>2,369</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H19	H20	H21	H22	可燃	2,158	2,115	2,116	1,955	不燃	90	74	92	91	資源	350	321	322	323	計	2,598	2,510	2,530	2,369				
区分	H19	H20	H21	H22																												
可燃	2,158	2,115	2,116	1,955																												
不燃	90	74	92	91																												
資源	350	321	322	323																												
計	2,598	2,510	2,530	2,369																												
		・不燃物処理資源化設備(処理能力：4t / 5h)																														
		・事業費内訳																														
		人件費(臨時3人) 2,425,720円																														
		需用費 22,570,333円																														
		(燃料費、修繕料ほか)																														
		役務費 497,994円																														
		委託料 14,569,851円																														
		使用料、負担金 1,533,110円																														
		41,597,008円																														

(4) 衛生費 (2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
120 ┆ 122	3 塵芥処理費	ごみ処理施設整備事業	58,539	地方債	【牛深クリーンセンター施設整備工事】	老朽化した設備は、精密機能検査や保守点検に基づき更新等行うことで、機能を維持し、正常に運転を行うことができた。
				29,600	25,600,050円	
				一般財源	(内訳)	
			28,939	(1) 施設補修その1工事 (14,490,000円) (温調用空気予熱器伝熱管補修)		
				(2) 施設補修その2工事 (1,911,000円) (アルミ選別器補修)		
				(3) 施設補修その3工事 (641,550円) (エアコン取替)		
				(4) 施設補修その4工事 (3,622,500円) (給じん段差補修)		
				(5) 施設補修その5工事 (4,935,000円) (ごみ投入扉補修)		
				【御所浦クリーンセンター施設整備工事】	老朽化した設備は、精密機能検査や保守点検に基づき更新等行うことで、機能を維持し、正常に運転を行うことができた。	
				16,779,000円		
				(内訳)		
				(1) 施設補修その1工事 (11,865,000円) (ダストコンベア取替)		
				(2) 施設補修その2工事 (4,914,000円) (ダスト切り出し装置補修) (不燃物設備集塵機取替)		
				【西天草クリーンセンター施設整備工事】	老朽化した設備は、精密機能検査や保守点検に基づき更新等行うことで、機能を維持し、正常に運転を行うことができた。	
				16,159,500円		
				(内訳)		
				(1) 施設補修その1工事 (9,964,500円) (1号バグフィルターろ布交換) (誘引送風機ケーシング及び吐出ダンパー更新)		
				(2) 施設補修その2工事 (6,195,000円) (1号、2号炉耐火物補修)		

(4) 衛生費 (2) 環境費

(単位 : 千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
122 } 123	4 廃棄物対策費	ごみ資源化減量化対策事業	28,228	その他 28,228	<p>資源物回収活動報償費</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種団体による集団回収活動報償費 登録団体数 118団体 1,721,280円 各地区自治組織による回収活動報償費 地区自治組織数 424区 10,479,400円 <p>生ごみ処理容器等設置事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> コンポスト式 9基 27,000円 電気式 54基 1,068,400円 <p>環境美化推進員活動謝礼 12,088,600円</p> <ul style="list-style-type: none"> ステーションでの分別指導に協力 606箇所 <p>ごみカレンダー作成 1,047,900円</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭用 41,500枚、屋外掲示用 700枚 <p>資源物回収容器等購入 1,795,851円</p> <ul style="list-style-type: none"> 折りたたみコンテナ 115個 紙・布用・空きビン用コンテナ 175個 廃食油回収容器 48個 表示パネル 450個 	<p>子供会や自治会、PTAなどによる資源物回収活動は、自主的なごみの減量及び資源化活動として定着してきている。また、資源物の分別項目の追加（蛍光管）や環境美化推進員による分別指導、子供会・自治会などでの学習会を通して環境問題に対する意識啓発を進めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 回収実績 空き缶類 9.1t 空きビン類 283,268本 古紙類 367.5t 学習会開催 7回
123 } 124	5 し尿処理費	し尿収集運搬委託	48,532	一般財源 48,532	<p>【し尿収集運搬委託】</p> <ul style="list-style-type: none"> 収集運搬許可業者 4社 22年度搬入実績 し尿 6,049kl 浄化槽汚泥 13,160kl 計 19,209kl 収集運搬委託料 48,532,272円 	<p>し尿及び浄化槽汚泥の計画的な処理施設への搬入と衛生的な処理をすることができた。</p>

(4) 衛生費 (2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																																							
123 } 124	5 し尿処理費	し尿処理施設運営管理	206,947	一般財源 206,947	<p>本渡衛生センター（昭和57年4月稼働）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設処理能力：46KL / 日 ・処理方式：標準脱窒素方式 ・浄化槽汚泥10KL / 日 下水道投入分受入（前処理、希釈 下水道投入） <p>・事業費内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>需用費</td> <td>32,586,540円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(燃料費、修繕料ほか)</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>2,565,524円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>58,573,170円</td> </tr> <tr> <td>補償金</td> <td>3,000,000円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>439,845円</td> </tr> <tr> <td></td> <td><u>97,165,079円</u></td> </tr> </table>	需用費	32,586,540円	(燃料費、修繕料ほか)		役務費	2,565,524円	委託料	58,573,170円	補償金	3,000,000円	備品購入費	439,845円		<u>97,165,079円</u>	<p>設備機器等の機能を維持し、本渡地区及び五和町から発生した、し尿・浄化槽汚泥を適正に処理することができた。</p> <p>(処理量) (KL)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生し尿</td> <td>8,953</td> <td>8,899</td> <td>8,377</td> <td>7,859</td> </tr> <tr> <td>浄化槽汚泥</td> <td>6,918</td> <td>6,702</td> <td>7,297</td> <td>7,828</td> </tr> <tr> <td>下水道投入</td> <td>2,877</td> <td>3,250</td> <td>2,920</td> <td>2,680</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>18,748</td> <td>18,851</td> <td>18,594</td> <td>18,367</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H19	H20	H21	H22	生し尿	8,953	8,899	8,377	7,859	浄化槽汚泥	6,918	6,702	7,297	7,828	下水道投入	2,877	3,250	2,920	2,680	計	18,748	18,851	18,594	18,367
					需用費	32,586,540円																																							
(燃料費、修繕料ほか)																																													
役務費	2,565,524円																																												
委託料	58,573,170円																																												
補償金	3,000,000円																																												
備品購入費	439,845円																																												
	<u>97,165,079円</u>																																												
区分	H19	H20	H21	H22																																									
生し尿	8,953	8,899	8,377	7,859																																									
浄化槽汚泥	6,918	6,702	7,297	7,828																																									
下水道投入	2,877	3,250	2,920	2,680																																									
計	18,748	18,851	18,594	18,367																																									
					<p>牛深し尿処理場 生し尿処理施設(昭和53年4月稼働)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理能力：30KL / 日 ・処理方式：焼却処理方式 <p>浄化槽汚泥処理施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理能力：45KL / 日(平成19年2月増設) ・処理方式：凝集沈殿法 + 接触酸化法の組合せ方式 <p>・事業費内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>人件費</td> <td>3,876,100円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>94,970,594円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(燃料費、修繕料ほか)</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>1,727,220円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>4,788,480円</td> </tr> <tr> <td>補償金</td> <td>3,000,000円</td> </tr> <tr> <td>公課費ほか</td> <td>1,419,555円</td> </tr> <tr> <td></td> <td><u>109,781,949円</u></td> </tr> </table>	人件費	3,876,100円	需用費	94,970,594円	(燃料費、修繕料ほか)		役務費	1,727,220円	委託料	4,788,480円	補償金	3,000,000円	公課費ほか	1,419,555円		<u>109,781,949円</u>	<p>設備機器等の機能を維持し、牛深地区、天草町、河浦町及び新和町から発生した、し尿・浄化槽汚泥を適正に処理することができた。</p> <p>(処理量) (KL)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生し尿</td> <td>7,726</td> <td>7,524</td> <td>7,065</td> <td>7,041</td> </tr> <tr> <td>浄化槽汚泥</td> <td>12,649</td> <td>12,823</td> <td>12,840</td> <td>13,197</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20,375</td> <td>20,347</td> <td>19,905</td> <td>20,238</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H19	H20	H21	H22	生し尿	7,726	7,524	7,065	7,041	浄化槽汚泥	12,649	12,823	12,840	13,197	計	20,375	20,347	19,905	20,238			
人件費	3,876,100円																																												
需用費	94,970,594円																																												
(燃料費、修繕料ほか)																																													
役務費	1,727,220円																																												
委託料	4,788,480円																																												
補償金	3,000,000円																																												
公課費ほか	1,419,555円																																												
	<u>109,781,949円</u>																																												
区分	H19	H20	H21	H22																																									
生し尿	7,726	7,524	7,065	7,041																																									
浄化槽汚泥	12,649	12,823	12,840	13,197																																									
計	20,375	20,347	19,905	20,238																																									

(4) 衛生費 (2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果															
123) 124	5 し尿処理費	し尿処理施設整備事業	15,889	地方債	【牛深し尿処理場整備工事】 6,302,832円 (内訳) (1) 凝集沈殿槽設備更新工事 (6,237,000円) (凝集沈殿槽設備設置) (2) 照明設置工事 (65,832円) (焼却施設内照明施設2基)	老朽化した設備は、精密機能検査に基づき補修及び更新等行うことで、機能を維持し、正常に運転を行うことができた。															
				一般財源			【本渡衛生センター施設整備工事】 9,586,500円 (内訳) (1) 乾燥設備補修工事 (5,649,000円) (乾燥設備オーバーホール) (2) オゾン発生装置補修工事 (3,937,500円) (オゾン発生装置オーバーホール)														
		中継貯留槽管理	2,443	一般財源 2,443	<p>し尿等貯留槽施設の名称、設置場所及び貯留量 一本松貯留槽(天草町)164t 小島貯留槽(河浦町)165t 松崎貯留槽(河浦町)172t 小宮地貯留槽(新和町)100t 倉岳貯留槽(倉岳町)40t 御所浦貯留槽(御所浦町)15t×4基</p> <p>中継貯留槽施設の機能維持のため、敷地の確保(土地借上料)と槽内及び敷地の清掃、汲取りホースの取替修繕を行った。</p> <p>・事業費内訳 需用費(修繕料) 1,260,000円 清掃委託料 1,136,562円 使用料及び賃借料 46,000円 計 2,442,562円</p>	<p>中継貯留槽を利用することにより、牛深し尿処理場及び上天草衛生センターへの搬入が、効率的に行うことができた。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2">(貯留量)</td> <td colspan="3">(KL)</td> </tr> <tr> <td>区分</td> <td>H20</td> <td>H21</td> <td colspan="2">H22</td> </tr> <tr> <td>貯留量</td> <td>7,466</td> <td>7,021</td> <td colspan="2">7,015</td> </tr> </table>	(貯留量)		(KL)			区分	H20	H21	H22		貯留量	7,466	7,021	7,015	
(貯留量)		(KL)																			
区分	H20	H21	H22																		
貯留量	7,466	7,021	7,015																		

(4) 衛生費 (2) 環境費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果										
123 ┆ 124	5 し尿処理費	浄化槽汚泥処理負担金	8,040	一般財源 8,040	五和町の浄化槽汚泥の一部を、前処理し、公共下水道に投入した。 公共下水道に処理費として1k1当たり300円の負担金を支出した。 ・事業費内訳 負担金 2,680k1×10倍(希釈)×300円=8,040,000円	浄化槽汚泥の一部を、公共下水道に投入し、本渡地区、五和町で発生した、し尿・浄化槽汚泥を適正に処理することができた。 (投入量) (KL) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>投入量</td> <td>2,877</td> <td>3,250</td> <td>2,920</td> <td>2,680</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H19	H20	H21	H22	投入量	2,877	3,250	2,920	2,680
区分	H19	H20	H21	H22												
投入量	2,877	3,250	2,920	2,680												

(4) 衛生費 (4) 水道費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																						
125 ┆ 126	1 水道費	小規模水道施設整備事業	6,403	一般財源 6,403	【小規模水道施設整備事業】 上水道及び簡易水道の給水区域以外の区域で、2世帯以上が共同して設置する小規模水道施設の新設、増設又は改修に要する経費の30%以内で、1世帯当たり10万円を限度とし補助した。 (事業費内訳) <table border="0"> <tr> <td>佐伊津町浜洲区</td> <td>1,713,000円</td> </tr> <tr> <td>本渡の森ニュータウン水道組合</td> <td>662,000円</td> </tr> <tr> <td>佐伊津町明瀬区</td> <td>1,259,000円</td> </tr> <tr> <td>佐伊津町元区</td> <td>238,000円</td> </tr> <tr> <td>佐伊津町堀の内区</td> <td>135,000円</td> </tr> <tr> <td>佐伊津町三軒屋区</td> <td>5,000円</td> </tr> <tr> <td>佐伊津町松原区</td> <td>459,000円</td> </tr> <tr> <td>希望ヶ丘水道組合</td> <td>329,000円</td> </tr> <tr> <td>佐伊津町上在郷区</td> <td>1,059,000円</td> </tr> <tr> <td>佐伊津町洲の崎区</td> <td>544,000円</td> </tr> <tr> <td>10件</td> <td>6,403,000円</td> </tr> </table>	佐伊津町浜洲区	1,713,000円	本渡の森ニュータウン水道組合	662,000円	佐伊津町明瀬区	1,259,000円	佐伊津町元区	238,000円	佐伊津町堀の内区	135,000円	佐伊津町三軒屋区	5,000円	佐伊津町松原区	459,000円	希望ヶ丘水道組合	329,000円	佐伊津町上在郷区	1,059,000円	佐伊津町洲の崎区	544,000円	10件	6,403,000円	施設の老朽化に伴い、水中ポンプの取替えや配水管布設替え等の10事業に対し補助金を交付し、清浄豊富な水の供給と、公衆衛生の向上及び生活環境の改善を図った。
佐伊津町浜洲区	1,713,000円																											
本渡の森ニュータウン水道組合	662,000円																											
佐伊津町明瀬区	1,259,000円																											
佐伊津町元区	238,000円																											
佐伊津町堀の内区	135,000円																											
佐伊津町三軒屋区	5,000円																											
佐伊津町松原区	459,000円																											
希望ヶ丘水道組合	329,000円																											
佐伊津町上在郷区	1,059,000円																											
佐伊津町洲の崎区	544,000円																											
10件	6,403,000円																											

(4) 衛生費 (5) 病院費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
126 ） 127	1 病 院 費	病院事業会計負担金及び補助金 (きめ細かな交付金)	826,138	国庫支出金 27,000 一般財源 799,138	<p>【地方公営企業法等に基づく負担金及び補助金】 (病院別内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛深市民病院 254,243,000円 ・栖本病院 130,577,000円 ・新和病院 107,526,000円 ・河浦病院 259,917,000円 ・経営管理課 28,380,000円 <p style="text-align: right;">計 780,643,000円</p> <p>【きめ細かな交付金】 (病院別内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛深市民病院 7,460,000円 ・栖本病院 14,949,000円 ・新和病院 15,946,000円 ・河浦病院 7,140,000円 <p style="text-align: right;">計 45,495,000円</p>	<p>救急医療や不採算医療の確保など、地域において求められる各種医療の提供や、高齢化の進む地域での身近な医療機関としての役割を果たすため、各病院の安定的な経営に努めた。</p> <p>また、きめ細かな交付金を活用し、老朽化していた施設設備や耐用年数を経過した医療機器等を整備・更新することで、快適な療養環境の維持や診療機能の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛深 無停電装置蓄電池更新、除細動器等 ・栖本 超音波診断装置、ナースコール設備改修等 ・新和 空調熱源設備改修、往診車更新 ・河浦 医療器具洗浄機、血圧脈波検査装置
		国民健康保険診療施設特別会計繰出金	69,719	一般財源 69,719	<p>【国民健康保険診療施設特別会計繰出金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御所浦診療所 69,719,000円 <p>(御所浦北診療所含む)</p>	<p>御所浦地域における、住民に身近な医療機関としての役割を果たすため、その安定的な経営の確保に努めた。</p>
		歯科診療所特別会計繰出金 (きめ細かな交付金)	14,910	国庫支出金 3,000 一般財源 11,910	<p>【歯科診療所特別会計繰出金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御所浦歯科診療所 10,405,000円 <p>【きめ細かな交付金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御所浦歯科診療所 4,505,000円 	<p>御所浦地域における、唯一の歯科診療機関としての役割を果たすため、その安定的な経営の確保に努めた。</p> <p>また、きめ細かな交付金を活用し、老朽化した歯科用レントゲン装置を更新することで、歯科診療機能の向上を図る。</p>

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
127 128	1 農業委員会費	農地流動化奨励金交付事業	6,882	一般財源 6,882	<p>[交付基準]</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸借による利用権が設定された農地の、貸し手及び借り手を対象に交付。 交付単価（10a 当り） <ul style="list-style-type: none"> 3年以上 6年未満 3,000円 6年以上 6,000円 <p>[交付実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> 交付人数 445人 交付額 6,882,000円 支払面積（貸し手） 69.0ha 支払面積（借り手） 74.3ha 	認定農家等の担い手への農地の集積を促進し、農業経営の規模拡大と合理化を図るとともに、遊休地発生を抑制し優良農地の有効利用を確保することができた。
		農業委員自主活動事業	38	一般財源 38	<p>耕作放棄地解消と農地の有効利用を図るため、遊休化している農地を農業委員及び事務局職員で整備後、景観作物を栽培することで耕作放棄地発生防止の啓発を行った。</p> <p>また、地域住民や子どもたちの参加による種まきや花の摘み取りを実施した。</p> <p>事業量（解消面積） 29 a 事業実施箇所 天草町大江の国道沿いの農地 消耗品費（種子・肥料等） 33,592円 燃料費 4,220円</p>	<p>遊休農地29 a を、農業委員自らの農業機械で草刈及び耕起を行い、大江小学校（68名）やもみじ保育園（23名）の参加・協力の様子が新聞、テレビ等で報道され、農業委員会の活動と耕作放棄地解消への取り組みをアピールすることができた。</p> <p>また、耕作可能となった農地は、地区振興会と地域の担い手農家に引き継ぐことができた。</p>

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
129 ┆ 131	3 農業振興費	農業振興地域整備促進事業	125	一般財源 125	適正な土地利用を行うため、農業振興地域整備促進協議会により審議を行う。 (事業費内訳) 報酬 90,000円 旅費 7,740円 使用料 27,216円 計 124,956円	農業振興地域整備計画の見直し及び農用地個別変更案件等の事務処理を行い、計画の適正な進行・管理による優良農用地の確保に努めた。 22年度変更協議 除外面積 39筆 345.05a 編入面積 396筆 5,688.42a
		地産地消直売機能強化事業 (ふるさと雇用再生特別交付金)	4,303	県支出金 4,303	直売所などで新たな人員を雇用し、機能強化と地産地消の推進を図った。 (事業費内訳) 委託料 4,302,766円 (グリーントップ本渡：雇用者数2名)	直売所などの機能強化のため、地場農畜産物の販売を拡大することができた。 また、新たな販路拡大や、流通・販売システムを構築することができた。
		天草農業活性化協議会負担金	600	一般財源 600	天草地域の農業の振興及び活性化を図ることを目的とし、地域農業振興のための各種施策並びに各種機関との連絡調整を行う協議会への負担金 (事業費内訳) 負担金 600,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲ある担い手の育成・確保 ・高度な技術による個性ある産地育成 ・地域の合意形成等による農業の活性化 ・環境と調和した農業の推進
		農業制度資金利子補給補助金	1,464	県支出金 172 一般財源 1,292	各農業制度資金借入れに対する利子補給を行う (事業費内訳) ・農業近代化資金 6件 958,049円 ・自立経営体育成資金 6件 306,073円 ・家畜飼料特別支援資金 2件 162,422円 ・家畜疾病緊急対策資金 1件 37,571円 計 1,464,115円	利子補給を行い、農家の負担を軽減し経営の安定を図ることができた。

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
129 ┆ 131	3 農業振興費	農業後継者育成補助金	350	一般財源 350	市内の青年農業者組織（4Hクラブ）の活動に対して補助を行い、青年農業者の資質や技術の向上を図るとともに農業後継者の育成を行う。 現会員数 22名 (事業費内訳) 補助金 350,000円	熊本市や苓北町へのイベント出店、異業種間交流、県青年農業者の夏の集い及び全国青年農業者会議への参加など、自己研鑽や天草農産物のPRを積極的に行った。また、次世代を担う子どもたちの農業理解と食育に資するため、耕作放棄地を利用した農業体験事業にも取組んだ。
		農業生産組織育成補助金	5,337	一般財源 5,337	天草市管内2JAの各生産部会の育成を目的とし、各生産部会の運営費・活動経費に対して補助金を交付する。 (事業費内訳) 補助金 5,337,000円	減農薬等の栽培講習会を実施し、安心・安全な農産物への取り組みを行った。新品種導入や新技術導入に係る講習会や研修会を開催した。 JA本渡五和、JAあまくさ各生産部会・講習会・研修会の開催
		農業女性大学補助金	200	一般財源 200	JA本渡五和、JAあまくさが実施する農業女性大学の開催費用の一部を助成する。 (事業費内訳) JA本渡五和補助金 100,000円 JAあまくさ補助金 100,000円 計 200,000円	農業女性の知識の向上、男女共同参画の推進を図るとともに、農村の活性化を図った。 ・JA本渡五和 65名入校 オリーブ講習、花の寄せ植えなど ・JAあまくさ 17名入校 家庭菜園講習、花の寄せ植えなど ・12月は合同開催、地産地消漬物講習
		地域活性化グループ育成補助金	700	一般財源 700	市内の農漁村の女性活動グループの育成・指導を行い、男女共同参画の推進や加工・直売等を通じた地域づくりを支援する。 (事業費内訳) 補助金 700,000円	地元農産物を使った加工技術研修や交流会などを開催し、地区の活性化グループの育成・情報交換を積極的に行った。 会員数 31グループ 158名

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
129 3 131	農業振興費	物産地域イベント開催補助金	1,950	一般財源 1,950	各地域で開催される農業振興を目的としたイベントに対して経費の一部を助成する。 (事業費内訳) ・天草町ジャガジャガ祭補助金 900,000円 ・有明町うまかもん収穫祭補助金 850,000円 ・JA本渡五和アグリフェスタ補助金 200,000円 計 1,950,000円	地域の活性化と住民の親睦が図れ、農業に対する理解とふれあいを実践することができた。 ○天草町ジャガジャガ祭来場者数 4,000人 ジャガイモ堀体験参加者 198組 ○有明町うまかもん収穫祭来場者数 1,000人 農事講演会参加者 200人 ○JA本渡五和アグリフェスタ入場者数 3,000人
		営農指導推進協議会補助金	200	一般財源 200	天草市管内2JAが、市農業振興課、JA、天草地域振興局普及指導課が構成員となり設立された営農指導推進協議会の運営費・活動経費に対して補助金を交付する。 (事業費内訳) JAあまくさ営農推進協議会 100,000円 JA本渡五和営農指導推進協議会 100,000円	各専門部会において、新技術の試験利用や新品種の試験栽培、新たな農産加工品の試作を行った。また先進事例地への研修会を開催し、管内農業の振興・活性化を関係機関と一体となって図ることができた。 ・各種試験利用・栽培の実施 ・農産加工品の試作
		ふるさと宅配便推進事業	500	一般財源 500	天草の特産品の販路拡大を目的としたふるさと宅配便事業に対し、パンフレットやダイレクトメール、ホームページ等の作成経費に対して補助する。 (事業費内訳) 補助金 500,000円	JA本渡五和が、インターネットによる販売サイトを開設し、事業の推進、周知、販売促進を図った。 ・販売サイト構築一式 1,050,000円
		地産地消推事業 地産地消推進協議会補助金	350	一般財源 350	新鮮な地元農林水産物の安定供給の確保や第一次産業の振興などを図るため、天草市地産地消推進協議会により、地産地消を推進する。 (事業費内訳) 補助金 350,000円	五和町給食センターをモデル校とし、地元農産物の利用促進を図った。また、著名な料理研究家による講演を行い、天草食材の魅力を発信し、地産地消の意識向上に努めた。

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
129 ↳ 131	3 農業振興費	地産地消推事業 地産地消体験活動補助金	1,647	一般財源 1,647	<p>①米づくり体験事業 米作り体験及び収穫米を利用した調理実習を実施する市内の小中学校・子ども会に対し、1団体当たり6万円以内で補助金を交付する。 (事業費内訳) 補助金 1,166,833円</p> <p>②地産地消体験事業 農作業体験及び地元で生産された農産物を使用した料理教室等を実施する市内の保育所・保育園・幼稚園に対し、1団体当たり3万円以内で補助金を交付する。 (事業費内訳) 補助金 480,000円</p>	<p>子どもたちに対して、農業や地産地消についての理解と関心を深めることができた。</p> <p>①米づくり体験事業 (21) 小学校 17校 中学校 1校 子ども会 3団体</p> <p>②地産地消体験事業 (16) 保育所 3園 保育園 9園 幼稚園 4園</p>
		都市と農山漁村共生・対流事業	2,047	県支出金 870 一般財源 1,177	<p>天草市とNPO法人グリーンライフあまくさの協働にて、団塊の世代や団塊ジュニア世代等、田舎暮らしを志向する都市住民を受け入れる施策を展開し、定住・二地域居住による人口減少への歯止めを図る。また、増大する遊休農地を活用して、自給自足的な田舎暮らしを都市住民に提供することによる農地の保全と農村の活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田舎暮らし体験ツアーの開催 (4回) ・「ふるさと回帰フェア」への参加及び、定住相談会の開催 (大坂、東京) ・「天草セミナー」の開催 (大阪、東京) ・企業へのPR活動 <p>(事業費内訳) 旅費 256,940円 負担金 50,000円 天草グリーンライフ・コミュニティ事業補助金 1,740,000円 計 2,046,940円</p>	<p>田舎暮らし体験ツアーや天草セミナー等のイベントを開催し、都市住民に天草グリーンライフコミュニティ事業の情報発信活動が展開できた。また、企業へのPR活動により、天草市と協働で活動している「NPO法人グリーンライフあまくさ」の事業周知が図られた。</p>

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
129 3 131	農業振興費	市民農園事業	272	その他 272	農業者以外の市民に対し、農業に対する理解を深めてもらう場として、市内に3ヶ所(99区画)の市民農園を開設し、維持管理を行っている。 (事業費内訳) 需用費 25,840円 委託料 11,550円 市民農園借上料 235,000円 計 272,390円	市民に農業とふれあう機会を提供でき、農業に対する理解が深められた。 また、遊休農地の解消に貢献することができた。 (市民農園利用状況) 今釜市民農園 25区画 亀場市民農園 11区画 牛深市民農園 63区画
		移住・定住促進対策事業	1,500	一般財源 1,500	天草市への移住・定住を促進し、人口の増加及び地域の活性化を図るため、天草市へ移住・定住する世帯に対して定住奨励金を交付する。 (事業費内訳) 補助金 1,500,000円	6世帯12名の方が定住され、本市の人口増及び地域の活性化につながっている。また、移住・定住者が意見交換をする場として、「天草市セカンドライフネットワーク」の立ち上げを行い、移住・定住者同士の交流が図られた。
		グリーンライフコミュニティ推進事業 (ふるさと雇用再生特別交付金)	2,931	県支出金 2,931	都市と農山漁村の共生・対流の実現に向けた「天草グリーンライフコミュニティ事業」のさらなる推進を図るため、事業の推進事務及び事業計画書の策定事務補助のための人員を雇用する。 (事業費内訳) 委託料 2,931,048円	田舎暮らしに関する相談受付及び案内業務や田舎暮らし志向者への農業体験業務、田舎暮らし等のPR活動、共同農場・総合交流促進施設の管理業務などを委託し、「天草グリーンライフコミュニティ事業」の効果的な実施につながった。
		新たな農業担い手支援事業 (ふるさと雇用再生特別交付金)	17,388	県支出金 17,388	新たに就農しようとするものを農協等で雇用し、農家等で研修を行い、農業後継者を確保する。 (委託先) あまくさ農業協同組合 6,554,940円 本渡五和農業協同組合 4,006,733円 天草市担い手育成支援協議会 6,825,943円 計 17,387,616円	農業関係施設や農家等での農業研修により、技術の習得が図られた。 (研修者数) あまくさ農業協同組合 3名 本渡五和農業協同組合 2名 天草市担い手育成支援協議会 4名

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
129 ┆ 131	3 農業振興費	新規就農支援事業 (緊急雇用創出交付金)	6,507	県支出金 6,507	就農希望者、新規就農希望者を担い手育成支援協議会等で雇用し、農家等で基本的な農業技術の研修を行い、新規就農者を支援する。 (委託先) 天草市担い手育成支援協議会 やくそうの島天草社 計	柑橘、野菜、畜産等の農作業及び農業関連業務を計画的に研修を行い農業技術の取得が図られた。 (研修者数) 天草市担い手育成支援協議会 4名 やくそうの島天草社 3名
		農業経営受託支援事業 (ふるさと雇用再生特別交付金)	4,064	県支出金 4,064	これからの農業を担う地域営農組織の育成・強化のため、農作業を行いながら専門のオペレーターを養成し、農業の担い手を育成する。 (委託先) 宮地岳営農組合	年間を通じていろいろな農作業の研修を行い、オペレーターの養成ができた。 (研修者数) 宮地岳営農組合 2名
		担い手育成支援事業	6,000	県支出金 3,000 一般財源 3,000	天草市担い手育成支援協議会が行う事業への補助金 協議会の事業内容 アクションプログラムの作成 担い手経営診断指導助言活動 専任マネージャーの設置 農業経営改善計画の認定及び指導助言 (事業費内訳) 補助金	認定農業者の農業経営改善計画の認定及び助言指導を行うと共に、認定志向農家の発掘及び認定を行った。 また、専任マネージャー3人を設置し、巡回による経営相談や情報提供等を行った。 各種研修会への参加により、認定農業者の意識の向上が図られた。 平成22年度末認定農業者数 418人 平成22年度認定数 新規 9人 再認定 139人
		認定農業者協議会補助金	950	一般財源 950	市内の認定農業者組織の育成・指導を行い、農業経営改善計画の達成に向けた支援と、会員の資質向上の支援を行う団体への補助する。 (事業費内訳) 補助金	意見交換会や研修会も活発に行われ、会員の自己研鑽を積むことができた。また、パソコン教室で農業簿記の講習を行った。 会員数 418人(23年3月末)

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
129 3 131	農業振興費	経営体育成促進事業 [楠浦][御領北][御領南]	301	県支出金 150 一般財源 151 (事業費内訳) 消耗品費 174,743円 燃料費 96,000円 通信運搬費 30,000円 計 300,743円	【経営体育成促進事業】 圃場整備事業の実施を契機として、担い手への農地集積を促進するとともに、将来の農業生産を担う効率的かつ安定的な経営体を育成する。	地区の担い手である営農組合に対して、農地の利用集積に関する指導及び推進を図った。 担い手である楠浦営農組合は、法人化して、2年目を迎え、今後のよりよい経営が行えるよう営農検討会を実施し、組織の育成を図った。 ・営農検討会4回 御領南については、営農検討会を行い、担い手の育成を図った。 ・営農検討会2回
		農地・水・環境保全向上活動推進交付金市町村推進事業	161	県支出金 156 一般財源 5 (事業費内訳) 共済費 16,715円 賃金 114,000円 通信運搬費 30,000円 計 160,715円	農地・農業用水等の資源や農村環境を守り、地域共同活動の取り組みと環境保全に向けた先進的な共同活動を推進するため、資源を守る共同活動に対する支援、化学肥料、化学合成農薬の大幅低減などの環境にやさしい先進的な営農活動を行う集落に対する支援を行う。	化学肥料、化学合成農薬の大幅低減などの環境にやさしい先進的な営農活動を行う集落において、認定基準のエコファーマー認定の推進、安心安全な作物づくりに対する意識強化を図ることができた。 ・エコファーマー認定農家数 延べ445戸 ・化学肥料、化学合成農薬の大幅低減集落 17集落 ・上記の取り組みに参加する農家 326戸
		農業用廃プラスチック類処理対策事業負担金	570	一般財源 570 (事業費内訳) 負担金 570,422円	処理費用の1/3以内を限度として農業用廃プラスチック類処理対策協議会へ負担する。 農家・2JA+たばこ耕作組合・市：各1/3	農業用廃プラスチックの適正処理の推進及び啓発並びに農家の処理費用の負担軽減が図られた。 ・処理量実績 JA本渡五和 46,550kg 870,976円 JAあまくさ 45,930kg 840,291円
		遊休農地解消景観整備促進事業	553	一般財源 553 (事業費内訳) 補助金 553,000円	市内に存在する遊休農地等に景観作物を作付けし、遊休農地の解消と景観の向上を図る。	ひまわり、菜の花を作付けし、遊休農地の解消と景観の向上が実現できた。 ・作付面積：3.6ha

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
129 3 131	農業振興費	農業施設機械整備補助金	3,001	一般財源 3,001	<p>農業生産者の高齢化、兼業化が進む中で、基幹農作業等を受託する「農作業受託組合等」は、現在の地域営農に必要不可欠な担い手であり、今後育成をしていく必要があることから、これら組合等が整備する農業施設機械の購入経費に対して補助金を交付する。</p> <p>(事業費内訳) 補助金 3,001,000円</p>	<p>新たな機械を導入したことにより、組織の基盤強化及び農作業の担い手組織への集積促進を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市平区農作業受託組合 田植機1台 571,000円 ・下津浦受託組合 コンバイン1台 897,000円 ・島子受託組合 コンバイン1台 1,083,000円 ・上津浦受託組合 田植機1台 450,000円
		強い農業づくり交付金事業	1,168	県支出金 974 一般財源 194	<p>燃油高騰対策として、経営を大きく圧迫されている農家を支援するため、農業機械の省エネルギー化を推進し、農家経営の安定に資する。</p> <p>(事業費内訳) 補助金 1,168,000円</p>	<p>新和地区において乾燥機1台を導入し、構成員の労働時間及び経営コストの削減が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諏訪地区機械利用組合 乾燥機1台 1,949,850円
		新需給システム推進事業	3,831	県支出金 3,831	<p>需要に応じた米の計画的生産を行うために、農業団体が行う農業者別生産目標数量の配分や確認事務等、米の生産調整に係る事業に対して助成する。</p> <p>(事業費内訳) 事務費 1,376,000円 補助金 2,455,000円 計 3,831,000円</p>	<p>農業者別生産目標数量の設定方針の策定等を実施し、需要に即応した米作りの推進を通じて、水田農業経営の安定と発展を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> J A本渡五和 676,000円 J Aあまくさ 1,779,000円
		環境保全型農業総合支援事業	3,559	県支出金 2,967 一般財源 592	<p>養豚農家の家畜排せつ物の利用について、円滑な堆肥流通利用を図るための組織づくり、及び、耕畜連携の推進のため堆肥舎の整備を行い環境保全を図る。</p> <p>(事業費内訳) 補助金 3,559,000円 (県50% 市10%)</p>	<p>家畜糞尿の処理のための堆肥舎整備により、地域の環境保全を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大江肥料利用組合 6,232,433円

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
129 ↳ 131	3 農業振興費	耕作放棄地解消緊急対策事業補助金	1,148	県支出金 1,148	耕作放棄地の解消と環境保全のため農地に復元する者に対し、補助金を交付する。 補助金（13件） 1,148,000円 ・耕作放棄地解消面積 田 17,981㎡ 畑 22,653㎡ 計 40,634㎡	耕作放棄地を解消することにより、農地の有効活用、農業生産力の回復及び環境保全を図った。 ・耕作放棄地解消後の用途 景観作物 14,009㎡ オリーブ 13,730㎡ 米・飼料等 2,555㎡ 野菜等 4,950㎡ 放牧 3,421㎡ 果樹 1,969㎡
		企業等農業参入支援事業補助金	12,250	県支出金 10,000 一般財源 2,250	企業の農業参入を促進するとともに、企業の農業参入を核として、農業の活性化と地域振興を図る。補助額は対象事業費の1/3以内で上限5,000千円。なお、オリーブ振興以外の事業は対象事業費の15%を上乗せて補助する。 ・申請件数：2件 (オリーブ事業1件、ベビーリーフ事業1件) 補助金 12,250,000円	農業参入に必要な初期投資経費を補助することにより、円滑な参入を支援し、農業の活性化に寄与することができた。また、作付け作物はオリーブとベビーリーフであり、他農業者の作物と競合しないばかりか、新規作物として地域への波及効果による生産の増大も期待される。
		オリーブの島づくり支援事業	3,005	一般財源 3,005	オリーブ栽培を行う事業、オリーブを使用した商品開発等を実施する事業にかかる経費を補助する。補助額は補助対象事業費の1/2以内とし、1年度あたり1事業者に係る補助金の上限は10,000千円。ただし、オリーブ栽培事業のみを行う場合の上限は10aにつき10万円。 ・オリーブ栽培事業 申請件数：3件 オリーブ植樹本数：1,980本 補助金 3,005,000円	オリーブの島づくりへ向け、企業1、団体1、個人1の3件で約2,000本の植栽が行われ、事業に対する認知度が高まったほか、他の栽培者への啓発を行うことができた。

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																		
132	4 中山間地活性化 費	グリーンツーリズム推進事 業	488	県支出金 110 一般財源 378	<p>天草市全域を対象としたグリーンツーリズム事業を推進するために設立された天草T&Pに委託し、実践団体の自立化に向けた活動支援や農家民宿の普及拡大などを通じて交流人口の拡大を図った。それと併せて県事業を活用し、教育旅行を積極的に受入を行っている御所浦ITに対してホームページの新設及び老朽化した体験資材の更新に対する補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家民宿開業に向けた調査・研究会（参加者：6名） 時期：平成22年12月10日（金）～11日（土） 場所：大分県竹田市 ・農家民宿の開業サポート 時期：平成22年8月4日～ 場所：天草市宮地岳地域 ・地域資源発掘調査（参加者：18名） 時期：平成22年2月10日（日） 場所：天草市内一円 （事業費内訳） <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">委託料</td> <td style="text-align: right;">378,000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">補助金</td> <td style="text-align: right;">110,000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">488,000円</td> </tr> </table>	委託料	378,000円	補助金	110,000円	計	488,000円	<p>天草T&Pを中心として、農家民宿開業等の受入体制整備に向けた調査・研究会や地域資源の発掘を目的とした地域資源発掘調査を実施し、おもてなしの手法や提供する料理、体験メニューの拡大が図られた。また、御所浦ITではHPを新設し情報発信を強化並びに、体験時に使用する救命浮環10個が更新された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家民宿開業 18軒（宮地岳地域） 												
委託料	378,000円																							
補助金	110,000円																							
計	488,000円																							
		中山間地域等直接支払推進 事業	191,454	県支出金 142,303 一般財源 49,151	<p>国が定めた事業に取り組む集落等へ活動経費を支払うことで、中山間地域等における耕作放棄の防止と、中山地域の多面的機能を確保する。</p> <p>（事業費内訳）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">共済費</td> <td style="text-align: right;">121,579円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">賃金</td> <td style="text-align: right;">991,440円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">需用費</td> <td style="text-align: right;">499,295円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">燃料費</td> <td style="text-align: right;">368,137円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">役務費</td> <td style="text-align: right;">181,283円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">測量設計委託料</td> <td style="text-align: right;">2,390,850円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">使用料及び賃借料</td> <td style="text-align: right;">81,648円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">負担金補助及び交付金</td> <td style="text-align: right;">186,820,010円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">191,454,242円</td> </tr> </table>	共済費	121,579円	賃金	991,440円	需用費	499,295円	燃料費	368,137円	役務費	181,283円	測量設計委託料	2,390,850円	使用料及び賃借料	81,648円	負担金補助及び交付金	186,820,010円	計	191,454,242円	<p>耕作放棄の防止、農道、水路の適切な維持管理が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度協定数 227協定 ・交付金額 186,820千円
共済費	121,579円																							
賃金	991,440円																							
需用費	499,295円																							
燃料費	368,137円																							
役務費	181,283円																							
測量設計委託料	2,390,850円																							
使用料及び賃借料	81,648円																							
負担金補助及び交付金	186,820,010円																							
計	191,454,242円																							

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
132 5 133	畜産振興費	家畜導入事業	4,528	県支出金 3,128 一般財源 1,400	規模拡大を目指す畜産農家に経済性の高い優良な系統の繁殖雌牛を導入を推進するため、1頭当たり県92千円、市50千円、合計142千円を基金造成する農協へ補助する。 (事業費内訳) 補助金 4,528,000円	優良雌牛の導入を円滑に推進するため、JA本渡五和農協が実施する基金造成事業に補助し、子牛価格の高値安定と規模拡大を図った。 JA本渡五和、34頭基金造成 28頭導入
		地域肉用牛振興対策事業	850	一般財源 850	畜産農家に対して経済性の高い優良な系統の繁殖雌牛を導入を推進するため、農協が行う寄託事業に補助を行う。(補助金 1頭50千円) (事業費内訳) 補助金 850,000円	口蹄疫の影響で導入が少なかった。補助を継続し、優秀な血統の繁殖雌牛の導入意識の向上を図りたい。 JAあまくさ 17頭導入
		畜産環境整備リース事業	611	一般財源 611	畜産経営にかかる環境保全事業を実施した畜産農家に対し、リース料の20%を補助し、畜産経営の健全化を図る。 (事業費内訳) 補助金 611,000円	養豚農家の悪臭、排水問題を解消するため、浄化槽の設置を行った2養豚農家へ機械設備リース料の補助を行い、健全な畜産経営を図った。 ・毛利養豚 158,000円 ・八尾養豚 453,000円
		特別導入型家畜導入事業 (基金事業)	(3,846)	その他(基金) (3,846)	【基金事業】 限度額 1頭450千円 市が繁殖雌牛を購入し、60歳以上の高齢者等に対し無利子で5年間貸付後、譲渡する事業 (事業費内訳) 基金取崩額 3,845,685円	60歳以上の高齢農家に市が導入する優良雌牛を貸し付けることで高齢者の生きがい対策と畜産振興を図った。 9頭導入

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
132 ┆ 133	5 畜産振興費	天草地区家畜自衛防疫推進 協議会負担金	497	一般財源 497	畜産経営において、予想される疾病の発生を未然に防止するために、自衛組織により家畜衛生思想の啓発普及、予防衛生技術の改善向上、予防注射の計画と実施、家畜衛生情報の収集と伝達を行い、計画的に防疫を推進する協議会への運営負担金である。 (事業費内訳) 負担金 496,550円 (畜産農家戸数による配分額)	口蹄疫、鳥インフルエンザの問題も含め、広く家畜防疫思想の普及・実践を行った。
		家畜伝染病(口蹄疫・鳥インフルエンザ)事業	4,791	県支出金 1,981 一般財源 2,810	【口蹄疫対策】 宮崎県における口蹄疫の発生に伴い、消毒ポイントにおける車輛消毒作業、畜産農家や公共施設における消毒等を実施し、口蹄疫防疫の徹底を図った。 補助率50%以内 (事業費内訳) 消毒薬(消石灰) 3,695,493円 防疫資材(消毒マット他) 236,575円 消毒所運営負担金 269,280円 計 4,201,348円 【鳥インフルエンザ対策】 鳥インフルエンザ予防のため、消毒等を行った。 (事業費内訳) 消毒作業委託、消耗品費 589,222円	天草への入り口などの消毒ポイントにおける消毒等を実施することにより、口蹄疫発生を未然に防止した。 天草への入り口などの消毒ポイントで消毒等を実施し、鳥インフルエンザの発生を未然に防止した。
133 ┆ 134	6 園芸振興費	果樹共済加入推進事業	4,563	一般財源 4,563	果樹農家が、自然災害(病虫害、獣害、気象災害)にあった時の経営安定を図ることを目的に行う果樹共済加入促進事業。 柑橘、栗生産農家が加入する果樹共済の掛け金の30%以内を補助する。 (事業費内訳) 補助金 4,562,800円	柑橘、栗生産農家が加入する果樹共済の掛け金の30%を助成したことで、果樹農家経営の安定を図ることが出来た。 ・対象面積 25,110a ・戸数 311戸

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
133 134	6 園芸振興費	園芸作物振興対策事業補助金	3,088	一般財源 3,088	野菜花き振興を目的に行う新規作物導入事業、環境保全型農業及び新技術導入で、J A、生産者組織、個人が行う野菜の種苗代(南瓜、ニンニク、枇杷、緑竹)や資材代(天敵昆虫、Pプラス)に対する補助を行う。 (事業費内訳) 補助率30%以内 補助金 3,088,000円	天草地域の気候を活かした南瓜、ニンニク、枇杷、緑竹栽培事業を推進することで、農地集約と特産化が期待できる。 また、環境に配慮した農法の資材代に助成することで、病害虫被害を減少させ、安心・安全な野菜の安定生産ができた。かんきつ類に鮮度保持袋(Pプラス)を導入し販路拡大を図った。
		果樹優良品種系統更新事業	272	一般財源 272	果樹の不良系統の品種・高樹齢を優良系統品種及び天草奨励品種に更新することで、果樹農家の経営安定と所得向上を図る改植事業(国、基金、県事業で対象外分)。 補助率10a当り54千円 (事業費内訳) 補助金 272,000円	消費者のニーズが多様化する中、天草特産果樹に改植することで、個性的な果樹産地ができ有利販売が可能となり、農家の経営安定が図られた。 J Aあまくさ=5戸、5,072㎡
		果樹園芸単県事業補助金	7,578	県支出金 5,139 一般財源 2,439	【くまもと稼げる園芸産地育成対策事業】 主要品目について産地間競争に打ち勝ち、園芸施設の維持発展を図るための施設・機械等に対する助成事業 補助率45%以内(県30%、市15%) (事業費内訳) 補助金 ・樹木粉碎機 2,219,000円 ・スピードスプレーヤー 3,638,000円 ・静電散布装置 236,000円 ・熱線遮断フィルム 324,000円 計 6,417,000円	樹木粉碎機、スピードスプレーヤーでは、省力化、コスト低減を図ることで農家経営の安定を図った。 また、静電散布装置・熱線遮断フィルムでは、適期に防除・葉面散布を実施すること等で品質向上を図り、農家経営の安定を図った。 J A天草園芸部会他4団体
				【地域特産物産地づくり支援対策事業】 特産地づくりに対する助成事業。 (事業費内訳) 補助率48%以内(県1/3、市15%) 補助金 1,161,000円 ・溝掘機、収穫機、マルチ張機	たばこ耕作において、溝掘機導入により排水対策が改善され、また、収穫機、マルチ張機の導入により労力の軽減が図られた。 栖本町古江葉たばこ生産組合	

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
133 ↳ 134	6 園芸振興費	園芸施設共済緊急対策事業 補助金	1,593	一般財源 1,593	<p>燃油、資材高騰の緊急対策として、園芸施設共済事業の加入者を増やし、施設園芸の経営の安定を図るために緊急的に共済掛け金の30%以内を補助する。</p> <p>補助対象期間は3年間とする。(H21～H23)</p> <p>(事業費内訳) 補助金 1,592,500円</p>	<p>施設園芸共済掛金の30%を助成したことで、園芸施設農家経営の安定を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象面積=432,589㎡ 戸数=201戸
		園芸施設整備事業費補助金	4,976	一般財源 4,976	<p>園芸生産基盤に係る施設整備事業(かんがい対策事業、園内作業道整備事業、気象災害等防止施設整備事業、ハウス設置、栽培高度化施設整備事業)</p> <p>補助率30%以内</p> <p>(事業費内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 貯水槽用資材費 9件 1,075,000円 作業道舗装原材料費 8件 2,184,000円 ハウス設置費 2件 1,107,000円 遮光ネット 3件 102,000円 防鳥施設 3件 508,000円 <p>計 4,976,000円</p>	<p>かんがい対策による貯水槽設置は、依然傾斜地や水の確保が困難な場所が存在することや、生産が拡大したデコポンでは灌水施設が不可欠であり、貯水槽設置に助成することで生産者の水源確保と高品質果実生産ができた。</p> <p>園内作業道舗装は、傾斜地が多く園内作業道の舗装等も未整備があり運搬作業等で支障があるが、助成により農作業の環境整備が整い、作業効率が改善できた。</p> <p>ハウス設置は、露地果樹に屋根かけハウスを設置することにより、効率的且つ安全的な品質、収量を確保し農業経営の安定を図った。</p> <p>遮光ネットを張り、日焼け果を防ぎ、高品質果実の生産を図った。</p> <p>ネルコートを被覆し、野鳥による被害を防止した。</p>
		リースハウス経営安定対策 事業補助金	6,927	一般財源 6,927	<p>リースハウス事業で設置したハウス施設の経営安定を図るため、リース料の10%以内を支払い開始から3年間助成する事業である。</p> <p>天草市管内 129戸対象</p> <p>(事業費内訳) 補助金 6,927,000円</p>	<p>リースハウス事業で設置した農家も燃油高騰等により、施設園芸の経費負担が増大しており、その経費節減を図り効率的な施設園芸に取り組むことができた。</p>

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
133 ┆ 134	6 園芸振興費	省エネルギー設備導入事業 補助金	957	一般財源 957	燃油高騰による施設園芸農家の経費節減のための 緊急対策として、省エネルギー機器や資材の導入に 対し、事業費の30%以内を助成し、農家経営の安定 を図る。 循環扇設置2戸・熱エコフィン設置5戸 (事業費内訳) 補助金 957,000円	加温ハウス内の省エネルギー機器として、循環扇 や熱エコフィンを設置することにより、暖房器具に よる加温効率が上がり温度むらがなくなり、暖房費 の節約で経費の節減が図られた。
		葉たばこ生産組織育成補助 金	475	一般財源 475	葉たばこ耕作関係組織の育成及び生産組織の強化 を図るための補助 (事業費内訳) 補助金 475,000円	天草市葉たばこ振興会の生産振興に向けた、より 高度な技術・情報伝達を行い、魅力ある葉たばこの 産地基盤の強化と活性化が図られた。
		土壌改良研究組織育成補助 金	93	一般財源 93	天草地区土壌改良プロジェクト委員会の研究事業 である、地域の畜産排せつ物の優良堆肥化を行い、 農地還元による地域循環型農業の確立に向けた取組 みに対する助成 (事業費内訳) 補助金 93,000円	養豚糞尿の優良堆肥化に向けた取組みで、YM菌 を使った養豚糞尿堆肥化試験製造を実施し、耕種農 家が好んで施用できるような良質な堆肥の生産を 行った。
		果樹・園芸生産組織育成補 助金	760	一般財源 760	【熱帯果樹産地化支援事業】 新規に取り組む亜熱帯果樹研究会の育成を行い、 マンゴーやドラゴンフルーツの産地化を目指す活動 に対する補助 (事業費内訳) 補助金 160,000円 【天草緑竹生産組合育成事業】 新規に取り組む天草緑竹生産組合の育成を行い、 販売事業、販路拡大事業、栽培技術研修事業等に 対する補助。 (事業費内訳) 補助金 300,000円	新たに取り組む特産品である亜熱帯果樹のマン ゴーやドラゴンフルーツの生産者組織の育成や、栽 培方法の検討会等に対し助成を行うことで、天草ブ ランド化に向けた取り組みができた。 天草の地域の特性を生かした特産品である天草緑 竹の生産者組織の育成や、販路拡大事業等に対し助 成を行うことで、天草ブランド化に向けた取り組み ができた。

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
133 ↳ 134	6 園芸振興費	果樹・園芸生産組織育成補助金(つづき)			【天草大王ブランド確立推進協議会育成事業】 新規に取り組む天草大王ブランド確立推進協議会の育成を行い、販売事業、販路拡大事業、飼育技術研修事業等に対する補助 (事業費内訳) 補助金 300,000円	天草育ちの天草大王の生産者組織の育成や、販路拡大事業等に助成を行うことで、天草ブランド化に向けた取り組みができた。
134 ↳ 136	7 農地整備費	農業用施設維持管理事業	10,167	一般財源 10,167	○委託費 ・上島中央広域農道管理 950,250円 ・一定要件農道除草等 3,062,455円 ○工事請負費 ・下津浦地区大坪堰 改修(油圧ユニット取付工他) 3,988,082円 ・上島中央広域農道 凍結注意標識設置(18箇所) 1,491,000円 ・下浦地区排特水路 浚渫土量(V=430m ³) 675,625円 計 10,167,412円	市管理の農道及び用排水路等が、常時良好な状態に保てるように維持管理を行ったことで、施設の機能保全と安全の確保を図ることができた。
		農道整備事業 (きめ細かな臨時交付金)	15,915	国庫支出金 15,915	(平成21年度から繰越) ・上島中央広域農道 法面改良(モルタル吹付工A=2,000m ²) 14,975,013円 ・上島中央広域農道 農道舗装(L=60m) 940,153円 計 15,915,166円	上島中央広域農道の法面吹付け及び舗装の補修により、歩行者及び車輛の安全な通行を確保することができた。
		原材料支給事業	14,790	一般財源 14,790	農業用施設の維持管理に必要な材料の支給制度 (支給要件) 受益面積 概ね 20a以上 受益戸数 2戸以上 支給額 50万円以下 支給件数 52件 (事業費内訳) 支給原材料費 14,550,500円 施設管理原材料費 239,809円 計 14,790,309円	農業用施設の維持管理に必要な生コンクリート、用排水トラフ等の原材料を支給することで、受益者の施設管理経費の削減並びに施設の適正管理保全が図られた。

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
134 ↳ 136	7 農地整備費	県営ほ場整備事業換地業務	10,282	県支出金 10,282	<ul style="list-style-type: none"> 県営畑地帯総合整備事業（御領南地区） 換地設計業務委託料 1,242,874円 換地委員報償費 123,060円 県営経営体育成基盤整備事業（楠浦地区） 換地設計業務委託料 2,575,358円 換地委員報償費 264,300円 中山間地域総合整備事業（羊角湾周辺2期地区） 換地設計業務委託料 5,764,500円 換地委員報償費 311,738円 <p style="text-align: right;">計 10,281,830円</p>	<p>県営ほ場整備事業に伴う換地設計業務委託であるが、換地業務については、熊本県から天草市が委託を受け事業主体となり、熊本県土地改良事業団体連合会へ再委託する。</p> <p>なお、換地業務に携わる換地委員の報償費についても、県委託金より支出している。</p>
		土地改良施設整備事業補助金	8,634	一般財源 8,634	<p>農業用施設等の維持管理並びに施設整備事業等に対する補助</p> <p>(補助要件)</p> <p>①農道・用排水路等の整備（受益者2戸以上、受益面積20a以上） ②基盤整備（ほ場整備等の面整備）受益面積10a以上 ③農地等災害復旧事業（補助事業の対象とならない小規模な災害復旧）</p> <p>支給額：事業費（20万円以上）の50%以内かつ100万円以内</p> <p>平成22年度実績 20件</p> <p>(事業費内訳) 補助金 8,634,000円</p>	<p>補助事業で実施できない小規模な土地改良事業に対して、事業費の一部を補助することにより、農業用施設の適正な維持管理や保全並びに、受益者の負担軽減が図られた。</p>

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
134 ＼ 136	7 農地整備費	農地・水農村環境保全向上 活動支援事業	15,902	県支出金 398 一般財源 15,504	地域活動組織による農地・農業用施設・農村環境 を保全する活動を支援する補助 (事業の内容) ・保全活動を実施した団体 10aあたり4,400円を補助 ・環境に配慮した営農取り組み 10aあたり3,000円～40,000円を補助 補助内訳：国50%、県25%、市25% (平成22年度実績) 活動組織：39組織 活動面積：1,101ha (事業費内訳) 需用費 240,656円 負担金 15,660,940円 計 15,901,596円	地域の農地・農業用水等の資源を適切に管理し、 施設の長寿命化や農村環境の保全に資する取組みを 実施する活動組織へ補助することにより、集落機能 の活性化が図られた。
		県営農業農村整備事業負担 金	87,557	その他 4,893 一般財源 82,664	(県事業負担金) ・県営中山間地域総合整備事業 H17～H24 羊角湾周辺2期地区他 H22年度事業費 107,200千円 負担金(負担率15～25%) 16,299,490円 ・県営かんがい排水事業 H18～H24 楠浦地区 H22年度事業費 110,000千円 負担金(負担率25%) 27,500,000円 ・県営経営体育成基盤整備事業 H11～H23 楠浦地区 H22年度事業費 13,530千円 負担金(負担率10%) 1,353,000円	・農業基盤の整備により、支障となっている農業条 件等を改善し、効率的な営農並びに農作業の合理 化により農業経営の安定化が図られた。 ・老朽化した農業用施設(かんがい排水施設)の更 新により、楠浦地区約273haの農地への農業用水 の安定供給が図られた。 ・農業生産基盤並びに農業施設の整備により、農業 経営の合理化・安定化が図られた。

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
134 ↳ 136	7 農地整備費	県営農業農村整備事業負担金 (つづき)			<ul style="list-style-type: none"> ・ 県営畑地帯総合整備事業 H18～H25 五和御領南地区 H22年度事業費 36,000千円 負担金(負担率15～25%) 5,425,000円 ・ 県営海岸保全施設整備事業 H15～H25 河浦地区(路木海岸) H22年度事業費 97,600千円 負担金(負担率5%) 4,880,000円 ・ 県営海岸堤防等老朽化対策緊急事業 H21～H25 河浦、新和、栖本地区 H22年度事業費 72,400千円 負担金(負担率5%) 3,620,000円 ・ 県営基幹水利ストックマネジメント事業 水利施設の機能診断 小島排水機場他8施設 H22年度事業費 22,040千円 負担金(負担率25%) 5,509,935円 ・ 国営羊角湾地区土地改良事業 H22年度分償還負担金 22,969,647円 <p style="text-align: right;">計 <u>87,557,072円</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 畑地の農業生産基盤整備及びかんがい施設の整備により、収益性の高い作物の導入と農地の高度利用が促進され、農業所得の向上により担い手を確保し、地域農業の活性化を図る。 ・ 農地海岸護岸の整備により、背後地の農地が、塩害・高潮等による被害防止効果が見込まれ、農業経営の安定化を図る。 ・ 老朽化が著しい海岸堤防等の施設を整備することにより、機能の強化及び回復を図り、人命や資産を防護する。 ・ 基幹的な農業水利施設の機能診断により、効果的な機能保全対策計画書を作成することができた。

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
134 ） 136	7 農地整備費	土地改良区補助金	35,963	一般財源 35,963	土地改良区の適正な管理運営を行なうための補助 (事業費内訳) 本渡土地改良区 12,526,759円 羊角湾土地改良区 364,000円 楠甫土地改良区 141,000円 教良木土地改良区 6,651,790円 小宮地新田土地改良区 3,123,137円 五和土地改良区 11,121,272円 河浦土地改良区 2,035,439円 計 35,963,397円	各土地改良区が、適正で円滑に運営を行うことができた。
		土地改良事業償還金補助金	172,101	一般財源 172,101	土地改良事業に係る公庫資金借入金及び借入利息 に対する補助 (事業費内訳) 楠甫土地改良区 25,117,597円 教良木土地改良区 385,366円 小宮地土地改良区 5,175,512円 五和土地改良区 141,422,740円 計 172,101,215円	土地改良事業の償還金補助により、各土地改良区 の負担軽減が図られた。
		排水機場施設整備費補助金	24,000	県支出金 12,000 一般財源 12,000	河浦釜排水機場排水ポンプ改修事業補助 事業内容：排水ポンプ1基 事業費：24,000,000円 補助対象：河浦土地改良区 補助金 24,000,000円	平成4年度に完成した釜排水機場は、経年による 施設の老朽化によりポンプ1基が故障し、排水機能 低下による流域の浸水被害が懸念されていたが、施 設改修により、年々増加しているゲリラ豪雨などの 発生時においても、正常に排水機能を果たすことが でき、安心して営農活動及び日常生活を送ることが できることとなった。

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
136 ） 137	8 農業施設管理費	農業公園等整備事業 (きめ細かな臨時交付金)	20,000	国庫支出金 20,000	<p>修繕料 指定管理施設(天草ブルーガーデン)修理 内容:玄関外部天井、床クロス張替他 958,595円</p> <p>測量設計 お万ヶ池水辺等修景施設測量設計業務委託 483,000円</p> <p>施設整備工事 お万ヶ池水辺等修景施設整備工事 内容:築堤工(カゴマット)271m・丸太安全防 護柵・舗装工229㎡・湧水処理施設工98m・排水 施設工64.5m・木橋施設工1式 18,047,809円</p> <p>福連木子守唄外灯新設工事 510,300円</p> <p>計 19,999,704円</p>	<p>天草ブルーガーデンは施設の修繕工事を実施した ことで利用客の安全性が図られ安全で衛生的な施設 になった。</p> <p>お万ヶ池公園は、地盤沈下などにより周回道路の 破損や排水機能が低下し、安全防護柵も老朽化して いた。周回道路の舗装工事及び補修工事を実施し、 道路面を良好な状態に維持保全することにより、通 行の安全確保が図られた。</p> <p>福連木子守唄公園内には、キャンプ等で7月～8 月にかけて多くの客が訪れるが、施設内の橋梁は足 元が暗く、危険であったため、外灯を設置し、安全 性の向上を図った。</p>
		土地改良施設維持管理適正 化事業	2,612	その他 495 一般財源 2,117	<p>土地改良施設維持管理適正化事業拠出金 適正化事業特別賦課金 下津浦地区大坪堰改修分 990,000円 梅津地区転倒堰改修分 237,600円 小宮地排水機場改修分 580,800円</p> <p>小宮地新田土地改良区活動費補助金 177,000円</p> <p>五和町土地改良施設整備事業補助金 627,000円</p> <p>計 2,612,400円</p>	<p>老朽化した堰や排水機場等の改修により、農耕へ の供給が十分できることとなった。</p> <p>また、土地改良区への活動や施設整備に係る補助 により、円滑に事業運営でき、土地改良区の負担軽 減にも繋がった。</p>

(5) 農林水産業費

(1) 農業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
137 ） 138	10 オリーブ振興費	オリーブの島づくり支援事業	23,438	地方債 23,400 一般財源 38	<p>・オリーブ栽培を行う事業、オリーブを使用した商品開発等を実施する事業にかかる経費を補助する。補助額は補助対象事業費の1/2以内とし、1年度あたり1事業者に係る補助金の上限は10,000千円。ただし、オリーブ栽培事業のみを行う場合の上限は10aにつき10万円。</p> <p>・天草型オリーブ栽培技術の確立、加工品の開発・販路拡大支援、オリーブの普及啓発活動を行う天草市オリーブ振興協議会に対し、活動費を補助する。</p> <p>オリーブ栽培事業補助金 申請件数：20件 オリーブ植樹本数：1,660本 1,668,000円</p> <p>オリーブ産業振興事業補助金 申請件数：3件 15,130,000円</p> <p>天草市オリーブ振興協議会補助金 5,000,000円</p> <p>その他 旅費 314,400円 消耗品費 1,162,492円 燃料費 2,841円 印刷製本費 62,370円 郵便料 71,915円 車両借上料 26,145円 計 23,438,163円</p>	<p>・オリーブ栽培に取り組む者を増加させることができ、さらなる栽培普及に弾みがついた。また、搾油機1機、加工所1件が整備されたほか、オリーブ商品も5件開発することができた。</p> <p>・天草市オリーブ振興協議会で栽培研究等を行い、オリーブ栽培の手引き、栽培ごよみ、栽培基準等を策定することができ、さらなる普及に弾みがついた。</p>
		オリーブの島づくり推進事業 (緊急雇用創出交付金)	2,744	県支出金 2,744	<p>オリーブ栽培指導員、耕作放棄地およびオリーブ栽培適地調査員、事務補助員を雇用し、オリーブの島づくりを推進する。 (事業費内訳) 社会保険料 382,387円 賃金 2,361,526円 計 2,743,913円</p>	<p>オリーブ栽培の専門的知識を有する者を雇用することができ、栽培希望者等への的確な指導等が行えた。また、耕作放棄地とオリーブ栽培適地を同時に調査。企業等の問い合わせに対し紹介を行った。</p>

(5) 農林水産業費

(2) 林業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
138 ↳ 139	2 林業振興費	市有林流域育成林整備事業	34,860	県支出金 31,703 一般財源 3,156	(事業内容) 搬出間伐 61.47ha 間伐切捨 51.02ha 保育抜切 11.74ha 下刈 2.00ha 集材路 3,320m (事業費内訳) 委託料 34,859,281円	牛深、栖本、天草地区の市有林において、間伐、下刈等の造林事業を適切に実施することで、水源涵養等の森林の有する公益的機能の発揮が図られた。
		森林整備地域活動支援交付金事業	45,329	県支出金 34,871 一般財源 10,458	(事業内容) ・ 施策実施区域の明確化作業、歩道の整備等 (補助率 国1/2 県1/4) 交付対象面積 8,365.85ha 森林組合分 7,036.00ha 林業公社分 1,329.85ha ・ 境界の明確化 (補助率 国100%) 交付対象面積 175ha (事業費内訳) 補助金 45,329,250円	森林所有者等が行う森林施策実施に不可欠な森林の現況調査・歩道の整備等々の森林整備活動を支援した結果、計画的かつ一体的な森林施策が実施でき、森林の荒廃防止を図ることができた。
		単県森林病虫害防除事業	236	県支出金 118 一般財源 118	(事業内容) 地上散布3.07ha 五和町、天草町 (事業費内訳) 委託料 236,250円	森林病虫害等による森林被害を未然に防止するため、被害の原因となる病虫害等を早期に、かつ的確に駆除予防した。
		森を育てる間伐材利用推進事業	14,828	県支出金 7,414 一般財源 7,414	(事業内容) 間伐実績面積 309.89ha 材積 3,370m ³ (事業費内訳) 補助金 14,828,000円	木材価格の長期低迷等から、森林管理上不可欠な間伐の手遅れ林分が増加しており、本事業により間伐を必要とする森林の間伐を推進し、間伐材生産流通経費の一部を助成することで森林の適正管理及び素材の安定供給が図られた。
		緑の産業再生プロジェクト促進事業	14,417	県支出金 12,749 一般財源 1,668	(事業内容) 高性能林業機械の導入 ・ グラブール付きバックホウ 2台 ・ フォワーダ 1台 (事業費内訳) 補助金 14,417,000円	集团的施策及び高密度路網による施策を実施するにあたり、高性能林業機械を導入することで、集材・搬出の作業システムの構築でバランスの取れた高効率な施策の推進が図られた。

(5) 農林水産業費

(2) 林業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
138 ↳ 139	2 林業振興費	流域育成林整備事業補助金	56,258	一般財源 56,258	(事業内容) 再造林 0.31ha 下刈 1.29ha 間伐(切捨) 0.71ha 抜き切り(切捨集積) 139.48ha 間伐(搬出) 179.85ha 間伐(切捨集積) 106.10ha 枝打 5.54ha 抜き切り 268.41ha 作業道 3,230m 集材路 74,481m (事業費内訳) 補助金 56,258,000円	民有林において下刈・除伐・間伐等の造林事業を行うことにより、森林資源造林保全、水源の涵養等が適切に管理することができ、森林が本来有する多面的機能を高度に発揮することが図られた。
		有害鳥獣捕獲対策事業	70,489	県支出金 614 一般財源 69,875	イノシシ捕獲頭数 5,771頭 カラス捕獲数 1,702羽 電気防護柵設置申請件数 731件 狩猟免許取得申請件数 2件 (事業費内訳) 報償費 48,084,000円 需用費 399,237円 役務費 48,000円 電気防護柵設置補助金 21,938,000円 狩猟免許取得補助金 20,000円 計 70,489,237円	多発するイノシシ等の被害対策として、天草市有害鳥獣捕獲対策協議会を中心とした捕獲事業及び新規狩猟免許取得への助成、防除対策事業(電気防護柵等設置)への助成を行うことにより、イノシシ5,771頭及びカラス1,702羽もの成果があり、住民生活の安全が守られるとともに、農作物被害から農家を保護し、農林業生産意欲の向上が図られた。
		飛砂防備保安林松植栽事業	714	一般財源 714	(事業内容) スーパー松の植栽 200本 (事業費内訳) 委託料 714,000円	飛砂防備林内の保安林において、松くい虫による松枯れが発生し、森林機能が低下していたため、スーパー松の植栽工事を施工し、従来の森林機能を回復させた。
		緑の少年団育成事業補助金	384	一般財源 384	8団体(本町・志柿町・金焼小・御所浦小 大河内・新和中・五和町・福連木) 1団体あたり48,000円補助 (事業費内訳) 補助金 384,000円	緑の街頭募金、地域の福祉事業や森の交流集会等に参加することにより、自然の大切さを学びながら身近で親しみのもてる森林をとりまく自然環境等への関心が高まり、森林に関する認識や理解を深めることで緑の少年団育成ができた。

(5) 農林水産業費

(2) 林業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
138 ＼ 139	2 林業振興費	有害鳥獣捕獲対策協議会補助金	1,415	その他 1,037 一般財源 378	(事業内容) 有害鳥獣(イノシシ、カラス)による被害対策として、捕獲活動を行う。 (事業費内訳) 補助金 1,415,000円	有害鳥獣捕獲のため、破損したイノシシ用捕獲機器の修繕のための部品の購入、カラス捕獲のための装弾の実費支給等により、有害鳥獣捕獲を推進し、捕獲隊員の捕獲意欲の向上が図られた。
139 ＼ 140	3 治山費	単県治山事業	18,583	県支出金 12,340 その他 3,085 一般財源 3,158	屋形ノ尾地区(栖本町) 補助率2/3 法面保護工 A=290.7m ² 工事費 2,806,662円 冬暮地区(久玉町) 補助率2/3 法面保護工 A=1406.0m ² 工事費 11,351,156円 上河原地区(牛深町) 補助率2/3 土留工 V=12.7m ³ 落石防護柵工 L=12.0m 法面保護工 114.1m ² 工事費 1,921,500円 知連ノ迫地区(新和町) 補助率2/3 土留工 V=19.3m ³ 法面保護工 A=44.9m ² 水路工 L=14.0m 工事費 2,024,400円 (事業費内訳) 需用費 402,009円 役務費 77,120円 工事請負費 18,103,718円 計 18,582,847円	本事業により、山腹崩壊危険区域に指定されている箇所予防治山工事を施工することにより、地域住民の災害に対する不安の解消と自然災害を未然に防止することができた。
140	4 林道費	今田地区普通林道開設事業	20,000	県支出金 12,480 地方債 7,400 一般財源 120	林道今田線開設工事 補助率65% 開設延長 L=197.03m 法面保護工 A=1,144.8m ² L型擁壁工 L=28.0m コンクリート擁壁工 L=12.5m (事業費内訳) 人件費 387,561円 需用費 16,972円	本事業において林道を開設することで、森林整備を促進し、間伐等の森林施業の効率化が図られた。

(5) 農林水産業費

(2) 林業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
140	4 林道費	今田地区普通林道開設事業 (つづき)			使用量及び賃借料 376,051円 土地建物借上料 19,051円 工事請負費 19,200,365円 計 20,000,000円	
		林道整備事業 (きめ細かな臨時交付金)	119,999	国庫支出金 119,999	(事業内容) 林道今田線測量設計委託 5,733,000円 林道今田線開設工事 開設延長 L=938.32m 107,894,885円 林道西河内線舗装工事 舗装延長 L=337.42m 6,371,533円 計 119,999,418円	林業生産基盤の向上と林業従事者の定住の促進及び山村地域の活性化を図るために、豊かな森林資源の活用、都市と山村の促進を図りつつ林道等の生産基盤の整備を行うことにより山村地域の生活環境基盤整備を総合的に行った。
		森林基幹道下天草東部線開設事業	22,211	一般財源 22,211	(事業内容) 林道下天草東部線開設事業に伴い用地測量を実施 (事業費内訳) 委託料 6,720,000円 土地購入費 15,490,666円 計 22,210,666円	林道開設に伴い、関係用地について測量設計及び用地取得を行うことにより、事業の円滑な推進が図られた。 測量面積 323,155.37㎡ 取得面積 53,022.59㎡
		林道整備原材料支給事業	2,969	一般財源 2,969	本渡地域3箇所・牛深地域1箇所・新和町1箇所・五和町1箇所・天草町3箇所・河浦町1箇所 原材料費 2,969,400円	林道・作業道の原材料支給を行い、車輛の通行に支障をきたしている路面を改修することにより、森林管理道路としての効用の向上を図った。

(5) 農林水産業費 (3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果	
141 ↳ 144	2 水産業振興費	久玉漁場並型魚礁設置事業	24,549	国庫支出金 12,274 県支出金 9,000 一般財源 3,275	【沿岸漁業整備開発事業（並型魚礁）】 補助率 国：30/60 県：20/60以上 (事業費内訳) 工事請負費 24,549,000円 並型魚礁製作・沈設 FP3.25型 59基	天草市久玉町地先海域は、長島海峡に位置し、マダイの他、アジ、イサキ等の回遊経路にあたり、これらを対象とした一本釣り漁業が盛んである。今回の魚礁設置により、生産性の高い漁場が拡大し、漁獲量の増大が図られ、牛深地区の一本釣り漁業者の経営安定と水産業振興に寄与した。	
		強い水産業づくり交付金事業		6,720	県支出金 2,470 一般財源 4,250	【二江地区つきいそ設置事業】 補助率 県：20/60以上 (事業費内訳) 工事請負費 6,720,000円 つきいそ設置 自然石投入1,320m3 (200kg内外)	五和町二江地先に海藻の着定基質となる自然石を投入し、特産物であるトサカの漁場拡大及び生産量増大を図り、水産業振興に寄与した。
		漁場関係漁村再生交付金事業			3,994	県支出金 2,396 一般財源 1,598	(間接補助) 補助率 国：6/10 【嵐口漁村再生交付金事業】 市水産研究センターで実施 (事業費内訳) カキ種苗生産試験費 491,656円 カキ養殖試験費 301,073円 海藻種苗生産試験費 151,346円 海藻栽培試験費 73,008円 漁場環境調査費 1,000,000円 流通販売対策費 480,610円 小計 2,497,693円 【横浦漁村再生交付金事業】 (事業費内訳) 藻場造成 499,540円

(5) 農林水産業費 (3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
141 ↳ 144	2 水産業振興費	漁場関係漁村再生交付金事業 (つづき)			【烏帽子漁村再生交付金事業】 地域創造型整備事業（ソフト事業） （事業費内訳） ヒラメ種苗放流 617,000円 イカ産卵施設投入 379,556円 小計 996,556円 合計 3,993,789円	【烏帽子漁村再生交付金事業】 ヒラメ種苗の放流及びアオリイカ産卵施設の投入を行い、水産資源の回復増大及び漁獲量の増大を図った。
		養殖共済加入促進緊急対策事業	749	県支出金 374 一般財源 375	【熊本県養殖共済加入促進緊急対策事業】 養殖共済掛金に対する国庫補助額の1/10相当額を補助する （直接補助）補助率 県：1/2 （事業費内訳） 補助金 748,887円	毎年のように発生する赤潮により、養殖業者は甚大な被害を受け不安定な経営を強いられている。このため、養殖業者の救済・防衛策として養殖共済への加入促進及び負担軽減を行い、経営安定に寄与した。
		水産資源保全事業	2,338	県支出金 1,620 一般財源 718	【熊本県水産資源回復・基盤整備事業】 （直接補助）補助率 県：1/2以上 （事業費内訳） 牛深地区オニヒトデ駆除 2,337,720円 作業業務委託	天草沿岸海域は、藻場の減少が著しく、近年の海水温上昇・魚による食害等が原因と考えられ、それに伴い魚の育つ環境も減少しているのが現状で深刻な課題を抱えている。また、牛深地域の西側には珊瑚礁の分布があり、藻場が減少する中、多様な生物が高い密度で生息できる場として認識されている。しかし、そのサンゴもオニヒトデによる被害が確認されている。そこで、今回の事業により2,000個体を駆除し環境保全を図った。
		水産資源回復・基盤整備事業（魚礁効果調査等データ管理システム整備事業補助金）	7,215	県支出金 7,215	【熊本県水産資源回復・基盤整備事業】 システム整備導入に係る経費に対する補助 （直接補助）補助率 県：定額 総事業費 20,992,650円 （事業費内訳） 魚礁効果調査等データ管理システム整備事業補助金 7,215,000円	天草漁協が情報一元化を図るため実施した牛深漁場における漁獲効果調査及び牛深漁港の港勢調査の集計作業等に資するデータ管理システム導入について、助成を行い負担軽減を図った。

(5) 農林水産業費 (3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
141 } 144	2 水産業振興費	御所浦地区カキ養殖試験事業	4,284	県支出金 4,284	【熊本県緊急雇用創出基金事業】 (直接補助) 補助率 県：100% (事業費内訳) 社会保険料 336,576円 臨時職員賃金 2,054,600円 消耗品費 485,174円 検査手数料 129,780円 製作委託料 963,705円 設置委託料 134,610円 船舶使用料 180,000円 計 4,284,445円	シカメガキの養殖試験について、熊本県と一体の取組みを行っている。今後、新しいブランド化・販路拡大に向け漁業者の期待もあり、有望な産業であることから、県の事業により雇用の創出ができ、種苗生産及び養殖事業に取り組んだ。また、カキの養殖技術が確立しつつあり、新規の漁業者の参入を推進することができた。
		崎津漁場木材魚礁設置事業	2,820	県支出金 1,500 一般財源 1,320	【熊本県水産資源回復・基盤整備事業】 (直接補助) 補助率 県：1/2以上 (事業費内訳) 工事請負費 2,820,079円 木材魚礁製作・沈設 木材魚礁34基	間伐材を使った魚礁は、フナクイムシの発生を促し、エサ場・成育場として蛸集効果があり漁場の生産性を向上させ、一本釣り漁業者の漁獲増に努めた。 また、間伐材の利用により林業の振興に寄与した。
		水産業共同利用施設整備事業補助金	4,666	県支出金 2,333 一般財源 2,333	【熊本県水産資源回復・基盤整備事業(水産業共同利用施設整備事業)】 施設整備に対し、事業費の2/3以内を補助する (直接補助) 補助率 県：1/3 総事業費 7,000,000円 事業主体 天草漁協 (事業費内訳) 水産業共同利用施設整備事業補助金 4,666,000円	天草漁協牛深総合支所所有の急速冷凍冷蔵施設の改修を行い、施設の長寿命化を行う事業に対し助成を行い、負担軽減を図った。
		養殖魚赤潮被害緊急対策事業	100,000	県支出金 50,000 一般財源 50,000	【養殖魚赤潮被害緊急対策事業】 中間魚購入経費に対する補助 (直接補助) 補助率 県：市が事業費の3/10以内を補助する場合に、その1/2以内 総事業費 448,987,834円 事業主体 熊本県海水養殖漁協	赤潮被害を受けた養殖漁業者の早期経営再建に向け養殖業者が必要とする種苗・中間魚(出荷前の2年魚・3年魚)を購入し、経営再建が図られた。

(5) 農林水産業費 (3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
141 5 144	2 水産業振興費	養殖魚赤潮被害緊急対策事業 (つづき)			(事業費内訳) 養殖魚赤潮被害緊急対策 100,000,000円 事業補助金 (上限1億円)	<ul style="list-style-type: none"> 対象養殖業者数 10業者 購入魚 ハマチ(2年魚)、シマアジ(2年魚) カンパチ(2年魚) 購入尾数 ハマチ(323,226尾) シマアジ(19,885尾) カンパチ(18,043尾) 合計361,154尾
		漁場環境保全対策補助金	1,000	一般財源 1,000	【単独補助事業】 環境保全活動に対し、事業費の1/2以内を補助する 事業主体 天草漁協 総事業費 2,008,500円 (事業費内訳) 補助金 有害生物駆除(ウミアザミ) 250,000円 有害生物駆除(ラッパウニ) 115,000円 海底耕うん用器具作成 455,000円 マコンブ種糸設置 180,000円 計 1,000,000円	漁協が実施する環境保全の活動に対し補助し、天草沿岸海域の環境保全に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> 有害生物駆除(五和町二江地先) ラッパウニ4t、ウミアザミ5t 海底耕うん用器具作成(御所浦地区、9基) 水質浄化用マコンブ種糸設置(御所浦地区)
		漁業近代化資金利子補給補助金	249	一般財源 249	【単独利子補給事業】 制度資金借入れに対する利子補給 (利子補給率 平均融資残高の1%以内) 利用資金の種類 漁船建造、機関据換 (事業費内訳) 補助金(天草地区 2件) 232,981円 補助金(有明地区 2件) 16,356円 計 249,337円	漁業経営の早期再建に資するため、漁業近代化資金を借り入れた漁業者に対し利子補給を行うことにより漁業者の負担軽減を行った。
		水産業廃棄物処理補助金	417	一般財源 417	【単独補助事業】 廃棄物処理経費に対し、1/3以内を補助する 事業主体 天草漁協 総事業費 1,255,084円 (事業費内訳) 補助金(河浦地区) 161,000円 補助金(天草地区) 256,000円 計 417,000円	漁業活動等により不用になった魚網、ロープ、廃油缶等を集積し、年1回の頻度で処理を行ったことで、不用物の不法放置を抑制し漁港の環境美化が図られた。 処分量：河浦地区 9m ³ 天草地区 24t

(5) 農林水産業費 (3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
141 } 144	2 水産業振興費	漁場調査委託料	480	一般財源 480	【単独事業】 (事業費内訳) 消耗品 39,850円 釣獲調査船代 75,000円 木材魚礁調査委託 241,500円 産卵施設調査 123,900円 計 480,250円	牛深漁場地先に過去に投入した木材魚礁の追跡調査(潜水)を実施し、定着生物や海藻等の付着状況や、魚類の蛸集状況を調査及び牛深・御所浦・二江漁場の釣果調査を行い事後評価の基礎資料とした。
		資源管理推進事業補助金	18,169	地方債 18,160 一般財源 9	【単独補助事業】 放流事業に対して事業費の3/5以内を補助する ・アカウニ放流 放流箇所：牛深、新和、崎津、五和町地先 放流尾数 311,500個 事業費 7,195,650円 補助金 4,316,000円 ・アワビ放流 放流箇所：牛深、新和、崎津、五和、 天草町地先 放流尾数 89,800個 事業費 5,778,675円 補助金 3,465,000円 ・イカ産卵施設投入 放流箇所：佐伊津、有明町地先 放流数 1,900個 事業費 415,390円 補助金 248,000円 ・カサゴ放流 放流箇所：五和、有明町地先 放流数 60,000尾 事業費 3,251,500円 補助金 1,890,000円	各漁協が単独で実施する種苗放流事業に対して助成を行った。各地先海域の主要魚種を直接放流するだけでなく、中間育成を行い、食害防止と自然環境に順応した種苗を育成し、資源管理型漁業に対する漁業者の意識改革を図りながら、漁獲増による漁業経営の安定を図った。

(5) 農林水産業費

(3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
141 ↳ 144	2 水産業振興費	資源管理推進事業補助金 (つづき)			<ul style="list-style-type: none"> ・ガザミ放流 (4mm) 放流箇所：志柿町・崎津地先 放流数 200,000尾 事業費 525,000円 補助金 314,000円 ・クルマエビ放流 (90mm) 放流箇所：五和、栖本、御所浦地先 放流数 280,000尾 事業費 (対象事業費) 2,054,800円 補助金 1,197,000円 ・タコソボ投入 投入箇所：牛深、本渡、佐伊津、新和、五和、 有明町地先 投入数 24,475個 事業費 7,391,025円 補助金 4,433,000円 ・アサリ貝放流 放流箇所：宮野河内地先 放流数 650 k g 事業費 330,000円 補助金 180,000円 ・イサキ放流 (60mm) 放流箇所：牛深町 放流数 74,500尾 事業費 1,653,750円 補助金 992,000円 	

(5) 農林水産業費 (3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
141 } 144	2 水産業振興費	資源管理推進事業補助金 (つづき)			<ul style="list-style-type: none"> ・クエ放流 事業内容：中間育成施設整備のみ実施 事業費 266,400円 補助金 159,000円 ・トラフグ放流(種苗無料) 放流箇所：佐伊津、深海、五和地先 放流数 49,014尾 事業費 393,000円 補助金 235,000円 ・ヒラメ放流(50mm) 放流箇所：有明町地先 放流数 12,000尾 事業費 604,800円 補助金 362,000円 ・マコガレイ放流(30mm) 放流箇所：五和町御領 放流数 10,000尾 事業費 630,000円 補助金 378,000円 <p style="text-align: right;">補助金計 18,169,000円</p>	
		栽培漁業地域展開事業補助金	14,340	地方債 14,340	<p>【単独補助事業】 栽培漁業地域展開事業に係る漁協負担金の3/5以内を補助する (マダイ部会) 放流尾数 1,405,000尾 補助金 9,077,000円</p>	マダイ、ヒラメの稚魚を中間育成し、より自然環境に慣らした状態で天草市地先海域に放流し、漁獲量の減少に歯止めをかけて、資源の増大を図った。 放流の必要性について、漁業者の意見を聴取したところ、放流魚の漁獲が目立っており、資源を維持する上で放流の必要性を強く望まれている傾向が伺える。

(5) 農林水産業費 (3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
141 } 144	2 水産業振興費	栽培漁業地域展開事業補助金 (つづき)			(ヒラメ部会) 放流尾数 343,200尾 補助金 4,953,000円 (ガザミ部会) 放流尾数 199,700尾 補助金 310,000円 補助金計 14,340,000円	
		くまもと四季のさかな流通 支援事業	962	一般財源 962	【単独補助事業】 漁協が実施する販路拡大等の事業に対する補助 事業主体：天草漁協 総事業費 7,940,942円 (事業費内訳) 補助金 962,000円	販路拡大、取扱量の増大を図るため、大手量販 店、大手市場との商談会をとおして試験出荷を行 い、年々、出荷量は増加しており成果が見られる。 また、ホームページによるネット販売、カタログ 販売をとおして、販路拡大に努めた。 H22年新規取引先：コープ生協学校生協・九電工 弁当のヒライ・生協水光社
		赤潮対策事業	87,832	県支出金 4,205 一般財源 83,627	【預託事業】 預託機関：市内金融機関 (事業費内訳) 預託金 75,000,000円 【赤潮対策利子補給等事業】 (事業費内訳) 赤潮被害対策短期資金利 子補給等補助金 479,506円 赤潮対策漁業近代化資金 等利子補給補助金 531,825円 計 1,011,331円	【預託・利子補給事業】 赤潮で被害を受けた養殖業者に対して利子補給を 行い漁業者の負担を軽減した。また、市中金融機関 との協調融資により短期資金の貸付、併せて利子補 給等により被害漁業者の経営支援を行った。 【へい死魚処理費用】 赤潮で被害を受けた、養殖業者のへい死した養殖 魚を集積し、一時仮置き場へ運搬を行い、費用を負 担して事態の收拾を図り、養殖業者の費用の軽減を 図り漁家経営の安定を図った。

(5) 農林水産業費 (3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
141 } 2 144	水産業振興費	赤潮対策事業 (つづき)			【赤潮対策へい死魚処理費用】 (事業費内訳) 薬剤費外 1,124,191円 燃料代 82,965円 運送料 33,200円 中間処理業務委託 8,676,091円 重機借上げ料 1,137,451円 備品購入費 766,500円 計 11,820,398円 合計 87,831,729円	
		マグロ稚魚(ヨコワ)採取 試験操業事業	4,000	一般財源 4,000	【マグロ稚魚(ヨコワ)採取試験操業事業】 (事業費内訳) 委託料 4,000,000円 委託先：天草漁協 操業日数：延べ161日(H22.6.15～H22.8.31) 採取尾数(合格)：83尾(採取実数136)	天草にクロマグロ養殖が定着し、新しい漁業の創出に向け、ヨコワの採取試験操業を2年続け実施した。結果、ひき縄釣りの方法、漁場調査にあたっては、漁獲の面で漁業としての創出に不安が見られ、今後、天草の養殖業に繋げるには経費面での問題が多いことがわかった。事業に参加した漁業者の中には、今後の操業意欲が見られ経過を見守りたい。
		水産資源回復・基盤整備事業 (中間育成施設設置補助金)	2,891	県支出金 2,200 一般財源 691	【県水産資源回復・基盤整備事業】 中間育成施設設置に係る経費に対し、4/5以内を補助する (直接補助) 補助率 県：定額 事業主体：天草漁協 総事業費：3,614,248円 (事業費内訳) 補助金 2,891,000円	漁協が行う放流事業において、種苗の放流効果を高めるために中間育成を行う施設を設置するのに要する費用の補助を行う事によって、負担の軽減を行った。
		県営漁港機能高度化事業	335	一般財源 335	事業主体：熊本県 事業名：漁村再生交付金事業(嵐口) 総事業費：6,698,347円 (事業費内訳) 負担金 334,917円 総事業費の5%を負担する	熊本県が行う天草市内の養殖場設置のために県が設置した浮き消波堤の補修工事に伴う天草市の負担金を支出し市内養殖漁業者の経営安定を図った。

(5) 農林水産業費 (3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
141 ） 144	2 水産業振興費	漁業関係団体育成補助金	651	一般財源 651	【単独補助事業】 新規活動に対する補助（事業費の1/2以内、上限300千円） 事業主体：水産業各種団体 総事業費：1,307,111円 （事業費内訳） 補助金 651,000円 ミヅ産卵用柴投入（天草漁協牛深青壮年部） 海底耕耘（天草漁協五和青壮年部） ヒジキ研修（天草漁協崎津ヒジキ生産組合） 全国大会（天草漁協崎津ヒオウギ組合） 漁業士会全国連絡会（天草漁業士会）	水産業活動の新しい取り組みとして、天草漁協牛深総合支所のミズイカ産卵用柴投入、五和青壮年部が海底の耕耘作業で海底の清掃、崎津ヒジキ生産組合のヒジキ養殖研修、崎津ヒオウギ組合の全国大会発表、天草区漁業士会から全国青年・女性漁業者交流大会等の研修に出席した。さまざまな水産業の推進を図りながら技術を習得することが出来、意識高揚が図られた。
		団体負担金	1,875	一般財源 1,875	（事業費内訳） 負担金 JF天草水産振興協議会 70,000円 熊本県魚食普及推進協議会 50,000円 熊本県栽培漁業地域展開協議会負担金 1,735,100円 全国市町村水産業振興対策協議会 20,000円 計 1,875,100円	各団体の事業負担金を支給し、天草の漁業者の漁獲向上並びに漁家経営の安定を図った。
		熊本県無線漁業協同組合運営補助金	980	一般財源 980	【単独補助事業】 無線組合に対する運営補助（加入隻数60隻に140千円補助） 加入隻数：392隻 （事業費内訳） 補助金 980,000円	県下全域を網羅する総合的な漁業無線通信システムの運営に対し補助することで、漁業者の安全操業、航行の安全、更には、情報の共有化が図られた。

(5) 農林水産業費 (3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
141 ↳ 144	2 水産業振興費	強い水産業づくり交付金事業 (本渡水産物荷さばき施設) (公共投資臨時交付金)	399,959	国庫支出金 200,000 県支出金 192,347 一般財源 7,612	【交付金事業】 (平成21年度からの繰越) (間接補助) 補助率 国：1/2 (事業費内訳) 設計委託料 8,085,000円 監理委託料 3,654,000円 新築工事費 217,405,837円 新築機械設備工事費 128,625,000円 新築電気設備工事 26,565,000円 外構工事 9,660,000円 井戸設備工事 5,355,000円 消耗品費 41,409円 手数料 355,000円 補償費 212,364円 計 399,958,610円	本渡卸売市場(水産物荷捌き施設)は築後44年を経過しており、老朽化のため、安全性や衛生管理面で早急な対応が必要となったため、天草漁協より強い水産業づくり交付金及び地域活性化・公共投資臨時交付金を活用した施設整備の要望があった。そこで今回、衛生管理型水産物荷さばき施設を新たに整備することにより、漁獲物の安全性を確保し、漁価の上昇、新規買受人の参入を促し、漁業者の所得安定及び漁家経営の向上を図った。
		漁村センター整備事業 (きめ細かな臨時交付金)	9,608	国庫支出金 9,608	【交付金事業】 (平成21年度からの繰越) (間接補助) 補助率 国：1/2 (事業費内訳) 修繕料 493,657円 委託料 420,000円 工事請負費 8,694,000円 計 9,607,657円	五和漁村センターは建設から33年が経過し、老朽化のため雨漏り等がある、また高齢者に使いやすい施設の要望等もあり、使い勝手の悪かった調理室を重点的に各不良箇所の改修を行い利便性を向上させ、地域の活性化を図った。また、倉岳の漁村センターにおいても、雨漏りがあり、施設の修繕を行い利用者の不便を解消した。

(5) 農林水産業費 (3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
144 3 145	漁港管理費	漁港維持管理補修事業市管理漁港	14,238	県支出金 5,435 一般財源 8,803	(事業費内容) ・大浦元浦漁港元浦1号用地水路補修工事 632,403円 ・深海漁港物揚場階段補修工事 889,350円 ・船津漁港用地整備第二工事 3,087,000円 ・深海漁港護岸撤去工事 813,750円 ・深海漁港施設(簡易標識)設置工事 1,123,500円 ・茂串漁港施設(車止)整備工事 3,139,500円 ・横浦地区排水路補修工事 336,000円 ・牧島漁港消波施設整備工事 2,131,500円 ・横浦漁港4号防波堤梯子設置工事 336,000円 ・牛深漁港宮崎地区水路階段設置工事 294,000円 ・楠甫漁港用地整備工事 1,129,964円 ・崎津漁港漁港灯新設及び修繕工事 325,290円 計 14,238,257円	市管理漁港の補修及び小規模な施設改良を下記のとおり実施し、施設の安全性・利便性の向上が図られた。 ・水路工 1式、根固工 1式 ・物揚場補修 1式 ・舗装 A=1,680㎡ 防護柵取替 L=33m ・護岸撤去 L=36m ・車止設置 L=155.8m ・水路工 1式、集水柵改良 1式 ・簡易標識灯 2基 ・消波工 L=19.7m ・ステンレス製梯子製作設置 1式 ・水路階段(ステップ)設置 4箇所 ・舗装 A=1,215㎡ ・漁港灯新設・修繕 1式
		単独漁港管理事業	3,016	一般財源 3,016	(事業費内容) ・二本木漁港 199,500円 ・立漁港 189,000円 ・深海漁港 1,847,895円 ・砂月漁港 780,066円 計 3,016,461円	新たに生じた土地(公有水面埋立)の表示登記及び分筆登記を実施した。 ・二本木漁港 3,466㎡ ・立漁港 2,710.7㎡ ・深海漁港 14,327.37㎡ ・砂月漁港 1,823.07㎡

(5) 農林水産業費 (3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
145 ↳ 146	4 漁港建設費	御領漁港漁村再生交付金事業	32,047	県支出金 15,083 地方債 16,900 一般財源 64	漁村再生交付金事業 補助率 国1/2 (県を通じて間接補助) (事業費内訳) ・工事請負費 30,167,147円 用地護岸L=58.35m 臨港道路L=180.6m 用地舗装A=2,032㎡ (補助対象事業費) ・事務費〈人件費含む〉 1,880,000円 計 32,047,147円	漁船の充足率確保のため、係留施設の新設や既存の施設を安全で利用しやすい施設として整備する。 22年度は臨港道路及び用地舗装の工事を行い事業完了を図った。 事業期間 平成18年度～平成22年度 総事業費 170,000千円 全体計画 -2m物揚場L=30m 取付護岸L=47m 用地護岸L=61m 浮体式係船岸L=52m 臨港道路L=187m -2m泊地A=20,000㎡ 用地A=3,882㎡
		烏帽子漁港漁村再生交付金事業	49,445	県支出金 28,126 地方債 21,300 一般財源 19	漁村再生交付金事業 補助率 国6/10 (県を通じての間接補助・離島) (事業費内訳) ・工事請負費 44,399,918円 江の口3号防波堤L=19.2m ・委託料 2,476,123円 調査測量設計委託 (補助対象事業費) ・事務費〈人件費含む〉 2,569,000円 計 49,445,041円	外郭施設をはじめとする漁港施設の整備を行うとともに集落道を改良し、漁港の就労環境と地区住民の生活環境の改善を図る。 事業期間 平成19年度～平成24年度 総事業費 345,000千円 全体計画 防波堤L=60m 消波ブロックL=60m 護岸改良L=70m 集落道改良L=1,000m 泊地浚渫等
		白戸漁港漁村再生交付金事業	98,628	県支出金 47,164 地方債 51,400 一般財源 64	漁村再生交付金事業 補助率 国1/2 (県を通じての間接補助) (事業費内訳) ・工事請負費 90,286,863円 3号防波堤L=108.8m ・委託料 4,042,500円 測量設計委託 (補助対象事業費) ・事務費〈人件費含む〉 4,299,000円 計 98,628,363円	養殖漁業の生産基地として既存漁港施設を拡大整備し、安全で快適な漁業活動の確保を図る。 事業期間 平成11年度～平成24年度 総事業費 1,208,000千円 全体計画 3号防波堤L=185m -2m物揚場L=60m -3m岸壁L=50m 臨港道路L=230m 用地5,720㎡等

(5) 農林水産業費

(3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
145 ↳ 146	4 漁港建設費	横浦漁港漁村再生交付金事業	164,997	県支出金 95,416 地方債 69,500 一般財源 81	漁村再生交付金事業 補助率 国6/10 (県を通じての間接補助・離島) (事業費内訳) ・工事請負費 144,494,158円 -2.0m物揚場L=6.5m 集落道L=55.2m 浮消波堤1函 ・委託料 14,532,387円 調査測量設計委託 (補助対象事業費) ・事務費〈人件費含む〉 5,970,000円 計 164,996,545円	既存の浮消波堤施設及び2号防波堤の有効利用と 港施設及び集落環境施設の整備を行い、安全で快適 な漁業地域の形成を図る。 事業期間 平成21年度～平成26年度 総事業費 850,000千円 全体計画 2号防波堤L=31m 突堤L=40m -2m物揚場L=25m 浮棧橋1式 浮体式係船岸L=120m 道路L=31m 用地A=1,331㎡ 集落道L=310.5m 浮消波堤改修1式
		風口漁場漁村再生交付金事業	9,839	県支出金 5,550 地方債 4,200 一般財源 89	漁村再生交付金事業 補助率 国6/10 (県を通じての間接補助・離島) (事業費内訳) ・工事請負費 9,249,213円 漁業集落排水施設L=353m (補助対象事業費) ・事務費〈人件費含む〉 590,000円 計 9,839,213円	緑地広場の整備及び集落排水施設の整備を行い、 安全で快適な漁業地域の形成を図る。 事業期間 平成21年度～平成23年度 総事業費 30,000千円 全体計画 緑地広場A=2,800㎡ 集落排水施設L=2,500m
		栖本漁港漁村再生交付金事業	6,283	県支出金 2,997 地方債 3,200 一般財源 86	漁村再生交付金事業 補助率 国1/2 (県を通じての間接補助) (事業費内訳) ・工事請負費 2,003,465円 防災安全施設(街灯)1基 ・委託料 3,990,000円 測量設計委託 (補助対象事業費) ・事務費〈人件費含む〉 290,000円 計 6,283,465円	漁獲物の陸揚げ作業等での漁業就労者の就労環境 と地区住民の生活環境の改善のため物揚場の整備等 を行い、地区漁業振興を図る。 事業期間 平成21年度～平成23年度 総事業費 190,000千円 全体計画 浮体式係船岸L=140m 街灯 5基

(5) 農林水産業費 (3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
145 146	4 漁港建設費	大浦元浦漁港地域水産物供給基盤整備事業	60,611	県支出金 46,113 地方債 14,400 一般財源 98	地域水産物供給基盤整備事業 補助率 国(外郭・水域8/10 係留6/10 機能5.5/10)(県を通じての間接補助・離島) (事業費内訳) ・工事請負費 57,641,336円 4号防波堤L=15.4m (補助対象事業費) ・事務費〈人件費含む〉 2,970,000円 計 60,611,336円	港内静穏度確保のため防波堤の整備と、漁業の効率性・利便性向上のため物揚場の整備等を行い、地区漁業振興を図る。 事業期間 平成13年度～平成22年度 総事業費 927,000千円 全体計画 4号防波堤L=50m、2・3号物揚場L=50m、4号物揚場L=138m、5号物揚場L=60m等
		御所浦地区水産基盤機能保全事業	7,992	県支出金 5,268 地方債 2,600 一般財源 54	水産基盤機能保全事業 補助率 国(外郭8/10 係留6/10 輸送・用地5.5/10)(県を通じての間接補助・離島) (事業費内訳) ・委託料 7,552,241円 機能保全計画策定委託(大浦元浦漁港) (補助対象事業費) ・事務費〈人件費含む〉 370,000円 計 7,922,241円	施設整備後の老朽化とともに、更新を必要とする施設が増加していることから、計画的な取り組みにより、施設の長寿命化を図りつつ更新コストの平準化を図る。 事業期間 平成22年度～平成26年度 総事業費 50,000千円 全体計画 大浦元浦漁港、烏帽子漁港、牧島漁港、長浦漁港、横浦漁港
		浅海漁港海岸保全施設整備事業	37,799	国庫支出金 18,899 一般財源 18,900	海岸保全事業 補助率 国1/2 (工事費内訳) ・工事請負費 37,799,288円 護岸(ブロック製作据付) L=30m 〈平成23年度～繰越〉 90,000,000円	浅海漁港は、南側が大きく開き深い湾を形成しており、護岸直前まで集落が形成されている。近年の異常潮位、台風の襲来により度々越波が確認されている。そのため、消波工を設置し背後地の人命と財産を守る。 事業期間 平成20年度～平成24年度 総事業費 180,000千円 全体計画 消波ブロック設置L=260m
		大浦漁港海岸保全施設整備事業	20,899	国庫支出金 10,449 一般財源 10,450	海岸保全事業 補助率 国1/2 (工事費内訳) 〈平成21年度から繰越〉 ・工事請負費 2,050,000円	既設の堤防は、昭和27年に築造されたもので老朽化により、漏水が発生している。このまま漏水が続くと背後地の民家、農地等が浸水する恐れがあるため、堤防改良を行い地域住民の生活の安定を図る。

(5) 農林水産業費 (3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
145 146	4 漁港建設費	大浦漁港海岸保全施設整備 事業 (つづき)			堤防改良L=3.78m ・事務費 50,000円 (平成22年度) ・工事請負費 18,799,033円 堤防改良L=34.65m 計 20,899,033円	事業期間 平成21年度～平成23年度 総事業費 60,000千円 全体計画 堤防改良L=100m
		漁港整備事業 (きめ細かな臨時交付金)	22,000	国庫支出金 22,000	〈平成21年度から繰越〉 ・船津漁港用地整備工事 9,482,732円 ・島子漁港物揚場舗装工事 12,517,268円 合 計 22,000,000円	臨時特別交付金を活用し、漁港機能を最大限に発 揮されるための事業として下記の事業を実施した。 ・コンクリート舗装A=1,480㎡ 排水工1式 ・コンクリート舗装A=1,406㎡ アスファルト舗装A=802㎡
		単独漁港整備事業	20,789	一般財源 20,789	・長浦漁港舟隠集落道整備 6,720,000円 工事 ・御所浦漁港嵐口地区用地 13,585,584円 整備工事 ・御所浦漁港嵐口地区用地 483,000円 整備設計委託 合 計 20,788,584円	国の補助対象外となった事業で、漁港機能を最大 限に発揮されるための事業として、下記の事業を実 施した。 ・ブロック積L=10.1m 基礎工L=40.1m 水叩工L=12.6m ・側溝L=90.75m 集水柵5基 アスファルト舗装A=358㎡ ・排水施設設計委託1式
		県営漁港整備事業負担金	53,601	地方債 40,200 一般財源 13,401	市負担率 単県事業1/3、広域5%、地域水産物5%、 海岸5% ・御所浦漁港広域漁港整備 2,889,947円 事業負担金 ・御所浦漁港単県漁港改良 1,441,559円 事業負担金 ・宮田漁港単県改良事業負 148,750円 担金 ・二江漁港広域漁港整備事 3,500,000円 業負担金 ・二江漁港単県漁港改良事 4,025,000円 業負担金 ・大江漁港地域水産物供給 19,695,683円	県管理漁港7漁港の内5漁港で漁港及び海岸事業が 実施され、その負担金を支出した。 ・-2.0m竹地道路・用地L=90m 本郷浮棧橋L=25m ・木橋補修1橋 エプロン舗装A=143㎡ ・航路標識灯 2基 ・-2.0m物揚場(改良) L=60m ・防護柵L=46m 物揚場改良L=80m ・3号防波堤(改良) L=60m

(5) 農林水産業費 (3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
145 } 146	4 漁港建設費	県営漁港整備事業負担金 (つづき)			基盤整備事業負担金 ・牛深漁港海岸保全施設整備事業(高潮)負担金 4,225,000円 ・牛深漁港広域漁港整備事業負担金 14,300,000円 ・牛深漁港単県漁港改良事業負担金 3,374,691円 計 53,600,630円	・大池田護岸改良L=80m ・須口防波堤L=120m ・I ^o の舗装A=515m ²
147 } 148	6 水産研究センター費	持続的養殖生産供給推進事業	2,089	国庫支出金 2,089	【低コスト飼料・効率的生産手法開発委託事業】 (直接補助) 補助率 国委託事業 (事業費内訳) 持続的養殖生産供給推進事業 2,089,175円	魚類養殖飼料由来のリン負荷を軽減する目的で魚粉を低減した低環境負荷型飼料を開発し、通常飼料と比較することで有効性について検討した。結果魚粉含有量を30%まで低減した飼料であってもタウリンを添加することで通常飼料と同等の成長が得られた。最近では使用量35%程度の養殖飼料が市販され、赤潮対策として低魚粉飼料の使用が広まってきている。
		水産研究センター施設管理経費経費	6,197	一般財源 6,197	(事業費内訳) 臨時職員人件費 514,300円 需用費 4,170,578円 役務費 321,707円 施設管理委託料 652,380円 備品購入費 537,600円 計 6,196,565円	魚類養殖漁業者から持ち込まれた、病魚の診断及び薬剤感受性試験を実施し、被害の軽減、魚病の蔓延防止に努めた。 海域の状況、有害プランクトンの発生状況を定期的に観測し、有害赤潮の早期発見につなげ、その情報を迅速かつ的確に漁業者に周知するとともに、餌止め等の有効な対策を指示することで被害の防止及び軽減に努めた。しかし、本市において19億円を超える甚大な被害が発生した。 海域の水質環境をリアルタイムで計測し、その情報を漁業者に周知することで、給餌管理や魚病対策に役立てられた。また正確な環境情報を周知するために月5回のメンテナンスを行った。

(5) 農林水産業費

(3) 水産業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
148 ↳ 149	7 漁業集落整備費	崎津漁港漁業集落環境整備 事業	6,295	県支出金 5,247 一般財源 1,048	漁業集落環境整備事業 補助率 国1/2 (事業費内訳) 委託料 6,294,817円 測量設計委託 《平成23年度へ繰越》 11,705,183円	本地区は、低地盤帯に集落を形成しているため、大潮の満潮時等の異常潮位の際には、過去に幾度となく住宅及び集落道が冠水し、通勤・通学はもとより緊急時の避難の妨げとなっているため、浸水対策事業を行い、民生の安定を図る。 事業期間 平成22年度～平成26年度 総事業費 900,000千円 全体計画 集落道 L=415m 漁業集落排水 L=1,990m 護岸高上 L=480m
		佐伊津漁港集落環境整備事 業	4,000	県支出金 2,000 地方債 2,000	漁業集落環境整備事業 補助率 国1/2 (事業費の内訳) 工事請負費(補助) 4,000,000円 中水管路整備工事(1件) L=176.0m	処理水を再利用し消防水利の充足率が著しく低い、当該住宅密集地域に汚水管路整備に併せて消防用水管路網の整備と消火栓の設置をし、事業の促進を図った。 事業期間 平成16年度～平成22年度 事業費 142,400千円 護岸高上改良 L=332m 中水管路整備 L=4,754m 消火栓設置 N=24基 H23年3月末現在の進捗率 100%

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
149 } 150	2 商工振興費	商店街イベント事業	477	一般財源 477	(補助要件) ・総事業費が50万円以上のもの ・補助額は補助対象経費の3分の1以内 ・同一のイベントについて3年を限度 浄南繁栄会 330,000円 港町振興会 147,000円	浄南繁栄会を中心に、地区老人会、婦人会、子供会等地縁団体を主体として第3回の夜まつりが開催され、来場者数も3,200人を数え、賑わいを見せた。 港町振興会でも地域住民を対象として「みなと夏祭り」が開催され、地域活性化が図られた。
		商店街空き店舗対策事業	2,868	一般財源 2,868	(補助要件) ・補助対象経費は借家料 ・補助額は経費の2分の1以内、月額5万円を限度 ・補助の期間は1年以内 補助金額 12店舗 2,867,500円	商店街でこれまで空き店舗となっていた場所に新規開業の店舗が入ることで賑わいが戻り、商店街の活性化を図ることができた。
		中小企業等短期資金貸付金	50,000	その他 50,000	市内中小企業者へ運転資金等の融資が容易に行われるよう、市内の希望する金融機関へ市が予算の範囲内で預託金を預け入れ、金融機関を通じ短期の融資を行う。 預託金額 50,000,000円 ・融資目標額 100,000,000円 ・融資額 26,500,000円 ・融資件数 9件 ・融資実績率 26.5%	平成18年度から、中元・年末のみの季節融資から10ヶ月以内の短期の融資に切り替えて実施していたが、平成22年度から年間を通して融資が受けられるようになったため、融資を通して市内中小企業者の経営の安定化が図られた。
		商工業設備投資資金利子補給補助金	1,965	一般財源 1,965	天草市内商工業の小規模事業者が経営の近代化及び経営基盤の強化を図り、地域経済の活性化を促進するために積極的に事業展開を推進する者に対し、設備投資のための事業資金借入金に対し、利子補給を行った。 補助限度額 200,000円(利子支払額の40%以内) 平成19年度申請分(継続 8件) 平成20年度申請分(継続 8件) 平成21年度申請分(継続 7件) 平成22年度申請分(新規 6件)	設備投資等の借入金に対する補助を行い、経済的負担を軽減して、商工業の振興を図った。

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
149 } 150	2 商工振興費	商店街活性化対策事業補助金	5,023	一般財源 5,023	<p>〔事業内容〕 商工会議所・商工会など商工団体が行う商店街活性化対策事業に補助し、商店街の活性化を支援した。</p> <p>本渡商工会議所 3,453,000円</p> <p>1. 活性化対策事業 2. 通行量調査事業（市内15ヶ所） 3. 商店街活性化事業（講演会の開催） 経営活性化セミナー及び経営革新セミナーの開催 5回開催 延べ219名参加</p> <p>4. 永年勤続「優良従業員表彰」 新学卒地元就職者「合同入店入所式」</p> <p>5. 本渡の市事業 秋期体育祭、菊花展、植木市</p> <p>6. えびす祭事業 福引大会、えびす市の開催 他 牛深商工会議所 975,000円</p> <p>1. 納涼夏祭り 花火大会 アトラクション、ゲーム大会 他</p> <p>2. ワンわんウォーキング大会 天草市商工会 595,000円</p> <p>1. もっと四郎、天草ブランド事業 新天草郷土食の開発・新天草特産の開発 他</p>	市内の商店街の状況は、中心商店街の空洞化や周辺の商業環境の変化が人の流れを変えており、郊外型の大型店を中心とした新たな商業地が形成されている。このような状況の中、市内の2つの商工会議所及び商工会が実施する、商業を核とした魅力ある街づくりの推進、中小企業者の近代化、経営基盤の体質強化、更に人材の養成など商店街活性化に向けての事業に対し支援した。
		商工会議所活動支援補助金 商工会活動支援補助金	42,524	一般財源 42,524	<p>中小企業の経営安定や創業支援、中心市街地活性化事業の推進、観光事業の振興など、商工会議所が展開する各種施策及び経営改善に関する指導を行う「小規模事業指導育成事業」並びに「経営改善普及事業」に対して助成を行なった。</p> <p>・小規模事業指導員設置事業補助 本渡商工会議所 2,659,000円 牛深商工会議所 2,691,000円</p> <p>・商工振興対策事業補助 本渡商工会議所 4,876,000円 牛深商工会議所 2,298,000円</p>	<p>商工振興対策事業・総合振興対策事業 経済活動のグローバル化やIT革命による高度情報化、少子高齢化、環境問題への取り組みなど、企業を取り巻く環境が大きく変化する中、商工業者の拠点である商工会議所、商工会の事業活動は、商工観光振興、労働福祉対策事業など、適時的確に行われており、その機能が果たされている。</p> <p>小規模事業指導員設置事業・経営改善普及事業 社会経済情勢の変化に伴い、小規模事業者に対する経営者養成や従業員教育は重要になってきており、個別相談や集団指導は経営の安定に寄与している。</p>

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果														
149 150	2 商工振興費	商工会議所活動支援補助金 商工会活動支援補助金 (つづき)			<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善普及事業補助金(商工会) 14,250,000円 ・地域総合振興事業補助金(商工会) 14,750,000円 ・指定事業等(商工会) 1,000,000円 <p style="text-align: right;">計 42,524,000円</p>	また、創業・開業を目指す学生や主婦、ビジネスマンを対象として、事業計画や資金調達方法を指導し、新規開業を促進している。														
		消費生活相談事業	5,070	県支出金 2,651 一般財源 2,419	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活相談員3名による週5日勤務の為、毎日相談を受けることができる体制を確立している。 ・相談員のレベル向上のため、県が主催する養成講座に継続して1名参加した。 ・天草市消費生活センターを平成22年7月1日から天草国際交流会館ポルトへ移設した為、相談者が気軽に相談できる環境が整った。 <p>【相談状況】</p> <table border="0"> <tr> <td>H22年度相談件数</td> <td>301件</td> </tr> <tr> <td>・架空請求</td> <td>17件</td> </tr> <tr> <td>・消費者金融、多重債務</td> <td>63件</td> </tr> <tr> <td>・有料情報サービス</td> <td>24件</td> </tr> <tr> <td>・医療用具・健康食品</td> <td>34件</td> </tr> <tr> <td>・預貯金・証券</td> <td>24件</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>139件</td> </tr> </table> <p>【啓発状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発回数：23回 延べ1,200名 	H22年度相談件数	301件	・架空請求	17件	・消費者金融、多重債務	63件	・有料情報サービス	24件	・医療用具・健康食品	34件	・預貯金・証券	24件	・その他	139件	相談員3名による週5日の相談体制により、よりタイムリーな消費生活相談対応が可能であり迅速な支援ができた。 また、消費生活センターを国際交流会館ポルトへ移設したことにより相談者が気兼ねなくセンターへ相談に訪れるようになった。 啓発活動についても、ほとんどの要請に対応できるようになった。 消費生活センターでは国民生活センターのPIONETの情報端末を活用できるため適切な支援を行うための情報収集が可能である。
H22年度相談件数	301件																			
・架空請求	17件																			
・消費者金融、多重債務	63件																			
・有料情報サービス	24件																			
・医療用具・健康食品	34件																			
・預貯金・証券	24件																			
・その他	139件																			
		企業誘致促進事業	1,094	一般財源 1,094	企業誘致は、企業が求める条件にどれだけ応えることができるかがポイントである。天草市は製造業誘致においては、輸送や本社等の往來の費用、時間のコストがかかるという大きなハンディがある。そのような中で天草の優位性を保つために、補助金等の優遇措置を整備し、企業誘致を推進する。また、各種情報を得るために、県企業誘致連絡協議会や県地域産業活性化協議会に加盟し、誘致活動を展開する。	これまでの経済不況で企業の設備投資への意欲は大きく減退している。今後の業績回復期までに、天草市を積極的にアピールする必要がある。また、天草の独自性を生かした企業誘致として企業の農業参入を支援した結果、1社と協定を締結し事業が開始された。														

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
149 } 150	2 商工振興費	企業誘致促進事業 (つづき)			(事業費内訳) 旅費 77,780円 需用費(消耗品) 69,018円 需用費(印刷製本費) 57,750円 役務費(郵便料) 399,335円 負担金補助及び交付金 296,000円 使用料及び賃借料 194,265円 計 1,094,148円	
		緊急雇用促進補助金	16,050	一般財源 16,050	緊急的な時限措置として、投資額や採用人数を問わず雇用促進補助金を交付し事業者の雇用意欲を喚起し、雇用不安の解消に寄与する。 事業内容：新規雇用者1人につき30万円補助 退職者補充の場合は、1人につき15万円 申請事業者数：57件 補助対象者数：新規 (36人) 退職者補充(31人)	厳しい経済情勢の中で、事業者の雇用意欲を喚起し、産業の振興と雇用の維持・拡大につながった。
151 } 152	3 商工施設管理費	美来プラザ維持管理事業	4,723	一般財源 4,723	(事業費内訳) 【美来プラザ事務経費】 消耗品費等 172,414円 光熱水費 1,205,671円 修繕料 566,517円 電話料、郵便料 101,885円 消防点検手数料 84,000円 施設管理委託料 1,542,730円 清掃委託料等 252,000円 使用料及び賃借料 194,565円 備品購入費 113,589円 計 4,233,371円	多目的ホール及び各種研修室の貸し出しを行い、広く市民の健康増進、文化教養の向上の場として利用された。 また、主催事業として各種教養講座を開催し、市民の健康増進や教養を高められた。 【H22年度利用者数】・・・28,372人 (内訳) 研修・会議室等 12,069人 多目的ホール 16,303人

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
151 } 152	3 商工施設管理費	美来プラザ維持管理事業 (つづき)			【美来プラザ教養講座】 健康体操講座、パッチワーク講座、絵手紙講座、 フラワーアレンジメント講座、英会話講座の実施。 教養講座講師報酬 475,000円 教養講座講師旅費 15,080円 計 490,080円	
		天草宝島国際交流会館ポルト施設管理経費	16,560	その他 4,566 一般財源 11,994	天草宝島国際交流会館ポルト施設管理費 (事業費内訳) 嘱託職員報酬等 2,828,870円 消耗品費等 362,741円 光熱水費 3,338,963円 修繕料 372,855円 電話料等 129,500円 点検手数料 569,100円 清掃委託料等 7,465,815円 使用料及び賃借料 1,231,893円 備品購入費 260,557円 計 16,560,294円 ポルトへの集客を図るため、自主事業を開催 ・端午の節句人形展 4/23～5/5 ・夜市フリーマーケット 6/26～7/24 ・人形劇「青い鳥」8/30 ・文化展 11/13～11/23 ・ひな人形展 2/23～3/6 ・絵本読み聞かせ 毎週火曜日	平成20年4月に開館し、現在職員1名、嘱託職員2名の体制で施設管理を行った。 会議室・ホールなどは、研修やコンサート・ミニバレー・絵画展など多目的に利用された。 また、自主事業の効果もあり、施設の利用者は、昨年より約3,000人増となった。 このように施設の利用をとおり、市民の生活及び文化の向上に寄与した。 【各施設の利用者数及び来館数】 多目的ホール 9,866人 展示ホール 7,711人 研修室 3,628人 交流ホール 3,174人 オープンスペース 25,143人 スタジオ 4,744人 その他(フリースペース等) 37,560人 合計 91,826人 【商店街との協力】 近隣商店街と協力し、夜市に併せて体験教室やフリーマーケットを開催するなど、商店街と一体となった事業を開催することが出来た。

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																
152 ） 153	4 物産振興費	天草大陶磁器展開催事業	8,501	一般財源 8,501	<p>【日時】平成22年11月3日(水)～11月7日(日)</p> <p>【場所】本渡運動公園・ポルト及び周辺空き店舗</p> <p>【内容】 今年度の大陶磁器展は市内窯元をはじめ、県内外の窯元79窯が一同に集い、県下最大級の陶磁器展として開催。今回は本渡運動公園をメイン会場として開催した。また、ポルト及び周辺空き店舗においても25人のアーティストが展示、販売する「街中ギャラリー」を開催。</p> <p>〔本渡運動公園〕 ・79窯による陶磁器展示、即売・陶磁器の島 A M A K U S A 陶芸展 ・ろくろを回そう体験 ・能公演「小鍛冶・白頭」・行列のできる屋台 村・物産展(20店舗)</p> <p>〔ポルト及び周辺空き店舗〕 ・街中ギャラリー(25人の若手窯元・アーティスト)</p> <p>〔天草文化交流館〕 ・小学生の作陶体験展示 などを開催。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>臨時職員賃金</td> <td style="text-align: right;">732,904円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td style="text-align: right;">350,000円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">183,164円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">827,676円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">3,238,597円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">779,835円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td style="text-align: right;">2,388,824円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">8,501,000円</td> </tr> </table>	臨時職員賃金	732,904円	報償費	350,000円	旅費	183,164円	需用費	827,676円	役務費	3,238,597円	委託料	779,835円	使用料及び賃借料	2,388,824円	計	8,501,000円	<p>今年度は、昨年度の77窯の出展を上回る79窯の出展となった。これは、陶芸家関係者にとって、当イベントの魅力と認知度が年を追う毎に高まってきていると感じられた。</p> <p>来場者数は39,058人と昨年度より7,000人近く増加し、さらに、来場者アンケートの集計から、全体の来場者のうち、島外からの来場者が43%という結果になった。</p> <p>「街中ギャラリー」も今回で3回目の開催となったが、昨年に引き続き出展者もとより来場者にも大変好評であった。</p> <p>今回、オープニングイベントとして「能公演」を開催したが普段触れることの少ない伝統芸能も来場者には大変好評であった。</p> <p>また、物産関係では、「食」への問題が懸念される中で、天草でとれた新鮮な農林水産物や特産品を提供できたことは、地場製品のPRに加え安全・安心なものを提供でき、今後さらなる地場産業の振興に発展できた。</p> <p>来場者数 39,058人(本会場20,787人) うち島外来場者43%(アンケート結果による) 陶磁器売上 17,601千円(79窯) 物産売上 4,530千円(20店舗) ろくろ体験者 148人 陶芸コンテスト出品数 49点(35人)</p>
臨時職員賃金	732,904円																					
報償費	350,000円																					
旅費	183,164円																					
需用費	827,676円																					
役務費	3,238,597円																					
委託料	779,835円																					
使用料及び賃借料	2,388,824円																					
計	8,501,000円																					

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果												
152 ） 153	4 物産振興費	アーティスト・イン・レジ デンス事業	815	一般財源 815	<p>【目的】 本事業は、著名陶芸家や新進気鋭のアーティストを天草に招聘し、滞在中での創作活動等を通して、次世代を担う若手陶芸家の技術力の向上と天草陶磁器の新たな一面を模索することを目的に実施</p> <p>【内容】 鯉江良二氏（著名陶芸家）、桑田卓郎（若手陶芸家）の2名を招聘。 招聘作家の創作活動においては、天草の地域資源の一つである天草陶石を使用してもらい、滞在中に公開制作、アーティスト・トーク等を中心に実施し、地元若手陶芸家の表現力や作品構成力、感性の向上を図り、さらに天草陶石及び天草陶磁器の新たな可能性を見出した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>講師謝礼費</td> <td style="text-align: right;">310,000円</td> </tr> <tr> <td>講師旅費</td> <td style="text-align: right;">249,100円</td> </tr> <tr> <td>製作委託料</td> <td style="text-align: right;">140,000円</td> </tr> <tr> <td>会場借上料</td> <td style="text-align: right;">80,000円</td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td style="text-align: right;">35,669円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">814,769円</td> </tr> </table>	講師謝礼費	310,000円	講師旅費	249,100円	製作委託料	140,000円	会場借上料	80,000円	原材料費	35,669円	計	814,769円	<p>事業に参加した地元陶芸家からは、モノづくりの根本に影響を与えるのは知識、技術、感性などが考えられるが、強い個性を持つアーティストなどの感性に触れることで十分な刺激を得られた、多方面で活躍する若手アーティストの創作活動は、陶芸のみならず自らの制作の根本に刺激と励みを感じられたものとなったとの意見が挙がり、若手陶芸家の意識向上へ一定の成果を得ることができた。</p> <p>今後は、地元陶芸家が当事業で培われた新たな感性力や表現力を自らの制作に取り入れ、新商品の構想や開発を行い、陶磁器産業のさらなる発展ができるよう地元窯元などと一体となった事業を展開したい。</p>
講師謝礼費	310,000円																	
講師旅費	249,100円																	
製作委託料	140,000円																	
会場借上料	80,000円																	
原材料費	35,669円																	
計	814,769円																	

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
152 153	4 物産振興費	伝統工芸産業等後継者育成事業 (ふるさと雇用再生特別交付金)	4,613	県支出金 4,613	<p>【目的】 本市における伝統工芸産業の匠の技を次世代に継承し、持続的な地場産業の振興を図るための後継者育成事業である。</p> <p>【内容】 天草市物産振興協会会員である伝統工芸産業の伝統工芸士の指導の基で雇用し、基本的な技術の取得に向けた直接指導を委託した。</p> <p>①天草竹細工：1名 ②天草陶磁器：1名 ③天草更紗：1名</p> <p>(事業費内訳) 委託料 4,613,181円</p>	<p>竹細工においては、昨年に引き続き箆や農具などの製作技術の指導を行い、竹細工教室でも簡単な指導を行える程技術取得した。また、竹細工の中でも難しいとされる仕上げの縁編みについて特に重点的に指導が行われた。</p> <p>陶磁器においては、生産工程の一連の流れや開窯した際に必要な展示、販売、宣伝などの指導を行った。また、天草大陶磁器展の陶芸コンテストにも積極的に出展されるなど幅広く活動された。</p> <p>天草更紗においては、年度途中からの採用であったが染色工程の一連の流れを学び、染色液や型紙作りなど基本的な技術を取得中である。</p>
		天草市物産振興協会補助事業(物産振興事業)	950	一般財源 950	<p>本市の物産振興において、中心的な役割を担う天草市物産振興協会の運営に対し、補助金を交付した。</p> <p>(協会概要) ・H22年度会員数 65業者 年会費10,000円 ・事業内容 ○百貨店における物産展や各種イベント ○商談会への出店 ○ホームページ及びパンフレットによるPR活動</p> <p>(事業費内訳) 補助金 950,000円</p>	<p>本協会は、今年度も2社の新規加入があり、会員数65社の協会となった。</p> <p>会員数の増加に伴い、百貨店、量販店における物産展、市内外の各種イベントへの出店など積極的な参加が得られ、21イベントに延べ111社が出店し、天草の物産をPR・販売を行った。</p> <p>また、会員の製品を紹介するパンフレットを3万部作成し、各観光物産展や県人会、ふるさと会などへ配布を行うなど会員物産等のPRを行った。</p> <p>さらに、天草地域・雇用創出協議会との共催で食の安全や販売促進に関するセミナーを開催し、会員への啓発を行った。</p>

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																																																						
152 } 153	4 物産振興費	天草ブランド策定事業	3,125	県支出金 1,500 一般財源 1,625	<p>平成23年春の九州新幹線全線開業を見据えて沿線主要都市(東京、大阪、広島、福岡、)の消費者や観光客に対し、天草の観光・物産をPRするために「天草観光物産展」を延べ5回実施した。また、天草の地場産業の販路拡大を目的として、都市圏のバイヤーを招いて商談会を実施した。(バイヤー14業者、地場産業29業者)さらに、消費者に選ばれる商品づくりや求められるサービスに必要な、ブランドに関する基本的な知識を習得することを目的に天草ブランド塾を開催した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table border="0"> <tr><td>報償費</td><td>115,500円</td></tr> <tr><td>旅費</td><td>750,565円</td></tr> <tr><td>需用費</td><td>1,802,811円</td></tr> <tr><td>役務費</td><td>60,168円</td></tr> <tr><td>委託料</td><td>99,750円</td></tr> <tr><td>使用料及び賃借料</td><td>295,750円</td></tr> <tr><td>計</td><td>3,124,544円</td></tr> </table>	報償費	115,500円	旅費	750,565円	需用費	1,802,811円	役務費	60,168円	委託料	99,750円	使用料及び賃借料	295,750円	計	3,124,544円	<p>天草観光物産展は、広島で2回、東京・大阪・福岡でそれぞれ1回ずつ実施した。各会場において、天草の特産品の展示即売及び観光パンフレット等を配布することで、都市圏の消費者に天草の観光・物産をPRできた。</p> <p>天草ブランド商談会においては、参加業者に対してバイヤーから商品改良、開発に繋がる貴重なアドバイスもあっており、今後の販路拡大に向けて有意義な商談会であった。</p> <p>「天草ブランド塾」においては熊本県立大学の棟方信彦教授及び九州大学の清須美匡洋教授を招聘して、主に消費者に選ばれる商品づくりや求められるサービス等商品のブランド化について2回開催した。この塾にはワークショップを中心に受講者自らの商品やサービスのブランド化に向けた手法を身につけていただく方法で実施された。</p>																																								
報償費	115,500円																																																											
旅費	750,565円																																																											
需用費	1,802,811円																																																											
役務費	60,168円																																																											
委託料	99,750円																																																											
使用料及び賃借料	295,750円																																																											
計	3,124,544円																																																											
153 } 156	5 観光費	観光イベント補助金	46,726	一般財源 46,726	<p>観光イベントに対する補助</p> <p>(事業別内訳)</p> <table border="0"> <tr><td>・あったか天草椿まつり</td><td>627,504円</td></tr> <tr><td>・さざ波フェスタ</td><td>4,300,000円</td></tr> <tr><td>・牛深あかね市</td><td>6,898,308円</td></tr> <tr><td>・牛深ハイヤ祭り</td><td>13,745,917円</td></tr> <tr><td>・倉岳えびす祭り</td><td>937,185円</td></tr> <tr><td>・下田温泉祭</td><td>3,245,000円</td></tr> <tr><td>・福連木子守唄&童謡祭り</td><td>1,577,000円</td></tr> <tr><td>・栖本かっぱ祭り</td><td>2,435,000円</td></tr> <tr><td>・しんわ楊貴妃祭り</td><td>3,245,000円</td></tr> <tr><td>・崎津みなとのフェスティバル</td><td></td></tr> <tr><td>・天草ほんどハイヤ祭り</td><td>1,215,000円</td></tr> <tr><td>・御所浦よかこ祭り</td><td>8,000,000円</td></tr> <tr><td></td><td>500,000円</td></tr> <tr><td>計</td><td>46,725,914円</td></tr> </table>	・あったか天草椿まつり	627,504円	・さざ波フェスタ	4,300,000円	・牛深あかね市	6,898,308円	・牛深ハイヤ祭り	13,745,917円	・倉岳えびす祭り	937,185円	・下田温泉祭	3,245,000円	・福連木子守唄&童謡祭り	1,577,000円	・栖本かっぱ祭り	2,435,000円	・しんわ楊貴妃祭り	3,245,000円	・崎津みなとのフェスティバル		・天草ほんどハイヤ祭り	1,215,000円	・御所浦よかこ祭り	8,000,000円		500,000円	計	46,725,914円	<p>観光イベントの開催により交流人口の拡大が図られた。</p> <p>(各イベントの入り込み実績)</p> <table border="0"> <tr><td>・あったか天草椿まつり</td><td>1,500人</td></tr> <tr><td>・さざ波フェスタ</td><td>15,000人</td></tr> <tr><td>・牛深あかね市</td><td>27,000人</td></tr> <tr><td>・牛深ハイヤ祭り</td><td>70,000人</td></tr> <tr><td>・倉岳えびす祭り</td><td>3,480人</td></tr> <tr><td>・下田温泉祭</td><td>8,000人</td></tr> <tr><td>・福連木子守唄&童謡祭り</td><td>3,000人</td></tr> <tr><td>・栖本かっぱ祭り</td><td>4,000人</td></tr> <tr><td>・しんわ楊貴妃祭り</td><td>4,000人</td></tr> <tr><td>・崎津みなとのフェスティバル</td><td>4,000人</td></tr> <tr><td>・御所浦よかこ祭り</td><td>700人</td></tr> <tr><td>・天草ほんどハイヤ祭り</td><td>155,600人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>296,280人</td></tr> </table>	・あったか天草椿まつり	1,500人	・さざ波フェスタ	15,000人	・牛深あかね市	27,000人	・牛深ハイヤ祭り	70,000人	・倉岳えびす祭り	3,480人	・下田温泉祭	8,000人	・福連木子守唄&童謡祭り	3,000人	・栖本かっぱ祭り	4,000人	・しんわ楊貴妃祭り	4,000人	・崎津みなとのフェスティバル	4,000人	・御所浦よかこ祭り	700人	・天草ほんどハイヤ祭り	155,600人	合計	296,280人
・あったか天草椿まつり	627,504円																																																											
・さざ波フェスタ	4,300,000円																																																											
・牛深あかね市	6,898,308円																																																											
・牛深ハイヤ祭り	13,745,917円																																																											
・倉岳えびす祭り	937,185円																																																											
・下田温泉祭	3,245,000円																																																											
・福連木子守唄&童謡祭り	1,577,000円																																																											
・栖本かっぱ祭り	2,435,000円																																																											
・しんわ楊貴妃祭り	3,245,000円																																																											
・崎津みなとのフェスティバル																																																												
・天草ほんどハイヤ祭り	1,215,000円																																																											
・御所浦よかこ祭り	8,000,000円																																																											
	500,000円																																																											
計	46,725,914円																																																											
・あったか天草椿まつり	1,500人																																																											
・さざ波フェスタ	15,000人																																																											
・牛深あかね市	27,000人																																																											
・牛深ハイヤ祭り	70,000人																																																											
・倉岳えびす祭り	3,480人																																																											
・下田温泉祭	8,000人																																																											
・福連木子守唄&童謡祭り	3,000人																																																											
・栖本かっぱ祭り	4,000人																																																											
・しんわ楊貴妃祭り	4,000人																																																											
・崎津みなとのフェスティバル	4,000人																																																											
・御所浦よかこ祭り	700人																																																											
・天草ほんどハイヤ祭り	155,600人																																																											
合計	296,280人																																																											

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
153 ） 156	5 観 光 費	牛深海中公園グラスポート 遊覧事業 (ふるさと雇用再生特別交 付金)	9,359	県支出金 9,359	運行休止となっている牛深海中公園グラスポート の運行を再開し、天草市南部地域の振興と活性化を 図る。事業再開のため、「ふるさと雇用再生特別基 金事業」を活用し3名雇用した。 委託料 9,358,909円	牛深海中公園遊覧事業の再開により、3名の雇用 が創出された。また、牛深地区を中心とした、観光 事業の展開と南部地域の観光及び産業ネットワー クを活用した観光振興に寄与している。
		牛深海中公園グラスポート 活用事業	7,409	国庫支出金 3,528 一般財源 3,881	牛深海中公園グラスポートのエンジン換装工事を 実施した。 営繕工事 7,408,800円	牛深海中公園グラスポートの燃費効率改善のた め、国の「海上交通低炭素化促進事業」の補助を受 け、エンジン換装工事を実施した。
		(社)天草宝島観光協会補助 金	124,903	一般財源 124,903	(社)天草宝島観光協会への運営及び事業補助 【一般事業費】 観光宣伝・観光客誘致促進事業 46,510,235円 観光資源開発・保護育成事業 3,868,286円 観光客受入態勢整備事業 34,165,907円 調査研究事業 91,460円 観光関連諸機関との連携事業 556,230円 雲仙天草観光圏整備事業 7,922,500円 計 93,114,618円 【管理費】 運営費 60,797,287円 事業収入等 33,743,190円 23年度へ繰越 4,734,285円 計 31,788,382円 合計 124,903,000円	各種メディアを活用した情報発信のほか、観光宣 伝、各種イベント・グルメキャンペーン等の実施並 びに旅行会社への支援による天草地域への旅行商品 造成や、第三種旅行業による着地型旅行商品の造 成・販売等を実施し、観光客を誘致した。 また、地域づくり関係者との連携によるモニター ツアーを実施し地域資源の開発を行なった。観光ボ ランティアガイドの活用やタクシープラン設定、天 草ぐるっと周遊バスの運行支援等を行い受入態勢 の整備を図った。修学旅行誘致やフィルムコミッ ションの展開により、交流人口の拡大と地域経済への波 及が図られた。 さらに、雲仙天草観光圏整備事業により「地域全 員おもてなし向上事業」「宝島・天草ルートづくり 事業」「観光圏パスポート発行事業」「船の旅・空 の旅天草事業」などを実施し、広域連携による滞在 型観光が推進された。 ・大都市圏でのPR活動(セ-ル活動含む)(15回) ・県内での観光PR(セ-ル活動含む)(9回) ・旅行商品と送客数(28件・宿泊5,656人、日帰り4,592人) ・着地型旅行商品造成数と集客数(23コース、297人) ・修学旅行誘致数(21校3,863人泊) ・フィルムコミッションによる映画、CM撮影誘致数(16件)
		天草宝島観光商品開発事業 (ふるさと雇用再生特別交 付金)	5,093	県支出金 5,093	雲仙天草観光圏整備計画に関連し、「ふるさと雇 用再生特別基金事業」を活用して、天草の特色を活 かした観光商品の開発のための雇用を行う。 委託料 5,092,506円	本事業の実施により、23プランの着地型旅行商品 を作成販売し、297人の参加を得た。また、「ふる さと雇用再生特別基金事業」を活用し、2名の雇用 が創出された。

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																																																																						
153 } 156	5 観光費	大会誘致等推進事業	2,491	一般財源 2,491	<p>天草市内への宿泊を伴う各種大会及び合宿の誘致を奨励し、観光振興と経済発展に寄与することを目的に補助金を交付した。また、天草市への合宿を誘致するためのガイドブックを作成し、高等学校等への案内活動を行うとともに、合宿案内ホームページで周知を行った。加えて、第2回日本少年野球天草大会等の開催を支援した。</p> <p>・補助金額は大会等に係る宿泊延べ人数に応じる。</p> <table border="0"> <tr> <td>25人以上50人未満</td> <td>25,000円</td> </tr> <tr> <td>50人以上100人未満</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>100人以上300人未満</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>300人以上500人未満</td> <td>200,000円</td> </tr> <tr> <td>500人以上</td> <td>300,000円</td> </tr> </table> <p>(年度別 誘致事業数 宿泊延べ人数の推移)</p> <table border="0"> <tr> <td>平成19年度</td> <td>13事業</td> <td>2,134人</td> </tr> <tr> <td>平成20年度</td> <td>16事業</td> <td>2,587人</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>13事業</td> <td>3,853人</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>19事業</td> <td>4,283人</td> </tr> </table> <p>(事業費内訳)</p> <table border="0"> <tr> <td>旅費</td> <td>39,200円</td> <td>需用費</td> <td>257,842円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>28,507円</td> <td>補助金</td> <td>2,165,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>2,490,549円</td> </tr> </table>	25人以上50人未満	25,000円	50人以上100人未満	50,000円	100人以上300人未満	100,000円	300人以上500人未満	200,000円	500人以上	300,000円	平成19年度	13事業	2,134人	平成20年度	16事業	2,587人	平成21年度	13事業	3,853人	平成22年度	19事業	4,283人	旅費	39,200円	需用費	257,842円	役務費	28,507円	補助金	2,165,000円			計	2,490,549円	<p>平成22年度は、補助金交付事業として延べ4,283人の宿泊客を招くことができた。宿泊者の増加は、宿泊施設等を含め地域経済の活性化につながった。</p> <table border="0"> <tr> <td>・サッカー大会</td> <td>延べ宿泊人数217人</td> </tr> <tr> <td>・十八銀行女子陸上部合宿</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>・TKU旗リトルリーグ野球九州大会</td> <td>201人</td> </tr> <tr> <td>・天工ソフトテニス部天草夏期合宿</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>・第8回熊日レディーススポーツ大会</td> <td>131人</td> </tr> <tr> <td>・第6回谷脇杯争奪ハンドボール大会及び合宿</td> <td>503人</td> </tr> <tr> <td>・済々黌陸上競技部天草強化合宿</td> <td>102人</td> </tr> <tr> <td>・千原台バスケットボール部夏期強化合宿</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>・九州ルーテル学院大学サマーキャンプ</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>・九州高等学校男子ソフトボール強化大会</td> <td>519人</td> </tr> <tr> <td>・天草カップ高等学校新人バレーボール大会</td> <td>391人</td> </tr> <tr> <td>・第2回日本少年野球天草大会</td> <td>1,004人</td> </tr> <tr> <td>・九州一周駅伝長崎県チーム強化合宿</td> <td>172人</td> </tr> <tr> <td>・三菱重工長崎マラソン部天草合宿(3回)</td> <td>236人</td> </tr> <tr> <td>・第5回天草市中学生招待サッカー大会</td> <td>74人</td> </tr> <tr> <td>・マリンカップバレーボール大会</td> <td>132人</td> </tr> <tr> <td>・女子中学生バレーボール牛深合宿</td> <td>453人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計19件 4,283人</td> </tr> </table>	・サッカー大会	延べ宿泊人数217人	・十八銀行女子陸上部合宿	40人	・TKU旗リトルリーグ野球九州大会	201人	・天工ソフトテニス部天草夏期合宿	36人	・第8回熊日レディーススポーツ大会	131人	・第6回谷脇杯争奪ハンドボール大会及び合宿	503人	・済々黌陸上競技部天草強化合宿	102人	・千原台バスケットボール部夏期強化合宿	40人	・九州ルーテル学院大学サマーキャンプ	32人	・九州高等学校男子ソフトボール強化大会	519人	・天草カップ高等学校新人バレーボール大会	391人	・第2回日本少年野球天草大会	1,004人	・九州一周駅伝長崎県チーム強化合宿	172人	・三菱重工長崎マラソン部天草合宿(3回)	236人	・第5回天草市中学生招待サッカー大会	74人	・マリンカップバレーボール大会	132人	・女子中学生バレーボール牛深合宿	453人		計19件 4,283人
25人以上50人未満	25,000円																																																																											
50人以上100人未満	50,000円																																																																											
100人以上300人未満	100,000円																																																																											
300人以上500人未満	200,000円																																																																											
500人以上	300,000円																																																																											
平成19年度	13事業	2,134人																																																																										
平成20年度	16事業	2,587人																																																																										
平成21年度	13事業	3,853人																																																																										
平成22年度	19事業	4,283人																																																																										
旅費	39,200円	需用費	257,842円																																																																									
役務費	28,507円	補助金	2,165,000円																																																																									
		計	2,490,549円																																																																									
・サッカー大会	延べ宿泊人数217人																																																																											
・十八銀行女子陸上部合宿	40人																																																																											
・TKU旗リトルリーグ野球九州大会	201人																																																																											
・天工ソフトテニス部天草夏期合宿	36人																																																																											
・第8回熊日レディーススポーツ大会	131人																																																																											
・第6回谷脇杯争奪ハンドボール大会及び合宿	503人																																																																											
・済々黌陸上競技部天草強化合宿	102人																																																																											
・千原台バスケットボール部夏期強化合宿	40人																																																																											
・九州ルーテル学院大学サマーキャンプ	32人																																																																											
・九州高等学校男子ソフトボール強化大会	519人																																																																											
・天草カップ高等学校新人バレーボール大会	391人																																																																											
・第2回日本少年野球天草大会	1,004人																																																																											
・九州一周駅伝長崎県チーム強化合宿	172人																																																																											
・三菱重工長崎マラソン部天草合宿(3回)	236人																																																																											
・第5回天草市中学生招待サッカー大会	74人																																																																											
・マリンカップバレーボール大会	132人																																																																											
・女子中学生バレーボール牛深合宿	453人																																																																											
	計19件 4,283人																																																																											
		新幹線開業対策事業	78,737	県支出金 4,037 地方債 74,700	<p>九州新幹線の全線開業により、大きく変動する人と物の動きを天草の地域振興につなげるため、交流人口を呼び込む仕掛けづくりとして、次の事業を展開した。</p> <p>【委託事業】</p> <table border="0"> <tr> <td>・観光サイン設置</td> <td>1,261,890円</td> </tr> <tr> <td>・ヘルスツーリズム商品開発</td> <td>836,120円</td> </tr> <tr> <td>・天草キリシタン館活用パンフレット製作</td> <td>1,953,000円</td> </tr> <tr> <td>・天草ぐるっと周遊バス観光バスガイド配置</td> <td>4,036,985円</td> </tr> </table>	・観光サイン設置	1,261,890円	・ヘルスツーリズム商品開発	836,120円	・天草キリシタン館活用パンフレット製作	1,953,000円	・天草ぐるっと周遊バス観光バスガイド配置	4,036,985円	<p>天草市九州新幹線全線開業対策戦略に基づき、交流人口を呼び込むための導線の整備として、観光サインの整備やJR三角線と天草宝島ラインを利用した観光ルートの構築、九州新幹線出水駅と蔵之元港間のシャトルバスの実証運行を実施し、九州新幹線と連結したアクセスの利便性向上が図られた。</p> <p>また、天草の南の玄関口である牛深を発着とする天草ぐるっと周遊バスの実証運行を実施し、新たな観光ルートを開発した。</p> <p>交流人口を呼び込む仕掛けづくりとして、新しい旅行商品であるヘルスツーリズムモニターツアーを実施した。また、天草キリシタン館を基点とした周遊コースなどの商品開発及びPR活動のためのパンフレットを製作した。</p>																																																														
・観光サイン設置	1,261,890円																																																																											
・ヘルスツーリズム商品開発	836,120円																																																																											
・天草キリシタン館活用パンフレット製作	1,953,000円																																																																											
・天草ぐるっと周遊バス観光バスガイド配置	4,036,985円																																																																											

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
153 } 156	5 観光費	新幹線開業対策事業 (つづき)			【負担金・補助事業】 ・船の旅天草構築負担金 6,200,000円 ・牛深ハイヤ祭り補助金 16,986,023円 ・天草宝島観光協会補助金 9,600,000円 ・天草海道博補助金 28,000,000円 ・出水～天草間アクセス導入等事業補助金 9,862,704円 計 78,736,722円	天草の認知度を向上させ九州域外へのアピールを図るために、牛深ハイヤ祭り第40回記念事業の取り組みや、地域資源活用型イベント「天草海道博」事業に取り組み、本市観光の魅力をPRすることができた。
		観光宣伝事業	1,731	一般財源 1,731	観光客誘致を目指し、観光素材の開発と天草の魅力を広く情報発信する施策を行った。 ・TV宣伝(クソソップ作戦 inあまくさ) 300,000円 ・雑誌、新聞宣伝 800,500円 ・ラジオ宣伝 630,000円 計 1,730,500円	TV、ラジオ、新聞等の広告・宣伝媒体を利用し、本市の観光情報やイベント情報、観光施設情報を周知し、本市観光の魅力をPRすることができた。特に、FM放送を利用した観光宣伝は36回実施し、旬の情報を提供することができた。
156 } 157	6 観光施設管理費	観光施設管理事業 (緊急雇用創出交付金)	139,655	県支出金 4,286 その他 8,536 一般財源 126,833	【観光施設の維持管理】 観光施設126施設の維持管理を行った。 ・観光施設管理事務経費 33,307,177円 ・本渡地区観光施設 2,739,027円 ・牛深地区観光施設 6,908,746円 ・有明地区観光施設 11,193,202円 ・御所浦地区観光施設 1,123,978円 ・倉岳地区観光施設 6,478,595円 ・栖本地区観光施設 10,799,884円 ・新和地区観光施設 7,840,942円 ・五和地区観光施設 22,775,616円 ・天草地区観光施設 15,098,588円 ・河浦地区観光施設 17,879,770円 ・公園等清掃管理(緊急雇用創出交付金) 3,509,899円 計 139,655,424円	本市は、豊かな自然や歴史・文化、グルメ、郷土芸能などさまざまな観光資源を有しており、これらの資源を活用し観光客の誘客を図るため観光施設を整備している。 観光客が旅行の形態や目的に合わせて利用できるよう各種観光施設の日常的な維持・管理業務のほか、環境美化作業、補修・修繕を行った。 多種多様な観光施設の効果的な利用とルート化を促進し、天草観光の交流拠点として観光振興に寄与することができた。 温泉施設など13施設は、指定管理者による運営を行っているが、民間の柔軟性・機動性と経営ノウハウを導入し、経費の節減を図っている。 また、緊急雇用創出交付金を活用し公園及び九州自然歩道の草刈、木の伐採を行い環境美化の向上に努め、利用促進を図った。 なお、当事業において短期間ではあるが新規雇用者13名の雇用が確保できたことは、事業の目的が達成できたと考える。

(6) 商工費 (1) 商工費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
156 ） 157	6 観光施設管理費	観光施設維持補修事業 (きめ細かな臨時交付金)	44,831	国庫支出金 17,525 その他 999 一般財源 26,307	【観光施設の維持補修事業】 観光施設の維持補修工事を行った。 ・ 栖本温泉センター水源設備修繕工事 740,250円 ・ 下田温泉センターラウンジ・ロビー空調設備工事 1,396,500円 ・ シーカヤック艇庫巻上げ機設置工事 323,190円 ・ 下田温泉ふれあい館ぷらっとスロープ設置工事 152,250円 ・ リップルランド冷凍設備改修工事 1,034,250円 ・ うしぶか海彩館改修工事 6,268,500円 ・ やすらぎ荘・やすらぎの湯改修工事 14,999,250円 ・ リップルランド観光トイレ設備改修工事 2,391,900円 計 27,306,090円 (平成21年度から繰越) (きめ細かな臨時交付金) ・ 鬼の城キッズガーデン遊具広場整備工事 15,498,000円 ・ うしぶか海彩館非常照明設備改修工事 2,026,500円 計 17,524,500円 合計 44,830,590円	観光施設の維持補修工事の実施により、施設の機能と利便性が向上し、観光客が安全に利用できる施設となった。 特に、やすらぎ荘・やすらぎの湯改修工事については、浴槽の改修や身障者浴室、待合所の新設等を実施したことにより、大幅に利便性が向上し、利用者の滞在時間が延長され、牛深地区の主要観光施設としての役割を担う施設となっている。 観光施設を整備し、観光振興及び交流施設としての機能の充実と利便性を図った。 鬼の城キッズガーデン遊具広場整備工事については、2ヶ年計画で整備を行い、市民の憩いの場として、保育園、小学校の遠足等多くの方々にご利用されており、地域の交流施設としての環境整備が図られた。

(7) 土木費 (2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
159 ） 160	2 道路維持費	市道清掃ボランティア支援事業	11,220	地方債 11,200 一般財源 20	団体登録数 561団体 市道清掃延長 674km 報償費 561団体×20,000円 11,220,000円	道路利用者がボランティアで清掃作業をすることにより快適な道路環境を確保するとともに、除草作業委託経費の軽減が図られた。
		市内一円道路維持補修事業	19,661	一般財源 19,661	道路維持補修 維持補修手数料 103件 7,132,753円 道路維持補修等に伴う原材料の支給 アスファルト合材外156件 10,043,270円 生活関連道路整備に伴う原材料の支給 生コンクリート外 本渡 4件 542,882円 牛深 3件 348,600円 有明 1件 298,200円 倉岳 4件 363,539円 御所浦 2件 84,347円 新和 1件 294,000円 五和 2件 259,875円 河浦 1件 294,000円 計(18件) 2,485,443円 合計 19,661,466円	年間を通じて、市道の道路補修、除草作業を実施するとともにカーブミラー、側溝蓋等を設置・補修することにより、歩行者と車の安全な通行を確保し、快適な道路環境を図った。 また、生コンクリート等の原材料を支給し、生活関連道路の整備を図った。
		道路維持補修業務委託事業	100,628	一般財源 100,628	道路維持補修業務委託 本渡 3件 20,799,320円 牛深 2件 11,499,963円 有明 2件 8,267,077円 倉岳 1件 4,499,449円 栖本 1件 5,500,585円 御所浦 1件 5,250,000円 新和 2件 5,499,841円 五和 2件 10,399,868円 天草 3件 9,996,359円 河浦 2件 8,127,000円 計(19件) 89,839,462円	道路での危険箇所を調査し、迅速に対応、処理するとともに、街路樹管理および道路除草、附帯施設の整備をすることにより市街地の環境美化と道路交通の安全を図った。 道路台帳の管理において、新たに認定された市道の道路網図・変更された路線の台帳の整備を図った。 市道における分筆所有権移転の登記を実施し、未登記路線の解消を図った。

(7) 土木費 (2) 道路橋梁費

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
159 ↳ 160	2 道路維持費	道路維持補修業務委託事業 (つづき)			道路台帳の整備作成業務 データ統合・台帳作成 整備延長40.2km 8,975,124円 分筆登記業務 16路線100筆 1,813,222円 計 10,788,346円 合計 100,627,808円	
		市道維持補修事業 (きめ細かな臨時交付金)	79,922	国庫支出金 79,922	《平成21年度から繰越》 【委託料】2件 道路舗装設計委託業務及び 測量設計委託業務 976,500円 【道路舗装】16件 (17路線) 本渡 5件(6路線) L=1,046m 10,907,486円 牛深 2件(2路線) L=140m 1,817,641円 有明 2件(2路線) L=352m 4,305,630円 五和 3件(3路線) L=404m 5,062,634円 天草 1件(1路線) L=135m 2,750,723円 河浦 3件(3路線) L=381m 10,464,391円 計 L=2,458m 35,308,505円 【道路補修等】14件 (15路線) 本渡 3件(3路線) L=258m 8,123,811円 牛深 2件(2路線) L=209m 7,171,500円	市道の舗装工事および補修工事を実施し、道路面を常に良好な状態に維持保全することにより、通行の安全確保が図られた。

(7) 土木費 (2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
159 160	2 道路維持費	市道維持補修事業 (きめ細かな臨時交付金) (つづき)			有明 2件(2路線) L = 72m 2,405,029円 倉岳 1件(1路線) L = 340m 8,999,279円 御所浦 1件(1路線) L = 40m 4,693,500円 栖本 2件(2路線) L = 184m 4,998,951円 新和 2件(3路線) L = 195m 5,000,000円 天草 1件(1路線) L = 65m 2,245,111円 計 L = 1,363m 43,637,181円 <u>合計 L = 3,821m 79,922,186円</u> 30件(32路線)	
		市道維持補修業	98,612	地方債 88,042 一般財源 10,570	【委託料】2件 道路舗装設計委託業務 2,814,000円 【道路舗装】18件 (21路線) 本渡 5件(6路線) L = 1,069m 16,556,012円 牛深 3件(3路線) L = 267m 3,738,000円 有明 3件(3路線) L = 355m 4,667,228円 五和 2件(2路線) L = 479m 4,483,602円 天草 4件(6路線) L = 460m 7,894,827円	

(7) 土木費 (2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
159 ↳ 160	2 道路維持費	市道維持補修業(つづき)			河浦 1件(1路線) L=200m 1,989,526円 計 L=2,830m 39,329,195円 【道路補修等】23件 (23路線) 本渡 8件(8路線) L=455m 35,606,679円 牛深 2件(2路線) L=92m 3,675,000円 有明 3件(3路線) L=244m 4,897,500円 倉岳 2件(2路線) L=271m 2,904,300円 御所浦 1件(1路線) L=82m 1,974,000円 栖本 2件(2路線) L=89m 2,005,500円 新和 5件(5路線) L=186m 5,405,856円 計 L=1,419m 56,468,835円 合計 L=4,249m 98,612,030円 41件(44路線)	
160 ↳ 162	3 道路新設改良費	浄南小松原線道路改良事業	6,000	国庫支出金 3,900 地方債 3,100	【交付金事業】 補助率 6.5/10 (事業費内訳表) 《平成21年度から繰越》 工事請負費 5,614,296円 改良工事(2件) 仮橋撤去・取付道路 事務費 385,704円 計 6,000,000円	老朽化した昭和橋の架替え工事を実施し、車両の安全通行、歩行者の安全通行を確保する。 事業期間 平成17年度～平成21年度 事業費 500,000千円 事業量 90m(橋梁L=34.4m、取付工L=55.6m) 事業完了

(7) 土木費 (2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
160 ↳ 162	3 道路新設改良費	白木河内西高根線道路改良 事業	60,627	国庫支出金 38,675	【交付金事業】 補助率 6.5/10 (事業費内訳表) 《平成21年度から繰越》 工事請負費 4,738,721円 改良工事(1件) L=102.0m 事務費 261,279円 計 5,000,000円 《平成22年度》 工事請負費 46,869,619円 改良工事(2件) L=282.1m 橋梁下部工 橋台2基 委託料(1件) 6,930,000円 用地費 437,033円 補償費 283,100円 事務費 1,107,432円 計 55,627,184円 内交付金対象額 54,500,000円 《平成23年度へ繰越》 34,500,000円	国道266号と主要地方道本渡牛深線を結ぶ路線で あり、養殖、砕石業の運搬車両や通勤、スクールバ スの安全通行を確保するため改良工事を実施する。 事業期間 平成15年度～平成23年度 事業費 399,430千円 事業量 660m
		地方債 21,500		一般財源 452		

(7) 土木費 (2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果	
160 ┆ 162	3 道路新設改良費	通詞1号線道路改良事業	72,751	国庫支出金 46,800 地方債 25,900 一般財源 51	【交付金事業】 補助率 6.5/10 (事業費内訳) 《平成22年度》 工事請負費 72,007,630円 改良工事(2件) L=184.0m 事務費 743,002円 計 72,750,632円 内交付金対象額 72,000,000円	本路線は、通詞島地区と国道324号を結ぶ唯一の路線で、通勤、通学、流通等、本土とを結ぶ要衝道路であるが、本線に架かる通詞大橋の塗装面の劣化が進んでいるため、塗装塗替えを実施、安全性の確保を図った。 事業期間 平成21年度～平成22年度 事業費 80,000千円 事業量 180m 事業完了	
		梨の木地藏園線道路改良事業		22,087	国庫支出金 14,300 地方債 7,600 一般財源 187	【交付金事業】 補助率 6.5/10 (事業費内訳表) 《平成21年度から繰越》 委託料(1件) 2,815,105円 事務費 184,895円 計 3,000,000円 《平成22年度》 委託料(3件) 7,657,046円 用地費 1,388,788円 補償費 9,968,000円 事務費 73,605円 計 19,087,439円 内交付金対象額 19,000,000円	本路線は、国道266号から天草地域医療センターへ繋がる道路で、路線バスを含め多くの通行車両があるが、幅員が狭く緊急車両の通行に支障を来しているため、改良工事を実施し安全な通行の確保を図る。 事業期間 平成21年度～平成24年度 事業費 80,000千円 事業量 308m
		奈久葉峠線道路改良事業			0	【交付金事業】 補助率 6.5/10 (事業費内訳表) 《平成22年度》 0円 《平成23年度へ繰越》 2,500,000円	本路線にある奈久葉2号トンネルは、完成から34年が経過し、トンネル内部の覆工コンクリートのクラック及び漏水により劣化が進行し、通行の安全上支障をきたす恐れがあるため、トンネルの補修を行い、安全通行の確保を図る。 事業期間 平成22年度～平成24年度 事業費 105,000千円 事業量 240m

(7) 土木費 (2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
160 } 162	3 道路新設改良費	六田団地線道路改良事業	0		<p>【交付金事業】 補助率 6.5/10 《平成22年度》 0円</p> <p>《平成23年度へ繰越》 5,300,000円</p>	<p>本路線に架かる六田橋は築造から30年以上が経過しており、老朽化が進み損傷度が高い。また、橋梁長寿命化修繕計画においても架け替えが必要との判断がされたため、早急に対策を行い、歩行者及び通行車輛の安全性を確保する。</p> <p>事業期間 平成22年度～平成23年度 事業費 42,000千円 事業量 20m (橋長L=8m、取付工L=12m)</p>
		大規模単独事業	186,553	地方債 179,600 一般財源 6,953	<p>《平成22年度》</p> <p>総事業費 186,552,902円 工事契約件数 20件 工事施工延長 L=2,442.1m</p> <p>本渡地区 工事請負費 32,479,234円 改良工事(2件) L=187.2m 委託料 1,008,000円 用地費 48,453円 補償費 924,000円 事務費 1,772,842円 計 36,232,529円</p> <p>牛深地区 工事請負費 16,320,363円 改良工事(3件) L=413.4m 補償費 345,796円 計 16,666,159円</p> <p>有明地区 工事請負費 24,258,204円 改良工事(2件) L=445.0m 計 24,258,204円</p> <p>御所浦地区 工事請負費 33,816,057円 改良工事(2件) L=252.8m 計 33,816,057円</p>	<p>地域住民の日常生活に不可欠な施設である道路を整備し、生活環境及び地域振興の向上を図る。</p> <p>1路線の工事費が概ね10,000千円以上となる工事を実施。</p>

(7) 土木費 (2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
160 ↳ 162	3 道路新設改良費	大規模単独事業 (つづき)			<p>倉岳地区</p> <p>工事請負費 9,983,674円</p> <p>改良工事(2件) L=240.0m</p> <p>委託料 483,000円</p> <p>計 10,466,674円</p> <p>栖本地区</p> <p>工事請負費 13,536,374円</p> <p>改良工事(1件) L=62.0m</p> <p>舗装工事(1件) L=85.0m</p> <p>用地費 2,343,032円</p> <p>補償費 1,027,800円</p> <p>計 16,907,206円</p> <p>新和地区</p> <p>工事請負費 6,312,229円</p> <p>改良工事(1件) L=109.0m</p> <p>計 6,312,229円</p> <p>五和地区</p> <p>工事請負費 22,159,944円</p> <p>改良工事(4件) L=323.7m</p> <p>委託料 115,500円</p> <p>計 22,275,444円</p> <p>天草地区</p> <p>工事請負費 9,550円</p> <p>改良工事 トシ補修</p> <p>計 9,550円</p> <p>河浦地区</p> <p>工事請負費 17,380,495円</p> <p>改良工事(2件) L=324.0m</p> <p>委託料 1,869,000円</p> <p>用地費 324,873円</p> <p>補償費 34,482円</p> <p>計 19,608,850円</p>	地域活性化・経済危機対策臨時交付金と合併施工

(7) 土木費 (2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
160 ↳ 162	3 道路新設改良費	小規模単独事業	113,969	地方債 104,600 一般財源 9,369	《平成22年度》 総事業費 113,969,195円 工事契約件数 29件 工事施工延長 L=2,727.5m 本渡地区 工事請負費 22,571,427円 改良工事(4件) L=347.8m 委託料 1,727,250円 用地費 3,530,293円 補償費 339,100円 計 28,168,070円 牛深地区 工事請負費 22,283,565円 改良工事(9件) L=602.6m 委託料 871,500円 計 23,155,065円 有明地区 工事請負費 5,944,953円 舗装工事(1件) L=392.0m 用地費 296,680円 計 6,241,633円 倉岳地区 工事請負費 8,800,428円 改良工事(2件) L=319.3m 委託料 945,000円 計 9,745,428円 栖本地区 工事請負費 6,877,749円 改良工事(2件) L=58.0m 計 6,877,749円 新和地区 工事請負費 12,062,295円 改良工事(2件) L=260.5m 計 12,062,295円	地域住民の日常生活に不可欠な施設である道路を整備し、生活環境及び地域振興の向上を図る。 1路線の工事費が概ね10,000千円以下となる工事を実施。

(7) 土木費 (2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
160 ↳ 162	3 道路新設改良費	小規模単独事業 (つづき)			五和地区 工事請負費 4,798,500円 改良工事(2件) L=180.4m 補償費 273,494円 計 5,071,994円 天草地区 工事請負費 16,249,555円 改良工事(5件) L=313.9m 委託料 693,000円 計 16,942,555円 河浦地区 工事請負費 4,711,500円 改良工事(2件) L=253.0m 委託料 992,906円 計 5,704,406円	
		市道災害防除事業	17,052	地方債 16,100 一般財源 952	《平成22年度》 総事業費 17,052,215円 工事契約件数 4件 工事施工延長 L=118.1m 本渡地区 工事請負費 3,387,971円 災害防除工事(1件) L=20.0m 委託料 609,000円 計 3,996,971円 牛深地区 工事請負費 7,140,000円 災害防除工事(1件) L=42.1m 計 7,140,000円 五和地区 工事請負費 3,150,000円 災害防除工事(1件) L=20.0m 計 3,150,000円	落石等の危険性がある道路法面の対策工事を行い、通行の安全性の向上を図る。

(7) 土木費 (2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
160 ↳ 162	3 道路新設改良費	市道災害防除事業 (つづき)			河浦地区 工事請負費 2,765,244円 災害防除工事(1件) <u>L=36.0m</u> 計 2,765,244円	
		市道改良(単独)事業 大規模事業 (経済危機対策臨時交付 金)	36,000	国庫支出金 36,000	《平成21年度から繰越》 総事業費 36,000,000円 工事契約件数 1件 工事施工延長 L=90.0m 天草地区 工事請負費 36,000,000円 改良工事(1件) <u>L=90.0m</u> 計 36,000,000円	地域住民の日常生活に不可欠な施設である道路を 整備し、生活環境及び地域振興の向上を図る。
		市道改良(単独)事業 (きめ細かな臨時交付金)	205,000	国庫支出金 205,000	《平成21年度から繰越》 総事業費 205,000,000円 工事契約件数 33件 工事施工延長 L=4,178.8m 本渡地区 工事請負費 33,174,711円 改良工事(3件) L=419.7m 舗装工事(1件) <u>L=116.0m</u> 計 33,174,711円 牛深地区 工事請負費 27,547,908円 改良工事(6件) L=516.2m 舗装工事(2件) L=242.0m 委託料 451,500円 計 27,999,408円 有明地区 工事請負費 19,977,507円 改良工事(2件) L=558.1m 委託料 1,260,000円 計 21,237,507円	地域住民の日常生活に不可欠な施設である道路を 整備し、生活環境及び地域振興の向上を図る。

(7) 土木費 (2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
160 ↳ 162	3 道路新設改良費	市道改良(単独)事業 (きめ細かな臨時交付金) (つづき)			<p>御所浦地区</p> <p>工事請負費 14,347,888円</p> <p>改良工事(1件) L=211.5m</p> <p>委託料 3,580,500円</p> <p>計 17,928,388円</p> <p>倉岳地区</p> <p>工事請負費 12,960,309円</p> <p>改良工事(2件) L=539.9m</p> <p>委託料 945,000円</p> <p>計 13,905,309円</p> <p>栖本地区</p> <p>工事請負費 15,052,766円</p> <p>改良工事(1件) L=47.0m</p> <p>委託料 294,000円</p> <p>計 15,346,766円</p> <p>新和地区</p> <p>工事請負費 11,175,500円</p> <p>改良工事(1件) L=39.6m</p> <p>委託料 2,824,500円</p> <p>計 14,000,000円</p> <p>五和地区</p> <p>工事請負費 21,463,867円</p> <p>改良工事(4件) L=445.5m</p> <p>舗装工事(2件) L=344.9m</p> <p>委託料 535,500円</p> <p>計 21,999,367円</p> <p>天草地区</p> <p>工事請負費 16,914,768円</p> <p>改良工事(3件) L=338.5m</p> <p>計 16,914,768円</p> <p>河浦地区</p> <p>工事請負費 22,493,776円</p> <p>改良工事(5件) L=359.9m</p> <p>計 22,493,776円</p>	

(7) 土木費 (2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
160 ↳ 162	3 道路新設改良費	国・県道整備事業負担金	37,804	地方債 35,800 一般財源 2,004	総事業費 37,804,395円 道路改良事業費 30,131,999円 側溝整備事業費 7,672,396円 地区別内訳 本渡地区 6,845,226円 牛深地区 13,249,590円 有明地区 5,161,500円 栖本地区 184,259円 新和地区 4,045,500円 五和地区 2,361,748円 天草地区 837,000円 河浦地区 5,119,572円	国道2路線(266号、389号)及び主要地方道本渡牛深線ほか5路線、一般県道引地本町線ほか4路線の単県事業(道路改良及び側溝整備事業)の負担金。 道路改良事業 (負担率15%) 側溝整備事業 (負担率15%)
162	4 橋梁維持費	橋梁保守点検事業	23,464	一般財源 23,464	(事業費内訳) 委託料 中瀬戸航路標識灯保守点検業務委託 934,500円 瀬戸歩道橋自家用電気工作物保安管理業務委託 235,620円 瀬戸歩道橋操作・保守点検業務委託 22,294,300円 計 23,464,420円	瀬戸歩道橋・中瀬戸橋の維持管理及び安全管理に努め、地域住民の生活橋として利用者と船舶の安全が確保された。
		橋梁長寿命化修繕計画・調査業務委託事業	15,278	国庫支出金 9,750 一般財源 5,528	(事業費内訳) 委託料 橋梁長寿命化修繕計画委託 橋梁数 11橋(L=14.5m以上) 1,837,500円 橋梁点検調査業務委託 橋梁数 229橋(L=14.5m未満) 13,440,000円 計 15,277,500円	天草市が管理する道路橋は現在1,152橋あり、この内建設後50年を計画する高齢化橋は62橋で全体の5%を占めている。今後20年後には、この割合が35%を占め、急速に高齢化橋が増大する。このため市は橋梁点検調査を行い、長寿命化修繕計画を策定することにより、橋梁の長寿命化とライフサイクルコストの縮減計画を策定していく。

(7) 土木費 (2) 道路橋梁費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
162	4 橋梁維持費	橋梁維持補修事業	44,746	地方債 40,458 一般財源 4,288	(事業費内訳) 委託料 (地質調査及び詳細設計 1件) 大林橋 5,502,000円 工事請負費 (改修4件) 瀬戸歩道橋管理棟 1,102,500円 沖の瀬1号橋 1,620,393円 第二小串川橋 1,564,500円 大林橋 34,956,729円 計 39,244,122円 合計 44,746,122円	橋梁点検調査を行った結果、対象となる橋梁において、補修や改修が必要と判断されたため工事を実施し、橋梁を良好な状態に維持保全することにより通行の安全確保が図られた。
		橋梁維持補修事業 (きめ細かな臨時交付金)		52,644	国庫支出金 52,644	

(7) 土木費 (3) 河川費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
163 5 164	2 河川管理費	河川管理事業	1,088	県支出金 825 一般財源 263	(事業費内訳) 河川施設管理業務委託 915,300円 樋門・水門管理操作委託(8箇所) (亀川河口・楠甫・中田東入江・君ヶ水 ・八幡橋・久留川入江・流合川荒新開東 ・荒新開) 清掃委託料 172,440円 上津浦ダム公衆トイレ清掃管理業務委託 上津浦ダム公衆トイレ浄化槽管理業務委託 計 1,087,740円	樋門等の管理により低地帯の浸水被害防止を図ることができた。
		河川維持事業	10,832	一般財源 10,832	(事業費内訳) 工事請負費 本渡地区(2件) 1,092,000円 塚田川 土砂掘削V=360m ³ 目黒川 土砂掘削V=67m ³ 牛深地区(2件) 1,911,000円 大の浦川 ブロック積外L=15.5m 内の原川 土砂掘削V=83m ³ ・ブロック積L=3.2m 有明地区(1件) 924,000円 小田川 L型水路H=1.0m、L=20m 御所浦地区(1件) 798,000円 田の尻川 ブロック積L=30m 倉岳地区(1件) 761,250円 小浦川 土砂掘削V=266m ³ ・堤防除草 栖本地区(1件) 784,350円 平山川 擁壁工L=12m 新和地区(3件) 2,226,000円 大宮地川 土砂掘削V=288m ³ 迫田川外 擁壁工L=35m 大宮川外1 被覆L=36m・土砂掘削V=63m ³ 五和地区(1件) 777,000円 北山浦川外 土砂掘削V=272m ³	河川の堆積土除去や護岸補修により機能回復を図ることができた。

(7) 土木費 (3) 河川費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
163 ↳ 164	2 河川管理費	河川維持事業 (つづき)			天草地区 (1件) 823,200円 越崎川 ボックスカルバートL=7m 河浦地区 (1件) 735,000円 石積L=10m、土砂掘削V=20.8m ³ 計 10,831,800円	
		排水路等整備事業 (きめ細かな臨時交付金)	19,141	国庫支出金 19,140 一般財源 1	《平成21年度から繰越》 (事業費内訳) 委託料 (2件) 測量設計等業務委託 1,953,000円 工事請負費 牛深地区 (1件) 1,428,000円 大脇地区 施工延長L=54.6m 有明地区 (1件) 1,501,500円 上地区 施工延長L=76.7m 御所浦地区 (1件) 2,253,300円 田ノ水地区 施工延長L=46.6m 栖本地区 (2件) 3,301,333円 辻地区 施工延長L=18m 辻地区その2 施工延長L=96m 新和地区 (1件) 3,933,996円 大宮地地区外1 施工延長L=46.4m 五和地区 (1件) 1,770,538円 野口地区 施工延長L=123.9m 河浦地区 2,999,274円 乗田地区 施工延長L=92m 計 17,187,941円 合計 19,140,941円	集落内の小規模で老朽化が進んだ排水路の整備及び未整備地区の解消を図ることによって、浸水の被害を防止すると共に、生活環境の改善を図ることができた。

(7) 土木費 (3) 河川費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
163 5 164	2 河川管理費	排水路整備事業	16,872	一般財源 16,872	(事業費内訳) 委託料 (2件) 測量設計等業務委託 <u>3,181,500円</u> 工事請負費 本渡地区 (2件) 1,445,850円 新休地区 施工延長L=20m 中岳地区 施工延長L=10m 牛深地区 (2件) 3,402,000円 浦越地区 施工延長L=18m 池田地区 施工延長L=24m 有明地区 (1件) 1,428,000円 宮本地区 施工延長L=37m 栖本地区 (1件) 5,418,000円 梅津地区 施工延長L=49m 河浦地区 (1件) 1,996,281円 路木地区 施工延長L=20.3m 計 <u>13,690,131円</u> <u>合計 16,871,631円</u>	集落内の小規模で老朽化が進んだ排水路の整備及び未整備地区の解消を図ることによって、浸水の被害を防止すると共に、生活環境の改善を図ることができた。
164	3 河川改良費	単独河川整備事業	27,651	一般財源 27,651	(事業費内訳) 委託料 (4件) 測量設計等業務委託 <u>4,651,500円</u> 工事請負費 牛深地区 (4件) 8,975,400円 太田川 ブロック積L=46m 春道川 擁壁・ブロック積L=14.8m 新町川 張コンクリート・根固L=26m 下山木河内川 ブロック積L=15.4m 新和地区 (1件) 7,078,645円 切越川 ブロック積L=63.8m	護岸改良を行い河川の断面不足による流水の滞留や氾濫を防止し、隣接する道路や住宅等の保全を図ることができた。

(7) 土木費 (3) 河川費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
164	3 河川改良費	単独河川整備事業 (つづき)			天草地区(1件) 4,074,000円 倉川 ブロック積L=35m 河浦地区(1件) 2,871,155円 野下川 ブロック積・ボックスカルバートL=13m 小計 22,999,200円 合計 27,650,700円	
		砂防関係県負担金	45,310	一般財源 45,310	(事業費内訳) ・急傾斜地崩壊対策事業負担金 擁壁工 負担率1/20 山の浦(牛深)・南風泊(御所浦)・大河内(栖本) 総事業費 308,221千円×1/20 負担金 15,411,000円 擁壁工・法枠工 負担率1/10 志柿(本渡)・天草学園上(本渡)・広瀬(本渡) ・山仁田(本渡) 総事業費 160,000千円×1/10 負担金 16,000,000円 ・単県急傾斜地崩壊対策事業負担金 測量設計・擁壁工・法枠工 負担率1/3 大渡(五和)・城の平2(本渡)・向地区(御所浦) 久木山B地区(栖本)・舟津加世浦地区(牛深) 総事業費 36,960千円×1/3 負担金 12,320,000円 ・単県地すべり対策事業負担金 法枠工・ブロック積工 負担率1/10 大矢崎地区(本渡)・魚貫地区(牛深)・丸木場 地区(五和) 総事業費 15,790千円×1/10 負担金 1,579,000円 合計 45,310,000円	急傾斜地崩壊防止区域及び地すべり防止区域、砂防区域内で土砂災害から、市民の生命、財産の保護及び生活の安全が図られた。

(7) 土木費 (3) 河川費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
164	3 河川改良費	県営建設海岸事業負担金	1,209	一般財源 1,209	<ul style="list-style-type: none"> 単県海岸保全事業 護岸工 負担率1/20 船場(本渡) 総事業費 24,180千円×1/20 負担金 <u>1,209,000円</u> 	近年の異常潮位及び台風などの高潮から道路・住宅・農地への被害及び生命の安全を図ることができた。

(7) 土木費 (4) 港湾費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
164 ＼ 165	1 港湾管理費	港湾管理事業	6,674	県支出金 1,503 一般財源 5,171	(事業費内訳) 施設管理委託料 3,562,805円 樋門・水門管理委託(7箇所) (錦島東・錦島西・障子の瀬・金焼・大門・東入江・檜の浦) 可動橋操作等委託(1箇所) 待合所及び駐車場管理(3箇所) (与一ヶ浦港・棚底港) 清掃委託料 1,655,493円 トイレ清掃業務委託(2箇所) (牛深港・本渡港大矢崎緑地) 海水浴場清掃委託(茂木根港) 浄化槽維持管理業務委託(3箇所) (与一ヶ浦港・上平港・牛深港) 調査委託料(2件) 1,455,300円 本渡みなとまちづくり基本構想策定業務 一町田港公有水面埋立確定測量業務 計 <u>6,673,598円</u>	樋門や可動橋等の施設管理を適切に行い、低地帯の浸水被害防止や港湾施設利用者に安全で快適な環境を提供できた。
		港湾施設維持補修事業	4,253	一般財源 4,253	(事業費内訳) 工事請負費 4,252,500円 赤崎港浚渫土運搬工事 運搬土量V=1,424m ³	上津浦港に仮置きしていた浚渫土を処分し、港湾施設利用者に安全で快適な環境を提供できた。

(7) 土木費 (4) 港湾費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
164 } 165	1 港湾管理費	港湾施設長寿命化計画策定 事業	1,468	国庫支出金 400 一般財源 1,068	(事業費内訳) 委託料(2件) 1,468,458円 天草市港湾施設維持管理計画策定調査業務委託 港湾施設維持管理計画マニュアル策定準備 業務委託	港湾施設の長寿命化計画を策定する上で必要とする施設の現状を把握できた。
165 } 166	2 港湾建設費	港湾改修単独事業	9,440	一般財源 9,440	(事業費内訳) 委託料 630,000円 家屋調査委託(2件) 工事請負費(3件) 8,809,500円 障子の瀬樋門スライドゲート修繕工事(本渡) 戸当り修繕 一式 白石海岸護岸漏水補修工事(牛深) 薬液注入工 L=33m、n=53本 一町田港主留海岸維持工事(河浦) 土木工一式・防食塗装 A=25㎡ 計 9,439,500円	護岸の改修工事などを行い施設の安全性を向上できた。
		港湾統合事業	2,079	一般財源 2,079	(事業費内訳) 委託料 港内静穏度検討業務委託 2,079,000円	赤崎港・上津浦港・下田港の港内への越波対策のための基礎資料を整理できた。
		倉岳・御所浦間みなと振興 交流事業	96,916	国庫支出金 57,655 地方債 39,000 一般財源 261	(事業費内訳) 委託料(2件) 1,160,250円 棚底港公衆トイレ新設設計業務委託 棚底港トイレ解体設計業務委託 工事請負費(6件) 87,728,319円 棚底港待合所設備改修工事 棚底港待合所改修工事 棚底港杭式浮棧橋製作工事 PCハイブリッド製浮棧橋製作	棚底港の待合所や公衆トイレ・臨港道路などを整備し、港湾施設の充実と利用者の利便性を向上を図ることができた。

(7) 土木費 (4) 港湾費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
165) 166	2 港湾建設費	倉岳・御所浦間みなと振興 交流事業 (つづき)			棚底港公衆トイレ新築工事 RC造 1棟・平屋・A=36.22㎡ 棚底港公衆トイレ新築設備工事 棚底港臨港道路・緑地整備工事 道路整備L=56m・緑地整備A=464㎡ 事務費 8,027,000円 (うち人件費 7,906,000円) 計 96,915,569円 《平成23年度へ繰越》 100,000,000円	
		港湾整備県事業負担金	2,450	地方債 2,400 一般財源 50	(事業費内訳) 本渡港港湾統合事業 負担率 1/6 車止：L=149m 護岸プレート：L=197m 総事業費 14,700千円×1/6 負担金 2,450,000円	本渡港港湾統合事業により、本渡港の安全性が向上した。

(7) 土木費 (5) 都市計画費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
166 5 168	1 都市計画総務費	都市計画審議会	309	一般財源 309	<p>【都市計画審議会】 都市計画法の規定により、市町村に設置される付 属機関であり、都市計画に関する事項について調査 審議する。</p> <p>・委員数 17名 ・開催回数 3回 (事業費内訳) 報酬 210,000円 旅費(費用弁償) 99,026円 計 309,026円</p>	<p>第1回審議会では「本渡魚市場の位置決定」につ いて審議し可決した。第2回審議会から「公共下水 道排水区域等の変更」について審議を行い、第3回 審議会でも可決した。このほか「都市計画の見直し」 等について意見を伺った。</p> <p>審議会開催日：平成22年 6月28日 審議会開催日：平成22年11月26日 審議会開催日：平成23年 3月 2日</p>
		都市計画マスタープラン策 定事業	4,523	一般財源 4,523	<p>【都市計画マスタープラン策定事業】 都市の具体的な将来ビジョンを確立し、地域の課 題に応じた整備方針の策定や生活・経済活動等を支 える施設の整備など総合的に計画する。</p> <p>(事業費内訳) 委託料 3,465,000円 調査業務委託 1件 事務費(役務費) 971,169円 事務費(消耗品費) 87,304円 計 4,523,473円</p>	<p>平成22年度は、住民意向調査(現況分析・住民 アンケート・アンケートの解析)を実施。地域の現 状やまちづくりの将来像などについて、市民の意向 を把握することができた。</p> <p>○住民意向調査の内容 ・これからのまちづくり 回収1,988人(回収率36.1%) ・未整備道路沿線(本渡) 回収155人(回収率45.6%) ・未整備道路沿線(牛深) 回収109人(回収率49.8%)</p>
		景観保全事業	105,256	県支出金 105,256	<p>【緊急雇用創出基金事業】 良好な景観形成の推進を図るため、海岸・港湾・ 河川・道路・観光地等の環境美化を進める。</p> <p>・業務委託箇所 天草市全域 ・業務委託数 18件</p> <p>(事業費内訳) 景観整備委託料 105,256,341円</p>	<p>景観形成上重要な海岸・港湾・河川・道路・観光 地等の草刈、清掃、樹木の簡易剪定等の美化作業を 実施し、良好な景観形成の推進が図られた。また、 本委託において失業者を新規雇用することにより、 緊急かつ臨時的な雇用・就業機会の創出を図ること ができた。</p>

(7) 土木費

(5) 都市計画費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果								
166 ↳ 168	1 都市計画総務費	景観からの島づくり事業	2,468	一般財源 2,468	<p>【天草市景観審議会】 天草市景観条例の規定により、天草市の景観形成に関する事項について調査審議する。</p> <p>・委員数 10人 ・開催回数 2回</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>報酬</td> <td style="text-align: right;">130,000円</td> </tr> <tr> <td>旅費(費用弁償)</td> <td style="text-align: right;">202,020円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">403,713円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">735,733円</td> </tr> </table> <p>【景観整備委託】</p> <p>・景観色彩ガイドライン調査 調査箇所 3箇所</p> <p style="text-align: right;">714,000円</p> <p>・景観整備業務委託 ・業務委託数 6件</p> <p style="text-align: right;">1,018,613円</p>	報酬	130,000円	旅費(費用弁償)	202,020円	消耗品費	403,713円	計	735,733円	<p>審議会を2回開催し、天草市の景観形成に関する事項について調査審議した。</p> <p>審議会開催日：平成22年7月30日 景観形成地域の指定を予定している倉岳町棚底及び御所浦町の現地調査(視察)を実施した。</p> <p>審議会開催日：平成23年3月22日 景観重要樹木の指定について審議し、国の重要文化的景観に選定された「天草市崎津の漁村景観」及び天草市公共事業等景観形成指針における届出事例の報告を行った。</p> <p>景観形成地域内の環境色の特徴を調査し、景観色彩ガイドライン策定のための基礎資料とした。</p> <p>街路樹木の剪定や樹木の保全等を実施し、景観の維持・向上を図ることができた。</p>
報酬	130,000円													
旅費(費用弁償)	202,020円													
消耗品費	403,713円													
計	735,733円													
168	3 街路事業費	太田町・水の平線街路整備事業	10,665	地方債 10,100 一般財源 565	<p>【県営街路整備事業負担金】 県が施工する都市計画事業に要する経費の一部を負担し、健全な市街地の形成を図る。</p> <p>[城下工区] (道路改良工事 L=90m)</p> <p>[本戸馬場工区] (用地・補償費 1式) (道路改良工事 L=200m)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>事業費</td> <td style="text-align: right;">106,650,000円</td> </tr> <tr> <td>負担金(1/10)</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">10,665,000円</td> </tr> </table>	事業費	106,650,000円	負担金(1/10)	10,665,000円	<p>事業計画に基づく、道路改良工事・用地買収・建物補償が実施され事業の進捗が図られた。</p> <p>城下工区は、平成22年度に事業完了。本戸馬場工区は、平成23年度末に事業完了予定。</p> <p>事業名：地域活力基盤創造交付金事業 [城下工区] 施行延長L=313m 事業期間：H15年度～H22年度 総事業費：350,000千円 事業完了</p> <p>[本戸馬場工区] 施行延長L=900m 事業期間：H9年度～H23年度 総事業費：1,575,000千円 進捗率97%</p>				
事業費	106,650,000円													
負担金(1/10)	10,665,000円													

(7) 土木費 (5) 都市計画費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果	
168 5 170	4 公園緑地費	公園維持管理事業	63,949	一般財源 63,949	[公園維持管理] 都市公園 箇所数 48箇所(本渡39、牛深9) 面積 77.0ha その他の公園 箇所数 37箇所(本渡14、牛深12、河浦4、御所浦6、新和1) 面積 5.6ha (事業費内訳) 報酬 2,491,200円 共済費 363,000円 報償費 850,500円 需用費 14,436,207円 役務費 752,815円 委託料 43,130,791円 使用料及び賃借料 666,506円 原材料費 1,009,298円 備品購入費 248,740円 計 63,949,057円	年間を通して、公園緑地の施設点検・清掃・除草・植物等の維持管理を実施した。 施設の保全と都市環境の改善、利用者の安全性と利便性の向上が図られた。	
		花菖蒲まつり事業		3,460	一般財源 3,460	[花菖蒲まつり] 場所 西の久保公園 (事業費内訳) 報償費 400,000円 需用費 965,771円 役務費 109,225円 委託料 1,336,265円 使用料及び賃借料 649,095円 計 3,460,356円	西の久保公園で花しょうぶ祭り大バザールを開催した。県内外から約3万人の来園者があり、観光や地域活性化が図られた。 開催期間：平成22年5月29日～6月13日
		団体負担金		84	一般財源 84	[団体負担金] 全国都市公園整備促進協議会 42,000円 日本公園緑地協会 42,000円 計 84,000円	公園緑地の整備に関する情報の収集が図られた。 都市公園における日常点検講習会を受講し、職員の技術向上が図られた。

(7) 土木費 (5) 都市計画費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
170	5 公園建設費	公園施設長寿命化計画策定 事業	6,000	国庫支出金 3,000 一般財源 3,000	【補助事業】 補助率 5/10 (事業費内訳) 委託費(1件) 6,000,000円	42公園の健全度把握調査等を実施し、35公園(街区公園)の長寿命化計画を策定した。 〔長寿命化計画の概要〕 公園施設の健全度の把握、修繕・補修実施の判定基準の設定、施設の改善計画。
		都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	55,015	国庫支出金 27,155 地方債 26,000 一般財源 1,860	【補助事業】 補助率 5/10 (事業費内訳) 工事請負費(9件) 52,986,734円 委託費(3件) 1,340,661円 事務費 687,603円 計 55,014,998円	本渡モデル遊園地、桜町公園、浜田公園、港町遊園地の遊具等の改築更新を実施し、利用者の安全性の向上が図られた。 本渡モデル遊園地の便所改築によるバリアフリー化で利用者の利便性が図られた。 うしぶか公園テニスコート改修により、利用者の利便性が図られた。
		都市公園整備事業 (きめ細かな臨時交付金)	23,500	国庫支出金 23,500	(事業費内訳) 《平成21年度から繰越》 工事請負費(5件) 22,428,123円 委託費(2件) 1,071,877円 計 23,500,000円	うしぶか公園照明灯設置、南公園集会所改修、西の久保公園ネット遊具改修工事を実施し利用者の利便性の向上が図られた。 南公園、西の久保公園の災害防除工事を実施し、利用者の安全性の向上が図られた。
		都市公園整備単独事業	38,532	その他 38,532	(事業費内訳) 工事請負費(4件) 37,042,400円 委託費(2件) 234,538円 事務費 1,254,880円 計 38,531,818円	本渡北土地区画整理組合から帰属を受けた田島公園の整備をすることにより、地域住民の憩いの場が形成された。

(7) 土木費

(5) 都市計画費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
170 ↳ 171	6 まちづくり 交付金費	まちづくり交付金事業	128,094	地方債 127,800 一般財源 294	<p>【本渡中央北地区】 (事業費内訳) 《平成21年度から繰越》 委託料(1件) 3,040,000円 工事請負費(7件) 124,717,380円 事務費(庁費) 336,620円 計 128,094,000円</p> <p>[事業内容・事業費内訳] 《平成21年度から繰越》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●道路事業 市道舗装工事(L=777.5m) 工事請負費(1件) 21,176,370円 ●地域生活基盤施設 情報基盤整備工事(情報板1基・案内板13基) 工事請負費(1件) 6,929,883円 ●高質空間形成施設 公園整備工事(駐車場整備) 工事請負費(1件) 2,169,517円 	<p>【本渡中央北地区】 本渡中央北地区まちづくり交付金事業は、祇園橋や天草キリシタン館など地域の歴史や文化・観光資源を活かし、地域経済・社会の活性化を目的としている。当地区では、各種の施設整備や道路の高質化、情報板の設置等を実施し、回遊性のある市街地の形成と来街者の利便性、地域の魅力向上を図る。また、歴史や文化・伝統を学び発信する観光ボランティアの育成により、交流人口を増加させ、地域の活性化に繋げる。</p> <p>事業期間：平成17年度～21年度 総事業費：2,245,000千円 平成22年6月末完了 ○平成22年度の利用者数 ポルト：91,826人 天草文化交流館：9,144人 天草キリシタン館：65,817人(7月1日オープン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●道路事業 地区内の道路(舗装・排水工等)を整備することにより、快適・安心・安全な通行が確保された。 ●地域生活基盤施設 情報板の設置により、来街者の利便性向上と地域の観光PRが図られた。また、案内板の設置により回遊性のある市街地の形成が図られた。 ●高質空間形成施設 ・城山公園整備事業 来街者や市民が安全・快適に利用できる施設等の整備により、天草キリシタン館と一体となった滞在空間の形成が図られた。

(7) 土木費

(5) 都市計画費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
170 6 171	まちづくり 交付金費	まちづくり交付金事業 (つづき)			<p>●高次都市施設 天草キリシタン館整備工事監理業務委託 天草キリシタン館整備工事 (延べ床面積A=997㎡、RC2階建 展示) 外構、植栽、附帯工事</p> <p>委託料(1件) 3,040,000円 工事請負費(4件) 94,441,610円 計 97,481,610円</p>	<p>●高次都市施設 ・天草キリシタン館整備事業 既存の展示機能に企画学習、情報発信、交流空間の機能を加え、観光客はもとより市民も学び交流できる魅力ある施設として整備。7月1日のオープン以降来館者も増加している。</p>
			7,210	<p>地方債 7,000 一般財源 210</p>	<p>【下田地区】 (事業費内訳) 《平成21年度から繰越》 工事請負費(2件) 7,028,559円 事務費(庁費) 181,441円 計 7,210,000円</p> <p>〔事業内容・事業費内訳〕 《平成21年度から繰越》 ●高質空間形成施設 環境整備工事(ゲート・白鷺橋) 工事請負費(2件) 7,028,559円</p>	<p>【下田地区】 下田地区まちづくり交付金事業は、多彩で美しい天草の自然景観と島内唯一の天然温泉など、700年の伝統を持つ下田温泉の多様な観光資源を活用し、観光客や地域住民の憩いの場を創造、賑わいと活気あふれる温泉街の再生を図ることを目的としている。当地区では、中心部に温泉広場や観光交流センターを整備、舗装の高質化や照明の設置、公園整備等により、観光客の利便性向上や魅力ある温泉街の形成を図る。また、観光商品の底上げやまちづくりに対する地域住民の意識高揚に繋げる。</p> <p>事業期間：平成18年度～21年度 総事業費：396,000千円 平成22年8月末完了 ○平成22年度の利用者数 観光交流センター：21,025人 足湯：27,568人</p> <p>●高質空間形成施設 ・下田地区環境整備工事 温泉街の入口となるゲートの改修や白鷺橋の塗装により、魅力ある街並みの形成が図られた。</p>

(7) 土木費 (7) 住宅費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額		施策の概要	施策の成果
173 S 174	1 住宅管理費	公営住宅営繕事業	6,893	国庫支出金 1,913 一般財源 4,980	<p>【市営住宅営繕事業】 (事業費内訳) 工事請負費 2,640,750円 住宅解体工事 2件 大島団地 1戸 宮崎団地 3戸</p> <p>【地域交付金事業】 [公営住宅ストック総合改善事業] 補助率 4.5/10 (事業費内訳) 工事請負費 4,252,500円 玄関ドア改修工事 1件 白木団地 20戸</p> <p>交付基本額 4,252,000円 交付金額 1,913,000円</p>	<p>本工事の実施により、市営住宅の良好な住環境、居住性向上、維持管理及び安全性の確保を図ることが出来た。 なお、大島団地については、火災により解体。</p>
174 S 175	2 住宅建設費	公営住宅整備事業	86,334	国庫支出金 33,353 一般財源 52,981	<p>【地域交付金事業】 [公営住宅ストック総合改善事業] 補助率 4.5/10 (事業費内訳) 工事請負費 80,783,669円 浄化槽改修工事 1件 新合団地 12戸 外壁改修工事 3件 大友尻団地3・4号棟 10戸 新久玉団地5号棟 16戸 新久玉団地6号棟 16戸 電気設備改修工事 2件 新久玉団地5号棟 16戸 新久玉団地6号棟 16戸</p>	<p>本工事の実施により、住環境、居住性向上及び高齢者対応はもとより安全性の確保を図ることが出来た。</p>

(7) 土木費

(7) 住宅費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額		施策の概要	施策の成果
174 5 175	2 住宅建設費	公営住宅整備事業 (つづき)			自転車置場改築工事 2件 新久玉団地3・5号棟 32戸 宮野河内団地 12戸 屋外環境整備工事 1件 新久玉団地3・5号棟 32戸 火災警報器設置工事3件 本渡地区 113戸 牛深地区(その1)公営住宅分 128戸 牛深地区(その2)公営住宅分 84戸 階段手摺設置工事 1件 牛深地区 132戸 委託料 2,858,100円 旅費 39,200円 需用費 1,939,058円 役務費 200,000円 負担金補助及び交付金 28,000円 計 85,848,027円 交付基本額 73,633,000円 交付金額 33,135,000円	
					【社会資本整備総合地域交付金事業】 [既設公営住宅機能向上事業] 補助率 4.5/10 (事業費内訳) 工事請負費 486,165円 火災警報器設置工事2件 牛深地区(その1)一般住宅分 30戸 牛深地区(その2)一般住宅分 8戸 交付基本額 485,000円 交付金額 218,000円	本工事の実施により、住宅防災対策はもとより、 入居者の安全確保を図ることが出来た。

(8) 消防費 (1) 消防費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
175	1 常備消防費	天草広域連合負担金	1,434,132	地方債 109,200 一般財源 1,324,932	天草広域連合負担金(常備消防費分) (参考)2市1町の負担金合計 2,076,896,000円 うち高規格救急自動車購入負担金(天草市負担分) 1台 19,241,000円 うち小型動力ポンプ付積載車購入負担金 (天草市負担分)3台 9,373,000円 うち南消防署庁舎建設事業負担金(天草市負担分) 1棟 86,967,000円	市民の生命、財産を火災等の災害から守るとともに、公共の福祉の増進が図られた。 半自動除細動器など高度救急資機材を搭載した高規格救急自動車が配備することができ、救急体制の高度化が図られた。(有明分遣所に配備) また、小型動力ポンプ付積載車を各分遣所に配備できた。(新和分遣所、五和分遣所、有明分遣所に配備) さらに、南消防署庁舎の移転新築により深海町、魚貫町、河浦町方面に対する現場到着時間が短縮され初動体制の確立が図られた。
175 } 176	2 非常備消防費	消防団の訓練事業	17,339	一般財源 17,339	消防団の訓練事業 17,339,300円 【費用弁償】 16,195,000円 ・新入団、新部長訓練 ・夏季訓練 ・非常呼集訓練 ・冬季訓練 ・出初式訓練 ・防災訓練 など 費用弁償 2,000円/日・人 【需用費】 41,950円 【借上料】 1,102,350円 ・出初式バス(船舶)借上げ ・訓練時クレーン借上げ 等	消防団員の消防知識、技能の習得及び向上のため、各種訓練を実施し、消防技術の向上が図られた。
		熊本県消防協会天草市支部補助金	1,350	一般財源 1,350	補助金 1,350,000円 当該補助金により、熊本県消防協会天草市支部が実施する防火、防災訓練及び防火意識の啓発普及と団員研修事業を推進する。	消防出初式、各種訓練等の実施に対する補助の実施により、消防団活動、運営の強化が図られた。
176 } 177	3 消防施設費	消防格納庫整備事業	15,378	地方債 10,400 一般財源 4,978	消防格納庫整備事業 15,378,300円 ・消防格納庫新設工事 10,096,800円 河浦方面隊 1棟 ・水防倉庫整備工事 4,998,000円 牛深地区 1棟 ・消防格納庫新築等設計委託 283,500円	消防機材の保管場所及び消防団の出動態勢の待機場所としての整備が図られ、火災発生等の出動態勢の強化・迅速化が図られた。

(8) 消防費 (1) 消防費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
176 ） 177	3 消防施設費	消防機械等購入事業	48,963	地方債 48,300 一般財源 663	消防ポンプ等購入事業 48,963,250円 ・ポンプ付積載車（普通車） 3台 有明方面隊 2台 倉岳方面隊 1台 ・消防積載車（普通車） 10台 本渡方面隊 2台 牛深方面隊 2台 新和方面隊 3台 五和方面隊 1台 天草方面隊 2台 ・消防積載車（軽自動車） 1台 御所浦方面隊 1台 ・消防小型ポンプ 8台 本渡方面隊 2台 五和方面隊 2台 天草方面隊 1台 河浦方面隊 3台	火災発生時の消防団の装備、消防機器の整備充実が図られた。
		防火水槽整備事業	38,011	地方債 31,300 その他 1,249 一般財源 5,462	防火水槽築造 38,011,234円 ・新設 8基 本渡 1基、牛深 2基、倉岳 1基、栖本 1基、 五和 1基、天草 1基、河浦 1基 ・撤去 1基 新和 1基 ・水利整備 1基 牛深 1基	火災発生時の際の消防水利の確保が図られた。 また、有蓋化改修により水利施設の安全性等が確保された。
		消火栓設置負担金	30,231	地方債 30,200 一般財源 31	消火栓設置負担金 30,231,023円 ・拡張改良 74件 27,607,366円 本渡40、牛深 6、有明 2、御所浦 2、倉岳 1、 栖本 2、新和 3、五和 5、天草 1、河浦12 ・修繕 13件 2,623,657円 本渡 2、牛深 2、有明 1、御所浦 3、栖本 1、 新和 2、五和 1、河浦 1	水道（上水道、簡易水道等）普及地区においての 管布設替え等に伴う新設及び修繕を行うことによ り、火災時の消防水利の確保（充実）が図られた。 また、市消防水利整備計画により計画的な水利の 整備も図られた。
177 ） 179	5 災害対策費	防災訓練事業	906	一般財源 906	防災訓練事業 905,790円 開催地 天草地域 対象地域 牛深、天草、河浦地域 参加機関 陸上自衛隊、消防署、消防団ほか 400人	天草地域における防災体制の確立と防災関係機関 の連携強化並びに天草市民の防災意識の高揚が図ら れた。 また、福祉部局との連携による災害時要援護者避 難支援計画に基づく避難訓練を実施。

(9) 教育費 (1) 教育総務費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
179 ） 180	1 教育委員会費	天草教育研究所等補助金	4,079	一般財源 4,079	<p>【教育研究所】 (研修部) ・部会研修 各部会ごとに地域の実態に合わせた研修体制で、教職員の資質向上を目指した研修を実施した。</p> <p>・調査委員会 調査委員会を6回開催し、所報「130号」及び「131号」を発行した。</p> <p>・部門別研修 21部門で指導力向上を目指した研修、研究を行った。また、12部門において10回の研究会及び2回の講習会を行った。</p> <p>(児童文化部) 文化展の開催及び審査、英語発表会、小中学校音楽会を開催した。</p> <p>(体育部) ・小学校 水泳記録会(12会場)、陸上記録会(10会場)、ソフトボール大会(12会場)、ミニバスケットボール大会(12会場)、サッカー大会(12会場)を開催した。</p> <p>・中学校 夏季総合体育大会(11種目18会場)、郡市秋季陸上競技大会、郡市駅伝競走大会を開催した。</p> <p>【学校保健会】 会議(13回)、保健主事研究協議会、養護教諭研究協議会(2回)を開催した。</p> <p>【学校給食会】 評議員会(3回)、学校栄養教諭・栄養職員研修会、学校給食研究協議会、支部別研修会(7回)を開催した。</p> <p>【小中学校校長会】 役員会(6回)、研究委員会(6回)、研修研究会(5回)、自主校長会(2回)を開催した。</p>	<p>教職員の研修、各部門別研修会の事業推進、各部会の連絡調整、児童・生徒の文化・体育の振興(文化展、小・中体連各種大会の開催等含む。)、熊本県教育研究会及び教育関係諸団体との連絡調整、その他天草地区の教育振興に寄与することが出来た。</p>

(9) 教育費 (1) 教育総務費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果								
179 } 180	1 教育委員会費	天草教育研究所等補助金 (つづき)			<p>【小中学校教頭会】</p> <p>教頭委員会(6回)、研修大会(2回)を開催し、県内外の研修会等に6回参加した。</p> <p>各市町補助金</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>天草市</td> <td style="text-align: right;">4,079,000円</td> </tr> <tr> <td>上天草市</td> <td style="text-align: right;">1,462,000円</td> </tr> <tr> <td>苓北町</td> <td style="text-align: right;">361,000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">5,902,000円</td> </tr> </table>	天草市	4,079,000円	上天草市	1,462,000円	苓北町	361,000円	計	5,902,000円	
天草市	4,079,000円													
上天草市	1,462,000円													
苓北町	361,000円													
計	5,902,000円													
		天草郡市教育委員会連絡協議会負担金	895	一般財源 895	<p>【教育総務部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課長会 1回 ・理事会 1回 ・総会 1回 ・教育委員研修会 1回 <p>【学校教育部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会会議 3回 ・教科用図書採択協議会 3回 ・教科用図書選定委員会 3回 ・教科用図書研究委員会 3回 ・若手教師実践発表会 1回 <p>【社会教育部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会会議 2回 ・文化財保護委員研修会 1回 ・童話発表会 1回 ・社会教育委員・公民館長・公民館職員研修会 1回 <p>各市町負担金</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>天草市</td> <td style="text-align: right;">894,600円</td> </tr> <tr> <td>上天草市</td> <td style="text-align: right;">402,000円</td> </tr> <tr> <td>苓北町</td> <td style="text-align: right;">220,400円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">1,517,000円</td> </tr> </table>	天草市	894,600円	上天草市	402,000円	苓北町	220,400円	計	1,517,000円	<p>天草市、上天草市及び苓北町の教育委員会が行う事務について連絡調整を図り、天草郡市の教育振興に寄与することができた。</p> <p>平成22年度は小学校の教科用図書の選定年度に当たり、天草地区として教科用図書の適正かつ公正な採択の確保を図ることを目的として採択協議会を設置し、決定した内容を各教育委員会へ報告し、各教育委員会で最終的な決定を行った。</p>
天草市	894,600円													
上天草市	402,000円													
苓北町	220,400円													
計	1,517,000円													

(9) 教育費 (1) 教育総務費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																														
180 } 181	2 事務局費	学校施設修繕費	19,595	一般財源 19,595	<p>小学校(42校)中学校(15校)、幼稚園(4園)の危険箇所、老朽箇所の改善を行った。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table> <tr> <td>需用費</td> <td>124,293円</td> </tr> <tr> <td>小学校施設修繕費</td> <td>14,325,147円</td> </tr> <tr> <td>中学校施設修繕費</td> <td>4,393,574円</td> </tr> <tr> <td>幼稚園施設修繕費</td> <td>732,312円</td> </tr> <tr> <td>建築関係講習会負担金</td> <td>20,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>19,595,326円</td> </tr> </table>	需用費	124,293円	小学校施設修繕費	14,325,147円	中学校施設修繕費	4,393,574円	幼稚園施設修繕費	732,312円	建築関係講習会負担金	20,000円	計	19,595,326円	各学校施設の建物は、経年変化による劣化が激しく様々な箇所で破損等が見られる。今回修繕を行ったことで、施設における老朽箇所の改善を図られたと共に、児童・生徒・園児が快適に学校教育を受ける環境を整えることが出来た。																		
需用費	124,293円																																			
小学校施設修繕費	14,325,147円																																			
中学校施設修繕費	4,393,574円																																			
幼稚園施設修繕費	732,312円																																			
建築関係講習会負担金	20,000円																																			
計	19,595,326円																																			
181 } 182	3 教育振興費	スクールバス運行事業	104,690	<p>国庫支出金 16,417</p> <p>一般財源 88,273</p>	<p>小・中学校の統廃合により遠距離通学となった児童生徒の安心安全な交通手段の確保のため、スクールバスを運行した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <p>委託料</p> <table> <tr> <td>・本渡地区</td> <td>1台</td> <td>4,849,950円</td> </tr> <tr> <td>・牛深地区</td> <td>6台</td> <td>22,636,348円</td> </tr> <tr> <td>・有明地区</td> <td>4台</td> <td>22,062,160円</td> </tr> <tr> <td>・御所浦地区</td> <td>3台</td> <td>14,851,935円</td> </tr> <tr> <td>・栖本地区</td> <td>1台</td> <td>3,855,600円</td> </tr> <tr> <td>・新和地区</td> <td>2台</td> <td>9,381,645円</td> </tr> <tr> <td>・天草地区</td> <td>2台</td> <td>10,079,496円</td> </tr> <tr> <td>・河浦地区</td> <td>2台</td> <td>8,048,145円</td> </tr> <tr> <td>・倉岳地区</td> <td>2台</td> <td>8,925,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>23台</td> <td>104,690,279円</td> </tr> </table>	・本渡地区	1台	4,849,950円	・牛深地区	6台	22,636,348円	・有明地区	4台	22,062,160円	・御所浦地区	3台	14,851,935円	・栖本地区	1台	3,855,600円	・新和地区	2台	9,381,645円	・天草地区	2台	10,079,496円	・河浦地区	2台	8,048,145円	・倉岳地区	2台	8,925,000円	計	23台	104,690,279円	<p>本渡中学校、本町中学校、佐伊津中学校の統合により、平成22年度から新本渡中学校へのスクールバス1台の運行を開始、生徒の交通手段が確保され順調な運行ができています。</p> <p>また、従来より運行を実施している路線についても、事故もなく児童生徒の安心で安全な交通手段の確保と、円滑な実施をすることが出来た。</p>
・本渡地区	1台	4,849,950円																																		
・牛深地区	6台	22,636,348円																																		
・有明地区	4台	22,062,160円																																		
・御所浦地区	3台	14,851,935円																																		
・栖本地区	1台	3,855,600円																																		
・新和地区	2台	9,381,645円																																		
・天草地区	2台	10,079,496円																																		
・河浦地区	2台	8,048,145円																																		
・倉岳地区	2台	8,925,000円																																		
計	23台	104,690,279円																																		
		読書活動支援事業	34,723	一般財源 34,723	<p>【学校司書の配置】</p> <p>(小中学校の巡回配置)</p> <p>・全小中学校2~4校に1人配置</p> <p>配置人数：19人</p> <p>(事業費内訳)</p> <table> <tr> <td>報酬</td> <td>29,003,652円</td> </tr> <tr> <td>共済費・旅費等</td> <td>5,719,480円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>34,723,132円</td> </tr> </table>	報酬	29,003,652円	共済費・旅費等	5,719,480円	計	34,723,132円	<p>専門的知識を有する司書の配置により、蔵書分類、図書室のレイアウト等環境整備が充実し、又新刊図書の紹介、本の借り方指導等が徹底され図書室利用の活性化、児童・生徒の読書活動意欲が促進された。調べ学習等においては、辞典、教材等の準備が円滑になり授業の充実が図られた。</p> <p>また、読み聞かせをしたり、童話発表会の指導・助言を行ったりするなど、専門性を生かした取組ができています。</p>																								
報酬	29,003,652円																																			
共済費・旅費等	5,719,480円																																			
計	34,723,132円																																			

(9) 教育費 (1) 教育総務費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
181 ） 182	3 教育振興費	外国青年教師招致事業	50,698	その他 1,188 一般財源 49,510	【外国語指導助手の配置】 (小中学校の巡回配置) ・本渡地区 3名 ・その他の地区 8名 (事業費内訳) 報酬 40,099,530円 招致渡航旅費 1,107,413円 共済費・使用料等 9,491,534円 計 50,698,477円	外国青年を外国語指導助手(ALT)として市内 小・中学校に配置し、生きた外国語の学習、異文化 交流を通して語学力の向上と外国語の授業の改善が 図られた。 また、小学校等にも巡回訪問することで、児童が 外国語に触れ、外国語に親しむことのできる体験的 活動を取り入れた国際理解教育が推進された。
		学習指導補助教員設置事業	91,156	地方債 90,200 一般財源 956	【学習指導補助教員の配置】 ・小学校1・2学年で31人以上の学級がある学校 小学校 6校 13名配置 ・特別に支援が必要な学校 小・中学校 17校 19名配置 ・複式学級がある学校 小学校 6校 6名配置 (合計) (38人) (事業費内訳) 報酬 77,805,000円 共済費・旅費等 13,350,921円 計 91,155,921円	学校教育のスタート時期である小学校1・2学年で 31人以上の多人数学級において、担任教諭と補助教 員とのチームティーチングで児童一人一人に目が 行き届いた細やかな学習指導により、この時期に必 要な学習態度や集団生活等の基礎的・基本的事項の定 着・向上が助長された。 また、特に支援を必要とする児童・生徒がいる小 中学校や複式学級を持つ学校においては、担任教諭 と連携し、個々に応じた学習指導を実施することに より学習能力の向上が見られ、落ち着いた雰囲気の中 での授業を展開することができ、学級運営の円滑化 が図られた。

(9) 教育費 (1) 教育総務費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																																				
181 ┆ 182	3 教育振興費	教育相談事業	3,729	一般財源 3,729	<p>【教育指導アドバイザー及び教育相談カウンセラーの配置】</p> <p>教育相談員として、校長退職者である「教育指導アドバイザー」と、臨床心理士・言語聴覚士等の「教育相談カウンセラー」を配置し、就学前幼児の保護者、児童・生徒やその保護者、教職員を対象に、相談者の悩み、不安、ストレス等の問題について、カウンセリングや助言・指導を実施。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">報酬</td> <td style="text-align: right;">3,096,960円</td> </tr> <tr> <td>共済費</td> <td style="text-align: right;">20,295円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">596,659円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">15,000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="border-top: 1px solid black; text-align: right;">3,728,914円</td> </tr> </table>	報酬	3,096,960円	共済費	20,295円	旅費	596,659円	役務費	15,000円	計	3,728,914円	<p>教育指導アドバイザーは、週に3日勤務し、要請のあった小中学校へ出向き、教師や保護者からの諸問題について相談を受けたり、いじめ・不登校対策会議や特別支援教育総合推進事業、幼・保・小・中連携推進において助言指導を行い、成果が表れてきている。</p> <p>また、教育相談カウンセラーは、相談者の悩みや諸問題について、延べ127件のカウンセリングを実施した。相談者の心のケアや問題解決に向けて助言指導を行い、子どもたちの健全な育成を図るうえで成果がみられた。そのほか、22回の研修等で教育相談員が講師や助言者を務め、保護者の子育て力や教職員の指導力向上を図るうえでも効果がみられた。</p>																										
報酬	3,096,960円																																									
共済費	20,295円																																									
旅費	596,659円																																									
役務費	15,000円																																									
計	3,728,914円																																									
182 ┆ 183	4 住宅管理費	教職員住宅管理経費	3,419	一般財源 3,419	<p>【教職員住宅の維持管理】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>教職員住宅総数</td> <td style="text-align: right;">139戸</td> </tr> <tr> <td>牛深地区</td> <td style="text-align: right;">23戸</td> <td>有明地区</td> <td style="text-align: right;">2戸</td> </tr> <tr> <td>御所浦地区</td> <td style="text-align: right;">43戸</td> <td>倉岳地区</td> <td style="text-align: right;">6戸</td> </tr> <tr> <td>栖本地区</td> <td style="text-align: right;">6戸</td> <td>新和地区</td> <td style="text-align: right;">4戸</td> </tr> <tr> <td>天草地区</td> <td style="text-align: right;">23戸</td> <td>河浦地区</td> <td style="text-align: right;">32戸</td> </tr> </table> <p>教職員住宅維持管理経費内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">消耗品費</td> <td style="text-align: right;">494,721円</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td style="text-align: right;">58,646円</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td style="text-align: right;">1,982,062円</td> </tr> <tr> <td>検査手数料</td> <td style="text-align: right;">88,200円</td> </tr> <tr> <td>維持管理手数料</td> <td style="text-align: right;">238,965円</td> </tr> <tr> <td>清掃委託料</td> <td style="text-align: right;">400,000円</td> </tr> <tr> <td>土地建物借上料</td> <td style="text-align: right;">126,631円</td> </tr> <tr> <td>共同テレビ受信施設負担金</td> <td style="text-align: right;">30,000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="border-top: 1px solid black; text-align: right;">3,419,225円</td> </tr> </table>	教職員住宅総数	139戸	牛深地区	23戸	有明地区	2戸	御所浦地区	43戸	倉岳地区	6戸	栖本地区	6戸	新和地区	4戸	天草地区	23戸	河浦地区	32戸	消耗品費	494,721円	光熱水費	58,646円	修繕料	1,982,062円	検査手数料	88,200円	維持管理手数料	238,965円	清掃委託料	400,000円	土地建物借上料	126,631円	共同テレビ受信施設負担金	30,000円	計	3,419,225円	<p>教職員住宅の住環境整備に努め、円滑な維持・管理を行うことで、建物の居住環境の改善を図ることが出来た。</p>
教職員住宅総数	139戸																																									
牛深地区	23戸	有明地区	2戸																																							
御所浦地区	43戸	倉岳地区	6戸																																							
栖本地区	6戸	新和地区	4戸																																							
天草地区	23戸	河浦地区	32戸																																							
消耗品費	494,721円																																									
光熱水費	58,646円																																									
修繕料	1,982,062円																																									
検査手数料	88,200円																																									
維持管理手数料	238,965円																																									
清掃委託料	400,000円																																									
土地建物借上料	126,631円																																									
共同テレビ受信施設負担金	30,000円																																									
計	3,419,225円																																									

(9) 教育費 (2) 小学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
183 } 185	1 小学校管理費	教材備品購入費	838	国庫支出金 160 一般財源 678	理科教育に関する備品について学校の希望に応じた整備を行った。 (事業費内訳) 備品購入費 837,937円	各学校の希望に応じた備品の整備ができ、理科教育の充実を図ることが出来た。
186 } 187	2 小学校教育振興費	総合的な学習活動支援事業	2,508	一般財源 2,508	「総合的な学習の時間」の実施に伴う、体験学習を円滑に行うために経費を支援した。 (事業費内訳) 報償費 25,000円 需用費 1,152,001円 役務費 30,222円 使用料及び賃借料 1,301,170円 計 2,508,393円	各学校の総合的な学習の時間の活動範囲が広がり、より充実したものとなった。見学・調査等の直接体験ができ、児童の興味・関心を高めることが出来た。
		各種大会出場補助金	4,721	一般財源 4,721	学校教育活動の一環として行われる文化活動を通じて、児童の健全な育成が図られるよう、吹奏楽連盟、音楽教育研究会、音楽教育文化振興会が主催又は共催する各種大会への出場に要する経費を助成した。 (事業費内訳) 補助金 4,721,450円	大会へ出場するための各種経費に対する保護者の負担軽減と、大会を通して得ることのできる技能の習得や、大会へ出場できる喜びなど児童の情操教育の向上を図ることが出来た。 【児童の文化関係の主な成績】 ・九州吹奏楽コンクール 銀賞 本渡北小学校 ・九州アンサンブルコンテスト 銀賞 本渡北小学校(木管打楽器8重奏) ・日本管楽合奏コンテスト 優秀賞 本渡北小学校
		通学費補助金	2,306	一般財源 2,306	「天草市立小・中学校児童及び生徒の通学費補助に関する規則」に基づき、小学校にあっては、通学距離が4km以上の者に対し、定期バスを利用する場合は「定期券購入費補助」として学生割引定期券購入額(実費)を、また定期バス等を利用できない(しない)場合は、「その他補助」として補助金を交付した。 (事業費内訳) 定期券購入費補助 52名 1,847,630円 その他補助 39名 458,000円 計 91名 2,305,630円	通学に係る保護者の経済的負担の軽減に繋がるとともに、児童の安全な交通手段を確保することが出来た。

(9) 教育費 (2) 小学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
186 } 187	2 小学校教育振興費	新和小・大多尾小統合推進事業	8,415	一般財源 8,415	<p>新和小学校と大多尾小学校が平成23年4月に統合するために要した経費</p> <p>(事業の内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 184,777円 ・廃棄物処理手数料 175,560円 ・移転作業委託料 512,400円 ・測量設計等委託料 1,995,000円 ・車両借上料 62,400円 ・大規模改修工事 3,622,493円 ・土地購入費 997,125円 ・学校備品購入費 364,980円 ・閉校記念事業補助金 500,000円 <p style="text-align: right;">計 8,414,735円</p>	学校統合により、児童にとってよりよい教育環境が整った。
187 } 188	3 小学校建設費	小学校建設事業 (公共投資臨時交付金) (経済危機対策臨時交付金)	1,639,751	国庫支出金 914,755 地方債 466,700 一般財源 258,296	<p>(事業費内訳)</p> <p>【楠浦小学校改築事業 総事業費 631,691千円】 <平成21年度からの繰越> 事業量：普通教室棟（RC造2階）延床面積1,705㎡ 太陽光発電設備20kw</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務費 697,676円 測量設計等委託料 5,575,500円 校舎解体工事 29,643,269円 校舎改築工事 421,575,000円 屋外附帯工事 6,078,454円 備品購入費 1,018,500円 <p style="text-align: right;">計 464,588,399円</p> <p><平成22年度></p> <ul style="list-style-type: none"> 建築確認・浄化槽検査手数料 89,000円 測量設計等委託料 630,000円 仮設校舎等使用料 109,385,574円 特別教室棟改修工事 56,998,880円 <p style="text-align: right;">計 167,103,454円</p>	<p>楠浦小学校校舎は耐震診断により、補強不能の判定を受けたため改築工事を行った。これにより、児童の安全を確保することが出来た。</p> <p>また、楠浦小学校の特別教室棟は建築後31年が経過し、老朽化による内外装の破損や汚れが多く見られる。</p> <p>このため、部分的な改修では老朽箇所の根本的な改善が図られない為、今回大規模改修工事を実施したことで、老朽箇所の改善が図られ、児童が快適に学校教育を受けられる環境を確保することができた。</p>

(9) 教育費 (2) 小学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																																												
187 ） 188	3 小学校建設費	小学校建設事業 (公共投資臨時交付金) (経済危機対策臨時交付 金) (つづき)			<p>【牛深小学校改築事業 総事業費1,000,907千円】 <平成21年度からの繰越> 事業量：普通教室棟（RC造3階）延床面積2,849㎡ 太陽光発電設備20kw</p> <table> <tr><td>事務費</td><td>974,399円</td></tr> <tr><td>測量設計等委託料</td><td>24,402,000円</td></tr> <tr><td>校舎解体工事</td><td>82,048,856円</td></tr> <tr><td>校舎建築工事</td><td>605,115,000円</td></tr> <tr><td>屋外設備工事</td><td>31,759,625円</td></tr> <tr><td>計</td><td>744,299,880円</td></tr> </table> <p><平成22年度> 事業量：管理教室棟（RC造3階）延床面積1,680㎡ 体育館（RC造2階）延床面積1,170㎡</p> <table> <tr><td>事務費</td><td>893,035円</td></tr> <tr><td>建築確認・浄化槽検査手数料</td><td>714,000円</td></tr> <tr><td>測量設計等委託料</td><td>1,564,080円</td></tr> <tr><td>仮設校舎等使用料</td><td>124,289,262円</td></tr> <tr><td>校舎 期工事（支払額）</td><td>76,307,000円</td></tr> <tr><td>体育館工事（支払額）</td><td>51,609,000円</td></tr> <tr><td>屋外附帯工事</td><td>1,029,000円</td></tr> <tr><td>備品購入費</td><td>201,705円</td></tr> <tr><td>計</td><td>256,607,082円</td></tr> </table> <p><平成23年度へ繰越></p> <table> <tr><td>役務費</td><td>201,000円</td></tr> <tr><td>測量設計等委託料</td><td>9,545,000円</td></tr> <tr><td>工事請負費（校舎 期工事・体育館工事・外構 工事・グラウンド整備）</td><td>666,723,000円</td></tr> <tr><td>備品購入費</td><td>5,311,000円</td></tr> <tr><td>計</td><td>681,780,000円</td></tr> </table> <p>【五和小学校改築事業 総事業費 7,153千円】 <平成22年度></p> <table> <tr><td>測量設計等委託料</td><td>7,152,600円</td></tr> <tr><td>計</td><td>7,152,600円</td></tr> </table>	事務費	974,399円	測量設計等委託料	24,402,000円	校舎解体工事	82,048,856円	校舎建築工事	605,115,000円	屋外設備工事	31,759,625円	計	744,299,880円	事務費	893,035円	建築確認・浄化槽検査手数料	714,000円	測量設計等委託料	1,564,080円	仮設校舎等使用料	124,289,262円	校舎 期工事（支払額）	76,307,000円	体育館工事（支払額）	51,609,000円	屋外附帯工事	1,029,000円	備品購入費	201,705円	計	256,607,082円	役務費	201,000円	測量設計等委託料	9,545,000円	工事請負費（校舎 期工事・体育館工事・外構 工事・グラウンド整備）	666,723,000円	備品購入費	5,311,000円	計	681,780,000円	測量設計等委託料	7,152,600円	計	7,152,600円	<p>牛深小学校校舎は、耐震診断により補強不能の判定を受けたため改築工事を実施し、平成22年度は、普通教室棟の改築工事が完了した。 また、管理教室棟及び体育館は、平成22年度～平成23年度（2カ年）の債務負担行為により建設中である。</p> <p>（仮称）五和小学校の校舎・体育館・屋外運動場等の基本設計業務を行った。</p>
事務費	974,399円																																																	
測量設計等委託料	24,402,000円																																																	
校舎解体工事	82,048,856円																																																	
校舎建築工事	605,115,000円																																																	
屋外設備工事	31,759,625円																																																	
計	744,299,880円																																																	
事務費	893,035円																																																	
建築確認・浄化槽検査手数料	714,000円																																																	
測量設計等委託料	1,564,080円																																																	
仮設校舎等使用料	124,289,262円																																																	
校舎 期工事（支払額）	76,307,000円																																																	
体育館工事（支払額）	51,609,000円																																																	
屋外附帯工事	1,029,000円																																																	
備品購入費	201,705円																																																	
計	256,607,082円																																																	
役務費	201,000円																																																	
測量設計等委託料	9,545,000円																																																	
工事請負費（校舎 期工事・体育館工事・外構 工事・グラウンド整備）	666,723,000円																																																	
備品購入費	5,311,000円																																																	
計	681,780,000円																																																	
測量設計等委託料	7,152,600円																																																	
計	7,152,600円																																																	

(9) 教育費 (2) 小学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
187 ） 188	3 小学校建設費	小学校施設耐震補強事業 (公共投資臨時交付金)	489,385	国庫支出金 424,930 一般財源 64,455	(事業費内訳) <平成21年度からの繰越> 耐震診断業務委託(11校) 48,061,517円 耐震診断・補強設計委託(5校) 15,193,500円 耐震改修工事費用(校舎8棟、体育館12棟) 426,130,387円 489,385,404円 耐震改修工事費用の内訳 耐震改修設計委託 29,260,875円 耐震改修工事監理委託 9,539,250円 耐震改修工事 387,330,262円 <平成23年度へ繰越> 測量設計等委託料 1,000,000円 耐震補強工事 22,500,000円 計 23,500,000円	昭和56年以前に建設された学校施設で耐震診断を終えたもののうち、小学校校舎8棟、体育館12棟の耐震改修工事を実施し、耐震性能の向上を図ることが出来た。 また上記のほか、16校の小学校施設についても耐震診断や補強設計業務を進め、今後計画的に補強工事を行うことが出来ることとなった。 【小学校施設耐震化率】 42.3%(平成22年5月1日現在) 84.1%(平成23年5月1日現在)
		小学校施設営繕事業 (きめ細かな臨時交付金)	107,183	国庫支出金 21,847 地方債 34,500 一般財源 50,836	(事業費内訳) <平成21年度からの繰越> 修繕料 126,000円 測量設計等委託料 1,018,500円 渡り廊下設置工事(御所浦小) 19,852,664円 プールサイド改修工事(御所浦小) 850,500円 計 21,847,664円 <平成22年度> 測量設計等委託料 1,289,400円 営繕工事費 84,045,705円 計 85,335,105円 営繕工事費用の内訳 フェンス改修工事(新合小・栖本小) 2,777,250円	各小学校の建物は、経年変化による劣化が激しく、様々な箇所破損等が見られる。このため、学校施設の調査を行い改修計画を策定し、これに基づき施設の改修を行ったもので、老朽箇所の改善を図ることが出来た。

(9) 教育費 (2) 小学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
187 ） 188	3 小学校建設費	小学校施設営繕事業 (きめ細かな臨時交付金) (つづき)			駐車場舗装工事(本渡南小・佐伊津小・深海小) 6,018,757円 特別支援学級空調設置工事(大楠小) 922,070円 床改修工事(亀場小) 2,362,500円 プール配管改修工事(瀬戸小・手野小) 3,514,334円 受電設備改修工事(栖本小) 1,155,000円 校舎屋上防水工事(栖本小) 13,492,500円 体育館改修工事(下田南小) 4,692,792円 相撲場改修工事(佐伊津小) 1,974,000円 校舎等改修工事(本町小・楠浦小・牛深小・ 島子小・手野小・新合小) 7,764,408円 防球ネット・擁壁改修(本渡南小・本渡北小) 2,371,950円 通路解体工事(魚貫小) 598,500円 グラウンド整備工事(本町小) _____ 計 36,401,644円 計 84,045,705円	
		小学校施設大規模改造事業	24,139	地方債 22,900 一般財源 1,239	(事業費内訳) 浄化槽検査手数料 15,000円 測量設計等委託料 577,500円 新和小大規模改修工事 23,546,218円 計 24,138,718円	新和小学校の校舎は建築後34年が経過し、老朽化による内外装の破損や汚れが多く見られる。 このため、部分的な改修では老朽箇所の根本的な改善が図られない為、今回大規模改修工事を実施したことで、老朽箇所の改善が図られ、児童が快適に学校教育を受けられる環境を確保することができた。

(9) 教育費 (3) 中学校費

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
189 } 191	1 中学校管理費	教材備品購入費	1,182	国庫支出金 215 一般財源 967	理科教育に関する備品について学校の希望に応じた整備を行った。 備品購入費 1,182,460円	各学校の希望に応じた備品の整備ができ、理科教育の充実を図ることが出来た。
191 } 193	2 中学校教育振興費	姉妹都市教育交流事業	2,149	一般財源 2,149	天草市内の中学生6人と引率の教諭1人をアメリカ合衆国エンシニタス市に派遣し、ホームステイによりアメリカでの生活を生で体験し、地元の人との交流を行った。 期間 7月23日～8月1日 (事業内訳) 印刷製本費 89,250円 姉妹都市教育交流事業補助金 2,059,680円 2,148,930円	アメリカ合衆国エンシニタス市でのホームステイにより、アメリカでの生活を体験し、異なる文化や外国語を学び、幅広い視野と国際感覚を身につけることが出来た。
		総合的な学習活動支援事業	1,414	一般財源 1,414	「総合的な学習の時間」の実施に伴う、体験学習を円滑に行うために経費を支援した。 (事業費内訳) 報償費 5,000円 需用費 857,949円 役務費 69,580円 使用料及び賃借料 481,144円 計 1,413,673円	各学校の総合的な学習の時間の活動範囲が広がり、より充実したものとなった。見学・調査等の直接体験ができ、生徒の興味・関心を高めることが出来た。
		心の教室相談事業	3,844	一般財源 3,844	生徒、保護者等の相談を聞き、問題行動等の解決をはかるため、相談員を設置し、生徒及び保護者に対する相談活動を行った。 ・相談員設置校数 6校 (事業費内訳) 報酬 3,696,000円 役務費 147,861円 計 3,843,861円	教師への相談と違って、気軽に相談ができ、生徒及び保護者に安心感やゆとりが生まれ、問題解決への糸口が見出された。

(9) 教育費 (3) 中学校費

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果										
191) 193	2 中学校教育振興 費	適応指導教室設置事業	4,853	一般財源 4,853	<p>登校できない状態にある生徒の学校復帰のための指導及び援助を目的に、本渡中学校分教室として本渡勤労青少年ホーム内に「カワセミ学級」を設置。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">報酬</td> <td style="text-align: right;">4,149,600円</td> </tr> <tr> <td>共済費</td> <td style="text-align: right;">600,075円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">64,067円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">38,974円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="border-top: 1px solid black; text-align: right;">4,852,716円</td> </tr> </table>	報酬	4,149,600円	共済費	600,075円	需用費	64,067円	役務費	38,974円	計	4,852,716円	<p>家庭へのひきこもり状態を改善するとともに、集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善を図ることが出来た。</p>
報酬	4,149,600円															
共済費	600,075円															
需用費	64,067円															
役務費	38,974円															
計	4,852,716円															
		各種大会出場補助金	8,232	一般財源 8,232	<p>学校教育活動の一環として行われる体育活動及び文化活動を通じて、生徒の健全な育成が図られるよう、体育連盟、吹奏楽連盟、合唱連盟、音楽教育研究会、技術・家庭科研究会、音楽教育文化振興会及び中学校英語研究会が主催又は共催する各種大会への出場に要する経費を助成した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">補助金</td> <td style="text-align: right;">8,232,333円</td> </tr> </table>	補助金	8,232,333円	<p>大会へ出場するための各種経費に対する保護者の負担軽減と、大会を通して得ることのできる技能の習得や、大会へ出場できる喜びなど生徒の情操教育の向上を図ることが出来た。</p> <p>【生徒の文化関係の主な成績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州吹奏楽コンクール 金賞 本渡中学校 ・南九州吹奏楽コンクール 奨励賞 五和西中学校 ・九州アンサンブルコンテスト 銀賞 本渡中学校 (brass.5) ・全日本アンサンブルコンテスト 銀賞 本渡中学校 (brass.5) ・「木工の技」チャンピオン九州地区大会 優秀賞 本渡中学校 <p>【生徒のスポーツ関係の主な成績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本県駅伝競走大会女子 1位 牛深中学校 ・九州駅伝競走大会女子 8位 牛深中学校 ・全国駅伝競走大会女子 11位 牛深中学校 ・九州中体連 (団体) 陸上共通女子4×100mR 4位 本渡中学校 ハンドボール女子 3位 稜南中学校 								
補助金	8,232,333円															

(9) 教育費 (3) 中学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
191 ↳ 193	2 中学校教育振興 費	各種大会出場補助金 (つづき)				(個人) 陸上2年女子100m 6位 本渡中学校 陸上共通女子200m 6位 本渡中学校 陸上共通女子走高跳 11位 本渡中学校 陸上共通女子砲丸投 14位 本渡中学校 陸上2年男子1500m 1位 本渡中学校 陸上共通男子走高跳 14位 本渡中学校 水泳女子50m自由形 2位 本渡東中学校 水泳女子100m自由形 4位 本渡東中学校 陸上共通女子1500m 6位 牛深中学校 柔道女子48kg 2位 牛深中学校 陸上共通女子砲丸投 13位 有明中学校 ・全日本中体連 (団体) 陸上女子4×100mR 5位 本渡中学校
		通学費補助金	4,707	一般財源 4,707	「天草市立小・中学校児童及び生徒の通学費補助 に関する規則」に基づき、中学校にあっては、通学 距離が6km以上の者に対し、定期バスを利用する場 合は、「定期券購入費補助」として学生割引定期券 購入額(実費)を、自転車通学の場合は、自転車の 購入費として、また定期バス等を利用できない(し ない)場合は、「その他補助」として補助金を交付 した。 (事業費内訳) 定期券購入費補助 20名 2,858,550円 自転車購入費補助 63名 1,848,000円 計 83名 4,706,550円	通学に係る保護者の経済的負担の軽減に繋がると ともに、生徒の安全な交通手段を確保することが出 来た。

(9) 教育費 (3) 中学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
193) 194	3 中学校建設費	中学校建設事業 (経済危機対策臨時交付 金)	288,429	国庫支出金 43,000 一般財源 245,429	<p>(事業費内訳)</p> <p>【旧本渡中学校解体事業 総事業費104,967千円】 <平成21年度からの繰越> 測量設計等委託料 2,205,000円 工事請負費 102,762,130円 計 104,967,130円</p> <p>【(仮称)五和中学校建設事業 総事業費182,197千円】 <平成21年度からの繰越> 測量設計等委託料 29,110,998円 仮設校舎等使用料 7,418,880円 工事請負費 6,733,455円 計 43,263,333円</p> <p><平成22年度> 普通旅費 285,760円 鑑定等委託料 978,600円 仮設建築物建築許可申請手数料 240,000円 仮設校舎使用料 138,693,907円 計 140,198,267円</p>	<p>危険建物である旧本渡中学校校舎・体育館の解体を行った。</p> <p>(仮称)五和中学校の建設予定地として適正な場所選定を行い用地の測量及び設計を行った。 また、(仮称)五和中学校の校舎・体育館・武道場・屋外運動場等の基本設計業務を行った。</p>
		中学校施設耐震補強事業 (公共投資臨時交付金)	166,502	国庫支出金 140,740 一般財源 25,762	<p>(事業費内訳)</p> <p><平成21年度からの繰越> 耐震診断業務委託(5校) 24,875,501円 耐震改修設計委託(1校) 787,500円 耐震改修工事費用(校舎2棟、体育館1棟) 140,838,697円 計 166,501,698円</p> <p>耐震改修工事費用の内訳 耐震改修設計委託 5,502,000円 耐震改修工事監理委託 2,877,000円 耐震改修工事 132,459,697円</p>	<p>昭和56年以前に建設された学校施設で耐震診断を終えたもののうち、中学校校舎2棟、体育館1棟の耐震改修工事を実施し、耐震性能の向上を図ることが出来た。 また上記のほか、6校の中学校施設についても耐震診断や改修設計業務を進め、今後計画的に補強工事を行うことが出来ることとなった。</p> <p>【中学校施設耐震化率】 53.2%(平成22年5月1日現在) 73.3%(平成23年5月1日現在)</p>

(9) 教育費 (3) 中学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
193 ） 194	3 中学校建設費	中学校施設耐震補強事業 (公共投資臨時交付金) (つづき)			<平成23年度へ繰越> 測量設計等委託料 500,000円 耐震補強工事 10,500,000円 計 11,000,000円	
		中学校施設営繕事業	19,438	一般財源 19,438	(事業費内訳) 測量設計等委託料 724,500円 空調設置工事(牛深中・栖本中) 3,979,500円 防風柵及び立入防止柵設置工事(本渡中) 9,280,557円 特別支援学級改修工事(牛深中・河浦中) 1,911,000円 通路舗装工事(牛深東中) 1,216,980円 教室床研磨工事(新和中) 771,750円 校舎等補修工事(本渡東中、五和西中、有明中) 1,554,000円 計 19,438,287円	各中学校の建物は、経年変化による劣化が激しく様々な箇所破損等が見られる。このため、学校施設の調査を行い改修計画を策定し、これに基づき施設の改修を行ったもので、老朽箇所の改善を図ることが出来た。

(9) 教育費

(5) 看護専門学校費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																				
196 ） 199	1 看護専門学校管 理費	学校運営費	124,573	その他 38,544 一般財源 86,029	教育理念に基づいて、看護に関する基礎的な知識及び技術を習得し、人間性を高め、主体的学習態度を養い、地域の保健医療に貢献できる看護師の育成を目的に、学校運営を行った。 【在籍者数】 <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td>(男)</td> <td>(女)</td> <td>(計)</td> </tr> <tr> <td>1年生</td> <td>3人</td> <td>36人</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>4人</td> <td>33人</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>4人</td> <td>35人</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11人</td> <td>104人</td> <td>115人</td> </tr> </table>		(男)	(女)	(計)	1年生	3人	36人	39人	2年生	4人	33人	37人	3年生	4人	35人	39人	計	11人	104人	115人	看護師国家試験を39人が受験し、37人が合格した。合格率は94.9%で全国平均91.8%を大きく上回ることができた。また、卒業後の進路は進学が1人で、就職希望者37人は全員就職できた。 国家試験の状況 3年生 39人受験 37人合格(合格率94.9%) 進路の状況 進学 1人 その他 1人 就職 37人 内訳：島内11人 県内13人 九州内13人
	(男)	(女)	(計)																							
1年生	3人	36人	39人																							
2年生	4人	33人	37人																							
3年生	4人	35人	39人																							
計	11人	104人	115人																							
		創立20周年記念事業	370	一般財源 370	創立20周年記念事業 (事業費内訳) 記念式典・記念講演の実施 175,015円 記念誌の発行 195,300円 計 370,315円	記念式典・記念講演を実施し、創立20周年を祝うとともに、広く学校のPRをすることができた。また、記念誌を発行することで、学校の20年間の記録として残すことができた。																				
		熊本県看護教育機関協議会負担金	10	一般財源 10	熊本県内の看護教育機関15校で構成する協議会への負担金	看護教育問題の研究協議等を行い、県内の看護教育の向上及び発展が図られた。																				
		看護専門学校教材整備事業	822	一般財源 822	実際の医療現場に即した実習ができるように教材・図書を整備し、授業を実施した。 (事業費内訳) 液晶プロジェクター 252,000円 点滴台 27,300円 医療用カート 27,300円 図書・DVD 515,127円 計 821,727円	最新の液晶プロジェクターの購入により、授業がスムーズに行えるようになった。点滴台・医療用カートの購入により、保有台数が増加し、学生の看護演習の充実が図られた。また、図書及びDVDの購入により、新しい情報が習得され、教材活用の幅が広がった。																				

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果												
201 ） 203	1 社会教育総務費	教育力活性化推進大会事業	1,028	一般財源 1,028	<p>天草市の教育の現状について理解を深め、これからの教育のあり方や方向性を見定める機会とし、すべての分野の教育力の活性化を推進することを目的に開催した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>報償費</td> <td style="text-align: right;">50,000円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">87,212円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">890,400円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">1,027,612円</td> </tr> </table>	報償費	50,000円	需用費	87,212円	委託料	890,400円	計	1,027,612円	<p>開催日：平成22年7月3日(土) 牛深総合センター オープニング：牛深高等学校「天草ハイヤ」 事例発表： 牛深小学校、栖本町青年団 記念講演： 講師 ルー大柴さん 「人生マウンテンあり、バレーあり ～ドリームをあきらめない～」</p> <p>参加者 約770人</p>				
報償費	50,000円																	
需用費	87,212円																	
委託料	890,400円																	
計	1,027,612円																	
		自治公民館等整備費補助事業	6,397	一般財源 6,397	<p>自治活動の拠点である自治公民館等の建設改修の事業に対して補助をした。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>改修 11件</td> <td style="text-align: right;">4,156,000円</td> </tr> <tr> <td>運動場造成 1件</td> <td style="text-align: right;">2,241,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">6,397,000円</td> </tr> </table>	改修 11件	4,156,000円	運動場造成 1件	2,241,000円	計	6,397,000円	<p>自治公民館が整備されることにより、地区住民の連帯意識の高揚につながり、自治活動が活性化することによって、明るく住みよい地域づくりに寄与した。</p>						
改修 11件	4,156,000円																	
運動場造成 1件	2,241,000円																	
計	6,397,000円																	
		生涯学習推進事業	1,135	一般財源 1,135	<p>各種講座等の生涯学習機会を市民へ提供した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>報償費</td> <td style="text-align: right;">390,000円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">241,808円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">81,031円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">73,000円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">349,100円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">1,134,939円</td> </tr> </table>	報償費	390,000円	旅費	241,808円	需用費	81,031円	役務費	73,000円	委託料	349,100円	計	1,134,939円	<p>市民自ら主体的に学習する意欲を高め、豊かで充実した生活を送るための生涯学習を推進する機会を提供することができた。</p> <p>学習講座等参加者 牛深分室(高齢者学級) 延べ1,300人 新和分室(高齢者学級) 延べ 103人 栖本分室(切絵教室) 延べ 72人</p> <p>フェスティバル等参加者 栖本分室(社会教育学級開講式) 150人 栖本分室(文化展) 200人 有明分室(文化祭) 500人 人材バンク活用事業 22件</p>
報償費	390,000円																	
旅費	241,808円																	
需用費	81,031円																	
役務費	73,000円																	
委託料	349,100円																	
計	1,134,939円																	
		子ども週末活動等支援事業	164	一般財源 164	<p>地域で子どもを育てる環境の充実を図るため、地域の教育力の活性化及び促進を目的に地域資源(人材・自然等)を活用し、放課後や週末等における子どもの活動支援の事業を行う団体等に対し補助金を交付した。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>申請団体と補助額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>浦っ子クラブ</td> <td style="text-align: right;">100,000円</td> </tr> <tr> <td>鬼塚老人クラブ</td> <td style="text-align: right;">64,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">164,000円</td> </tr> </table>	申請団体と補助額		浦っ子クラブ	100,000円	鬼塚老人クラブ	64,000円	計	164,000円	<p>地域全体で子育てに取り組む環境をつくるきっかけづくりとなっている。</p> <p>浦っ子クラブの活動内容 放課後及び夏休み等子ども見守り事業 鬼塚老人クラブ ひゃだこ採り、ひゃだこストラップ作成及び交通キャンペーン時配布など</p>				
申請団体と補助額																		
浦っ子クラブ	100,000円																	
鬼塚老人クラブ	64,000円																	
計	164,000円																	

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
201 ） 203	1 社会教育総務費	家庭教育学習支援事業	80	一般財源 80	<p>小中学校保護者等に家庭教育の重要性を認識してもらったため、各小中学校に就学時健診やPTA行事等の際に講座の開催を依頼し、その経費を支援した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <p>報償費 47,000円 旅費 27,906円 需用費 4,998円 計 79,904円</p>	<p>子育てにおける家庭教育の重要性を再認識する機会として開催した。テーマも基本的な生活習慣、食育、健康教育など多岐にわたり、家庭の教育力向上に寄与した。</p> <p>実施回数 19回 延べ参加者数 1,586人</p>
		市民講座事業	219	一般財源 219	<p>地域住民として対応しなければならない、全市の取り組みべき課題について講座を実施した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <p>報償費 43,000円 旅費 102,634円 需用費 37,876円 使用料及び賃借料 35,400円 計 218,910円</p>	<p>今日の社会情勢の変化に対応し、地域住民として対応しなければならない課題について、テーマを掲げて実施した。市民一人ひとりが自己の学習意欲を満たすとともに、講座で得たものを、地域づくり、まちづくり等に活用できる人材育成に寄与した。</p> <p>講座内容：健康・保健、人権教育、環境、青少年健全育成 8月～12月 計6回開催 参加者 延べ1,974人</p>
		IT講習会事業	888	その他 204 一般財源 684	<p>パソコンの技術の習得を目指した講習会を実施した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <p>報償費 807,000円 需用費 75,746円 役務費 5,000円 計 887,746円</p>	<p>時代、市民のニーズに応え、生涯学習の促進、自己の資質向上の促進を図ることができた。</p> <p>実施回数 参加者 牛深分室 24回 延べ 258人 五和分室 93回 延べ 794人</p>
		放課後子どもプラン事業	823	県支出金 787 (546) 一般財源 36 (277)	<p>小学校の空き教室等を利用して、子どもたちに放課後の学習機会の提供を行った。</p> <p>(事業費内訳)</p> <p>報償費 355,000円 需用費 215,654円 役務費 23,575円 備品購入費 228,977円 計 823,206円</p>	<p>放課後に子どもたちの居場所を確保し、子どもたちに放課後の学習機会を提供することや遊びを通して学ぶ場所を確保することができた。</p> <p>実施日 一町田小第一分校 44日 鬼池小学校 50日 新和小学校 50日 島子小学校 9日</p>

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
201 ） 203	1 社会教育総務費	P T A 補助金	713	一般財源 713	天草市PTA連絡協議会に対し補助金を交付した。 協議会決算額 1,820,716円 うち補助金 713,000円 【活動内容】 総会、理事会、会長会、会員研修会 各種県・市主催事業への参加 等	児童生徒の健やかな成長を願い、人づくり等に活動している。また、会員の資質向上はもとより、学校、家庭、地域社会の好ましい環境づくり活動により結果を得ることができた。市の各種行事等にも積極的に参画している。
		婦人会補助金	2,300	一般財源 2,300	天草市地域婦人会連絡協議会に対し補助金を交付した。 協議会決算額 2,890,949円 うち補助金 2,300,000円 【活動内容】 総会、役員会、理事会、リーダー研修、 交通安全母親活動推進大会、交通安全指導者研修、 日赤奉仕研修会、各種県・市主催事業への参加 等	社会教育活動推進の有力な団体として、各婦人会の活動連絡調整を図り、女性の教養を高め生活を豊かにして、住みよい地域づくりに寄与した。市の各種行事等にも積極的に参画している。
		人権教育推進協議会補助金	100	一般財源 100	天草市人権教育推進協議会に対し補助金を交付した。 協議会決算額 205,979円 うち補助金 100,000円 【活動内容】 各種県・市主催事業への参加 啓発用チラシ作成 等	人権尊重の理念に対する理解を深め、一人ひとりの人権が守られ、すべての市民が安全で心豊かに暮らせる社会の実現を目的に活動している。各種研修会への派遣などにより人権教育の推進に寄与した。 また、市内の小・中学校から標語及び絵画を募集及びチラシを作成し啓発を行った。
		社会を明るくする運動	175	一般財源 175	【社会を明るくする運動実施委員会】 開催日 平成22年6月29日(火) ・推進大会開催のための実施要綱等を定める ・保護司会を始め、各種団体長で構成 【社会を明るくする運動推進大会】 開催日 平成22年7月3日(土) ・標語、作文の入賞者表彰及び最優秀作文発表 その他 夜市等、人が集まる場所での広報・啓発活動 (事業費内訳) 旅費 40,980円 需用費 133,833円 計 174,813円	すべての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築くことを目的にしている。 実施委員会を組織して内容を協議し、作文や標語の募集を行い、保護司会と連携して啓発活動に取り組んだ。

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																																						
201 ） 203	1 社会教育総務費	成人式	1,135	一般財源 1,135	<p>成人を祝う式典を市内10か所で開催した。</p> <p>開催期日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛深地区 平成22年8月16日(月) ・本渡・有明・倉岳・栖本・天草・河浦地区 平成23年1月3日(月) ・御所浦・新和・五和地区 平成23年1月4日(火) <p>(事業費内訳)</p> <table> <tr> <td>講師等謝礼</td> <td>133,000円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>823,895円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>167,115円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>11,600円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,135,610円</td> </tr> </table>	講師等謝礼	133,000円	需用費	823,895円	役務費	167,115円	使用料及び賃借料	11,600円	計	1,135,610円	<p>20歳を迎えた青年が成人としての責任と義務を自覚し、社会人としてたくましく生きていくための指針を定めることを目的に開催した。</p> <p>天草市全体の出席者数905名、出席率82.3%。</p> <p>各地区の出席者数は次のとおり</p> <table> <tr> <td>本渡</td> <td>380名</td> <td>牛深</td> <td>157名</td> </tr> <tr> <td>有明</td> <td>46名</td> <td>倉岳</td> <td>31名</td> </tr> <tr> <td>栖本</td> <td>24名</td> <td>河浦</td> <td>55名</td> </tr> <tr> <td>天草</td> <td>50名</td> <td>御所浦</td> <td>34名</td> </tr> <tr> <td>新和</td> <td>37名</td> <td>五和</td> <td>91名</td> </tr> </table>	本渡	380名	牛深	157名	有明	46名	倉岳	31名	栖本	24名	河浦	55名	天草	50名	御所浦	34名	新和	37名	五和	91名								
講師等謝礼	133,000円																																											
需用費	823,895円																																											
役務費	167,115円																																											
使用料及び賃借料	11,600円																																											
計	1,135,610円																																											
本渡	380名	牛深	157名																																									
有明	46名	倉岳	31名																																									
栖本	24名	河浦	55名																																									
天草	50名	御所浦	34名																																									
新和	37名	五和	91名																																									
		青少年健全育成事業	1,045	一般財源 1,045	<p>青少年の交流や自然体験事業等市内4地区で実施。</p> <table> <tr> <td>栖本</td> <td>寺子屋体験学習</td> </tr> <tr> <td>御所浦</td> <td>ボランティア入門講座</td> </tr> <tr> <td>御所浦</td> <td>化石発掘体験事業</td> </tr> <tr> <td>御所浦</td> <td>とんとこ漁体験事業</td> </tr> </table> <p>(事業費内訳)</p> <table> <tr> <td>委託料</td> <td>219,100円</td> </tr> <tr> <td>船舶使用料</td> <td>67,195円</td> </tr> <tr> <td>青少年育成事業補助金</td> <td>759,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,045,295円</td> </tr> </table>	栖本	寺子屋体験学習	御所浦	ボランティア入門講座	御所浦	化石発掘体験事業	御所浦	とんとこ漁体験事業	委託料	219,100円	船舶使用料	67,195円	青少年育成事業補助金	759,000円	計	1,045,295円	<p>地域の特性を活かした事業を取り込んでいる地区もあり、青少年の交流や自然とのふれあいなど豊かな体験事業として、青少年の健全育成に大きく寄与している。</p> <p>また、平成21年度から青少年を健全に育成するための事業を実施する市内の団体に対して支援を行った。</p> <p>参加人数</p> <table> <tr> <td>栖本</td> <td>寺子屋体験学習</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>御所浦</td> <td>ボランティア入門講座</td> <td>60人</td> </tr> <tr> <td>御所浦</td> <td>化石発掘体験事業</td> <td>76人</td> </tr> <tr> <td>御所浦</td> <td>とんとこ漁体験事業</td> <td>31人</td> </tr> </table> <p>青少年育成補助金実績</p> <table> <tr> <td>御所浦町・産山村海山交流活動</td> <td>86人</td> </tr> <tr> <td>本町小学校・矢並小学校の交流体験活動</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>『謎解きに挑戦せよ』～知られざるキリシタン文化を見つけたせ～</td> <td>111人</td> </tr> <tr> <td>下津浦子ども会親子体験学習事業</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>大浦子ども会体験研修</td> <td>68人</td> </tr> </table>	栖本	寺子屋体験学習	35人	御所浦	ボランティア入門講座	60人	御所浦	化石発掘体験事業	76人	御所浦	とんとこ漁体験事業	31人	御所浦町・産山村海山交流活動	86人	本町小学校・矢並小学校の交流体験活動	32人	『謎解きに挑戦せよ』～知られざるキリシタン文化を見つけたせ～	111人	下津浦子ども会親子体験学習事業	58人	大浦子ども会体験研修	68人
栖本	寺子屋体験学習																																											
御所浦	ボランティア入門講座																																											
御所浦	化石発掘体験事業																																											
御所浦	とんとこ漁体験事業																																											
委託料	219,100円																																											
船舶使用料	67,195円																																											
青少年育成事業補助金	759,000円																																											
計	1,045,295円																																											
栖本	寺子屋体験学習	35人																																										
御所浦	ボランティア入門講座	60人																																										
御所浦	化石発掘体験事業	76人																																										
御所浦	とんとこ漁体験事業	31人																																										
御所浦町・産山村海山交流活動	86人																																											
本町小学校・矢並小学校の交流体験活動	32人																																											
『謎解きに挑戦せよ』～知られざるキリシタン文化を見つけたせ～	111人																																											
下津浦子ども会親子体験学習事業	58人																																											
大浦子ども会体験研修	68人																																											

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
201 ） 203	1 社会教育総務費	子ども会補助金	1,507	一般財源 1,507	天草市子ども会育成連絡協議会に対し補助金を交付した。 協議会決算額 4,307,380円 うち補助金 1,507,000円 【活動内容】 球技大会・駅伝大会・リーダー研修会・ 県大会への派遣事業等	異年齢の子どもたちで組織されているという特性を活かしながら、各種のスポーツ大会や指導者研修会、また仲間と協力しないと出来ない遊び等を取り入れたイベントなどを取り入れ、子どもの健全育成に多くの成果を挙げた。 そして、学校教育や家庭教育では培えない、地域による教育力としての「子ども会活動」を支援することにより、次代を担う青少年の健全育成に寄与した。
		青少年育成市民会議補助金	300	一般財源 300	天草市青少年育成市民会議に対し補助金を交付した。 市民会議決算額 466,189円 うち補助金 300,000円 【活動内容】 夏休み夜間巡視事業 青少年健全育成フォーラム 等	青少年育成の重要性に照らし、広く市民の総意を結集して関係機関及び諸団体との緊密な連携のもと、青少年の健全育成並びに非行防止に寄与した。
		海洋少年団運営補助金	170	一般財源 170	牛深海洋少年団に対し補助金を交付した。 少年団決算 754,550円 うち補助金 170,000円 【活動内容】 体験航海・水泳訓練・漂流物調査等 日本海洋少年団南九州地区大会開催	海に学び、海に親しみながら、心身を鍛え、心を養い立派な社会人になるよう健全なる青少年の育成に寄与した。

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要		施策の成果
					施設名	利用件数	
203 ） 205	2 社会教育施設費	社会教育施設利用状況					市内の社会教育施設（公民館、図書館を除く）の利用状況。
有明町民センター	60		6,230				
御所浦島開発総合センター	242		5,987				
新和町民センター	420		14,127				
五和町コミュニティセンター	752		41,417				
下平いきいきふれあい館	155		1,912				
池田いきいきふれあい館	0		0				
くたまふれあいセンター	1,073		14,551				
ふかみふれあいセンター	380		7,046				
あこうの里ふれあい館	114		1,689				
横浦島コミュニティセンター	266		5,538				
五和地域交流センター	895		26,401				
天草交流センター	148		2,118				
天草町民センター	239		6,072				
茂串総合学習施設白浜いきいき館	76		8,612				
御所浦交流センター	26		744				
牛深勤労青少年ホーム	356	2,461					
	合計	5,202	144,905				
		教養講座開設事業	1,914	一般財源	1,914	勤労青少年ホームの教養講座開設事業 本渡勤労青少年ホーム 生花、書道・ペン字、英会話 料理、着物着付、エアロビクス パソコン 牛深勤労青少年ホーム 生花、茶道、パッチワーク 着物着付、料理、エアロビクス 編み物（短期） (事業費内訳) 講師謝礼 1,890,000円 消耗品費 24,312円 計 1,914,312円	勤労青少年のレクリエーション、クラブ活動その他勤労の余暇に行われる活動有のための便宜を供するというホームの目的を果たしている。

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
203 ） 205	2 社会教育施設費	コミュニティーセンター整備事業 (きめ細かな臨時交付金)	5,174	国庫支出金 5,173 一般財源 1	《平成21年度から繰越》 【修繕料】 天草交流センターブルーアイランド天草 小型合併処理施設修繕 104,265円 御所浦交流センタートイレ漏水修繕 50,085円 ふかみふれあいセンタートイレ修繕 18,117円 計 172,467円 【原材料費】 くたまふれあいセンター駐車場クラッシャーラン 20,160円 【委託料】 五和コミュニティセンター非常用発電機 改修工事設計業務委託 277,200円 【工事請負費】 五和コミュニティセンター非常用発電機改修工事 4,704,000円 合計 5,173,827円	生涯学習の拠点施設としての整備が図られ、今後の生涯学習の振興が期待できる。 五和コミュニティセンター非常用発電機の経年による老朽化のため、維持管理に支障をきたす恐れがあったため改修を行った。また、緊急的な修繕が必要な施設の修繕等も行った。
		コミュニティーセンター整備事業	1,082	一般財源 1,082	【備品購入費】 有明町民センター放送設備等備品購入 1,081,500円	生涯学習の拠点施設としての整備が図られ、今後の生涯学習の振興が期待できる。 有明町民センターの放送設備等の老朽化に伴い更新を行った。
		御所浦島開発総合センター改修事業 (公共投資臨時交付金)	25,851	国庫支出金 24,301 地方債 1,200 一般財源 350	《平成21年度から繰越》 【委託料】 御所浦島開発総合センター改修工事監理業務委託 588,000円 御所浦島開発総合センター換気扇設置工事設計業務委託 168,000円 小計 756,000円	生涯学習の拠点施設としての整備が図られ、今後の生涯学習の振興が期待できる。 御所浦島開発総合センターの老朽化に伴うバリアフリー化等のための改修(多目的トイレ、玄関スロープ、手すり設置等)を行った。

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
203 } 205	2 社会教育施設費	御所浦島開発総合センター 改修事業 (公共投資臨時交付金) (つづき)			【工事請負費】 御所浦島開発総合センター改修工事 16,306,500円 御所浦島開発総合センター設備改修工事 6,447,000円 御所浦島開発総合センター換気扇設置工事 2,341,500円 小計 25,095,000円 合計 25,851,000円	

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	公民館利用状況 (公民館名)	利用件数	利用者数	主要事業	施策の成果
205 } 208	3 公民館費	中央公民館	1,372	18,002	あまくさ宝島教室・高齢者インターネット教室	風の舎短歌会・健康体操教室・女声合唱団「彩音」・本渡ふるさと学級会・竹細工教室・本渡市四半的協会・真向法・天草手まりの会・インターネット市民塾・天草スポーツダンス愛好会・書道学級・たけはた会・すいさいの会・陶芸サークル・天草市ママさんコーラス「はまゆうこおる」・グラスアート「九曜の会」・セイクオーレ・健美体操クラブ・天草甚句会・フラワーアレンジメント教室・さわやか大学健康教室・本渡墨友会・気持ちヨガの会・天草真向法会・Decoエアロダンス(25)
		本渡南公民館	952	10,174	本渡南老人大学・本渡南歩こう会	セイクオーレ・眞美健康体操・絵画サロン「南風会」水彩画部会・絵画サロン「南風会」絵手紙部会・たんぼぼ・ダンススポーツ・大正琴イルカサークル・香雲堂 吟詠会・坂東流・押花サークル「花萌」・親子リズム つくしんぼ・南カラオケ愛好会・混声合唱団 喜奏会・いきいき教室本渡南・断酒会・FSC・本渡南囲碁愛好会・スタンドグラス教室・新婦人うたごえ小組(19)

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	公民館利用状況 (公民館名)	利用件数	利用者数	主要事業	施策の成果
205 } 208	3 公民館費	本渡北公民館	1,924	32,781	本渡北老人大学	リトルクイーンズ・「いきいき教室」本渡北・今釜ミニバレー愛好会・本渡北暮楽会・ミッキーマウス・四半的弓道本渡北支部・レモネード・本渡北大正琴・日本民謡天草灘会・ひまわり・真美フレッシュ体操・もくれん・短歌教室・天草健康(健美)体操実行会・本渡北歌謡教室・天草フォトクラブ・茶道教室・香雲堂吟詠会本渡北支部・リトルフット・大矢崎区ミニバレー・びよびよクラブ・スピリッツ・広瀬ミニバレー・リズム健康体操「コスモス会」・拳道無形塾・日本空手道研修館・小松原区ミニバレー・ママsunスマイル・MIZOKAmon e・伝統手織教室・居合道教室・ナチュラルガーデン・天草絵手紙の会(33)
		亀場町公民館	1,322	15,848	高齢者学級・家庭教育学級・男の料理教室	亀場幼稚園クラブ・亀場空手クラブ・アップル・亀場町四半的クラブ・亀の子クラブ・ヨーガ教室・日本デンマーク体操・卓球カメニティー・いちご・ドリームファイヤー・Y.Y.ず・亀仙人・亀場歌謡教室・月曜会・香雲堂吟詠会亀場支部・クラブトファーム・天草琴修会・絵画教室・いけ花クラブ・亀場フラダンス教室・亀場カラオケ教室・翠踊会亀場日舞教室・こずもす着付け練習グループ・ひまわりクラブ・亀場はもーる・亀場童謡くらぶ・いきいき教室亀場・亀場真向法・スマイルピクス(29)
		杵宇土町公民館	482	11,302	いこい学級(高齢者対象)・杵宇土町人づくり(家庭教育)学級・太極拳教室	久々山平床会・カブリコ・杵宇土華道教室・杵宇土ゴールド・四半的弓道・健康えあるび・仮寺クラブ・なかよしファミリー(8)
		志柿町公民館	527	9,216	志柿老人学級	志柿ファミリークラブ・瀬戸ミニバレークラブ・火曜クラブ・健美体操クラブ・木曜クラブ・ふれあいミニバレー・カラオケ愛好会・エイサー・志柿生花教室・志柿舞踊教室・大正琴教室「琴志会」・志柿健康体操(12)
		志柿町公民館瀬戸分館	593	9,791	瀬戸老人学級	大正琴教室・瀬戸パッチワーク・テアトロ天草・生け花教室・瀬戸カラオケ教室・瀬戸社交ダンス教室・瀬戸健康体操・天草演劇愛好会・卓球教室・瀬戸社交ダンスクラブ(10)

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	公民館利用状況 (公民館名)	利用件数	利用者数	主要事業	施策の成果
205 ） 208	3 公 民 館 費	下浦町公民館	567	7,895	男の料理教室・夏休みおもしろ劇場	下浦社交ダンス愛好会・ケナフ フラクラブ池田・健美体操・水曜クラブ・書道クラブ・ニコニコクラブ・金曜クラブ・土曜ミニバレー・下浦カラオケ愛好会・下浦ストーンズ・本渡東ジュニア野球クラブ・第一福寿会・船場グラウンドゴルフ愛好会・天草市アーチェリー協会・第二福寿会(15)
		楠浦町公民館	753	10,290	高齢者学級・婦人学級・健康教室・子ども教室	藤波会・楠浦カラオケ教室・楠の花・大正琴五月会・楠浦生花クラブ・書道教室・植村道場・太極柔力球連盟・ひまわり・卓球あやめ会・2分館ミニバレー・遊々マーチ・コスモス会・7分館ミニバレー・方原愛球会・3分館ミニバレー愛好会・1分館ミニバレー(17)
		本町公民館	767	7,530	男の料理塾教室・山学校川学校教室・女性学級	いきいき教室 本町・本町カラオケ愛好会・大正琴本町愛好会・平床ミニバレー・天鈴会・ミニバレー「鶴同好会」・本町盆栽会・フラクラブ「さくら」・むつみ会・福岡あざみ・SAKURA・松武会「本町躰心塾」・チーム「珍球」・ほたる(ミニバレー)・清芳会(15)
		佐伊津町公民館	1,929	17,847	高齢者学級・女性学級・青年学級	公民館ミニバレー・佐伊津公民館ミニバレー部・躰心塾 佐伊津・ころばん塾いきいき教室 佐伊津・健美体操実行会1・健美体操実行会2・ひまわり会・芝蘭会・大正琴教室・藤乃会・囲碁教室・書道教室・寺の下チーム・寿会・堀の内老人クラブ・明星G.G.C・明瀬GG倶楽部・なの花会・ころばん会(19)
		宮地岳町公民館	501	5,571	高齢者学級「いたてみゆ〜会」 青少年学級「わんぱーく」(地域子ども教室)	四半的弓道協会 宮地岳支部・デンマーク体操・琴宮会・真向法健康体操クラブ・藤宮会・書道教室・コットンクラブ・豆木場ミニバレークラブ・長迫ミニバレー・村自治公民館・宮地岳中央クラブ・宮地岳ミニバレー愛好会・宮地岳遊ぼう会・宮地岳GGクラブ・宮地岳歩こう会(15)
		牛深町公民館	336	3,000	牛深ハイヤ体験講座・うしぶか地域健康祭	生け花教室(初級)・生け花教室(中級)・着付け教室・日本舞踊教室・中央書道教室・かな書道教室・茶道教室・民謡&歌謡クラブ・牛深美術教室・中央着付教室・大正琴牛深地区琴藍会・吟詠若葉会・茂串茶道教室・天附生花教室(14)

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	公民館利用状況 (公民館名)	利用件数	利用者数	主要事業	施策の成果
205 } 208	3 公民館費	久玉町公民館	1,073	14,551	歴史ウォークラリー	いずみ会・久玉着付け教室・皇風煎茶教室・日本吟声流梅鶯会・大正琴「琴華会」・久玉生け花教室・すみれ会フラダンスクラブ・太極拳教室・久玉茶道クラブ・邦楽三保の会・学校茶道久玉小煎茶教室(11)
		魚貫町公民館	116	1,800	史跡めぐりのウォーキング	シルバースポーツ教室・太極拳花組教室・出前スポーツ教室(3)
		深海町公民館	380	7,046	六郎次山ウォーキング大会	生け花教室・民謡教室・深海いきいき教室(3)
		二浦町公民館	341	6,078	ダンボールコンポスト講座	太極拳教室・料理教室(2)
		楠浦町公民館	287	2,911	さわやか教室	楠浦健康ダンス・パールシエルなぎさ・楠浦四半的弓道・楠浦囲碁愛好会・カラオケ愛好会・卓球愛好会(6)
		大浦公民館	479	5,619	大浦さわやか学級	大浦舞踊教室・大浦陶芸教室・大浦書道教室・フラダンス教室・ステンドグラス・歌謡教室・禮武館・大浦四半的弓道協会・健美体操教室・いきいきサロンあけぼの会・いきいきサロンさくら会・詩吟教室(12)
		須子公民館	274	2,869	須子公民館さわやか大学	大正琴教室・舞踊教室・書道教室・四半的クラブ・生き生きサロンコスモス会(5)
		赤崎公民館	240	1,562	親子料理教室・父ちゃんの料理教室	フラダンスありあけ・赤崎着物着付教室・赤崎舞踊「かもめ」・赤崎健康体操愛好会・赤崎舞踊「ちどり」・生け花教室・茶道教室・パールシエルフラパイナップル(8)
		上津浦公民館	464	6,948	河川清掃・クリーン作戦	編み物教室・上津浦舞踊さくら会・上津浦書道教室・上津浦健康体操クラブ・生き生きサロン・健美体操・有明コーラス(7)
		下津浦公民館	476	4,629	下津浦さわやか大学	下津浦三味線教室・紙粘土教室・卓球クラブ・ブリフォーム・下津浦健康体操教室・下津浦生花会・編み物リフォーム教室・いきいきサロン(8)

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	公民館利用状況 (公民館名)	利用件数	利用者数	主要事業	施策の成果
205 ） 208	3 公 民 館 費	島子公民館	545	4,589	親子料理教室	童謡グループカナリア・島子詩吟教室・たんぽぽ会・島子生花教室・島子四半的弓道協会・シルバードダンス・アンサンブルTutti・島子大正琴教室・真向法愛好会・島子日舞教室・健美体操・有明パソコンサロン・すみれ会(13)
		御所浦地区公民館	499	6,536	健康教室	勢栄嵐口教室・琴城流大正琴御所浦教室・悠々サロン・越地サロン会・越地区つばめ会・夕月会・北習字クラブ(7)
		浦公民館	338	8,152	浦地区高齢者学級・浦の歴史等勉強会	書道教室・大正琴愛好会1・大正琴愛好会2・ふれあいいいききサロン・浦老人会・浦婦人会・食生活改善推進員会・浦地区秋祭り保存会・浦地区振興会・浦っ子クラブ・浦カラオケ愛好会(11)
		棚底公民館	119	2,082	倉岳歴史講座	パソコン教室(1)
		宮田公民館	252	3,839	宮田地区高齢者学級	大正琴教室・倉岳陶芸クラブ・宮田婦人会研修会・白百合会・こっば劇団・ボディートークの会・四半的倉岳弓道協会(7)
		栖本町公民館	381	4,602	地区高齢者学級・歴史探訪講座	琴華会・香雲堂吟詠会栖本カップ支部・食改健美体操クラブ・天草歌謡会栖本支部カップ歌謡愛好会・栖本パソコンサロン・栖本河童軍団・栖本有機農法研究会(7)
		小宮地公民館	687	5,806	男の料理教室・女性のための健康教室	新和民謡会・うぐいす琴の会・はるうらら・小宮地舞踊会(4)
		宮南公民館	86	1,735	書道教室	若返り教室(1)
		大宮地公民館	238	2,531	若返り教室	若返り教室(1)
		大多尾公民館	361	4,923	環境研修会・郷土料理継承事業	大多尾舞踊会・若返り教室(2)
		中田公民館	309	5,126	男の料理教室・女の料理教室	中田舞踊教室・日本習字教室・いきいき教室(3)
		碓石公民館	183	2,955	夏休み書道教室(小学生対象)	ふれあい学習(書道)(1)

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	公民館利用状況 (公民館名)	利用件数	利用者数	主要事業	施策の成果
205 } 208	3 公 民 館 費	御領公民館	541	9,014	御領史跡探訪	りんどう会・琴華会・わらべ児童合唱団・五和町文芸部・四半的弓道協会御領支部・真向法御領教室・御領卓球クラブ・つわぶき会・天草立志館・藤波御領教室・御領盆裁会・スタンドグラス教室・織物教室(13)
		大島公民館	90	1,279	御領史跡探訪	カラオケ同好会(1)
		鬼池公民館	431	16,486	男の料理教室・陶器のプレートづくり	鬼池パッチワーク教室・書道教室・パールシェル、フラキンレンカA教室・フラダンス キンレンカB・鬼池公民館文化部歌謡教室・鬼池木彫教室・健康体操教室・琴華会鬼池教室・中高年健康増進運動教室(9)
		二江公民館	744	14,823	二江ぐるっとウォーク・ふたえ冬の美術展	二江少年剣道クラブ(1)
		手野公民館	630	8,907	生活部料理教室	五和卓球クラブ・手野地区踊り愛好会・内野卓球愛好会・ともしび会(短歌・俳句)(4)
		城河原公民館	301	8,257	婦人教養学級	ボランティアひまわり会(1)
		福連木公民館	115	2,416	パソコン教室	パソコン教室(1)
		下田北公民館	239	6,072	ゴキブリ団子、廃油せっけん作り・クリーン作戦	健康教室(1)
		下田南公民館	273	7,724	花いっぱい運動・防犯パトロール・クリーン作戦	生花教室・真向法体操教室・下田南踊り愛好会・健康体操教室・書道教室(5)
		高浜公民館	806	21,110	里浜づくり事業・高浜歴史散策	書道教室(1)
		大江公民館	177	3,706	パソコン教室	大江生花教室(1)
		新合公民館	126	4,787	地域総合学習会・救急救命講習	コレジヨ・コール(1)
		一町田公民館	444	10,912	一町田高齢者大学	ひまわり・川柳コレジヨ・フレンド・琴成会 森のくまさん・書道クラブ・河浦絵手紙教室・おもと着物着付教室・はまなす会・すずらん・こども囲碁クラブ・河浦ケンメイ(11)
		富津公民館	221	4,479	富津高齢者大学	富津三味線趣味グループ・崎津ハイヤグループ(2)

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	公民館利用状況 (公民館名)	利用件数	利用者数	主要事業	施策の成果
205 }	3 公民館費	宮野河内公民館	233	7,361	宮野河内高齢者大学	三味線愛好会(1)
208		合計	25,524	393,469		

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
205 }	3 公民館費	生涯学習推進事業	838	一般財源 838	各種講座等の生涯学習機会の市民への提供 (事業内訳) 報償費 596,000円 旅費 198,553円 需用費 18,166円 通信運搬費 24,500円 計 837,219円	住民の学習要求に応えるため、各種学級(あまくさ宝島教室・高齢者インターネット教室等)を開催し、知識と教養の向上を図り、学習を通して明るく住みよい豊かな地域づくりに努めた。
208		公民館改修事業	14,475	一般財源 14,475	【委託料】 本渡北公民館改修工事設計業務委託 307,650円 島子公民館鋼製建具改修工事外設計業務委託 287,700円 小計 595,350円 【工事請負費】 本渡北公民館改修工事 4,828,137円 島子公民館鋼製建具改修工事 4,336,500円 碓石公民館浄化槽改修工事 3,533,794円	本渡北公民館改修、島子公民館改修工事の設計監理委託が完了し改修工事の準備が整った。 本渡北公民館の内部改装1式・自動ドア改修1基・玄関スロープ改修1式・講堂壁の改修により、生涯学習拠点施設としての環境が整った。 島子公民館大会議室アルミ製鋼製建具全面工事により生涯学習拠点施設として環境設備が整った。 碓石公民館既設浄化槽(45人槽)とグラウンド浄化槽(5人槽)が老朽化に伴い、新設とし浄化槽1本化で(10人槽)を工事したことにより、環境設備が整った。

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
205 ） 208	3 公民館費	公民館改修事業 (つづき)			栖本公民館 2階網戸取付工事 409,500円 小計 13,107,931円 【備品購入費】 須子公民館 エアコン及びコインタイマー 499,800円 中田公民館 事務室エアコン 271,320円 小計 771,120円 合計 14,474,401円	栖本公民館は元小学校であったため網戸等がな かった。網戸を取りつけることにより快適に生涯学 習する環境が整った。 須子公民館のエアコン及びコインタイマー、中田 公民館の事務室のエアコン設置により、快適な生涯 学習ができる環境設備(空調設備)が整った。
		公民館施設整備事業 (きめ細かな臨時交付金)	10,429	国庫支出金 10,428 一般財源 1	《平成21年度から繰越》 【委託料】 一町田公民館高圧受電設備改修工事設計業務委託 235,200円 富津公民館空調設備改修工事設計業務委託 228,900円 小計 464,100円 【工事請負費】 一町田公民館高圧受電設備改修工事 4,283,779円 富津公民館空調設備改修工事 4,147,500円 本渡北公民館電気機械設備改修工事 1,533,539円 小計 9,964,818円 合計 10,428,918円	一町田公民館高圧受電施設改修工事、富津公民 館空調設備改修工事設計監理委託が完了し、改修工 事の準備が整った。 一町田公民館高圧受電設備改修工事により安全対 策が強化され、生涯学習の拠点として安全環境整備 が図られた。 富津公民館空調設備改修工事により快適な生涯学 習ができる環境が整った。 本渡北公民館電気機械設備改修工事により生涯学 習の拠点施設としての整備が図られた。

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
208 ） 210	4 図書館費	童話発表市内各地区大会	200	一般財源 200	市内各地区大会：平成22年7月6日から9月6日にかけて市内10箇所で開催した。 参加者合計 106人 (経費内訳) 審査員謝礼 60,000円 需用費 139,657円 計 199,657円	童話に親しみ、創造する機会を与えることにより読書意欲の推進を図った。各地区大会より天草地方大会への代表者を選出した。天草地方大会では天草市代表1名が最優秀賞を受賞し、県童話発表大会へ天草地区代表として出場した。 童話発表市内各地区大会(本渡・牛深・御所浦・五和・河浦・新和・天草・有明・栖本・倉岳)
		御所浦地区読書感想文コンクール	18	一般財源 18	御所浦町内の小中学生を対象に実施： 7月17日～9月11日 募集 参加者 293名 (経費内訳) 需用費 18,000円	各小中学校から各学年1点を選出。 最優秀賞4名、優秀賞14名を決定。 作品集を発行し、各学校に配布した。
		子ども読書フェスティバル	300	一般財源 300	読み聞かせボランティアグループによるステージ発表、絵本作家・長谷川義史氏・大友剛氏による講演会、リサイクル本の配布などを行った。 期日：平成22年7月24日(土) 開催 場所：天草市民センター 展示ホール 参加数：350名 (経費内訳) 講師謝礼(2名) 300,000円	子どもたちに、本の楽しさを知ってもらい、親子読書に対する関心と、読書意欲の向上に努めることができた。
		デジカメ撮影教室	0		中央図書館に併設の視聴覚ライブラリー事業に掲げている「視聴覚教育に関する研修会」の一環として、視聴覚ライブラリーの機材を活用し、図書館の資料を参考にしながら、開発委員ボランティアの協力を得てデジカメの撮影編集の仕方を、親子で学ぶ機会とする。 期日：平成22年8月8日(日)開催 場所：中央図書館 2階 会議室 講師：開発委員ボランティア 参加数：20名	視聴覚ライブラリー研究開発委員の技術指導を図書館資料を参考にしながら受講することにより、読書の習慣化と視聴覚ライブラリー事業の普及に期待ができる。

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位:千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
208 ） 210	4 図書館費	おたのしみ会(中央図書館)	0		子どもたちへの読み聞かせ、お話、紙芝居、腹話術等を開催した。 毎月第4土曜日 本渡南公民館にて開催 年間合計12回開催 (参加者243名) 「子ども読書の日お楽しみ会」を4月24日(土)に実施	子どもたちへ多彩な構成で物語の楽しさを伝え、本に親しむ機会を提供し読書推進を図った。
		おはなし会(牛深図書館)			年間4回 牛深総合センターにて開催 年間合計4回開催 (参加者189名) 「子ども読書の日おはなし会」を4月25日(日)に実施	
		おはなし会(河浦図書館)			毎月第3日曜日 河浦図書館にて開催 年間合計12回開催 (参加者186名) 「子ども読書の日おはなし会」を5月9日(日)に実施	
		読み聞かせ会(御所浦図書館)			毎月第2土曜日 御所浦図書館にて開催 年間合計12回開催 (参加者283名) 「子ども読書の日おたのしみ会」を4月24日(土)に実施	
		図書館巡回講座	89	一般財源 89	小学校、幼稚園、保育所等に出向き、お話、紙芝居、パネルシアター、腹話術等を行った。 年間19回開催 (経費内訳) 講師謝礼 88,500円	紙芝居、パネルシアター、腹話術等を見聞きさせることにより、子どもたちの読書への興味を深めた。また、学校の読書教育との連携を図ることができた。
		古文書学習会	55	一般財源 55	地域に眠る古文書を解読する為の学習会を開催。 毎月第3土曜日開催 年間11回開催 受講生13人 (経費内訳) 講師謝礼 55,000円	地域に眠る古文書を解読することにより郷土を理解し、郷土を再認識する機会を提供した。

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
208 ） 210	4 図書館費	視聴覚ライブラリー事業	319	一般財源 319	学校、社会教育団体等に対して視聴覚教材及び機材の貸出しを行った。また、新たに購入する教材を研究開発委員によって選定し、購入した。 (経費内訳) 研究開発委員報酬 30,000円 研究開発委員旅費 2,060円 需用費 11,600円 映像教材購入費 275,100円 計 318,760円	教材及び機材の貸出しを通じて生涯学習の振興に努めた。 機材・教材利用件数 年間延べ118件 利用者数 4,331人
		移動図書館	2,270	一般財源 2,270	燃料費 81,384円 臨時職員賃金等 2,187,775円 計 2,269,159円	天草市全域を移動図書館車で巡回し読書振興に供した。
		移動図書館整備事業 (経済危機対策臨時交付金)	15,265	国庫支出金 15,000 一般財源 265	《平成21年から繰越》 河浦図書館の移動図書館車を購入 移動図書館車購入 1台 (事業費内訳) 備品購入費(図書館車) 11,907,000円 移動図書館システム機器 522,900円 移動図書館用図書購入費 2,624,520円 コンピュータソフト 210,000円 計 15,264,420円	河浦・牛深・天草地区の移動図書館用に新規購入。ステーションを拡大し移動図書館専用図書の購入により、多くの市民に読書の機会を提供した。
		図書館整備事業 (きめ細かな臨時交付金)	13,404	国庫支出金 13,403 一般財源 1	《平成21年から繰越》 中央図書館・本渡南公民館屋根防水改修 (事業費内訳) 委託料 595,350円 工事請負費 11,550,000円 一般備品購入費(棚) 1,257,900円 計 13,403,250円	築後32年が経過し施設が老朽化していたので、全面的な屋根の防水改修工事を行い、図書資料保護、利用者の安全対策に繋がった。

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																																																				
208 ） 210	4 図書館費	図書館事務経費 移動図書館 (図書購入分)	14,561	その他 1,000 一般財源 13,561	新刊図書、総合学習対応図書、参考図書等を購入した。 (事業費内訳) 図書購入費 図書館事務経費 14,060,910円 移動図書館 499,320円 計 14,560,230円 (歳入内訳) 寄付金 1,000,000円	市民からの要望の高い書籍・今日的な情報の資料等を購入し、利用者に提供することができた。また、例年市民からの多額の寄付もあり、青少年のための新刊書や新設した海援隊コーナーの図書の充実を図ることができた。																																																				
				図書館別内訳表 <table border="1"> <thead> <tr> <th>図書館名</th> <th>図書購入額</th> <th>貸出者数</th> <th>貸出冊数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>8,319,007円</td> <td>44,928人</td> <td>238,114冊</td> </tr> <tr> <td>牛深図書館</td> <td>3,050,463円</td> <td>10,543人</td> <td>40,247冊</td> </tr> <tr> <td>河浦図書館</td> <td>2,029,309円</td> <td>7,772人</td> <td>32,327冊</td> </tr> <tr> <td>御所浦図書館</td> <td>930,118円</td> <td>4,056人</td> <td>14,532冊</td> </tr> <tr> <td>五和図書室</td> <td>1,015,920円</td> <td>2,283人</td> <td>21,325冊</td> </tr> <tr> <td>高浜公民館図書室</td> <td>287,714円</td> <td>1,117人</td> <td>2,907冊</td> </tr> <tr> <td>栖本図書室</td> <td>270,557円</td> <td>377人</td> <td>377冊</td> </tr> <tr> <td>新和図書室</td> <td>215,443円</td> <td>493人</td> <td>848冊</td> </tr> <tr> <td>有明図書室</td> <td>278,754円</td> <td>1,068人</td> <td>2,367冊</td> </tr> <tr> <td>倉岳図書室</td> <td>288,145円</td> <td>1,481人</td> <td>2,262冊</td> </tr> <tr> <td>移動図書館</td> <td>499,320円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17,184,750円</td> <td>74,118人</td> <td>355,306冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記合計金額には移動図書館整備事業(経済危機対策臨時交付金)図書購入費 2,624,520円を含む</p>			図書館名	図書購入額	貸出者数	貸出冊数	中央図書館	8,319,007円	44,928人	238,114冊	牛深図書館	3,050,463円	10,543人	40,247冊	河浦図書館	2,029,309円	7,772人	32,327冊	御所浦図書館	930,118円	4,056人	14,532冊	五和図書室	1,015,920円	2,283人	21,325冊	高浜公民館図書室	287,714円	1,117人	2,907冊	栖本図書室	270,557円	377人	377冊	新和図書室	215,443円	493人	848冊	有明図書室	278,754円	1,068人	2,367冊	倉岳図書室	288,145円	1,481人	2,262冊	移動図書館	499,320円			合計	17,184,750円	74,118人	355,306冊
図書館名	図書購入額	貸出者数	貸出冊数																																																							
中央図書館	8,319,007円	44,928人	238,114冊																																																							
牛深図書館	3,050,463円	10,543人	40,247冊																																																							
河浦図書館	2,029,309円	7,772人	32,327冊																																																							
御所浦図書館	930,118円	4,056人	14,532冊																																																							
五和図書室	1,015,920円	2,283人	21,325冊																																																							
高浜公民館図書室	287,714円	1,117人	2,907冊																																																							
栖本図書室	270,557円	377人	377冊																																																							
新和図書室	215,443円	493人	848冊																																																							
有明図書室	278,754円	1,068人	2,367冊																																																							
倉岳図書室	288,145円	1,481人	2,262冊																																																							
移動図書館	499,320円																																																									
合計	17,184,750円	74,118人	355,306冊																																																							

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																		
210 } 212	5 文化振興費	芸術文化振興事業	4,366	その他 1,597 一般財源 2,769	<p>天草は、熊本都市圏から離れているため、演奏家等による生演奏や各種展覧会を鑑賞する機会が少なく、行政による文化事業の実施が求められている。芸術文化振興事業や市民センターホール等の自主文化事業により、市民が優れた芸術文化公演に触れる機会の提供に努めている。</p> <p>芸術文化振興事業では、県立劇場との連携等により公演を実施した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table border="0"> <tr><td>報償費</td><td>40,000円</td></tr> <tr><td>旅費</td><td>52,923円</td></tr> <tr><td>需用費</td><td>346,574円</td></tr> <tr><td>役務費</td><td>69,300円</td></tr> <tr><td>委託料(カンアミ伝)</td><td>2,500,000円</td></tr> <tr><td>借上料(貸切バス)</td><td>507,105円</td></tr> <tr><td>負担金(ネットワーク事業)</td><td>850,000円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>4,365,902円</td></tr> </table> <p>(歳入内訳)</p> <table border="0"> <tr><td>入場料</td><td>1,597,000円</td></tr> </table>	報償費	40,000円	旅費	52,923円	需用費	346,574円	役務費	69,300円	委託料(カンアミ伝)	2,500,000円	借上料(貸切バス)	507,105円	負担金(ネットワーク事業)	850,000円	合計	4,365,902円	入場料	1,597,000円	<p>県立劇場等との連携により、経費を抑えて質の高い事業を実施することができた。特にミュージカル「カンアミ伝」の公演では、昼夜2回公演とし、昼の部では中学生を招待して実施することができた。</p> <p>劇団わらび座ミュージカル「カンアミ伝」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/6、天草市民センターホール 昼の部：659人(中学生を招待) 夜の部：422人 <p>県立劇場舞台芸術ネットワーク事業 日舞「伝統の響と舞」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/17、牛深総合センターホール 入場者677人
報償費	40,000円																							
旅費	52,923円																							
需用費	346,574円																							
役務費	69,300円																							
委託料(カンアミ伝)	2,500,000円																							
借上料(貸切バス)	507,105円																							
負担金(ネットワーク事業)	850,000円																							
合計	4,365,902円																							
入場料	1,597,000円																							
		芸術ふれあい出前コンサート	1,351	一般財源 1,351	<p>芸術家を小・中学校に直接派遣して公演を行う出前コンサートを実施した。文化庁「子どものための優れた舞台芸術体験事業」、県と共催で実施する「いきいき芸術体験教室」に加え、市単独事業としてNPO法人天草青少年アカデミーに委託して目に障がいを持つ音楽家を派遣する事業も行い、計27校で実施することができた。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table border="0"> <tr><td>役務費(ピアノ調律料)</td><td>122,950円</td></tr> <tr><td>公演委託料</td><td>1,228,727円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>1,351,677円</td></tr> </table>	役務費(ピアノ調律料)	122,950円	公演委託料	1,228,727円	合計	1,351,677円	<p>芸術家を小・中学校に直接派遣して公演を実施することにより、子どもたちが気軽に芸術文化に触れる機会を作ることができた。また、目に障がいを持つ音楽家4人を小・中学校に派遣する事業を行い、生きることの素晴らしさや努力することの大切さを子どもたちに伝えることができた。</p> <p>いきいき芸術体験教室(熊本県等と共催) 二胡、中国琵琶、演劇ワークショップ4校で実施 子どものための優れた舞台芸術体験事業(文化庁)</p> <p>バレエ、演劇、合唱、管弦楽団8校で実施 ふれあい出前コンサート ピアノ、三味線、尺八等15校で実施。</p>												
役務費(ピアノ調律料)	122,950円																							
公演委託料	1,228,727円																							
合計	1,351,677円																							

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果														
210 ） 212	5 文化振興費	市民センターホール等自主 文化事業	11,744	その他 2,278 一般財源 9,466	<p>芸術文化振興事業を児童・生徒を中心とした事業内容とする一方、当事業を一般市民向けの娯楽性の高い公演も取り入れた事業として、天草市民センターと牛深総合センターにおいて企画、実施した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table border="0"> <tr><td>需用費</td><td>612,771円</td></tr> <tr><td>役務費</td><td>236,934円</td></tr> <tr><td>公演委託料</td><td>10,683,750円</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>210,468円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>11,743,923円</td></tr> </table> <p>(歳入内訳)</p> <table border="0"> <tr><td>入場料</td><td>2,278,000円</td></tr> </table>	需用費	612,771円	役務費	236,934円	公演委託料	10,683,750円	使用料	210,468円	合計	11,743,923円	入場料	2,278,000円	<p>天草市民センターと牛深総合センターで事業を実施し、市民にアピールするような内容で実施することができた。</p> <p>天草市民センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8/17 よしもと爆笑夏まつり 入場者数 156人 ・1/22 天草新春コンサート愛唱歌大庭照子とうたおう 入場者数 262 ・2/20 演劇アウトリーチ事業in天草 入場者数 205人 ・3/5 青柳晋ピアノリサイタル 入場者数 303人 牛深総合センター ・8/21 劇団きらら「星の王子さま」入場者数93人 ・8/22 " (2回公演) 入場者数 83人 ・9/19 松竹特別公演「香華」 入場者数 535人 ・10/5 横山幸雄ピアノコンサート 入場者数 315人 ・12/10 シアター青芸「ザ・ウインズ・オブ・ゴッド」入場者数 111人 ・3/27 人吉影絵劇団まつぼっくり劇場 入場者数 150人 		
需用費	612,771円																			
役務費	236,934円																			
公演委託料	10,683,750円																			
使用料	210,468円																			
合計	11,743,923円																			
入場料	2,278,000円																			
		芸術作品展示事業	1,050	一般財源 1,050	<p>【第3回天草を描く絵画コンクールの開催】 天草市誕生を記念して、日本の宝島“天草”の魅力を引き出し、天草の美術の振興と発展に寄与することを目的として、「天草を描く」をテーマに絵画の募集を行い、牛深総合センターと天草市民センターで入賞した作品の展示を行った。また、天草にゆかりのある芸術家の絵画展を天草市民センターで行った。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table border="0"> <tr><td>賃金</td><td>136,800円</td></tr> <tr><td>報償費</td><td>193,000円</td></tr> <tr><td>旅費</td><td>18,860円</td></tr> <tr><td>需用費</td><td>315,009円</td></tr> <tr><td>役務費</td><td>4,230円</td></tr> <tr><td>委託料</td><td>382,200円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>1,050,099円</td></tr> </table>	賃金	136,800円	報償費	193,000円	旅費	18,860円	需用費	315,009円	役務費	4,230円	委託料	382,200円	合計	1,050,099円	<p>天草の風景をテーマとして作品を募集し、天草の持つ魅力を再認識する機会とすることができた。今後も継続して実施し、市内外に向けて“天草”をPRしていくとともに、天草の文化と美術の向上を目指したいと考えている。</p> <p>応募数 一般の部32点、中学生44点、小学生372点 合計 448点</p> <p>「天草を描く」絵画コンクール作品展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2/6～2/13 牛深総合センター大会議室 (2/6 表彰式) ・2/16～20天草市民センター展示ホール 天草ゆかりの美術展(県立美術館収蔵作品) ・天草市民センター 11/26～11/29 32点展示 入場者950人 熊本県美術連盟巡回展 ・牛深総合センター 9/5～9/12 入場者283人
賃金	136,800円																			
報償費	193,000円																			
旅費	18,860円																			
需用費	315,009円																			
役務費	4,230円																			
委託料	382,200円																			
合計	1,050,099円																			

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
210 ） 212	5 文化振興費	子ども作陶体験事業	1,912	一般財源 1,912	6月～10月にかけて市内の窯元を小学校に派遣し、6年生（あるいは5年生）を対象に作陶体験教室を実施した。出来上がった作品は、天草大陶磁器展に合わせて、10月～11月に天草文化交流館で展示した。 (事業費内訳) 作陶体験委託料 1,912,000円	授業の一環として、子どもたちが地域の伝統産業に触れるとともに、郷土の歴史と文化について理解する機会とすることができた。 ・小学校36校、計956人の参加で実施 (協力窯元16) ・子ども作陶作品展 10/30～11/7
		文化活動補助金	1,479	一般財源 1,479	文化団体が開催する事業に対して、補助対象経費の2分の1（上限10万円）を限度として補助金を交付した。 (事業費内訳) 文化活動補助金 1,479,000円	文化団体が実施する文化公演や展示会に対して補助することで、文化団体の活性化と本市の文化振興につなげることができた。 ・交付団体数 17団
		市民芸術祭開催補助金	3,546	一般財源 3,546	天草市芸術文化協会と加盟する各地区文化協会が実施する市民文化祭に対して補助金を交付した。 (事業費内訳) 市民芸術祭開催補助金 3,546,000円	天草市芸術文化協会に一括して補助金を交付し、市全体の文化祭である芸文祭が天草地区で、そして、各地区文化協会の文化祭が市内8地区で開催された。各地区の独自性を生かして多彩な文化祭が開催され、文化協会会員はもとより、市民の文化活動に対する関心を深める機会とすることができた。
		五足の靴文化の里づくり事業	2,842	一般財源 2,842	五足の靴顕彰全国短歌大会実行委員会に補助金を交付し、「第25回五足の靴顕彰全国短歌大会」を開催した。講師に佐佐木幸綱先生を招き講演会を行ったほか、史跡巡り・表彰式等を実施した。また、第8回ウォークラリー大会も行った。 (事業費内訳) 五足の靴文化の里づくり補助金 2,842,439円	「五足の靴」の意義を再認識するとともに、全国に向けて顕彰し、短歌を通して文化活動の拡大と交流人口の増加を図ることができた。 五足の靴顕彰全国短歌大会 日時：10月31日～11月1日 会場：望洋閣（天草町） 出詠数：一般の部295首、中学生の部698首 高校生の部750首、合計1,743首 ウォークラリー大会：11/3 参加者 115人

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
210 } 212	5 文化振興費	牛深ハイヤ節全国大会	1,700	一般財源 1,700	牛深ハイヤ節全国大会実行委員会に補助し、牛深総合センターにおいて、7月24日に予選大会、25日に決勝大会を、また、市民へのアピールのため、24日夜にハイヤ節の唄の魅力を探るアトラクションを実施した。 (事業費内訳) 牛深ハイヤ節全国大会補助金 1,699,963円	本年で10回目を迎えた事業で、市指定文化財である牛深ハイヤ節の継承と発展に寄与することができた。今後も牛深ハイヤ節を守り育て、市内外に発信していくため、牛深ハイヤ祭りと連携し、事業を実施していきたい。 出場者数 143人
212 } 214	6 文化財保護費	棚底城跡調査整備事業	5,931	国庫支出金 2,360 一般財源 3,571	平成21年7月に国指定史跡となった棚底城跡の適正な保存管理を図るための施策の検討に努めるとともに、地域の宝として市民に理解してもらい、歴史を学ぶ場として活用を図っていく。 保存管理計画策定検討委員会 2回 シンポジウム等の開催 2回 地形測量図の作成 (事業費内訳) 報酬 180,000円 報償費 100,000円 旅費 508,841円 需用費 236,966円 役務費 4,630円 委託料 4,900,380円 合計 5,930,817円	平成21年7月に国指定史跡となった棚底城跡の保存管理計画を策定するため、地形測量図の作成を行うとともに、保存管理策定検討委員会を開催し、内容の検討を行った。 また、地域の宝として棚底城跡を理解してもらうためシンポジウム等を開催して市民への周知を図った。

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																																																																		
214 } 216	7 文化施設費	天草市民センター	27,042	その他 18,525 一般財源 8,517	(事業費内訳) 需用費 12,366,926円 役務費 1,060,774円 委託料 13,371,815円 使用料・賃借料 43,785円 備品購入費 198,975円 合計 27,042,275円	市民会館の利用者数は、前年度と比較すると、約4割の利用者増となったが、体育館が耐震診断で強度不足が判明したため解体工事を行い、年度途中から使用できなかったため、大幅な利用者の減少であった。そのため、市民センター全体で約1割の減少となった。今後も、施設の維持管理に心がけ、利用者の立場に立った運営を心がけ利用者の増加を図りたい。																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>年度</th> <th>18</th> <th>19</th> <th>20</th> <th>21</th> <th>22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">市民会館</td> <td>回数</td> <td>1,552</td> <td>1,608</td> <td>1,598</td> <td>1,785</td> <td>1,676</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>136,056</td> <td>128,540</td> <td>123,070</td> <td>108,425</td> <td>153,771</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">体育館</td> <td>回数</td> <td>842</td> <td>976</td> <td>900</td> <td>984</td> <td>399</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>54,642</td> <td>48,768</td> <td>49,092</td> <td>69,074</td> <td>13,008</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">武道館</td> <td>回数</td> <td>897</td> <td>968</td> <td>922</td> <td>2,210</td> <td>1,193</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>20,789</td> <td>22,883</td> <td>23,062</td> <td>37,741</td> <td>30,494</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合計</td> <td>回数</td> <td>3,291</td> <td>3,552</td> <td>3,420</td> <td>4,979</td> <td>3,268</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>211,487</td> <td>200,191</td> <td>195,224</td> <td>215,240</td> <td>197,273</td> </tr> <tr> <td>使用料収入額</td> <td>(千円)</td> <td>22,502</td> <td>22,345</td> <td>21,779</td> <td>18,313</td> <td>17,244</td> </tr> </tbody> </table>							施設名	年度	18	19	20	21	22	市民会館	回数	1,552	1,608	1,598	1,785	1,676	人員	136,056	128,540	123,070	108,425	153,771	体育館	回数	842	976	900	984	399	人員	54,642	48,768	49,092	69,074	13,008	武道館	回数	897	968	922	2,210	1,193	人員	20,789	22,883	23,062	37,741	30,494	合計	回数	3,291	3,552	3,420	4,979	3,268	人員	211,487	200,191	195,224	215,240	197,273	使用料収入額	(千円)	22,502	22,345	21,779	18,313	17,244
施設名	年度	18	19	20	21	22																																																																		
市民会館	回数	1,552	1,608	1,598	1,785	1,676																																																																		
	人員	136,056	128,540	123,070	108,425	153,771																																																																		
体育館	回数	842	976	900	984	399																																																																		
	人員	54,642	48,768	49,092	69,074	13,008																																																																		
武道館	回数	897	968	922	2,210	1,193																																																																		
	人員	20,789	22,883	23,062	37,741	30,494																																																																		
合計	回数	3,291	3,552	3,420	4,979	3,268																																																																		
	人員	211,487	200,191	195,224	215,240	197,273																																																																		
使用料収入額	(千円)	22,502	22,345	21,779	18,313	17,244																																																																		
		牛深総合センター	24,518	その他 4,135 一般財源 20,383	(事業費内訳) 需用費 12,424,983円 役務費 666,396円 委託料 11,353,247円 使用料・賃借料 63,176円 負担金 10,000円 合計 24,517,802円	牛深総合センターの利用状況は、合併した18年度に急激に減少し、その後も減少が続いていたが、本年度は、センターの大規模な改修を行い、施設を利用できない期間があったにもかかわらず、前年度に比べ使用人員で約1割の増で、収入においても若干の増額であった。今後、中央のみの会合に偏らないような働きかけや、ホールの特性を活かした独自の活用に関心をもち、利用者の立場に立った運営を心がけたい。																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>年度</th> <th>18</th> <th>19</th> <th>20</th> <th>21</th> <th>22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合センター</td> <td>回数</td> <td>1,808</td> <td>1,760</td> <td>1,607</td> <td>1,587</td> <td>1,777</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>53,691</td> <td>53,288</td> <td>49,541</td> <td>48,597</td> <td>53,155</td> </tr> <tr> <td>使用料収入額</td> <td>(千円)</td> <td>4,253</td> <td>4,250</td> <td>3,743</td> <td>3,653</td> <td>3,936</td> </tr> </tbody> </table>							施設名	年度	18	19	20	21	22	総合センター	回数	1,808	1,760	1,607	1,587	1,777	人員	53,691	53,288	49,541	48,597	53,155	使用料収入額	(千円)	4,253	4,250	3,743	3,653	3,936																																							
施設名	年度	18	19	20	21	22																																																																		
総合センター	回数	1,808	1,760	1,607	1,587	1,777																																																																		
	人員	53,691	53,288	49,541	48,597	53,155																																																																		
使用料収入額	(千円)	4,253	4,250	3,743	3,653	3,936																																																																		

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
214 } 216	7 文化施設費	牛深総合センター整備事業 (きめ細かな臨時交付金)	183,044	国庫支出金 183,044	《平成21年度からの繰越》 ・電気設備改修工事 ・舞台音響設備改修工事 ・観客席改修工事 ・エレベーター設備改修工事 (事業費内訳) 需用費 1,625,400円 委託料 5,539,800円 工事請負費 175,192,500円 備品購入費 686,675円 合計 183,044,375円	牛深総合センターは、建築から30年が経過し老朽化が進んでおり、天草市南部地区の文化情報発信基地として役割を果たすため、臨時交付金を活用し、利用者のニーズに応じた必要な改築を実施して施設の整備を図った。
		天草市民センター整備事業 (きめ細かな臨時交付金)	33,339	国庫支出金 33,339	《平成21年度からの繰越》 ・武道館エレベーター設備改修工事 ・弓道場改修工事 ・ワイヤレスシステム機器一式 (事業費内訳) 需用費 976,710円 委託料 4,092,900円 工事請負費 20,380,500円 備品購入費 7,888,545円 合計 33,338,655円	天草市民センターは、文化会館・体育館・武道館からなり、文化・スポーツの中心施設して地域振興に寄与している。臨時交付金を活用し、施設の整備を図った。
		牛深総合センター整備事業	10,196	地方債 9,600 一般財源 596	・消防設備等設計業務委託 ・消防設備等改修工事 (事業費内訳) 委託料 640,500円 工事請負費 9,555,000円 合計 10,195,500円	牛深総合センターは、建築から30年が経過し老朽化が進んでおり、消防設備等の改修を実施するなど、施設の整備を図った。
		天草市民センター整備事業	2,478	一般財源 2,478	・トレーニング機器一式 (事業費内訳) 備品購入費 2,478,000円	施設の充実を図るため、トレーニング機器一式を購入した。

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																																	
214 } 216	7 文化施設費	天草市民センター耐震補強事業	48,662	国庫支出金 862 一般財源 47,800	(事業費内訳) <平成22年度> 体育館解体設計業務委託 1,522,500円 体育館解体工事 40,188,616円 計 41,711,116円 <平成21年度からの繰越> 体育館耐震診断業務委託 2,457,000円 市民会館耐震改修設計業務委託 4,494,000円 計 6,951,000円	市民センター体育館は耐震診断により、補強不能の判定を受けたため、使用を中止し解体工事を行った。 市民会館については、補強が可能な耐震改修設計を行った。																																	
216 } 220	8 資料館費	資料館管理費	77,820	その他 17,393 一般財源 60,427	市内資料館の運営・維持管理を行う。天草の歴史民俗資料、キリシタン関連資料、遺物、化石等を展示・調査し、併せて、収蔵展示管理を行う。 (事業費内訳) 報酬 30,039,036円 共済費 2,912,877円 賃金 3,573,900円 報償費 476,000円 旅費 577,450円 需用費 18,660,158円 役務費 1,848,278円 委託料 16,791,674円 使用料 1,460,342円 原材料費 42,660円 備品購入費 1,337,915円 負担金 100,000円 計 77,820,290円	平成22年度入館者数は以下のとおりで、今後、各資料館の特徴を活かした行事等を考え、来館者の増加を図りたい。 <table border="1" data-bbox="1601 901 2139 1268"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>入館者数(人)</th> <th>入館料(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本渡歴史民俗資料館</td> <td>17,699</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>天草キリシタン館</td> <td>65,818</td> <td>10,953,820</td> </tr> <tr> <td>天草口ザリオ館</td> <td>13,961</td> <td>3,732,090</td> </tr> <tr> <td>天草玩具資料館</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>天草コレジヨ館</td> <td>8,667</td> <td>1,141,130</td> </tr> <tr> <td>五和歴史民俗資料館</td> <td>2,533</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>御所浦白亜紀資料館</td> <td>8,285</td> <td>806,480</td> </tr> <tr> <td>他の3資料館</td> <td>272</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>文化交流館</td> <td>9,144</td> <td>21,105</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>126,379</td> <td>16,654,625</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	入館者数(人)	入館料(円)	本渡歴史民俗資料館	17,699	-	天草キリシタン館	65,818	10,953,820	天草口ザリオ館	13,961	3,732,090	天草玩具資料館	-	-	天草コレジヨ館	8,667	1,141,130	五和歴史民俗資料館	2,533	-	御所浦白亜紀資料館	8,285	806,480	他の3資料館	272	-	文化交流館	9,144	21,105	計	126,379	16,654,625
施設名	入館者数(人)	入館料(円)																																					
本渡歴史民俗資料館	17,699	-																																					
天草キリシタン館	65,818	10,953,820																																					
天草口ザリオ館	13,961	3,732,090																																					
天草玩具資料館	-	-																																					
天草コレジヨ館	8,667	1,141,130																																					
五和歴史民俗資料館	2,533	-																																					
御所浦白亜紀資料館	8,285	806,480																																					
他の3資料館	272	-																																					
文化交流館	9,144	21,105																																					
計	126,379	16,654,625																																					

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
216 ） 220	8 資料館費	企画展開催事業	3,183	一般財源 3,183	(事業費内訳) 共済費 340,873円 賃金 2,644,800円 需用費 197,749円 計 3,183,422円	全島博物館構想計画に基づき、各資料館の展示内容にテーマを設け、特色ある展示を行っていくため、収蔵品調査を実施し、この調査をもとに台帳を整備した。今後データベース化を行う。各資料館の展示テーマに沿って、展示資料・収蔵資料の入替えを行う。 ・本渡歴史民俗資料館リニューアルオープン展 7/13～ ・文人画の贋作展、築山節夫の画いた天草同時開催 10/13～11/21 入館者 2,545人
		白亜紀資料館特別展事業	2,983	その他 215 一般財源 2,768	「よみがえる恐竜と古代生物の世界」の開催 ・期間7/17～8/31 ・入場者 3,803人 第12回恐竜絵画コンテスト ・応募数 3,481点 (事業費内訳) 共済費 8,763円 賃金 501,600円 旅費 157,971円 需用費 480,467円 役務費 268,431円 委託料 1,316,000円 使用料・賃借料 249,900円 計 2,983,132円 (歳入内訳) シャトル船使用料 86,000円 バス使用料 72,000円 クルージング使用料 57,000円	御所浦白亜紀資料館は、市内唯一の自然科学系資料館であり、教育普及活動の一環として毎年夏に特別展を開催している。本年は、夏休み期間中に「よみがえる恐竜と古代生物の世界」を開催した。また、併せて、恐竜絵画コンテストを行い、優秀作品については、特別展で展示した。 特別展の開催により、化石の価値や多様性を伝えることができた。また、特別展の関連事業として実施している絵画コンテストは多くの応募があり、恒例行事として、特別展とともに定着している。また、これらの効果により、期間中の来島者が増加し、経済効果があるなど、地域振興や観光振興につながった。

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果										
216 ） 220	8 資料館費	自然ワークショップ事業	288	一般財源 288	<p>御所浦の島の自然や化石に関する理解を深めるため、ゴールデンウィーク化石教室や夏休み化石セミナー、島の自然ワークショップなどを開催した。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>講師謝礼</td> <td style="text-align: right;">60,000円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">47,440円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">28,221円</td> </tr> <tr> <td>使用料・賃借料</td> <td style="text-align: right;">152,195円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">287,856円</td> </tr> </table>	講師謝礼	60,000円	旅費	47,440円	需用費	28,221円	使用料・賃借料	152,195円	計	287,856円	<p>御所浦の島の自然に関する学習会を開催し、市内外、大人から子どもまで幅広い参加者があった。化石教室も予想を大きく上回る参加があるなど人気であった。セミナー形式やワークショップ形式で実施することで、多くの人に自然に対する興味関心を深めてもらうことができた。</p> <p>化石セミナー等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴールデンウィーク化石教室参加 724人 ・夏休み化石セミナー参加 (前期)36人 (後期)35人 ・島の自然ワークショップ参加 34名
講師謝礼	60,000円															
旅費	47,440円															
需用費	28,221円															
使用料・賃借料	152,195円															
計	287,856円															
		化石発掘調査整理事業	1,209	一般財源 1,209	<p>御所浦白亜紀資料館において、市内を中心に恐竜・アンモナイト・貝類などの化石や地質を主とした自然遺産の発掘研究や、天草ジオパーク構想に向けた予備調査を行い、研究成果については、古生物学会や白亜紀資料館館報で発表した。また、化石採集体験場の維持管理を行った。</p> <p>(事業費内訳)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>共済費</td> <td style="text-align: right;">2,229円</td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td style="text-align: right;">886,600円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">173,878円</td> </tr> <tr> <td>使用料・賃借料</td> <td style="text-align: right;">146,350円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,209,057円</td> </tr> </table>	共済費	2,229円	賃金	886,600円	需用費	173,878円	使用料・賃借料	146,350円	計	1,209,057円	<p>化石採集場の維持管理を行った。また、岩石から恐竜の骨化石の削り出しを継続して行い、アンモナイトや貝などの化石の取り出し作業を行うなど、化石のクリーニング作業を行った。同時に、新たな標本の登録作業も行った。館報(研究報告書)の発行により、天草のジオパーク構想につながる調査研究や事業報告の公開を行うことができた。</p>
共済費	2,229円															
賃金	886,600円															
需用費	173,878円															
使用料・賃借料	146,350円															
計	1,209,057円															

(9) 教育費 (7) 社会教育費

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
216 ┆ 220	8 資料館費	文化交流事業	1,049	その他 281 一般財源 768	天草文化交流館において、伝統工芸等の体験講座を行った。 (事業費内訳) 講師謝礼 503,000円 需用費 537,919円 役務費 8,175円 計 1,049,094円 (歳入内訳) 体験学習材料代 280,600円	伝統工芸をはじめ各種体験講座の参加により、ものづくりの楽しさを体験することで、市民への伝統工芸への理解が広まりつつある。体験講座は、昨年度に比べ参加者が増加した。また、入館者数に関しても、前年に比べ、約2割の増加であった。今後も、新たな体験学習の発掘に努め、体験学習参加者及び入館者の増加を図りたい。 【体験講座(学習)参加者】 【入館者数(地域別)】 土人形 137人 市内 8,748人 手まり 534人 島内 20人 押し絵 165人 県内 76人 凧 743人 県外 280人 陶芸 1,528人 外国 20人 竹細工 271人 合計 9,144人 その他 206人 合計 3,584人
		天草コレジヨ館20周年記念事業	1,420	一般財源 1,420	(事業費内訳) 報償費 190,000円 旅費 152,992円 需用費 376,022円 役務費 7,800円 委託料 693,000円 計 1,419,814円	平成22年度に会館20周年を迎える機会をとらえ、改めて16世紀の天草に華開いた、南蛮文化の風・香りを感ずるため、記念事業を開催した。 ・記念公演 「天正少年遣欧使節の栄光と生涯」 入館者 92人 ・記念コンサート 6/5 入館者 153人 ・イソホ造形展 7/2~8/29 入館者 2,424人
		資料館施設整備事業	14,128	県支出金 11,342 一般財源 2,786	(事業費内訳) 委託料 730,800円 工事請負費 13,396,668円 計 14,127,468円	地域グリーンニューディール基金事業により、資料館の整備を行った。 ・天草コレジヨ館・・・LED電灯の導入工事 ・天草ロザリオ館・・・LED電灯の導入工事 ・五和歴史民俗資料館・・・空調設備工事

(9) 教育費 (7) 社会教育費

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
216 ┆ 220	8 資料館費	天草キリシタン館オープ ンイベント事業	4,399	一般財源 4,399	(事業費内訳) 報償費 51,000円 旅費 65,660円 需用費 736,773円 役務費 152,600円 委託料 2,946,276円 使用料・賃借料 86,700円 備品購入費 359,940円 計 4,398,949円	平成22年7月にオープンしたキリシタン館の周知を図るとともに、オープニングイベントを実施した。 ・子どもスケッチ大会 参加者 49人 ・内覧会 6/25~28 入館者 224人 ・オープン広報委託 ・リーフレット印刷 ・資料運搬業務委託 ・聴覚障害者用ビデオ制作委託
		天草キリシタン館備品等整 備事業	6,032	一般財源 6,032	(事業費内訳) 備品購入費 6,031,816円	平成22年7月のオープンに合わせて備品の整備を図った。 ・デジタルカメラ一式 ・ミーティングテーブル ・接客カウンター ・演台 ・踏み台一式 ・椅子及びチェアポーター ・ラック ・コミュニケーションボード
220 ┆ 221	9 世界遺産登録推 進費	世界遺産登録推進事業	9,433	国庫支出金 2,535 県支出金 860 一般財源 6,038 計 6,038	【文化的景観学術検討会】 ・2回開催(熊本市内2回) ・委員数 6名 報酬(委員) 70,000円 旅費(委員+文化庁係官) 389,630円 計 459,630円 【文化的景観整備管理委員会】 ・2回開催(熊本市内1回、天草市内1回) ・委員数 4名 報酬(委員) 188,000円 旅費(委員+文化庁係官) 797,520円 計 985,520円	「重要文化的景観」選定申出のため、崎津・大江及び棚底地区の土地利用や自然、社会民俗等の調査を実施し、その調査を基に学術検討会において、調査内容や景観の価値付けについて検討した。 文化的景観整備管理委員会を設置し、文化的景観の保存並びに活用のため、景観に配慮した各事業における具体的工事工法等を検討した。

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
220 ） 221	9 世界遺産登録推 進費	世界遺産登録推進事業 (つづき)	9,433	国庫支出金 2,535 県支出金 860 一般財源 6,038	【文化的景観保存調査】 ・4調査(大江、崎津、棚底) ・調査報告書編集等業務 共済費 1,767円 賃金 111,976円 報償費 50,000円 旅費 202,380円 委託料 2,587,500円 計 2,953,623円 【講演会等、周知活動、先進地等研修】 ・講演会 2回(崎津、棚底 H23.2.23) ・シンポジウム 1回(棚底 H22.9.23) ・棚底まち歩きワークショップ(H22.8.8) ・佐賀県藤野棚田 棚底地区23名(H22.9) ・文化的景観パンフレットの作成 崎津3000部、大江2500部、棚底2000部 報償費 70,000円 旅費 361,440円 需用費 2,790,589円 使用料及び賃借料 100,000円 計 3,322,029円 【事務事業】 旅費 1,237,056円 需用費 353,975円 役務費 36,000円 使用料及び賃借料 84,300円 計 1,711,331円	【保存調査委託料内訳】 ・棚底地区景観構成及び保存計画作成 ・崎津地区町並み図作成及び保存計画書編集 ・棚底地区家屋・家並み調査 ・大江地区文化的景観保存計画作成 【調査執筆料】 ・調査報告書原稿執筆：50千円 【周知活動】 崎津・棚底地区の景観に関する理解を深め、地域の生業を維持していく為の方策や景観を活かした地域づくりについて講演会等を開催した。更に、棚底地区では棚底小学校児童及び地域住民の参加で「まち歩き と×」を実施し、景観認知の周知を図った。 【先進地視察】 棚底地区の団体及び地区代表者と共に、景観保全に取り組む先進地の活動内容、景観を活かした町づくり、修景方法や問題点等について研修を行った。 長崎県世界遺産学会議や長崎県内の市町、文化庁、文化的景観説明会や全国協議会などに出席し、関係機関との調整・協議、各地の取組み状況や世界遺産・重文景観等の現状について情報収集に努めた。

(9) 教育費 (7) 社会教育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
220 } 221	9 世界遺産登録推 進費	重要景観構成要素修景事業	2,352	一般財源 2,352	【重要景観構成要素の修景】 委託料 252,000円 工事費 2,100,000円 計 2,352,000円	平成23年2月7日「天草市崎津の漁村景観」として国の重要文化的景観の選定を受けた。その構成資産である旧網元宅を所有者から寄贈を受けたが、雨漏りなどの経年劣化が著しく、維持保全のために改修の為に委託と工事を実施した。
		崎津地区街なみ環境整備事業	10,395	国庫支出金 6,160 一般財源 4,235	【崎津地区街なみ環境整備】 ・地元住民のワークショップ 3回 ・崎津のグランドデザインの作成 委託料 10,395,000円	崎津地区では過疎と高齢化により、空き家の増加が増える中、漁村集落景観の特徴が薄れつつあるため、護岸や家屋の現況調査を行ったほか、今後の崎津地区の在り方を地元住民が参加する形でワークショップを実施し、整備方針を定めた。
221 } 222	10 ジオパーク推 進費	ジオパーク推進事業	4,373	一般財源 4,373	地質遺産と関連する自然や文化を生かし、地域活性化を目的として、天草ジオパーク構想を推進し、世界ジオパーク登録を実現する。 (事業費内訳) 報酬 664,356円 共済費 111,945円 賃金 24,800円 旅費 993,884円 需用費 970,820円 委託料 1,491,525円 使用料・賃借料 95,834円 負担金 20,000円 計 4,373,164円	平成22年12月13日に天草市・上天草市・苓北町による「天草ジオパーク構想推進協議会」が設立され、世界ジオパーク認定へ向けて体制が確立された。 また、指針となる「天草ジオパーク構想計画」「天草御所浦ジオパーク構想計画」を策定した。 天草御所浦ジオパークの知名度を高めるため、ホームページの開設、案内板の設置を行ったほか、パンフレット、チラシを作成しPRに努めた。 ボランティアガイドの養成講座も引き続き実施し、受け入れ態勢の強化を図りつつある。
		ジオパーク環境整備事業	25,998	地方債 25,900 一般財源 98	地質遺産と関連する自然や文化を生かし、地域活性化を目的として、天草ジオパーク構想を推進し、世界ジオパーク登録を実現する。 (事業費内訳) 委託料 1,785,000円 工事請負費 24,212,948円 計 25,997,948円	ジオパークを推進するために、烏峠展望所の整備・伝馬船係留棧橋の改修・桜の木ジオサイトの整備を行い、世界ジオパーク認定に向けての準備が進展した。

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
222 保健体育総務費 225	1	天草マラソン大会開催補助金	3,875	一般財源 3,875	【第5回天草マラソン大会の開催】 ・開催日：平成22年11月21日(日) ・場所：天草市、苓北町 ・参加者：2,237名(前年+339名) (内訳)フルマラソン：1,319名(+174名) ハーフマラソン：918名(+165名) 事業費 15,209,954円 うち市補助金 3,874,953円	本大会は、長距離及びマラソン選手の発掘と併せて、健康づくり・体力づくりを図るとともに、イベントによる交流人口の増大と地域の活性化を図ることを目的に開催した。また、何度も来島して頂くことを目的に「空と海の宝島天草マラソンサーキット」【4大会(天草マラソン・牛深海中公園マラソン・倉岳えびすマラソン・天草ロードレース)全てを完走された方を表彰(46人)】を実施し、目標に近い参加者を集めることができた。今後は、更なるPRに努め参加者の増加につなげたい。
		牛深海中公園マラソン大会開催補助金	1,140	一般財源 1,140	【第37回牛深海中公園マラソン大会の開催】 ・開催日：平成22年12月5日(日) ・場所：牛深町 ・参加者：763名(前年5名) 事業費 2,536,863円 うち市補助金 1,139,613円	本大会は、体力の向上とスポーツの精神を育成し、ひいては長距離選手の発掘と指導とともに、選手相互の交流を図り、親睦を深める目的で開催した。地域のまつりと同時に開催することで地域の特性をアピールできた。今後、さらに効果的なPRの方法を検討し、参加者の増加につなげたい。
		倉岳えびすマラソン大会開催補助金	1,121	一般財源 1,121	【2011倉岳えびすマラソン大会の開催】 ・開催日：平成23年1月16日(日) ・場所：倉岳町 ・参加者：945名(前年3名) 事業費 3,272,666円 うち市補助金 1,120,166円	本大会は、市民の健康及び体力の増進を図るとともに、イベントによる交流人口の増加と天草市の地域振興に寄与することを目的に開催した。地域のまつりと同時に開催することで地域の特性をアピールできた。今後、さらに効果的なPRの方法を検討し、参加者の増加につなげたい。
		しおさいマラソン大会開催補助金	900	一般財源 900	【2011しおさいマラソン大会の開催】 ・開催日：平成23年2月11日(金) ・場所：御所浦町 ・参加者：415名(前年80名) 事業費 1,360,000円 うち市補助金 900,000円	本大会の目的である、市民の健康及び体力の向上はもとより、島の自然を満喫していただき地域住民との交流を深めてもらうことができた。今後、開催時期や内容等の検討が必要であり、さらに効果的なPRの方法を検討し、参加者の増加につなげたい。

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
222 保健体育総務費 225	1	天草ロードレース大会開催補助金	1,325	一般財源 1,325	【第16回天草ロードレース大会の開催】 ・開催日：平成23年2月20日(日) ・場 所：新和町 ・参加者：569名(前年+8名) 事業費 2,374,000円 うち市補助金 1,324,306円	本来シリアス大会であったが、参加者数確保のためファミリー部門などを増設し、何とか大会規模を確保している。今後、さらに効果的なPRの方法を検討し、参加者の増加につなげたい。
		熊本県中学選抜バレーボール選手権大会開催補助金	1,000	一般財源 1,000	【熊本県中学選抜バレーボール選手権大会の開催】 ・開催日：平成22年6月12日(土)～13日(日) ・場 所：本渡中学校体育館他 ・参加者：64チーム(男女各32チーム) 事業費 1,612,892円 うち市補助金 1,000,000円	市民へのスポーツ振興を図ると共に、県内の各地域から選抜されたチームの生徒や役員等の宿泊者も多く、弁当などの飲食需要があり、地元への経済波及効果が大きく、費用対効果が絶大な大会である。
		三県架橋推進少年ソフトボール大会開催補助金	147	一般財源 147	【三県架橋推進少年ソフトボール大会の開催】 ・開催日：平成22年7月24日(土)～25日(日) ・場 所：牛深町 ・参加者：17チーム(天草市12、島原市1、出水市2、長島町2) 事業費 637,061円 うち市補助金 147,000円	長崎県島原半島から天草を経て鹿児島県長島町に至る、島原・天草・長島の三県架橋の早期実現に向け、その必要性を次世代を担う小学生に、日頃から親しんでいるソフトボールを通じ広くアピールするとともに、同地区のなお一層の交流連携を図ることができた。
		オール天草少年ソフトボール五和大会開催補助金	110	一般財源 110	【オール天草少年ソフトボール五和大会の開催】 ・開催日：平成22年7月18日(土)～19日(日) ・場 所：五和町 ・参加者：51チーム(参加総数970名) 事業費 442,815円 うち市補助金 110,000円	今年で38回目を迎え、天草地区内で一番歴史のある小学生大会であり、本大会を通じて心身ともに健やかな子どもの成長に寄与することができた。

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
222) 225	1 保健体育総務費	天草都市ソフトボール選手 権河浦大会開催補助金	83	一般財源 83	<p>【天草都市ソフトボール選手権河浦大会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成22年9月5日(日)、8日(水) ・場 所：河浦総合運動場ほか ・参加者：19チーム <p>事業費 275,365円 うち市補助金 83,000円</p>	本大会は、今回で49回目を迎える伝統ある大会で、ソフトボールの普及・発展及び各チーム間の親睦融和を深めることができた。
		栖本町少年剣道大会開催補 助金	170	一般財源 170	<p>【栖本町少年剣道大会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成23年3月21日(月) ・場 所：栖本中学校体育館 ・参加者：49チーム(小学生31チーム、中学生18チーム) <p>事業費 418,029円 うち市補助金 170,000円</p>	天草管内の小中学生の健全育成と併せて競技人口の増大を図ることができた。
		五和町青少年剣道大会開催 補助金	133	一般財源 133	<p>【五和町青少年剣道大会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成22年6月20日(日) ・場 所：五和体育館 ・参加者：小学生283名・中学生120名 <p>事業費 608,576円 うち市補助金 133,000円</p>	本大会は、熊本県内の小中学生を対象に開催されており、今回は約400名の参加があった。青少年の健全育成と、体位、体力の向上並びに日本の武道に学ぶ礼儀作法を青少年に身に付けさせ、将来の人間形成に寄与できた。
		有明町青少年スポーツクラ ブ大会開催補助金	298	一般財源 298	<p>【有明町青少年スポーツクラブ大会の開催】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 剣道大会 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成22年6月6日(日) ・参加者： 25チーム、191名 2. 柔道大会 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成22年9月12日(日) ・参加者： 18チーム、216名 3. 空手大会 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成22年12月19日(土) ・参加者： 9団体、延べ220名 <p>事業費 728,893円 うち市補助金 298,000円</p>	当該スポーツクラブでは、児童・生徒を対象に剣道、空手、柔道の各大会を開催している。これらの大会を通じて、会員相互の親睦及び児童・生徒の基礎体力の向上と豊かな精神を養い、県内の武道を志す仲間たちとの友情を深め、次代を担う青少年の健全育成を図ることができた。

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
222) 225	1 保健体育総務費	河浦町建国記念の日剣道大会開催補助金	170	一般財源 170	【河浦町建国記念の日剣道大会の開催】 ・開催日：平成23年2月11日(金) ・場所：河浦町 ・参加者：45チーム、219名 事業費 429,742円 うち市補助金 170,000円	本大会は、今回で45回目を迎え、剣道を通じて青少年の健全な育成と、お互いの親睦を深めることができた。
		熊日都市対抗女子駅伝大会出場補助金	300	一般財源 300	【第28回熊日都市対抗女子駅伝大会への出場】 ・開催日：平成23年1月30日(日) ・区間：熊本市～益城町折返し 7区間 30km ・参加：各都市 19チーム ・成績：準優勝(前年度 3位) 事業費 314,990円 うち市補助金 300,000円	本大会は、県内女子長距離競技者の育成と強化、競技人口の底辺拡大を推進すると同時に、各都市の親睦融和を目的に開催された。 天草市は熊本市との激しい優勝争いの末、準優勝という輝かしい成績であった。今後、さらにレベルアップを図り優勝を目指したい。
		都市対抗熊日駅伝大会出場補助金	460	一般財源 460	【第37回都市対抗熊日駅伝大会への出場】 ・開催日：平成23年2月13日(日) ・区間：天草市～熊本市 14区間 105.3km ・参加：各都市 19チーム ・成績：初優勝(前年度 準優勝) 事業費 464,000円 うち市補助金 460,000円	本大会は、県内長距離競技者の育成と強化、競技人口の底辺拡大をを目的に、県内最大・最高の駅伝大会として開催され、天草市役所をスタートし地元を走るため、市民の関心も非常に高く、見るスポーツを通じて市民スポーツの振興及び各都市選手の宿泊により地域の活性化が図られた。 天草市は今回、待望の初優勝に輝いた。今後は毎年優勝争いができるよう、県内トップレベルの中学・高校生に負けないよう、一般選手を強化する環境作りが必要。
		都市対抗熊日駅伝大会開催地補助金	80	一般財源 80	【第37回都市対抗熊日駅伝大会開催地補助金】 ・開催日：平成23年2月13日(日) ・区間：天草市～熊本市 14区間 105.3km ・内容：コース沿線自治体より助成 事業費 3,349,123円 うち市補助金 80,000円	県下18都市(天草市を除く)の選手・役員が市内のホテル、旅館に宿泊し、市の活性化に寄与した。 天草市が5°24'40"で初優勝、2位に熊本市、3位上益城郡。最優秀選手は洲崎遥平選手(本渡中)。

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
222) 225	1 保健体育総務費	天草市体育協会補助金	2,665	一般財源 2,665	【天草市体育協会運営補助金】 体育協会歳入歳出決算 歳入 14,409,167円 歳出 13,237,943円 事業費 13,237,943円 うち市補助金 2,665,000円	体育協会の健全な運営が図られ、市民の体育の向上と相互の親睦、健康で明るい町づくりに寄与した。
		牛深・長島・阿久根三地区親善体育大会	1	一般財源 1	【三地区親善体育大会経費】 ・開催期間：宮崎県口蹄疫のため大会中止 ・開催地：長島町(予定) ・参加者：11種目(予定) 事業費 920円 打ち合せ旅費(1人) 920円 食糧費(弁当代) 0円 郵便料 0円 船舶使用料 0円 各市負担金 0円	三地区親善体育大会は、歴史的・地理的に密接な関係を持つ天草市、阿久根市、長島町のより一層の親善を深めることを目的として実施され、昨年度までに第57回を数える。 本年度は担当者打ち合わせ会議の後に、宮崎県で口蹄疫が発生したため大会中止。
		総合型地域スポーツクラブ活動支援補助金	1,664	一般財源 1,664	【総合型地域スポーツクラブの活動支援】 ・名称：うしぶかイキイキクラブ ・会員数：194名 (一般：135名・中学生以下59名) ・主な活動 ショッピング体験教室・指導者講習会・ソフテニスクリニック・ミニバレーボール体験リーグ・チャレンジ仲間山登り・中学生ソフトテニス大会開催・ミニバレーボール大会開催。牛深ハレ祭り・クイズ作戦・くまもとクラブ対抗陸上競技大会参加。牛深地域健康祭・熊日清掃活動・牛深わんわんウォーキング・牛深海中公園マラソン大会協力。県体指研修会発表。 事業費 3,571,282円 うち市補助金 1,663,996円	地域住民が主体的に運営する「総合型地域スポーツクラブ」の活動を支援することで、クラブが開催する各種スポーツ大会や教室等とおして、生涯スポーツ社会実現のための環境づくりに寄与した。

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
222) 225	1 保健体育総務費	スポーツ教室・スポーツ講習会	1,008	一般財源 1,008	<p>【スポーツ教室・スポーツ講習会の開設補助金】</p> <p>1. ボウリング協会：初心者向き健康ボウリング教室 ・開催期間：平成22年4月7日～5月19日(計6回) ・参加者：36名</p> <p>2. ハンドボール協会：ジュニアハンドボール教室 ・開催日：平成22年4月～平成23年3月(月4回) ・参加者：小中学生36名【キッズ(土)・ジュニア(水)】</p> <p>3. ソフトテニス協会：ソフトテニス講習会 ・開催期間：平成22年5月9日～6月16日(計10回) ・参加者：26名</p> <p>4. 卓球協会：卓球教室(幼児・小中学生) ・開催期間：平成22年4月～平成23年1月(土・日) ・参加者：12名</p> <p>5. サッカー協会：小学生サッカースポーツ教室 ・開催日：平成22年6月～10月(計6回) ・参加者：毎回40名</p> <p>6. 水泳協会：水泳教室「水泳を楽しもう会」 ・開催日：平成22年6月～7月(土曜日5回) ・参加者：40名</p> <p>7. タグラグビー普及協会：タグラグビースポーツ教室 ・開催日：平成23年2月26日(土) ・参加者：小学生50名</p> <p>8. アーチェリー協会：アーチェリー初心者実技指導セミナー ・開催日：平成23年3月13日(日) ・参加者：36名</p> <p>9. バスケットボール協会：鶴屋バスケットボール教室 ・開催日：平成23年3月20日(日)～21日(月・祝) ・参加者：中学生120名</p> <p>牛深地区スポーツ教室講師謝礼(5～3月分) 『未續慎悟選手陸上教室』平成22年4月11日(日) 各事業費総額 1,007,200円 スポーツ教室等開設補助 450,000円 牛深地区スポーツ教室講師謝礼 190,000円 『未續慎悟選手陸上教室』講師委託料 367,200円</p>	<p>各種目協会の競技力向上及び底辺拡大が図られた。また、スポーツクラブ指導者の育成につながった。</p> <p>また、4月11日(日)には本渡運動公園トラック改修記念として『未續慎悟選手陸上教室』を開催し、小・中・高校生に一流選手との交流の場を提供できた。</p>

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																																																																								
225) 227	2 体育施設費	体育施設維持管理事業	105,492	その他 22,526 一般財源 82,966	天草市全域の社会体育施設の維持管理費 (事業費内訳) 報酬 4,878,600円 共済費 746,990円 賃金 264,960円 報償費 30,000円 需用費 50,220,563円 役務費 6,813,779円 委託料 39,350,719円 使用料及び賃借料 2,761,664円 備品購入費 303,405円 負担金補助及び交付金 10,000円 補償補填及び賠償金 111,258円 <u>105,491,938円</u>	社会体育施設(公園施設も含め)100施設の貸出業務及び学校施設の夜間等開放事業(60施設)並びに施設の維持補修を行うことで、市民の健康増進及びスポーツ振興に貢献した。																																																																								
<p>平成22年度 社会体育施設使用料の収納及び利用状況 (参考：昨年の実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>H22調定金額</th> <th>H22収入金額</th> <th>H22利用者数</th> <th>昨年(H21)の利用者数</th> <th>昨年(H21)の収入済額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>本渡</td><td>9,452,599円</td><td>9,452,599円</td><td>398,894人</td><td>340,919人</td><td>9,475,644円</td></tr> <tr><td>牛深</td><td>4,333,614円</td><td>4,333,614円</td><td>62,473人</td><td>68,835人</td><td>4,498,767円</td></tr> <tr><td>有明</td><td>1,602,048円</td><td>1,602,048円</td><td>53,366人</td><td>45,118人</td><td>1,431,591円</td></tr> <tr><td>御所浦</td><td>577,920円</td><td>577,920円</td><td>17,691人</td><td>17,761人</td><td>590,415円</td></tr> <tr><td>倉岳</td><td>527,083円</td><td>527,083円</td><td>36,273人</td><td>37,049人</td><td>574,886円</td></tr> <tr><td>栖本</td><td>876,479円</td><td>876,479円</td><td>52,686人</td><td>49,793人</td><td>1,026,001円</td></tr> <tr><td>新和</td><td>817,682円</td><td>817,682円</td><td>26,551人</td><td>25,564人</td><td>576,357円</td></tr> <tr><td>五和</td><td>1,426,892円</td><td>1,426,892円</td><td>65,836人</td><td>93,535人</td><td>1,637,355円</td></tr> <tr><td>天草</td><td>337,713円</td><td>337,713円</td><td>25,210人</td><td>25,665人</td><td>365,751円</td></tr> <tr><td>河浦</td><td>1,196,064円</td><td>1,196,064円</td><td>60,229人</td><td>58,743人</td><td>1,331,029円</td></tr> <tr><td>計</td><td>21,148,094円</td><td>21,148,094円</td><td>799,209人</td><td>762,982人</td><td>21,507,796円</td></tr> </tbody> </table>							地区	H22調定金額	H22収入金額	H22利用者数	昨年(H21)の利用者数	昨年(H21)の収入済額	本渡	9,452,599円	9,452,599円	398,894人	340,919人	9,475,644円	牛深	4,333,614円	4,333,614円	62,473人	68,835人	4,498,767円	有明	1,602,048円	1,602,048円	53,366人	45,118人	1,431,591円	御所浦	577,920円	577,920円	17,691人	17,761人	590,415円	倉岳	527,083円	527,083円	36,273人	37,049人	574,886円	栖本	876,479円	876,479円	52,686人	49,793人	1,026,001円	新和	817,682円	817,682円	26,551人	25,564人	576,357円	五和	1,426,892円	1,426,892円	65,836人	93,535人	1,637,355円	天草	337,713円	337,713円	25,210人	25,665人	365,751円	河浦	1,196,064円	1,196,064円	60,229人	58,743人	1,331,029円	計	21,148,094円	21,148,094円	799,209人	762,982人	21,507,796円
地区	H22調定金額	H22収入金額	H22利用者数	昨年(H21)の利用者数	昨年(H21)の収入済額																																																																									
本渡	9,452,599円	9,452,599円	398,894人	340,919人	9,475,644円																																																																									
牛深	4,333,614円	4,333,614円	62,473人	68,835人	4,498,767円																																																																									
有明	1,602,048円	1,602,048円	53,366人	45,118人	1,431,591円																																																																									
御所浦	577,920円	577,920円	17,691人	17,761人	590,415円																																																																									
倉岳	527,083円	527,083円	36,273人	37,049人	574,886円																																																																									
栖本	876,479円	876,479円	52,686人	49,793人	1,026,001円																																																																									
新和	817,682円	817,682円	26,551人	25,564人	576,357円																																																																									
五和	1,426,892円	1,426,892円	65,836人	93,535人	1,637,355円																																																																									
天草	337,713円	337,713円	25,210人	25,665人	365,751円																																																																									
河浦	1,196,064円	1,196,064円	60,229人	58,743人	1,331,029円																																																																									
計	21,148,094円	21,148,094円	799,209人	762,982人	21,507,796円																																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>地区別内訳</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>事務局分施設管理費</td><td>48,014,000円</td></tr> <tr><td>本渡地区体育施設</td><td>23,322,088円</td></tr> <tr><td>牛深地区体育施設</td><td>9,831,192円</td></tr> <tr><td>有明地区体育施設</td><td>4,549,342円</td></tr> <tr><td>御所浦地区体育施設</td><td>985,780円</td></tr> <tr><td>倉岳地区体育施設</td><td>3,928,797円</td></tr> <tr><td>栖本地区体育施設</td><td>2,599,546円</td></tr> <tr><td>新和地区体育施設</td><td>3,859,990円</td></tr> <tr><td>五和地区体育施設</td><td>1,919,495円</td></tr> <tr><td>天草地区体育施設</td><td>1,866,843円</td></tr> <tr><td>河浦地区体育施設</td><td>4,604,865円</td></tr> <tr><td>熊本県体育施設協会負担金</td><td>10,000円</td></tr> <tr><td>計</td><td>105,491,938円</td></tr> </tbody> </table>							地区別内訳	決算額	事務局分施設管理費	48,014,000円	本渡地区体育施設	23,322,088円	牛深地区体育施設	9,831,192円	有明地区体育施設	4,549,342円	御所浦地区体育施設	985,780円	倉岳地区体育施設	3,928,797円	栖本地区体育施設	2,599,546円	新和地区体育施設	3,859,990円	五和地区体育施設	1,919,495円	天草地区体育施設	1,866,843円	河浦地区体育施設	4,604,865円	熊本県体育施設協会負担金	10,000円	計	105,491,938円																																												
地区別内訳	決算額																																																																													
事務局分施設管理費	48,014,000円																																																																													
本渡地区体育施設	23,322,088円																																																																													
牛深地区体育施設	9,831,192円																																																																													
有明地区体育施設	4,549,342円																																																																													
御所浦地区体育施設	985,780円																																																																													
倉岳地区体育施設	3,928,797円																																																																													
栖本地区体育施設	2,599,546円																																																																													
新和地区体育施設	3,859,990円																																																																													
五和地区体育施設	1,919,495円																																																																													
天草地区体育施設	1,866,843円																																																																													
河浦地区体育施設	4,604,865円																																																																													
熊本県体育施設協会負担金	10,000円																																																																													
計	105,491,938円																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>その他</th> <th>H22収入金額</th> <th>その他</th> <th>H21収入金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自動販売機 電気使用料</td> <td>1,378,693円</td> <td>自動販売機 電気使用料</td> <td>1,068,798円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>22,526,787円</td> <td></td> <td>22,576,594円</td> </tr> </tbody> </table>							その他	H22収入金額	その他	H21収入金額	自動販売機 電気使用料	1,378,693円	自動販売機 電気使用料	1,068,798円		22,526,787円		22,576,594円																																																												
その他	H22収入金額	その他	H21収入金額																																																																											
自動販売機 電気使用料	1,378,693円	自動販売機 電気使用料	1,068,798円																																																																											
	22,526,787円		22,576,594円																																																																											

(9) 教育費

(8) 保健体育費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果			
225) 227	2 体育施設費	社会体育施設環境整備事業	1,686	一般財源 1,686	社会体育施設内外の清掃・除草作業 (事業費内訳) 委託料 1,685,324円	廃校施設が社会体育施設になったものも多く、今まで実施できなかった体育館等のワックスがけ、体育館・グラウンドの除草作業、イベント関連の除草清掃作業を実施することで住民サービス向上に繋がった。			
		体育施設整備事業	50,030	県支出金 8,000 地方債 22,700 一般財源 19,330	(事業費内訳) 役務費(手数料) 41,000円 委託料 2,419,200円 工事請負費 47,569,656円 計 50,029,856円	グラウンド改修、トイレ改修で施設の機能性向上、環境衛生向上に繋がった。 1.牛深グラウンドトイレ・倉庫新築工事 2.牛深グラウンドトイレ・倉庫設備工事 3.河浦中央体育館側溝蓋改修工事 4.日本町中学校テニスコートフェンス等修復工事他26件			
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%; vertical-align: top;"> 1. 栖本総合グラウンドコイ式自動点灯盤改修工事 2. 牛深総合グラウンド夜間照明施設改修工事 3. 日本町中学校テニスコートフェンス等修復工事 4. 河浦中央体育館側溝蓋改修工事 5. 天附体育館西側ブロック塀補修工事 6. 新和B&G海洋センター空調機移設工事 7. 楠浦グラウンド山砂敷設工事 8. 河浦中央体育館消防設備改修工事 9. 河浦中央体育館バスケコート移設工事 10. 佐伊津運動広場危険付属建物解体工事 </td> <td style="width:33%; vertical-align: top;"> 11. 亀川体育館カーテン移設取付工事 12. 佐伊津体育館渡り廊下外灯取付工事 13. 五和体育館バスケコート移設工事 14. 亀川体育館倉庫照明移設工事 15. 乙女蛇運動広場電源工事 16. 佐伊津体育館屋外トイレ下水道接続工事 17. 河浦中央体育館浄化槽散気管取替工事 18. 五和体育館排水路工事 19. 河浦町今富地域交流施設手摺取付工事 20. 新和グラウンドナイター照明支柱補強工事 </td> <td style="width:33%; vertical-align: top;"> 21. 牛深グラウンド横市道区画線引き工事 22. 牛深グラウンドトイレ周り舗装修繕工事 23. 本渡東運動広場野球場固定ベース設置工事 24. 佐伊津体育館バスケコート板移動補修(4箇所) 25. 牛深グラウンドトイレ・倉庫新築設備工事 26. 牛深グラウンドトイレ・倉庫新築工事 27. 栖本河内体育館外灯取付工事 28. 大浦体育館排水溝修繕工事 29. 本渡運動公園陸上競技場散水栓工事 30. 旧楠浦小プール解体工事 </td> </tr> </table>							1. 栖本総合グラウンドコイ式自動点灯盤改修工事 2. 牛深総合グラウンド夜間照明施設改修工事 3. 日本町中学校テニスコートフェンス等修復工事 4. 河浦中央体育館側溝蓋改修工事 5. 天附体育館西側ブロック塀補修工事 6. 新和B&G海洋センター空調機移設工事 7. 楠浦グラウンド山砂敷設工事 8. 河浦中央体育館消防設備改修工事 9. 河浦中央体育館バスケコート移設工事 10. 佐伊津運動広場危険付属建物解体工事	11. 亀川体育館カーテン移設取付工事 12. 佐伊津体育館渡り廊下外灯取付工事 13. 五和体育館バスケコート移設工事 14. 亀川体育館倉庫照明移設工事 15. 乙女蛇運動広場電源工事 16. 佐伊津体育館屋外トイレ下水道接続工事 17. 河浦中央体育館浄化槽散気管取替工事 18. 五和体育館排水路工事 19. 河浦町今富地域交流施設手摺取付工事 20. 新和グラウンドナイター照明支柱補強工事	21. 牛深グラウンド横市道区画線引き工事 22. 牛深グラウンドトイレ周り舗装修繕工事 23. 本渡東運動広場野球場固定ベース設置工事 24. 佐伊津体育館バスケコート板移動補修(4箇所) 25. 牛深グラウンドトイレ・倉庫新築設備工事 26. 牛深グラウンドトイレ・倉庫新築工事 27. 栖本河内体育館外灯取付工事 28. 大浦体育館排水溝修繕工事 29. 本渡運動公園陸上競技場散水栓工事 30. 旧楠浦小プール解体工事
1. 栖本総合グラウンドコイ式自動点灯盤改修工事 2. 牛深総合グラウンド夜間照明施設改修工事 3. 日本町中学校テニスコートフェンス等修復工事 4. 河浦中央体育館側溝蓋改修工事 5. 天附体育館西側ブロック塀補修工事 6. 新和B&G海洋センター空調機移設工事 7. 楠浦グラウンド山砂敷設工事 8. 河浦中央体育館消防設備改修工事 9. 河浦中央体育館バスケコート移設工事 10. 佐伊津運動広場危険付属建物解体工事	11. 亀川体育館カーテン移設取付工事 12. 佐伊津体育館渡り廊下外灯取付工事 13. 五和体育館バスケコート移設工事 14. 亀川体育館倉庫照明移設工事 15. 乙女蛇運動広場電源工事 16. 佐伊津体育館屋外トイレ下水道接続工事 17. 河浦中央体育館浄化槽散気管取替工事 18. 五和体育館排水路工事 19. 河浦町今富地域交流施設手摺取付工事 20. 新和グラウンドナイター照明支柱補強工事	21. 牛深グラウンド横市道区画線引き工事 22. 牛深グラウンドトイレ周り舗装修繕工事 23. 本渡東運動広場野球場固定ベース設置工事 24. 佐伊津体育館バスケコート板移動補修(4箇所) 25. 牛深グラウンドトイレ・倉庫新築設備工事 26. 牛深グラウンドトイレ・倉庫新築工事 27. 栖本河内体育館外灯取付工事 28. 大浦体育館排水溝修繕工事 29. 本渡運動公園陸上競技場散水栓工事 30. 旧楠浦小プール解体工事							

(10) 災害復旧費

(1) 農林水産施設災害復旧費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
227	1 農業施設災害 復旧費	現年発生単独農業施設	10,750	一般財源 10,750	農業用施設等災害発生時の災害査定までの測量等 経費 (事業費内訳) 需用費 44,919円 委託料(9件) 10,704,819円 計 10,749,738円	異常な自然現象により被災した農地並びに農業用 施設において、災害復旧事業に取り組むための査定 用測量設計業務を委託した。
		現年発生補助農業施設	54,997	県支出金 41,843 地方債 4,200 その他 1,264 一般財源 7,690	災害復旧件数 農地 38件 施設 11件 合計 49件 (事業費内訳) 需用費 616,397円 工事請負費 54,380,125円 計 54,996,522円	異常な自然現象により被災した農地並びに農業用 施設において、災害復旧事業に取り組むことによ り、少ない農家負担で農業生産基盤の確保と農業用 施設の機能回復が図られた。
227 ↳ 228	2 林業施設災害 復旧費	現年発生補助林業施設	53,300	国庫支出金 43,961 地方債 4,200 一般財源 5,139	林道災害復旧事業 林道下天草東部線(1号箇所)災害復旧工事 簡易法柵工 A=781.3㎡ 補助率95.4% 工事費 11,848,010円 林道下天草東部線(2号箇所)災害復旧工事 かご柵工 L=77.0m 補助率95.2% 植生基材吹付工 A=2,147.4㎡ 工事費 18,160,182円 林道下天草東部線(3号箇所)災害復旧工事 簡易法柵工 A=763.7㎡ 補助率95.2% 植生基材吹付工 A=67.4㎡ 工事費 11,542,094円 林道西河内線災害復旧工事 植生基材吹付工 A=653.5㎡ 補助率88.3% 工事費 4,830,000円	梅雨前線集中豪雨により被災した林道を早期に復 旧することができた。

(10) 災害復旧費 (1) 農林水産施設災害復旧費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
227 ↳ 228	2 林業施設災害 復旧費	現年発生補助林業施設 (つづき)			林道六郎次線災害復旧工事 よう壁工 L=9.0m 補助率72.9% 舗装工 A=27.5㎡ 工事費 1,018,500円 (事業費内訳) 委託料 5,901,000円 工事請負費 47,398,786円 計 53,299,786円	
		現年発生治山施設	18,084	県支出金 10,424 その他 2,608 一般財源 5,052	城の平地区(本渡町) 補助率2/3 法面保護工 A=127.9㎡ 工事費 2,004,701円 大矢崎地区(本渡町) 補助率2/3 法面保護工 A=116.0㎡ 工事費 1,878,444円 谷合地区(有明町) 補助率2/3 法面保護工 A=293.5㎡ 工事費 5,460,000円 影平地区(有明町) 補助率2/3 土留工 V=12.5㎡ 法面保護工 A=34.2㎡ 水路工 L=10.0m 工事費 1,302,000円 平田地区(有明町) 補助率2/3 法面保護工 A=79.7㎡ 排水構造物工 L=37.6m 工事費 1,947,888円 白戸地区(栖本町) 補助率2/3 法面保護工 A=142.1㎡ 工事費 2,625,000円 (事業費内訳) 需用費 483,080円 委託料 2,383,286円 工事請負費 15,218,033円 計 18,084,399円	梅雨前線豪雨により被災した民家の裏山を早期に復旧し、民生の安定が図られた。

(10) 災害復旧費

(2) 公共土木施設災害復旧費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
228 229	公共土木施設災害復旧費	公共土木施設災害復旧測量設計業務委託	24,074	一般財源 24,074	(事業費内訳) 公共土木施設災害復旧測量設計業務委託 道路・河川関係 (15件) 22,551,160円 道路単独災分 1,522,500円 計 24,073,660円	豪雨によって被災した市道や河川の災害復旧工事を行い、機能回復を図ることができた。
		現年発生補助公共土木施設災害復旧	222,913	国庫支出金 15,287 地方債 1,900 一般財源 26	(事業費内訳) 《平成21年度から繰越》 公共土木施設災害復旧工事 (21年災繰越) 道路災害 1件 5,665,121円 河川災害 1件 11,153,818円 事務費 394,432円 計 17,213,371円	
				国庫支出金 130,663 地方債 75,000 一般財源 37	公共土木施設災害復旧工事 (22年災) 河川災害 44件 75,993,420円 道路災害 48件 117,338,279円 工事雑費 3,032,301円 事務費 9,336,000円 (うち人件費 8,784,404円) 計 205,700,000円	
		現年発生単独公共土木施設災害復旧	14,255	一般財源 14,255	(事業費内訳) 単独土木公共施設災害復旧工事 道路災害 22件 10,908,450円 河川災害 5件 3,346,890円 計 14,255,340円	

(11) 公債費

(1) 公債費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
229	1 元 金	任意繰上償還	844,287	一般財源 844,287	将来の公債費負担を軽減するため、過去に借り入れた地方債を繰上償還した。 (事業費内訳) 財政融資資金 844,287,474円 【公営住宅整備事業債に係るもの 31件】	財政融資資金の地方債を繰上償還することにより、将来負担すべき元金や利子の公債費負担を軽減することができた。 ・軽減された利子 96,645,237円 ・補償金 42,871,148円 効果額 53,774,089円

3. 国民健康保険特別会計 (決算書231頁～253頁)

(単位：千円・%)

区 分	21年度	22年度	伸 率
歳 入 総 額	14,025,113	14,201,814	1.3
歳 出 総 額	13,703,759	13,783,965	0.6
差 引 額	321,354	417,849	30.0
翌年度へ繰越すべき財源	0	0	-
翌年度への繰越額	321,354	417,849	30.0

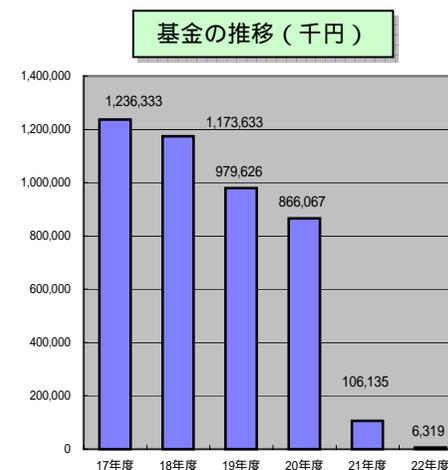
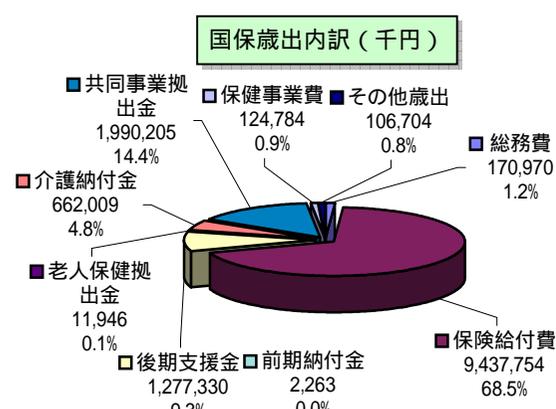
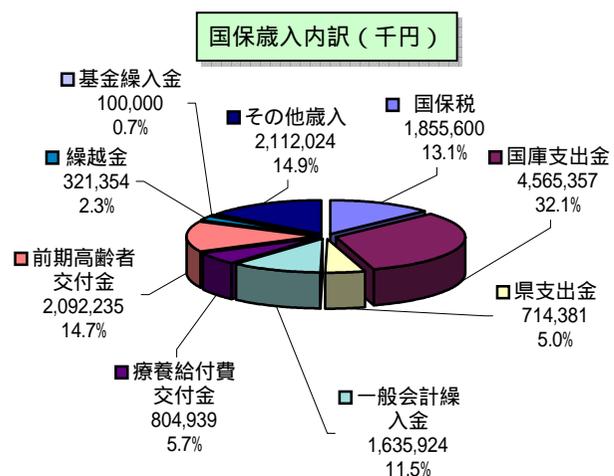
本会計では、歳入総額 14,201,814千円、歳出総額 13,783,965千円、差引 417,849千円を翌年度へ繰り越すことになりました。

決算額を前年度と比較してみると、歳入で1.3%、歳出で0.6%の増となっています。

歳入では、国保税が1,855,600千円で前年度比で6.3%減となりました。税の収納率は、現年度収納率93.96%で前年度比0.6ポイントの増、過年度分は16.80%で対前年度比1.74ポイントの増となっております。国庫支出金は4,565,357千円で前年度比0.6%増、主な内訳は療養給付費等負担金が2,865,668千円で0.5%増、財政調整交付金が1,617,063千円で0.3%減となっています。この他、県支出金が714,381千円で前年度比13.6%増、療養給付費交付金は前年度の追加交付分があり804,939千円で23.3%増、共同事業交付金が2,075,124千円で5.6%増となっています。財源不足を補うために、前年度までは財政調整基金からの繰入で対応しておりましたが、22年度は一般会計から1,635,924千円(基準外繰入862,250千円を含む)を繰り入れしています。

歳出では、保険給付費が9,437,754千円で前年度比1.3%増で、主な内訳は療養給付費等が8,268,461千円で0.9%増、高額療養費が1,108,656千円で3.4%増となっています。この他、後期高齢者支援金は、平成20年度拠出金の精算の影響で1,277,330千円と前年度比15.2%減、共同事業拠出金が1,990,205千円で前年度比6.7%増、保健事業費は124,784千円で対前年度3.0%増となっています。

翌年度への繰越額417,849千円の主な要因は、財政調整基金からの繰入額が100,000千円、国庫負担金の追加交付が126,340千円、保険給付費・予備費の執行残によるものです。



1. 世帯数及び被保険者数の推移

平成22年度は、人口の減少に伴い、世帯数・被保険者数ともに減少傾向にあります。退職者医療被保険者は、団塊の世代の退職により増加しました。平成22年度中の増減の主な要因は、出生152人、死亡189人、転入746人、転出737人、社会保険離脱が2,811人、社会保険加入が2,548人、後期高齢者医療制度への加入が1,136人となっています。

年度	市全体		国保加入			加入率		一般		退職者等		老人	
	世帯数 (世帯)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	被保険者数 (人)	伸率 (%)	世帯 (%)	被保険者 (%)	被保険者数 (人)	被保険者に占める割合 (%)	被保険者数 (人)	被保険者に占める割合 (%)	被保険者数 (人)	被保険者に占める割合 (%)
18	38,427	98,900	25,324	50,879	1.2	65.9	51.4	29,026	57.0	6,882	13.5	14,971	29.4
19	38,303	97,123	25,200	49,568	2.6	65.8	51.0	27,965	56.4	7,273	14.7	14,330	28.9
20	38,161	95,491	18,585	34,141	31.1	48.7	35.8	31,934	93.5	2,207	6.5	-	-
21	38,082	94,110	17,773	33,320	2.4	46.7	35.4	31,445	94.4	1,875	5.6	-	-
22	37,926	92,707	17,412	32,341	2.9	45.9	34.9	30,260	93.6	2,081	6.4	-	-



2. 医療費の状況

被保険者一人当たりの医療費は、一般被保険者が4.9%増の349,532円、退職被保険者は10.1%減の370,022円、全体で3.9%増の350,851円となりました。

ア. 一般被保険者分

件数の合計には食事療養費は含まない

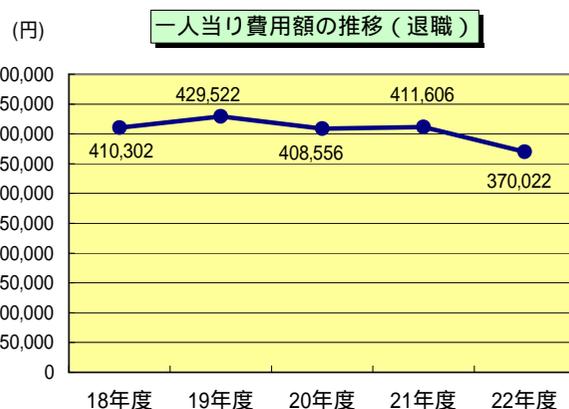
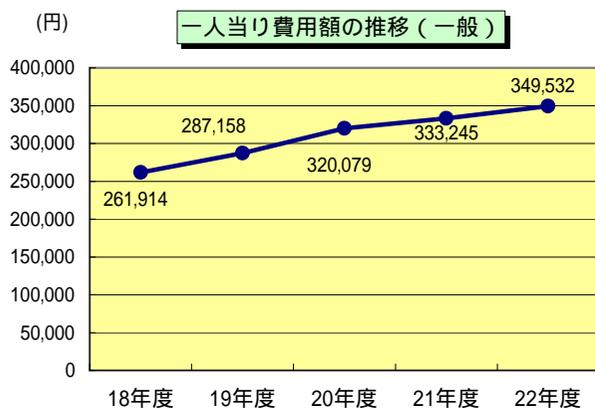
年度	入院		食事療養費		入院外		訪問看護		歯科		調剤		療養費等		合計		一人当たり 費用額 (円)	伸率 (%)
	件数 (件)	費用額 (千円)																
18	9,159	3,232,867	8,872	330,686	191,993	2,516,255	53	4,768	31,285	472,827	110,719	1,017,424	2,789	27,499	345,998	7,602,326	261,914	9.6
19	9,245	3,527,309	9,003	336,083	194,095	2,499,703	53	5,808	30,521	457,393	121,442	1,175,391	2,770	28,687	358,126	8,030,374	287,158	11.5
20	11,017	4,263,497	10,718	392,359	254,948	3,266,984	57	4,361	39,526	571,931	163,468	1,687,616	3,279	34,668	472,295	10,221,416	320,079	4.1
21	11,033	4,331,610	10,666	397,490	260,822	3,355,444	79	5,033	40,266	560,661	169,036	1,795,313	3,411	33,353	484,647	10,478,904	333,245	4.9
22	11,065	4,471,987	10,679	394,587	253,272	3,368,887	47	2,885	40,199	555,460	169,093	1,749,519	3,231	33,527	476,907	10,576,852	349,532	4.9

イ. 退職被保険者分

年度	入院		食事療養費		入院外		訪問看護		歯科		調剤		療養費等		合計		一人当り費用額 (円)	伸率 (%)
	件数 (件)	費用額 (千円)																
18	2,519	1,008,328	2,434	73,506	82,730	1,036,353	25	1,747	12,004	186,236	48,486	506,515	867	11,015	146,631	2,823,700	410,302	
19	2,678	1,102,316	2,609	76,014	91,837	1,130,528	14	897	13,314	187,193	57,220	615,053	883	11,912	165,946	3,123,913	429,522	4.7
20	666	303,132	639	18,358	25,425	349,255	0	0	4,338	60,907	15,708	166,029	332	4,001	46,469	901,682	408,556	4.9
21	612	271,115	587	17,789	19,790	293,023	0	0	3,439	47,797	12,626	139,714	229	2,324	36,696	771,762	411,606	0.7
22	639	255,973	619	18,403	21,559	292,246	0	0	3,530	47,622	14,310	152,082	262	3,690	40,300	770,016	370,022	10.1

ウ. 合計

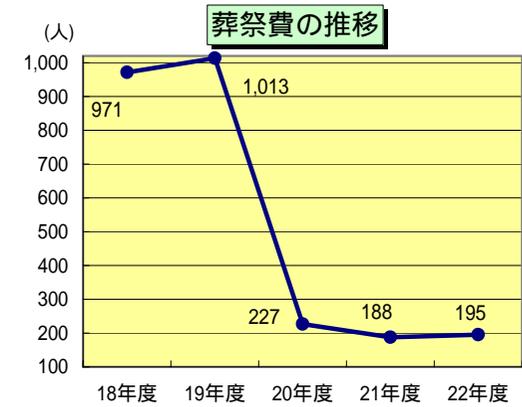
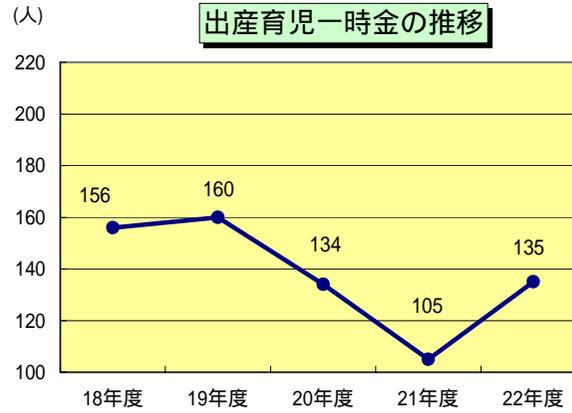
年度	入院		食事療養費		入院外		訪問看護		歯科		調剤		療養費等		合計		一人当り費用額 (円)	伸率 (%)
	件数 (件)	費用額 (千円)																
18	11,678	4,241,195	11,306	404,192	274,723	3,552,608	78	6,515	43,289	659,063	159,205	1,523,939	3,656	38,514	492,629	10,426,026	290,354	
19	11,923	4,629,625	11,612	412,097	285,932	3,630,231	67	6,705	43,835	644,586	178,662	1,790,444	3,653	40,599	524,072	11,154,287	316,541	9.0
20	11,683	4,566,629	11,357	410,717	280,373	3,616,239	57	4,361	43,864	632,838	179,176	1,853,645	3,611	38,669	518,764	11,123,098	325,799	2.9
21	11,645	4,602,725	11,253	415,279	280,612	3,648,467	79	5,033	43,705	608,458	181,662	1,935,027	3,640	35,677	521,343	11,250,666	337,655	3.6
22	11,704	4,727,960	11,298	412,990	274,831	3,661,133	47	2,885	43,729	603,082	183,403	1,901,601	3,493	37,217	517,207	11,346,868	350,851	3.9



3. 出産育児一時金・葬祭費の状況

年度	出産育児一時金			葬 祭 費		
	件数 (件)	金額 (千円)	1件当り (円)	件数 (件)	金額 (千円)	1件当り (円)
18	156	50,700	350,000	971	24,275	25,000
19	160	56,000	350,000	1,013	25,325	25,000
20	134	47,800	380,000	227	5,675	25,000
21	105	41,146	420,000	188	4,700	25,000
22	135	55,762	420,000	195	4,875	25,000

出産育児一時金は21年10月出生分から420,000円に改正(産科医療補償制度3万円を含む)



4. 高額療養費の推移

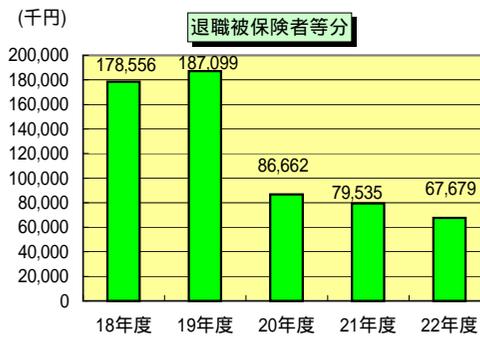
ア. 一般被保険者分

年度	件数 (件)	前年比較 (%)	支給額 (千円)	前年比較 (%)
18	8,749	2.2	691,003	7.1
19	9,843	12.5	725,487	5.0
20	14,052	42.8	944,083	30.1
21	15,420	9.7	992,652	5.1
22	15,488	0.4	1,038,873	4.7



イ. 退職被保険者等分

年度	件数 (件)	前年比較 (%)	支給額 (千円)	前年比較 (%)
18	2,657	23.1	178,556	3.2
19	3,091	16.3	187,099	4.8
20	1,365	55.8	86,662	53.7
21	957	29.9	79,535	8.2
22	814	14.9	67,679	14.9



ウ. 高額療養費計

年度	件数 (件)	前年比較 (%)	支給額 (千円)	前年比較 (%)
18	11,406	23.1	869,559	3.2
19	12,934	13.4	912,586	4.9
20	15,417	19.2	1,030,745	12.9
21	16,377	6.2	1,072,187	4.0
22	16,302	0.5	1,106,552	3.2



5. 保健事業

ア. あんま・はり灸等補助

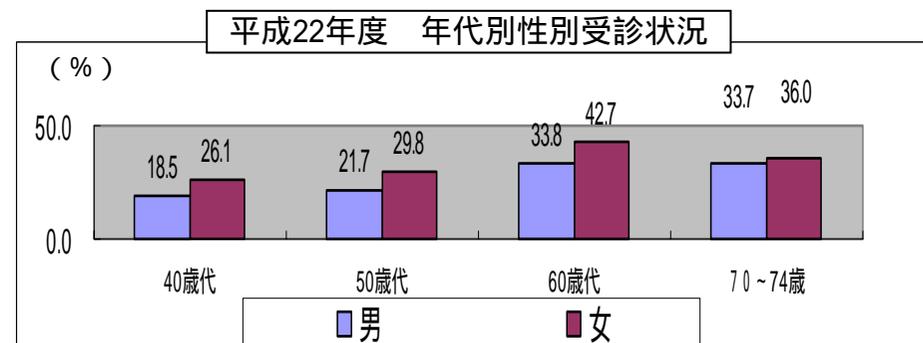
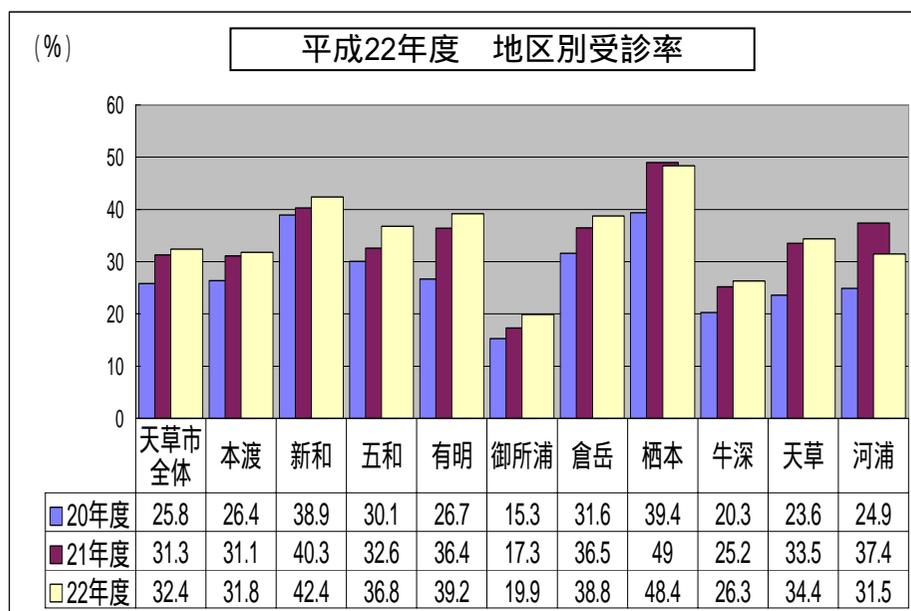
補助額	1枚当り補助額	1世帯当り交付限度枚数	交付件数	使用枚数	使用率
7,541,600円	800円	40枚	19,620枚	9,427枚	48.1%

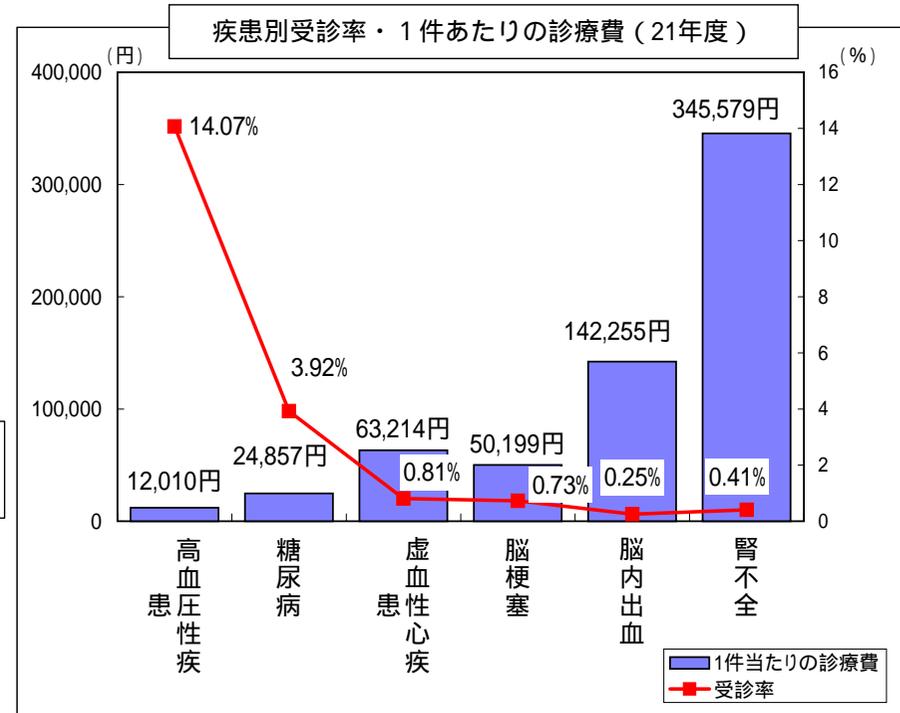
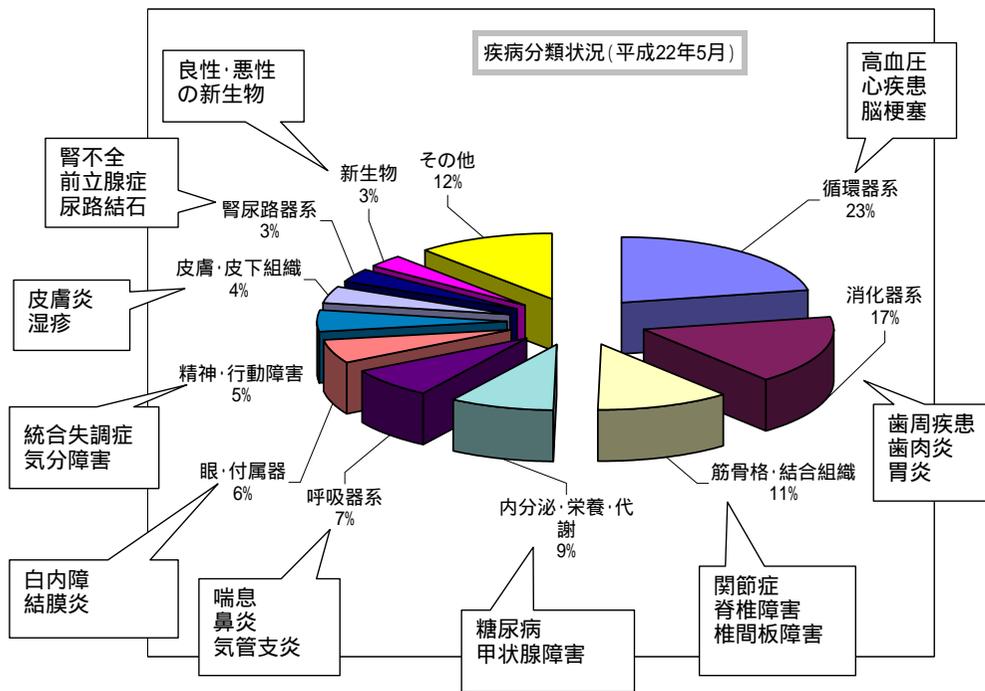
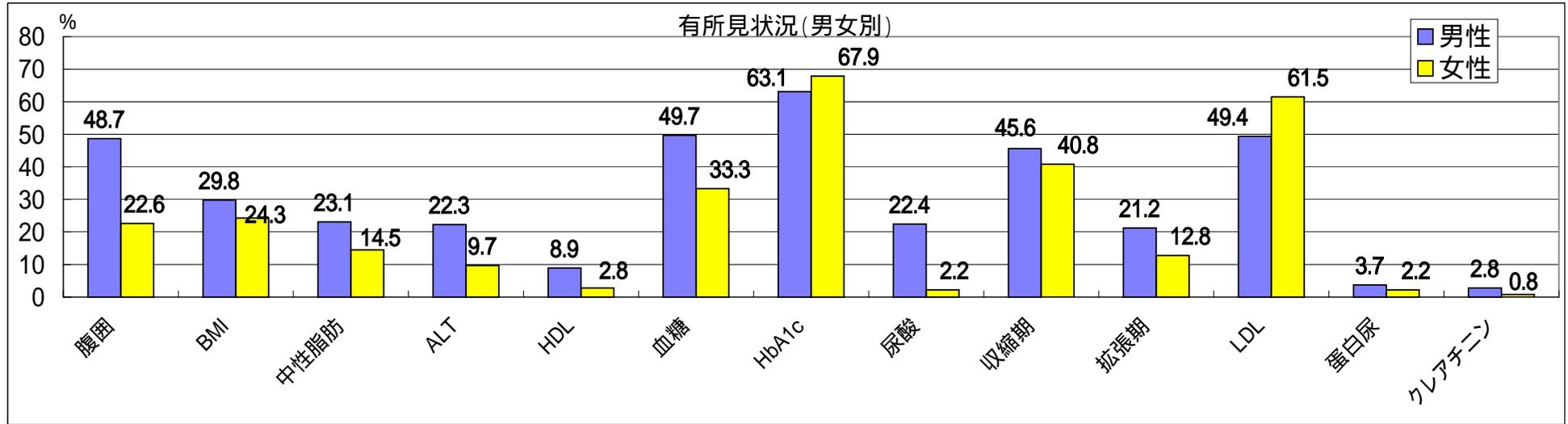
イ. がん検診等・人間ドック補助

種別	子宮がん	大腸がん	乳がん	胃がん	肺がん	超音波	骨粗しょう症	肝炎ウィルス	人間ドック (1泊)	人間ドック (日帰)	
平成21年度 受診者数(人)	2,384	4,963	3,090	3,771	5,050	5,363	1,846	294	190	250	27,201人
平成22年度 受診者数(人)	2,387	4,827	2,873	3,653	4,867	5,315	1,779	250	282	350	26,583人

ウ. 特定健診・特定保健指導

平成22年度の受診率は32.4%で前年度(31.3%)と比較して1.1ポイント向上しました。受診率向上の取り組みとしては、地域組織や各種団体の総会・会合時での説明やパンフレット配布、健診希望調査未提出者に対する受診勧奨通知の発送や訪問・電話による勧奨、健康フェスタでの周知・啓発活動、ケーブルテレビでのPRなどを実施しました。また、説明会等のパンフレットでは、健診データ・医療費データを活用して、健診結果の数値が高い腎疾患や血管系疾患に着目した人工透析や脳梗塞等に移行する可能性が高いことなどを掲載して啓発を行いました。



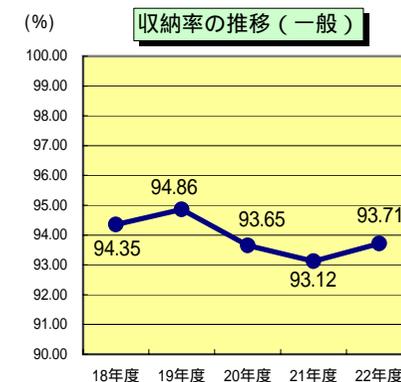


6. 国保税の状況（医療分）

ア. 一般被保険者分（老人含む・現年分）

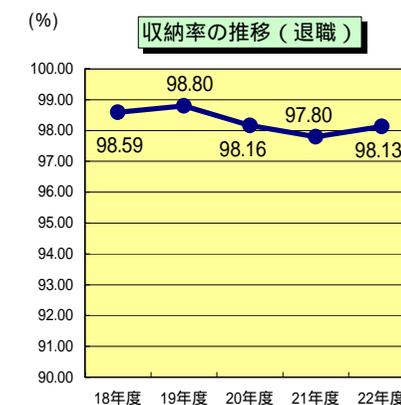
年度	世帯数 (世帯)	被保険者 (人)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	調定額 (円)		軽減世帯			超過世帯		
						1世帯当り	1人当り	軽減額 (千円)	世帯数 (世帯)	割合 (%)	超過減額 (千円)	世帯数 (世帯)	割合 (%)
18	22,364	43,484	2,412,328	2,275,961	94.35	107,867	55,476	543,377	14,479	64.7	177,547	507	2.3
19	21,941	41,539	2,262,397	2,146,040	94.86	103,113	54,464	542,038	14,507	66.1	141,463	399	1.8
20	19,030	34,357	1,277,159	1,196,053	93.65	67,113	37,173	244,117	11,234	59.0	53,654	197	1.0
21	18,237	32,725	1,228,935	1,144,405	93.12	67,387	37,553	235,281	10,780	59.1	49,339	172	0.9
22	17,591	31,770	1,119,201	1,048,795	93.71	63,624	35,228	239,911	11,027	62.7	30,779	133	0.8

軽減・超過減額、世帯数は各年度の最終算定表の数値（以下同じ）



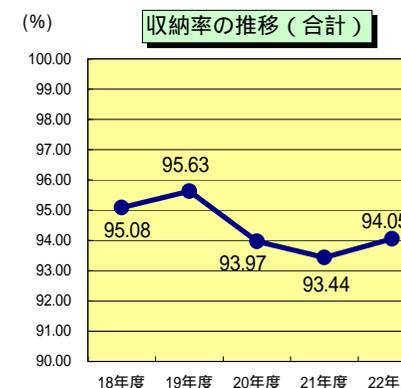
イ. 退職被保険者分（現年分）

年度	世帯数 (世帯)	被保険者 (人)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	調定額 (円)		軽減世帯			超過世帯		
						1世帯当り	1人当り	軽減額 (千円)	世帯数 (世帯)	割合 (%)	超過減額 (千円)	世帯数 (世帯)	割合 (%)
18	2,897	6,884	505,903	498,770	98.59	174,630	73,490	60,479	1,534	53.0	12,482	42	1.4
19	3,076	7,286	555,808	549,122	98.80	180,692	76,284	61,623	1,595	51.9	21,030	46	1.5
20	944	2,201	98,182	96,371	98.16	104,006	44,608	10,276	445	47.1	1,734	5	0.5
21	1,016	2,306	88,806	86,852	97.80	87,407	38,511	11,988	514	50.6	4,751	3	0.3
22	1,084	2,487	92,699	90,967	98.13	85,516	37,273	13,852	585	54.0	1,511	2	0.2



ウ. 合計（現年分）

年度	世帯数 (世帯)	被保険者 (人)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	調定額 (円)		軽減世帯			超過世帯		
						1世帯当り	1人当り	軽減額 (千円)	世帯数 (世帯)	割合 (%)	超過減額 (千円)	世帯数 (世帯)	割合 (%)
18	25,261	50,368	2,918,231	2,774,731	95.08	115,523	57,938	603,856	16,013	63.4	190,029	549	2.2
19	25,017	48,825	2,818,205	2,695,162	95.63	112,652	57,721	603,661	16,102	64.4	162,493	445	1.8
20	19,974	36,558	1,375,341	1,292,424	93.97	68,857	37,621	254,393	11,679	58.5	55,388	202	1.0
21	19,253	35,031	1,317,741	1,231,257	93.44	68,443	37,616	247,269	11,294	58.7	54,090	175	0.9
22	18,675	34,257	1,211,900	1,139,762	94.05	64,894	35,377	253,763	11,612	62.2	32,290	135	0.7

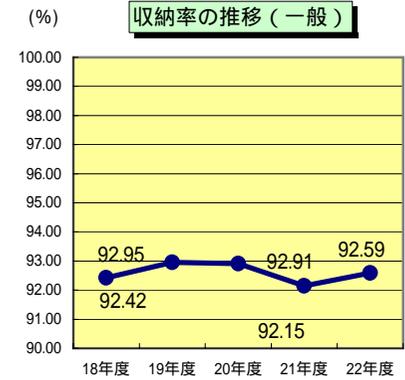


7. 国保税の状況（介護分）

ア. 一般被保険者分（現年分）

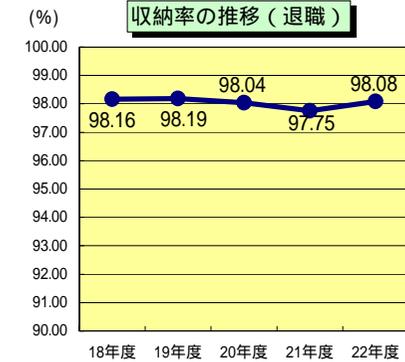
軽減・超過の割合は、19年度までは世帯比較、20年度以降は平等割が廃止され人数比較

年度	被保険者 (人)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	1人当り 調定額 (円)	軽減世帯・人数			超過世帯・人数		
						軽減額 (千円)	世帯数 人数	割合 (%)	超過減額 (千円)	世帯数 人数	割合 (%)
18	12,820	185,531	171,459	92.42	14,472	34,154	5,077	53.0	6,663	143	1.5
19	12,243	171,371	159,292	92.95	13,997	34,262	5,090	55.1	6,155	130	1.4
20	13,365	151,113	140,397	92.91	11,307	25,796	7,017	52.5	7,896	264	2.0
21	12,878	145,166	133,772	92.15	11,272	25,563	6,868	53.3	5,375	177	1.4
22	12,567	131,148	121,429	92.59	10,436	26,472	7,110	56.6	4,469	163	1.3



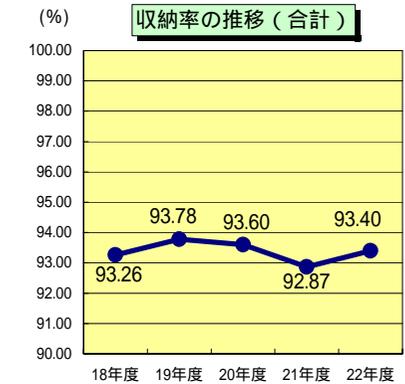
イ. 退職被保険者分（現年分）

年度	被保険者 (人)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	1人当り 調定額 (円)	軽減世帯・人数			超過世帯・人数		
						軽減額 (千円)	世帯数 人数	割合 (%)	超過減額 (千円)	世帯数 人数	割合 (%)
18	2,118	31,949	31,361	98.16	15,085	3,978	666	43.8	158	4	0.3
19	2,089	32,392	31,807	98.19	15,506	3,700	648	43.0	489	10	0.7
20	2,032	23,413	22,954	98.04	11,522	3,041	937	46.1	434	16	0.8
21	2,118	21,501	21,016	97.75	10,152	3,476	1,040	49.1	1,011	11	0.5
22	2,315	22,802	22,365	98.08	9,850	4,066	1,216	52.5	347	10	0.4



ウ. 合計（現年分）

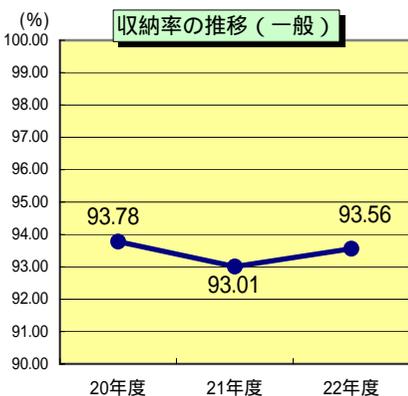
年度	被保険者 (人)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	1人当り 調定額 (円)	軽減世帯・人数			超過世帯・人数		
						軽減額 (千円)	世帯数 人数	割合 (%)	超過減額 (千円)	世帯数 人数	割合 (%)
18	14,938	217,480	202,820	93.26	14,559	38,132	5,743	51.7	6,821	147	1.3
19	14,332	203,763	191,099	93.78	14,217	37,962	5,738	53.4	6,644	140	1.3
20	15,397	174,526	163,351	93.60	11,335	28,837	7,954	51.7	8,330	280	1.8
21	14,996	166,667	154,788	92.87	11,114	29,039	7,908	52.7	6,386	188	1.3
22	14,882	153,950	143,794	93.40	10,345	30,538	8,326	55.9	4,816	173	1.2



8. 国保税の状況（後期支援金分）

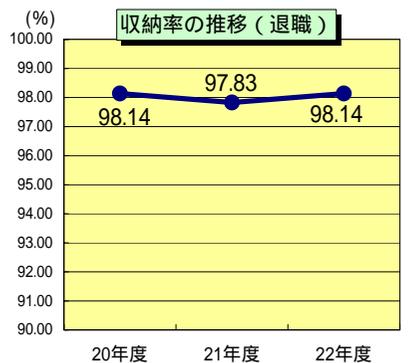
ア. 一般被保険者分（現年分）

年度	世帯数 （世帯）	被保険者 （人）	調定総額 （千円）	収納額 （千円）	収納率 （％）	調定額（円）		軽減世帯			超過世帯		
						1世帯当り	1人当り	軽減額 （千円）	世帯数 （世帯）	割合 （％）	超過減額 （千円）	世帯数 （世帯）	割合 （％）
20	19,030	34,357	532,981	499,825	93.78	28,007	15,513	106,872	11,234	59.0	56,866	722	3.8
21	18,236	32,724	514,615	478,628	93.01	28,220	15,726	103,003	10,780	59.1	52,856	675	3.7
22	17,950	31,770	475,610	444,997	93.56	26,496	14,970	105,031	11,027	61.4	37,788	478	2.7



イ. 退職被保険者分（現年分）

年度	世帯数 （世帯）	被保険者 （人）	調定総額 （千円）	収納額 （千円）	収納率 （％）	調定額（円）		軽減世帯			超過世帯		
						1世帯当り	1人当り	軽減額 （千円）	世帯数 （世帯）	割合 （％）	超過減額 （千円）	世帯数 （世帯）	割合 （％）
20	944	2,201	41,573	40,798	98.14	44,039	18,888	4,498	445	47.1	2,685	17	1.8
21	1,017	2,307	37,968	37,145	97.83	37,333	16,458	5,248	514	50.5	3,442	13	1.3
22	1,085	2,487	40,321	39,573	98.14	37,162	16,213	6,064	585	53.9	1,731	17	1.6



ウ. 合計（現年分）

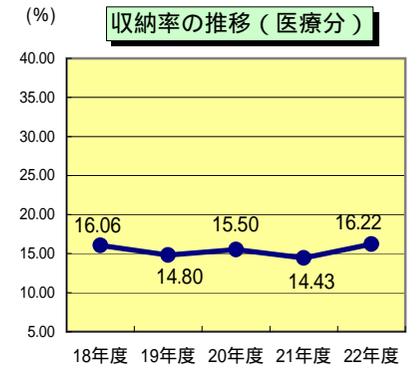
年度	世帯数 （世帯）	被保険者 （人）	調定総額 （千円）	収納額 （千円）	収納率 （％）	調定額（円）		軽減世帯			超過世帯		
						1世帯当り	1人当り	軽減額 （千円）	世帯数 （世帯）	割合 （％）	超過減額 （千円）	世帯数 （世帯）	割合 （％）
20	19,974	36,558	574,554	540,623	94.09	28,765	15,716	111,370	11,679	58.5	59,551	739	3.7
21	19,253	35,031	552,583	515,773	93.34	28,701	15,774	108,251	11,294	58.7	56,298	688	3.6
22	19,035	34,257	515,931	484,570	93.92	27,104	15,061	111,095	11,612	61.0	39,519	495	2.6



9. 過年度収納状況

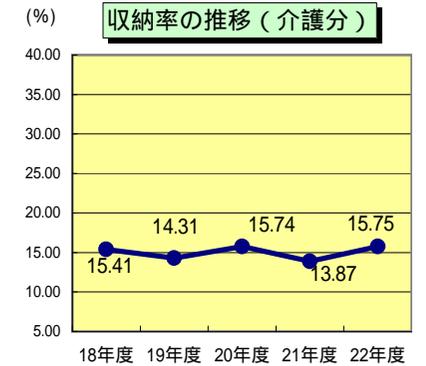
ア 医療分

年度	一般被保険者				退職被保険者				合計			
	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	不納欠損額 (千円)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	不納欠損額 (千円)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	不納欠損額 (千円)
18	538,627	85,147	15.81	68,263	21,545	4,798	22.27	2,032	560,172	89,945	16.06	70,295
19	516,499	75,070	14.53	66,317	21,779	4,569	20.98	1,706	538,278	79,639	14.80	68,023
20	487,261	73,516	15.09	62,768	22,166	5,459	24.63	1,760	509,427	78,975	15.50	64,528
21	428,274	60,455	14.12	52,143	16,738	3,775	22.56	1,675	445,012	64,230	14.43	53,818
22	397,634	63,279	15.91	43,518	13,259	3,378	25.47	878	410,893	66,657	16.22	44,396



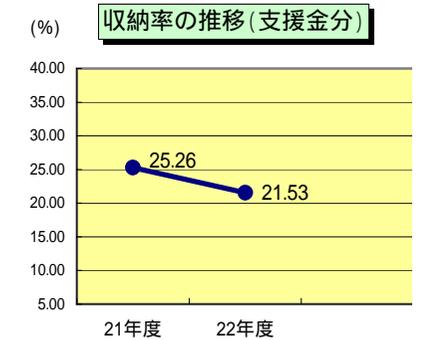
イ 介護分

年度	一般被保険者				退職被保険者				合計			
	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	不納欠損額 (千円)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	不納欠損額 (千円)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	不納欠損額 (千円)
18	48,627	7,395	15.21	5,586	2,166	431	19.92	209	50,793	7,826	15.41	5,795
19	49,378	6,893	13.96	5,390	2,103	474	22.54	148	51,481	7,367	14.31	5,538
20	48,890	7,561	15.47	5,490	2,054	459	22.35	146	50,944	8,020	15.74	5,636
21	46,296	6,160	13.31	5,386	1,915	526	27.49	178	48,211	6,686	13.87	5,564
22	45,806	6,985	15.25	4,651	1,701	496	29.13	92	47,507	7,481	15.75	4,743



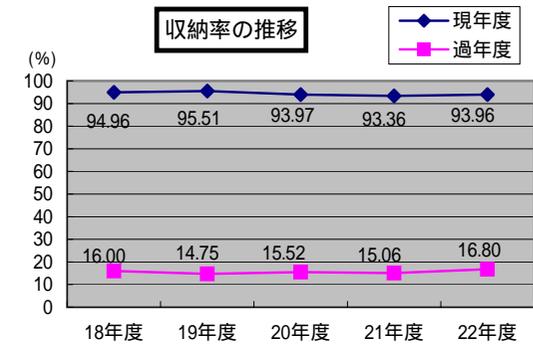
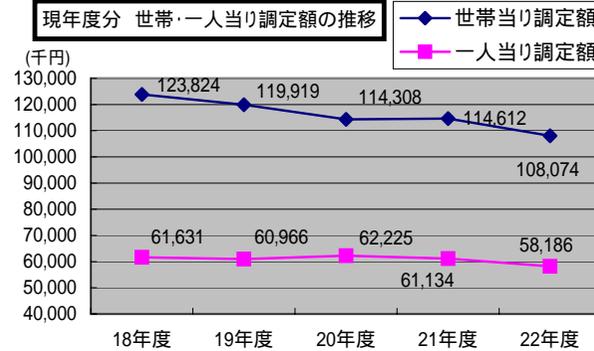
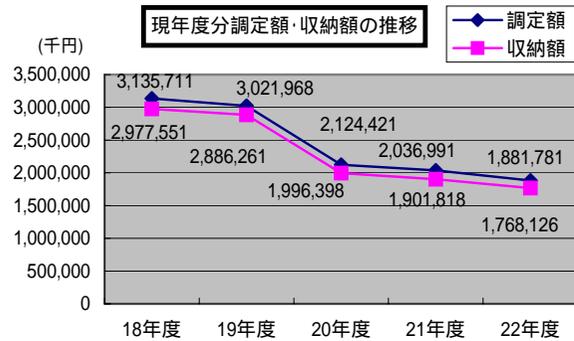
ウ 高齢者支援金分

年度	一般被保険者				退職被保険者				合計			
	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	不納欠損額 (千円)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	不納欠損額 (千円)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	不納欠損額 (千円)
21	32,138	7,916	24.63	0	770	396	51.42	0	32,908	8,312	25.26	0
22	59,328	12,675	21.36	0	1,205	358	29.72	0	60,533	13,033	21.53	0



現年度分合計

年度	世帯数	被保険者数	一般被保険者			退職被保険者			合計				
			調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	世帯当り 調定額	一人当り 調定額
18	25,324	50,879	2,597,859	2,447,420	94.21	537,852	530,131	98.56	3,135,711	2,977,551	94.96	123,824	61,631
19	25,200	49,568	2,433,768	2,305,332	94.72	588,200	580,929	98.76	3,021,968	2,886,261	95.51	119,919	60,966
20	18,585	34,141	1,961,253	1,836,275	93.63	163,168	160,123	98.13	2,124,421	1,996,398	93.97	114,308	62,225
21	17,773	33,320	1,888,716	1,756,805	93.02	148,275	145,013	97.80	2,036,991	1,901,818	93.36	114,612	61,134
22	17,412	32,341	1,725,959	1,615,221	93.58	155,822	152,905	98.13	1,881,781	1,768,126	93.96	108,074	58,186



過年度分合計

年度	一般被保険者				退職被保険者				合計			
	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	不納欠損額 (千円)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	不納欠損額 (千円)	調定総額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)	不納欠損額 (千円)
18	587,254	92,542	15.76	73,849	23,711	5,229	22.05	2,241	610,965	97,771	16.00	76,090
19	565,877	81,963	14.48	71,707	23,882	5,043	21.12	1,854	589,759	87,006	14.75	73,561
20	536,151	81,077	15.12	68,258	24,220	5,918	24.43	1,906	560,371	86,995	15.52	70,164
21	506,708	74,531	14.71	57,529	19,423	4,697	24.18	1,853	526,131	79,228	15.06	59,382
22	502,768	82,939	16.50	48,169	16,165	4,232	26.18	970	518,933	87,171	16.80	49,139

4. 老人保健医療特別会計 (決算説明書 254頁～263頁)

(単位：千円・%)

区 分	21年度	22年度	伸 率
歳 入 総 額	37,637	21,257	43.5
歳 出 総 額	26,469	21,257	19.7
差 引 額	11,168	0	皆減
翌 年 度 繰 越 額	11,168	0	皆減

(単位：千円・%)

歳 出 内 訳	22年度	構成比率
総 務 費	97	0.5
医 療 諸 費	3,380	15.9
諸 支 出 金	17,780	83.6
繰 出 金	0	0.0
歳 出 合 計	21,257	100.0

本会計の平成22年度決算額は、歳入歳出共に合計21,257千円となり、繰越金はありません。

歳入の主なものは、繰越金11,168千円(構成比 52.5%)、一般会計繰入金6,675千円(同 31.4%)、第三者納付金・医療費の返納金等の諸収入3,413千円(同 16.1%)です。

歳出では、諸支出金17,780千円(構成比 83.6%)、医療諸費3,380千円(同 15.9%)、総務費が 97千円(同 0.5%)となっています。

本老人保健医療特別会計は、老人保健医療制度が平成20年3月で終了したため、月遅れや過誤による請求等の支払事務を行っていましたが、平成22年度を以って廃止となりました。

医療諸費内訳(款2 医療諸費 項1 医療諸費)

内 訳	件 数	金 額
1 医療給付費	5件	3,283,813円
2 医療費支給費 (高額医療費)	28件	95,964円
3 審査支払手数料	2件	223円
合 計	35件	3,380,000円

医療給付費の内訳

入 院	件 数	3件
	金 額	3,217,396円
外 来	件 数	0件
	金 額	0円
歯 科	件 数	0件
	金 額	0円
調 剤	件 数	2件
	金 額	64,797円
食 事	件 数	(1件)
	金 額	1,620円
訪問看護	件 数	0件
	金 額	0円
合 計	件 数	5件
	金 額	3,283,813円

諸支出金(款3 諸支出金 項1 償還金 目1 償還金)

施 策 名	決 算 額	財源内訳	施 策 の 概 要	施 策 の 成 果
償還金利子及び割引料	17,780千円	一般財源 17,780千円	過年度分負担金等償還金 17,780,620円 支払基金交付金返還金 9,654,842円 国庫負担金返還金 6,500,623円 県支出金 1,625,155円	平成21年度の医療費確定に伴い、負担金を精算返還した。

5. 介護保険特別会計 (決算書264頁～286頁)

1 決算の概要

(1) 決算規模

(単位：千円・%)

区 分	21年度	22年度	伸 率
歳 入 総 額	9,325,143	9,242,948	0.9
歳 出 総 額	8,998,509	9,009,192	0.1
差 引 額	326,634	233,756	28.4
翌年度へ繰越すべき財源	0	0	-
翌年度への繰越額	326,634	233,756	28.4

本会計では、歳入総額 9,242,948千円に対して、歳出総額 9,009,192千円で、差引額 233,756千円を翌年度に繰り越すことになりました。

決算額を前年度と比較すると、歳入で0.9%の減で、歳出では0.1%の増となっています。

歳入では、介護保険料が前年度より0.8%減の1,201,576千円となりました。現年度分の収納率は99.25%で前年度と比較し0.05ポイント増加しました。国庫支出金は前年比3.4%増の2,330,635千円で、主な内訳は介護給付費国庫負担金が3.6%増の1,441,764千円、調整交付金が2.3%増の813,453千円となっています。この他、県支出金は前年比12.8%減の1,310,169千円で、介護給付費県負担金は2.3%増の1,233,086千円となっております。なお、支払基金交付金は4.4%増の2,530,569千円となっています。

また、一般会計からの繰入金は前年比6.8%増の1,321,403千円となっています。

歳出では、保険給付費（介護サービス等諸費・介護予防サービス等諸費、審査支払手数料・高額介護サービス等費・高額医療合算介護サービス等費・特定入所者介護サービス等費）は、居宅サービスの利用の増加等から前年度より、4.6%増の8,299,413千円となりました。

平成21年度から23年度の3年間の介護保険事業計画では、介護保険料の基準額は月額4,000円に設定をしています。

地域密着型サービスについては、第4期介護保険事業計画に沿って、事業所の指定を行いました。また、既存施設（グループホーム）のスプリンクラー等の消防設備設置に関しては、県の交付金を活用し整備を行いました。

2 事業の概要

(1) 第1号被保険者の状況（年度末現在）

第1号被保険者のうち後期高齢者（75歳以上）は増加しており、今後もこの傾向は続くものと予想されます。

第1号被保険者数

年度	前期高齢者 (65歳～74歳)	後期高齢者 (75歳以上)	うち 外国人被保険者	うち 住所地特例者	合 計
20	12,712	17,434	10	70	30,146
21	12,388	17,631	11	69	30,019
22	11,731	17,879	11	76	29,610

第1号被保険者のいる世帯数

年度	世帯数
20	21,442
21	21,363
22	21,155

(2) 要介護等認定事務処理の状況

日常生活に支援が必要になったり、寝たきり、認知症等で介護が必要になった被保険者が、介護保険サービスの利用を希望する場合は、事前に要介護等認定申請を行います。申請を受けて、保険者は、被保険者宅（入院・入所先）に調査員を派遣し、認定調査を行うとともに、申請書で指定された医師（主治医）に対し、意見書の作成を依頼します。そして、訪問調査結果と主治医意見書をもとにコンピュータによる1次判定を行います。

その後、天草広域連合に設置した介護認定審査会が審査判定（2次判定）した結果に基づき、要介護等認定を行います。

申請件数(年間の延べ件数)

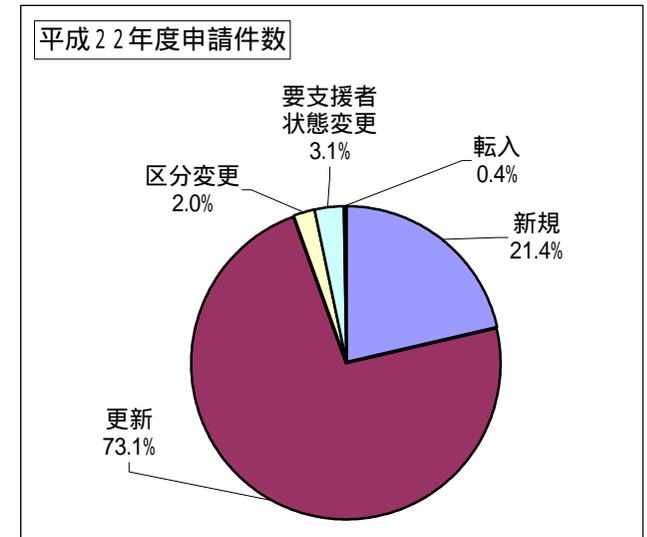
年度	新申請	新規申請	更新申請	区分変更申請	要支援者の状態変更申請	転入申請	合計
20	1,358	5,078	167	281	17	6,901	
21	1,380	4,979	172	255	19	6,805	
22	1,610	5,494	152	230	28	7,514	

要介護認定調査件数(年間の延べ件数)

年度	職員	嘱託員	委託	合計
20	90	6,335	323	6,748
21	116	6,282	317	6,715
22	268	6,702	420	7,390

主治医意見書回収件数(年間の延べ件数)

年度	回収数
20	6,706
21	6,708
22	7,371



(3) 要介護等認定者の状況(年度末現在)

年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
20	933	865	742	717	744	706	668	5,375
21	874	873	848	746	696	756	707	5,500
22	868	963	1,007	741	783	772	699	5,833

上記の認定者のうち第2号被保険者（40～64歳）の割合は約2%です。

3 保険給付の状況

平成22年度の介護保険の給付を前年度と比較しますと4.6%増加しています。

その内、居宅サービス給付費は、対前年度比7.6%の増となり、今後も制度の浸透等に伴い増加するものと思われます。

また、施設サービス給付費は、老人保健施設の増加により0.9%増加しています。

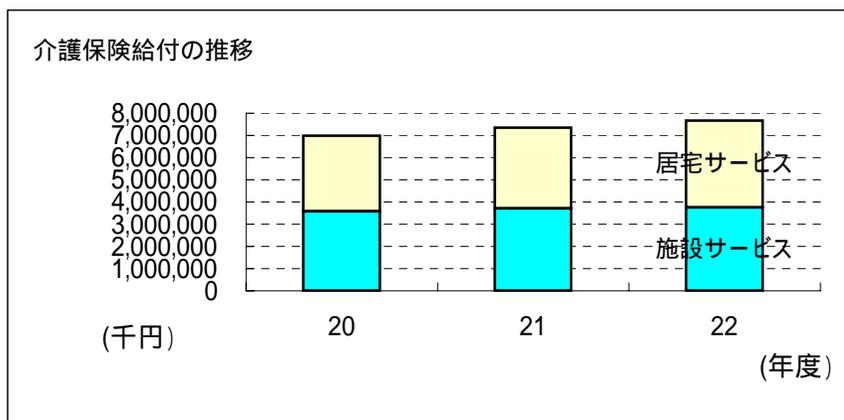
高額介護サービス等費は、介護報酬の改定等に伴い、前年度と比較しますと5.9%増加をしています。

高額医療合算介護サービス等費は、平成22年度から支給しています。

特定入所者介護サービス等費は、負担限度額認定者数（非課税世帯）の増加に伴い3.8%増加しています。

(1) 保険給付の推移

年度	居宅サービス				施設サービス			
	受給者数 (人)	保険給付決定状況		1人当たり 給付費 (円)	受給者数 (人)	保険給付決定状況		1人当たり 給付費 (円)
		費用額 (千円)	支給額 (千円)			費用額 (千円)	支給額 (千円)	
20	38,212	3,745,441	3,399,140	88,955	13,915	3,970,680	3,584,594	257,606
21	38,886	4,005,322	3,635,584	93,493	14,181	4,120,307	3,716,085	262,047
22	41,303	4,308,335	3,910,328	94,674	14,400	4,161,676	3,751,133	260,495



(3) 高額医療合算介護サービス等費の推移

年度	件数 (件)	支給額 (千円)	一件平均 支給額 (円)
22	1,218	31,512	25,872

(4) 特定入所者介護サービス等費の推移

年度	食費		
	件数 (件)	支給額 (千円)	一件平均 支給額 (円)
20	12,706	322,721	25,399
21	13,198	332,256	25,175
22	13,614	338,855	24,890

(2) 高額介護サービス等費の推移

年度	件数 (件)	支給額 (千円)	一件平均 支給額 (円)
20	14,801	159,397	10,769
21	15,879	176,932	11,143
22	16,763	187,371	11,178

居住費(滞在費)

年度	件数 (件)	支給額 (千円)	一件平均 支給額 (円)
20	3,984	52,414	13,156
21	4,378	61,999	14,161
22	4,641	70,517	15,194

4 第1号被保険者介護保険料の状況

(1) 第1号被保険者の所得段階介護保険料(円/月)

年度	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階軽減	第4段階	第5段階	第6段階
18~20	2,100	2,730	3,150	-	4,200	5,250	6,300
21~23	2,000	2,000	3,000	3,200	4,000	5,000	6,000

(2) 所得段階賦課人数(年度末)

年度	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階軽減	第4段階	第5段階	第6段階	計
20	280	8,239	5,462	0	9,402	5,161	1,602	30,146
21	295	8,221	5,671	5,297	3,721	5,285	1,529	30,019
22	330	8,067	5,941	4,865	3,751	5,193	1,463	29,610

・平成18年度から平成20年度までの第4段階が、平成21年度から年金収入等が80万円以下の人は第4段階軽減に、それ以外の人は第4段階に分割されました。

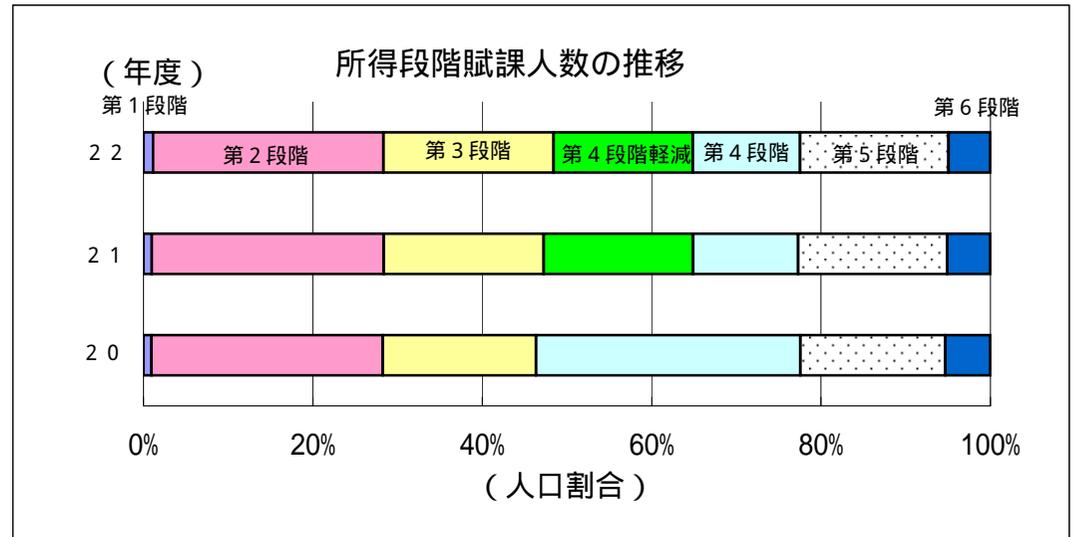
現年度

年度		調定額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)
20	特別徴収	1,269,135	1,269,135	100.00
	普通徴収	103,798	91,770	88.41
	計	1,372,933	1,360,905	99.12
21	特別徴収	1,126,432	1,126,432	100.00
	普通徴収	88,837	79,165	89.11
	計	1,215,269	1,205,597	99.20
22	特別徴収	1,119,220	1,119,220	100.00
	普通徴収	84,947	75,917	89.37
	計	1,204,167	1,195,137	99.25

収納額は、未還付額を差し引いた金額を計上しています。

過年度

年度	調定額 (千円)	収納額 (千円)	収納率 (%)
20	23,518	4,839	20.58
21	22,951	5,147	22.43
22	21,669	5,966	27.53



5 地域密着型サービス等基盤整備の状況

平成22年度熊本県介護基盤緊急整備特別対策事業

サービス種類	法人名	交付額 (千円)
認知症対応型通所介護	株式会社 一世	10,000
認知症対応型通所介護	有限会社 倉本建設	10,000
小規模多機能型居宅介護	NOP法人 さわやかネット天草	26,250
	合計	46,250

平成22年度熊本県施設開設準備経費特別対策事業補助金

サービス種類	法人名	交付額 (千円)
小規模多機能型居宅介護	NOP法人 さわやかネット天草	4,822

平成22年度地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金（スプリンクラー等）

サービス種類	事業所名	交付額 (千円)
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	グループホームると	5,460
	グループホーム菜の花	2,070
	グループホーム和楽	2,817
	グループホーム和楽	2,412
	グループホームあかね苑	2,052
	グループホーム桜ん里	2,604
	グループホームくすのき	2,385
	グループホーム遊鳥	2,466
	グループホーム優海	2,286
		合計

6 介護予防給付の状況

予防給付は、「要支援1」及び「要支援2」の要介護認定を受けている人が対象であり、平成23年3月末現在1,831人で前年度に比べ77人増加しました。

更新結果は、要支援1では、非該当及び要支援1の認定を受けた方が54.4%（前年度14.1%減）、要支援2では、非該当及び要支援1、要支援2の認定を受けた方が66.5%（前年度12.7%減）となっています。

介護予防サービス利用率は71.3%程度です。サービス利用者数は、平成23年3月で地域包括支援センター担当件数724件（前年度と比較30件増）、居宅介護支援事業所委託件数581件（前年度と比較16件減）となっています。

地域包括支援センターのみでの対応は難しく、適正な運営をしている居宅介護支援事業所へ業務委託を行う必要があります。又、介護予防サービスに関する研修の機会を通して、地域包括支援センターの主任介護支援専門員と共に計画書、サービスの内容等について指導・助言を行っています。

（1）介護予防給付更新時の維持・改善率

要支援1・2の認定者の更新前と後の介護状態区分の状況は次のとおりです。

更新前 \ 更新後	非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
要支援1	16	598	280	148	38	24	18	6	1,128
要支援2	0	137	597	173	95	53	38	11	1,104
合計	16	735	877	321	133	77	56	17	2,232

	全体数	維持数	維持率	改善数	改善率	維持改善者数	維持改善率
要支援1の維持・改善率	1,128	598	53.0%	16	1.4%	614	54.4%
要支援2の維持・改善率	1,104	597	54.1%	137	12.4%	734	66.5%
合計	2,232	1,195	53.5%	153	6.9%	1,348	60.4%

(2) 保険給付費 (1) 介護サービス等諸費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
279	1 居宅介護サービス給付費	居宅介護サービス給付費	2,251,708	国庫支出金 655,732 (670,476) 県支出金 279,559 (282,025) その他 676,568 (675,512) 一般財源 639,849 (623,695)	居宅介護サービス給付費 区 分 延べ利用者数 訪問介護 6,904人 訪問入浴介護 304人 訪問看護 884人 訪問リハビリテーション 738人 居宅療養管理指導 947人 通所介護 9,628人 通所リハビリテーション 7,482人 短期入所 3,068人 福祉用具貸与 8,035人 特定施設入居者生活介護 51人	要介護者は、在宅で暮らすために必要なサービスを受け、安心して住み慣れた自宅等で生活することができた。
279 5 280	3 地域密着型介護サービス給付費	地域密着型介護サービス給付費	703,739	国庫支出金 204,940 (209,724) 県支出金 87,372 (87,967) その他 211,452 (211,122) 一般財源 199,975 (194,926)	地域密着型介護サービス給付費 区 分 延べ利用者数 認知症対応型通所介護 887人 小規模多機能型居宅介護 859人 認知症対応型共同生活介護 1,934人	要介護者は、在宅で暮らすために地域密着型介護サービスを受け、安心して住み慣れた自宅等で生活することができた。

(2) 保険給付費 (1) 介護サービス等諸費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
280	5 施設介護サービス給付費	施設介護サービス給付費	3,751,133	国庫支出金 946,577 (930,331) 県支出金 648,480 (656,448) その他 1,127,099 (1,125,340) 一般財源 1,028,977 (1,039,014)	施設介護サービス給付費 区 分 延べ利用者数 介護老人福祉施設 7,271人 介護老人保健施設 5,144人 介護療養型医療施設 1,985人	在宅で生活できない要介護者等が施設に入所して介護サービスを受けることができた。
280	7 居宅介護福祉用具購入費	居宅介護福祉用具購入費	5,574	国庫支出金 1,623 (1,661) 県支出金 692 (697) その他 1,675 (1,672) 一般財源 1,584 (1,544)	福祉用具購入費の9割を支給 (支給限度基準額 年間10万円) 区 分 延べ利用者数 福祉用具購入費 240人	福祉用具（腰掛便座、入浴補助用具など）の購入により、要介護者の自立支援、介護者の負担軽減が図られた。

(2) 保険給付費 (1) 介護サービス等諸費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
280	8 居宅介護住宅 改修費	居宅介護住宅改修費	19,118	国庫支出金 5,568 (5,698) 県支出金 2,374 (2,390) その他 5,744 (5,735) 一般財源 5,432 (5,295)	住宅改修費の9割を支給 (支給限度基準額 20万円) 区分 延べ利用者数 住宅改修費 207人	既存住宅の欠点をカバーする工事(手すりの取り 付け、段差の解消など)が行われ、在宅生活者の自 立支援、介護者の負担軽減が図られた。
280	9 居宅介護サービ ス計画給付費	居宅介護サービス計画給付 費	266,936	国庫支出金 77,735 (79,550) 県支出金 33,141 (33,367) その他 80,206 (80,081) 一般財源 75,854 (73,938)	居宅介護サービス計画作成等への支給 要介護1件当たり 10,000～13,000円/月 延べ利用者数 20,922人	介護支援専門員(ケアマネージャー)が在宅介護支 援のために「居宅サービス計画」を作成し、在宅の 要介護者に必要なサービスが提供された。

(2) 保険給付費

(2) 介護予防サービス等諸費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
281	1 介護予防サービス給付費	介護予防サービス給付費	541,383	国庫支出金 157,659 (161,340) 県支出金 67,215 (67,673) その他 162,669 (162,415) 一般財源 153,840 (149,955)	介護予防サービス給付費 区 分 延べ利用者数 訪問介護 6,378人 訪問入浴介護 4人 訪問看護 205人 訪問リハビリテーション 324人 居宅療養管理指導 132人 通所介護 5,357人 通所リハビリテーション 6,080人 短期入所 237人 福祉用具貸与 2,578人 特定施設入居者生活介護 26人	介護予防サービスを受けることにより、要介護移行への予防ができた。
281	3 地域密着型介護予防サービス給付費	地域密着型介護予防サービス給付費	30,574	国庫支出金 8,904 (9,112) 県支出金 3,796 (3,822) その他 9,187 (9,172) 一般財源 8,687 (8,468)	地域密着型介護予防サービス給付費 区 分 延べ利用者数 認知症対応型通所介護 86人 小規模多機能型居宅介護 252人 認知症対応型共同生活介護 57人	地域密着型介護予防サービスを受けることにより、要介護移行への予防ができた。

(2) 保険給付費

(2) 介護予防サービス等諸費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
281	5 介護予防福祉 用具購入費	介護予防福祉用具購入費	4,411	国庫支出金 1,284 (1,314) 県支出金 548 (551) その他 1,325 (1,323) 一般財源 1,254 (1,223)	福祉用具購入費の9割を支給 (支給限度基準額 年間10万円) 区 分 延べ利用者数 福祉用具購入費 203人	福祉用具の購入により、要支援者の自立支援、介護者の負担軽減が図られた。
281	6 介護予防住宅 改修費	介護予防住宅改修費	20,222	国庫支出金 5,889 (6,026) 県支出金 2,511 (2,528) その他 6,076 (6,067) 一般財源 5,746 (5,601)	住宅改修費の9割を支給 (支給限度基準額 20万円) 区 分 延べ利用者数 住宅改修費 221人	手すりの取り付け、段差の解消等により在宅生活者(要支援者)の自立支援、介護者の負担軽減が図られた。

(2) 保険給付費 (2) 介護予防サービス等諸費 (単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
281	7 介護予防サービス 計画給付費	介護予防サービス計画給付 費	66,663	国庫支出金 19,413 (19,867) 県支出金 8,276 (8,333) その他 20,030 (19,999) 一般財源 18,944 (18,464)	介護予防サービス計画作成等への支給 要支援1件当たり 4,120円 (初回加算 3,000円) 延べ利用者数 15,726人	地域包括支援センター(指定介護予防支援事業 者)の保健師等が介護予防支援のために「介護予防 サービス計画」を作成し、在宅の要支援者に必要な サービスが提供された。

(2) 保険給付費 (3) その他諸費 (単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
281	1 審査支払手数料	審査支払手数料	9,697	国庫支出金 2,823 (2,889) 県支出金 1,204 (1,212) その他 2,914 (2,909) 一般財源 2,756 (2,687)	国保連合会への審査支払手数料 介護給付費請求明細書 1件 85円 延べ審査件数 114,083件	介護給付費の請求の審査を行うことにより、介護 保険のサービス事業者からの給付費の請求の審査及 び支払いが迅速で正確に対応することができた。

(2) 保険給付費 (4) 高額介護サービス等費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																				
281 ↳ 282	1 高額介護サービス費	高額介護サービス費	186,637	国庫支出金 54,352 (55,620) 県支出金 23,172 (23,330) その他 56,079 (55,991) 一般財源 53,034 (51,696)	介護サービスの利用者負担額(1ヶ月分)が一定の基準額を超えた場合、その超えた額を支給 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">利用者負担段階区分</th> <th>上限額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">一般世帯</td> <td>37,200円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">住民税非課税世帯</td> <td>24,600円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">高齢福祉年金の受給者</td> <td rowspan="2">個人 15,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計所得金額及び課税年金額の合計が80万円以下の人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">生活保護の受給者等</td> <td>15,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>個人 15,000円</td> </tr> </tbody> </table> 高額介護サービス費 16,449件	利用者負担段階区分		上限額	一般世帯		37,200円	住民税非課税世帯		24,600円	高齢福祉年金の受給者		個人 15,000円	合計所得金額及び課税年金額の合計が80万円以下の人		生活保護の受給者等		15,000円			個人 15,000円	高額介護サービス費の支給により、サービス受給者の自己負担額の軽減が図られた。
利用者負担段階区分		上限額																								
一般世帯		37,200円																								
住民税非課税世帯		24,600円																								
高齢福祉年金の受給者		個人 15,000円																								
合計所得金額及び課税年金額の合計が80万円以下の人																										
生活保護の受給者等		15,000円																								
		個人 15,000円																								
282	2 高額介護予防サービス費	高額介護予防サービス費	734	国庫支出金 214 (219) 県支出金 91 (92) その他 221 (220) 一般財源 208 (203)	高額介護予防サービス費 314件	高額介護予防サービス費の支給により、サービス受給者の自己負担額の軽減が図られた。																				

(2) 保険給付費 (5) 高額医療合算介護サービス等費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																				
282	1 高額医療合算介護サービス費	高額医療合算介護サービス費	31,227	国庫支出金 9,094 (9,306) 県支出金 3,877 (3,903) その他 9,383 (9,368) 一般財源 8,873 (8,650)	1割負担（高額介護サービス等費支給後）と医療保険の自己負担額（高額療養費支給後）の世帯合算額が、所得区分に応じた負担限度額（年単位）を超えるとき、超えた額を償還払いで支給。 ※合算算定基準額（毎年8月1日～翌年7月31日） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>【75歳以上】</th> <th>【70～74歳以上】</th> <th>【70歳未満】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現役所得並所得者（上位所得者）</td> <td>67万円</td> <td>67万円</td> <td>126万円</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>56万円</td> <td>56万円</td> <td>67万円</td> </tr> <tr> <td>低所得者Ⅱ</td> <td>31万円</td> <td>31万円</td> <td>34万円</td> </tr> <tr> <td>低所得者Ⅰ</td> <td>19万円</td> <td>19万円</td> <td>34万円</td> </tr> </tbody> </table> 高額医療合算介護サービス費 1,177件		【75歳以上】	【70～74歳以上】	【70歳未満】	現役所得並所得者（上位所得者）	67万円	67万円	126万円	一般	56万円	56万円	67万円	低所得者Ⅱ	31万円	31万円	34万円	低所得者Ⅰ	19万円	19万円	34万円	高額医療合算介護サービス費の支給により、サービス受給者の自己負担額の軽減が図られた。
	【75歳以上】	【70～74歳以上】	【70歳未満】																							
現役所得並所得者（上位所得者）	67万円	67万円	126万円																							
一般	56万円	56万円	67万円																							
低所得者Ⅱ	31万円	31万円	34万円																							
低所得者Ⅰ	19万円	19万円	34万円																							
282	2 高額医療合算介護予防サービス費	高額医療合算介護予防サービス費	285	国庫支出金 83 (85) 県支出金 36 (36) その他 86 (86) 一般財源 80 (78)	高額医療合算介護予防サービス費 41件	高額医療合算介護予防サービス費の支給により、サービス受給者の自己負担額の軽減が図られた。																				

(2) 保険給付費 (6) 特定入所者介護サービス等費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果																
282	1 特定入所者介護 サービス費	特定入所者介護サービス費	408,801	国庫支出金 103,159 (102,161) 県支出金 70,672 (70,767) その他 122,832 (122,640) 一般財源 112,138 (113,233)	食費・居住費の負担限度額を超える費用を低所得者に現物給付 (居住費・滞在費) <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用者負担段階</th> <th>負担限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1段階</td> <td>0円～820円</td> </tr> <tr> <td>第2段階</td> <td>320円～820円</td> </tr> <tr> <td>第3段階</td> <td>320円～1,640円</td> </tr> </tbody> </table> (食費) <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用者負担段階</th> <th>負担限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1段階</td> <td>300円</td> </tr> <tr> <td>第2段階</td> <td>390円</td> </tr> <tr> <td>第3段階</td> <td>650円</td> </tr> </tbody> </table> 特定入所者介護サービス費 13,513件	利用者負担段階	負担限度額	第1段階	0円～820円	第2段階	320円～820円	第3段階	320円～1,640円	利用者負担段階	負担限度額	第1段階	300円	第2段階	390円	第3段階	650円	特定入所者介護サービス費の給付により、施設利用者等の食費及び居住費の自己負担額の軽減が図られた。
利用者負担段階	負担限度額																					
第1段階	0円～820円																					
第2段階	320円～820円																					
第3段階	320円～1,640円																					
利用者負担段階	負担限度額																					
第1段階	300円																					
第2段階	390円																					
第3段階	650円																					
282	3 特定入所者介護 予防サービス費	特定入所者介護予防サービス費	571	国庫支出金 168 (170) 県支出金 70 (63) その他 169 (172) 一般財源 164 (166)	特定入所者介護予防サービス費 101件	特定入所者介護予防サービス費の給付により、施設利用者等の食費及び居住費の自己負担額の軽減が図られた。																

(4) 介護予防支援事業費

(1) 介護予防支援事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
282 5 283	1 介護予防支援事業費	介護予防支援事業費	652	一般財源 652	指定介護予防支援事業者が、原案作成の委託料を国保連に請求した場合、国保連が委託料を支払うときに発生する審査と支払いに係る事務、要支援者に関する情報提供を行う。 原案作成委託件数 7,140件 情報提供件数 2,435件	指定介護予防支援事業者（地域包括支援センター）に情報提供等を行うことで円滑な業務ができた。

(5) 地域支援事業費

(1) 介護予防事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
283	1 介護予防特定高齢者施策事業費	介護予防特定高齢者把握事業	15,303	国庫支出金 4,186 (3,826) 県支出金 2,093 (1,913) その他 19,614 (4,591) 一般財源 △ 10,590 (4,973)	虚弱な高齢者を把握して、介護予防の利用が望ましい人を特定高齢者として決定する。 対象者数 基本チェックリスト実施者 3,812人 生活機能評価の受診者 1,827人 特定高齢者候補者 1,353人 特定高齢者決定者 1,094人 この事業で決定した特定高齢者に介護予防事業への参加を勧め、同意が得られた人に事業を実施している。	平成22年度は、本人や家族、民間組織などからの情報提供と後期高齢者の健診や市雇用の看護師訪問により特定高齢者候補者の把握を行った。また、各地区の老人会において高齢者健康教室を実施し、地域包括支援センターの業務内容や介護予防事業の周知と併せて、特定高齢者候補者の把握を行ってきた。高齢者3,812人に基本チェックリストを実施し、1,353人の特定高齢者候補者を把握し、うち1,094人を特定高齢者として決定することができた。
		通所型介護予防事業		10,410	国庫支出金 2,848 (2,603) 県支出金 1,424 (1,301) その他 13,343 (3,123) 一般財源 △ 7,205 (3,383)	運動器の機能向上を目指して、事業参加を希望した特定高齢者に対して、週1回の運動機能向上のプログラムを22事業所に委託して通所方式で実施している。なお、事業実施に当たっては、事業実施従事者に対して研修会や現地指導を行い事業の質向上を図った。 運動器の機能向上プログラム利用者 176人 (延べ3,315回) 天草郡市歯科医師会に委託して、口腔機能向上のプログラムが必要な特定高齢者に対して、通所事業所に歯科衛生士を派遣して口腔機能の向上の指導を行った。 口腔機能向上プログラム利用者 9人 (延べ27回)

(5) 地域支援事業費

(1) 介護予防事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
283	1 介護予防特定高 齢者施策事業費	訪問型介護予防事業	986	国庫支出金 272 (249)	特定高齢者の対象者が、閉じこもりで通所による 介護予防事業を利用することが困難な人に対して、 市の訪問看護師等が自宅で指導を実施した。	通所できない閉じこもりがちの特定高齢者の自宅 を訪問し、出来るだけ通所による改善指導を呼びか けると同時に運動機能向上の指導を行った。運動機 能向上の対象者は2人で延べ30回指導し、改善を 図った。栄養改善の対象者は2人で延9回指導し、食 生活の改善を図った。また、訪問指導により、外部 の人と接触する機会を得ることができ、運動機 能等改善と少しずつではあるが明るくなったり、他 者との交流ができるよう改善が図られた。
				県支出金 136 (124)		
				その他 1,273 (298)	運動器の機能向上支援 2人 栄養改善支援 2人 閉じこもり予防・支援 1人 認知症予防・支援 1人 うつ予防・支援 0人 口腔機能向上支援 0人	
		特定高齢者施策評価事業	7	一般財源 △ 688 (322)	プロセス指標、アウトプット指標、アウトカム指標 により評価した。介護予防参加者数180人 主観的 健康感維持改善率 77.3%	介護予防事業に参加することによって、運動機能 等が維持改善したと感じている。
283 ┆ 284	2 介護予防一般高 齢者施策事業費	介護予防普及啓発事業	1,164	国庫支出金 559 (512)	地域包括支援センターでは、単位老人クラブを対 象として、転倒予防をテーマに平成21年度から3年 間を目途に、講演会や介護予防教室を実施してい る。市では、天草市食生活改善推進員協議会に委託 して高齢者の低栄養予防のための教室を開催した り、認知症予防等の健康教室や出前講座を実施し た。また、認知症予防についてはイベント等におい て早期予防の大切さや普及啓発の機会を図った。	高齢者の栄養状態の改善のため、食生活改善推進 員協議会に委託し、調理実習などで食生活改善指導 を行い栄養改善に対する意識啓発ができた。また、 転倒予防や認知症予防を中心とした介護予防につい て、老人クラブを中心に啓発ができた。
				県支出金 280 (256)		
				その他 2,624 (614)	講演会・介護予防教室等の開催 4,700人 イベント等の開催 275人 その他 2,802人	
		地域介護予防活動支援事業	883	一般財源 △ 1,416 (665)	介護予防に関するボランティア等の人材を育成す るための研修 2,464人 介護予防に資する地域活動組織の育成等 14回 社会参加活動を通じた介護予防に資する地域活動の 実施 274人	「あまくさ認知症を地域で支える会」の活動の 支援を行った。また、認知症高齢者等を地域で温か く見守る「認知症の人の応援者」を育成することが できた。
					高齢者自身の介護予防のため、介護支援ボラン ティア事業の推進を図った。 登録者数 305人 年間活動スタンプ数 4366スタンプ 年間延べ活動時間数 5,296時間	ボランティア登録者を増やすため、社協の各支所 にも目標を立ててもらい協力をお願いした。また、 老人会や支所の連絡会議、介護保険制度説明会等 にも出席してボランティア制度の説明を行った結果、 登録者300人の目標を達成することができた。
		一般高齢者施策評価事業	0		一般高齢者施策に関する事業評価項目により、プ ロセス評価を中心に事業評価を実施した。	今後の施策評価の参考とすることができた。

(5) 地域支援事業費

(2) 包括的支援事業・任意事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
284	1 介護予防ケア マネジメント事業 費	介護予防ケアマネジメント 事業	0		<p>地域包括支援センターが介護予防事業に参加する特定高齢者に対して、プラン作成を行い、事業参加者の運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能向上を支援する。そのプラン作成に対して委託料を支払う。(ただし、地域包括支援センターの運営委託料に含まれているプラン作成件数1センターあたり48件(72件)を超えた分に対して支払う。)</p> <p style="text-align: right;">対象者数 180人</p> <p>ケアマネジメント実人数</p>	<p>特定高齢者に対して、介護予防事業のケアマネジメントを行い、運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能向上を図るためのサービスを提供することができた。</p> <p>その結果、特定高齢者の約7割の対象者が運動機能向上等の維持改善が図られた。本年度は、地域包括支援センターの運営委託料に含まれているプラン作成件数1センターあたり48件(72件)を、どのセンターも越えていないので委託料は発生していない。</p>
284	2 総合相談事業費	総合相談事業	480	<p>国庫支出金 197 (192)</p> <p>県支出金 99 (96)</p> <p>一般財源 184 (192)</p>	<p>介護保険サービスや高齢の福祉事業の内容を掲載するとともに、各種事業所を紹介し、利用者に必要な介護情報を提供した。</p> <p>サービスガイドの作成 詳細版(追加のみ) 300部 簡易版 2,000部</p> <p>住民からの各種の相談を受けた。 介護や介護保険等福祉相談 2,153件 保健医療に関する相談 760件 その他相談 659件</p>	<p>簡易版は、介護保険サービスや高齢の福祉事業の内容を掲載するとともに、各種事業所を紹介し、利用者に必要な介護情報を提供した。詳細版は、居宅介護支援事業所の介護支援専門員や相談機関等に配付し、相談業務に活用していただくことができた。</p> <p>地域包括支援センターの知名度も少しずつ浸透し、相談も多く寄せられるようになってきている。各種の住民からの相談に応じ、関係機関と連携し、問題解決の糸口を示すなど必要な支援を行い、住民生活の向上につなげることができた。</p>

(5) 地域支援事業費

(2) 包括的支援事業・任意事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
284	3 権利擁護事業費	権利擁護事業	113	国庫支出金 46 (45) 県支出金 23 (23) 一般財源 44 (45)	<p>高齢者の虐待が疑われるケースについての相談を受け、訪問等により事実確認を行ない関係機関と連携を図り、対象者の生活の安定につなげる。</p> <p>虐待相談 49件 (新規25件 再相談24件)</p> <p>虐待認定 8件</p> <p>成年後見制度研修会を一般住民を対象に3箇所(河浦、本渡南、栖本)で開催した。(参加者27名)</p> <p>判断能力が無く成年後見の申請が必要であるが、親族による申し出ができない場合に、市長が代わって申し立てを行う制度である。</p> <p>市長申立件数 1件</p>	<p>虚弱高齢者や相談者に対して、その状況に応じた介護保険サービスを導入したり、関係機関との連携を深めながら対応し、対象者の生活安定を図った。また、高齢者の虐待等については、虐待防止マニュアルを作成し、迅速かつスムーズな対応ができる体制を整え、虐待の相談については、関係機関による見守り、定期的な訪問活動により生活の安定を図ってきている。</p> <p>成年後見制度の研修会を開催し、一般住民が成年後見制度について理解が図られた。</p> <p>対象者が成年後見制度を受けることで、施設入所に関する契約行為や財産管理等が本人に代わり成年後見人により行われ、対象者の権利が擁護された。</p>
284	4 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	95,639	国庫支出金 39,285 (38,256) 県支出金 19,643 (19,128) 一般財源 36,711 (38,255)	<p>地域包括支援センターの委託を行い、センターが実施する地域の関係機関との連携、ケア体制の構築、介護支援専門員同士のネットワークづくり、介護支援専門員へ困難事例への支援や介護サービス事業所の連絡、調整、助言等に対する支援。</p> <p>居宅介護支援専門員や介護サービス事業所に対して研修会を開催した。</p>	<p>地域包括支援センター連絡会議の開催、各職種(主任介護支援専門員、保健師、社会福祉士)ごとの連携会議を開催した。介護支援専門員連絡会や介護支援事業者連絡協議会と学習会を開催し、プラン作成の再確認を行った。介護支援専門員と主治医との連携を図るために医師会に介護保険にかかる連携窓口の調査を実施し、居宅介護支援事業所に調査結果一覧表を配布した。</p>

(5) 地域支援事業費

(2) 包括的支援事業・任意事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
284 5 285	5 任意事業費	介護給付費等費用適正化事業	1,281	国庫支出金 3,472 (3,380)	介護サービス利用者へ給付費の支給通知を行った。 対象者数 適正化のはがき郵送(3回) 延べ 18,695人	介護サービス利用者等の給付費の確認をしていただくとともに、事業の適正化を図った。
		家族介護支援事業	7,010	県支出金 1,735 (1,690)	介護技術の向上を図るために、サービス事業所に委託して実施した。 家族介護教室事業 13ヵ所 345人	在宅で介護している家族等に対し、介護に関する教室を開催することで、介護技術の向上や情報交換を行うことができた。
				一般財源 3,244 (3,381)	介護者同士の交流を図りながら、リフレッシュをしてもらうために、社会福祉協議会に委託して事業を実施した。 家族介護者交流事業18ヵ所 300人	介護者の気分転換と介護者同士の交流が図られ、介護者の介護疲れの軽減に繋がっている。要介護者が住み慣れた地域での在宅生活が図られている。
					要介護4及び5の介護認定者を、在宅で介護している介護者、被介護者の双方が市民税非課税の世帯で、その介護者に対して介護用品の購入費用の一部(6,250円/月)を助成して経済的負担を軽減する。 介護用品支給利用者数 126人 支給券発行延べ枚数 1,020枚	在宅で介護をしている介護者に対して、介護用品に対する経済的支援を行い、住み慣れた在宅での生活維持ができている。
成年後見人制度利用等支援事業費	160		住宅改修支援事業 要介護要支援の認定者で、居宅介護支援、介護予防支援のサービスを受けていない場合、住宅改修に伴う理由書の作成費として、指定居宅介護予防支援事業者、指定介護予防支援事業者に1件2千円を支払う。 成年後見制度利用支援事業 市長申し立てにより、成年後見制度を利用する時に、後見人等に支払う報酬の助成を行う。(低所得者に対して) 住宅改修支援事業 住宅改修理由書作成件数 80件 成年後見制度利用支援事業 0件	在宅生活で住宅改修の必要な対象者の理由書作成を委託し、在宅生活での維持のための住宅改修を行うことができた。 成年後見制度利用支援事業の助成対象は無かった。		

6. 後期高齢者医療特別会計 (決算説明書 287頁～297頁)

(単位：千円・%)

区 分	21年度	22年度	伸 率
歳 入 総 額	1,119,591	1,133,882	1.3
歳 出 総 額	1,108,605	1,127,720	1.7
差 引 額	10,986	6,162	43.9
翌年度へ繰越すべき財源	0	0	-
翌年度繰越額	10,986	6,162	43.9

(単位：千円・%)

歳 出 内 訳	22年度	構成比率
総 務 費	48,904	4.3
後期高齢者医療 広域連合納付金	1,061,334	94.1
保 健 事 業 費	16,861	1.5
諸 支 出 金	621	0.1
歳 出 合 計	1,127,720	100.0

本会計では、歳入総額 1,133,882千円に対して、歳出総額は 1,127,720千円で、差引 6,162千円を翌年度へ繰り越すことになりました。

歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料 650,196千円（構成比 57.3%）、一般会計からの繰入金 448,751千円（同 39.6%）です。

歳出では、後期高齢者医療広域連合運営のための後期高齢者医療広域連合納付金 1,061,334千円（構成比 94.1%）、総務費 48,904千円（同 4.3%）が主なものとなっております。

後期高齢者医療制度につきましては、高齢者の医療の確保に関する法律により、平成20年4月から開始されました。

この制度は、老人医療費を中心に国民医療費が増大する中、現役世代と高齢者の負担を明確にし、公平でわかりやすい制度とするため、すべての75歳（一定の障害があると認定された人は65歳）以上の方を対象にした制度であり、国民保健の向上及び高齢者の福祉の増進を図ることを目的としています。

運営は、都道府県単位で設置されている広域連合が主体（保険者）となり、保険料の決定、医療給付、保険証の交付等を行ない、市町村においては、保険料の徴収、申請や届出の受付、保険証の引渡しなどの窓口業務を行ないます。

1. 被保険者数

被 保 険 者 数 (年度末現在)	21年度	22年度	増 減
	18,051 人	18,181 人	130 人

2. 保険料状況 後期高齢者医療保険料現年度分

(単位：千円・%)

区 分	21年度	22年度	対前年度比
調 定 額	618,913	650,397	105.1
特別徴収	410,270	464,452	113.2
普通徴収	208,643	185,945	89.1
収 納 額	615,192	647,934	105.3
特別徴収	410,604	465,065	113.3
普通徴収	204,588	182,869	89.4
収 納 率 (%)	99.40	99.62	100.2

3. 熊本県後期高齢者医療広域連合納付金

(単位：千円・%)

区 分	21年度	22年度	対前年度比
後期高齢者医療保険料等負担金(徴収分)	618,918	650,411	105.1
後期高齢者医療保険基盤安定負担金(保険料軽減分)	406,158	410,923	101.2
合 計	1,025,076	1,061,334	103.5

4. 保健事業費

高齢者健診 (高齢者健診費用 - 生活機能評価同時実施分)

区 分	21年度	22年度	対前年度比(%)
高齢者健診委託料	6,534千円	8,435千円	129.1
健診受診者数	1,347人	1,759人	130.6
健診受診率	7.5%	9.7%	129.3

生活機能評価同時実施者

区 分	21年度	22年度	対前年度比(%)
健診受診者	1,347人	1,759人	130.6
同時実施者	1,208人	1,575人	130.4
同時実施率	89.7%	89.5%	99.8

あんま・はり・灸等施術補助金(あんま・はり・灸券 1枚800円)

区 分	21年度	22年度	対前年度比(%)
施術補助金	5,594千円	5,494千円	98.2
はり灸券利用件数	6,992件	6,868件	98.2

5. 後期高齢者医療診療報酬等請求内訳書

(単位：円)

項 目	件数(件)	費用額	保険者負担額	高額療養費	一部負担金額	他方負担分	
医療給付費	入院	25,955	10,434,555,120	9,364,479,847	447,716,317	561,808,466	60,550,490
	外来	278,257	4,229,643,780	3,786,201,223	41,580,660	369,208,138	32,653,759
	歯科	21,645	346,953,830	309,697,862	461,548	36,295,974	498,446
	調剤	190,699	2,602,101,150	2,328,947,565	286,971	247,173,823	25,692,791
	食事	(25,168)	1,055,918,228	727,783,988	0	299,433,800	28,700,440
	訪問看護	163	10,178,850	9,150,265	0	673,005	355,580
	小計	516,719	18,679,350,958	16,526,260,750	490,045,496	1,514,593,206	148,451,506
療養費	柔道整復	1,063	11,885,090	10,643,004	0	1,242,086	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	特別療養費	0	0	0	0	0	0
	小計	1,063	11,885,090	10,643,004	0	1,242,086	0
合計	517,782	18,691,236,048	16,536,903,754	490,045,496	1,515,835,292	148,451,506	

件数の合計に食事は含まない

7. 公共下水道事業特別会計 (決算書298頁～310頁)

(単位：千円・%)

区 分	21年度	22年度	伸 率
歳 入 総 額	1,336,985	1,187,623	11.2
歳 出 総 額	1,336,765	1,184,341	11.4
差 引 額	220	3,282	1,391.8
翌年度へ繰越すべき財源	0	3,000	皆増
翌年度への繰越額	220	282	28.2

本会計では、歳入総額1,187,623千円から歳出総額1,184,341千円を差引いた形式収支の3,282千円を翌年度へ繰り越すこととなりました。また、歳入歳出総額がともに減となったのは、昨年度繰上償還を行ったため22年度決算額が減となったのが主な要因です。

歳入の主なものは、使用料479,367千円（構成比40.4%）、地方債82,000千円（同6.9%）、国庫支出金89,810千円（同7.6%）、また一般会計からの繰入金は500,400千円（同42.1%）です。

歳出の内訳は、下水道総務費55,334千円（同4.7%）、下水道施設管理費238,676千円（同20.1%）、下水道建設費190,831千円（同16.1%）で公共下水道費全体では484,841千円（同40.9%）となります。さらに、公債費が699,500千円（同59.1%）となっています。

[進捗状況]

区分	全体計画(A)	事業認可(B)	22年度末現在(C)	(C)/(A)	(C)/(B)
処理面積	741 ha	659 ha	(供用) 600 ha	81.0%	91.0%
処理人口 (戸数)	25,600 人 (10,393 戸)	25,600 人 (10,393 戸)	25,256 人 (10,366 戸)	98.7%	98.7%
事業費	32,729,100千円 (S46～H34)	28,279,818千円 (S46～H25)	27,403,918千円	83.7%	96.9%

(1) 公共下水道費

(1) 公共下水道費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
307	1 下水道総務費	下水道事業受益者負担金 前納報奨金	3,831	その他(負担金) 3,831	負担金の期別納付額を納期前に一括納付した者に、その納付期別数に応じた割合で前納報奨金を支給する。 報償費 3,831,069円	平成22年度調定に対して、一括納付率12.0%であった。 全体調定件数 352件、一括納付 70件 22年度賦課に係る分 3,752,741円(66件) 過年度賦課に係る分 78,328円(4件)
308 ↳ 309	2 下水道施設 管理費	公共下水道施設管理事業	238,676	その他(使用料) 177,488 一般財源 61,188	年間有収水量 2,674千m ³ (事業費内訳) 旅費 19,600円 需用費 42,246,670円 役務費 4,415,199円 委託料 175,760,112円 使用料及び賃借料 59,850円 工事請負費 14,014,191円 原材料費 1,301,790円 備品購入費 471,303円 負担金補助及び交付金 387,570円 計 238,676,285円 《平成23年度へ繰越》 6,000,000円	平成22年度から平成24年度までの債務負担行為による処理場運転管理を委託し、運転管理費を削減するとともに円滑な維持管理を行い、公共水域の水質保全に努めることができた。

(1) 公共下水道費 (1) 公共下水道費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
309 310	3 下水道建設費	下水道建設事業	191,134	国庫支出金 89,810 地方債 82,000 その他(負担金) 19,139 一般財源 185	《平成22年度》 (事業費内訳) 人件費(1.下水道総務費支出分) 303,000円 需用費 464,590円 役務費 293,680円 使用料及び賃借料 186,472円 委託料 22,313,899円 工事請負費 167,572,174円 計 191,133,815円 【補助】 事務費(人件費を含む) 1,153,000円 委託費 18,146,750円 工事費 156,723,250円 計 176,023,000円 (事業箇所内訳) 本渡浄化センター雨水滞水池改修等工事4件 47,500,000円 同上改修設計委託3件 17,616,500円 本渡北地区管渠布設工事 15,126,623円 同上設計委託1件 530,250円 本渡地区雨水幹線、ポンプ場建設工事6件(大川尻、小松原、新田、南町) 94,096,627円 【単独】(事業箇所内訳) 事務費 94,742円 工事費 10,848,924円 本渡雨水管渠工事3件(瀬戸、茂木根、亀場) 委託費 4,167,149円 同上設計委託1件 計 15,110,815円 《平成23年度へ繰越》 5,400,000円	生活環境の改善、浸水解消、公共用水域の水質改善を図った。 補助事業 176,023,000円 単独事業 15,110,815円 污水管渠布設延長 L = 214.1m 雨水渠築造延長 L = 569.3m 整備面積 A = 1.24ha 平成22年度は、面整備として事業認可区域内の本渡町・瀬戸地区の管渠工事を行い、普及促進に努めた。また、合流式下水道改善事業として、改善計画に基づく改善施設の雨水滞水池を事業計画に位置づけし、既設水処理施設を雨水滞水池に利用する改造工事を行い、改善対策の早期推進に努めた。 浸水対策事業として、継続して小松原雨水幹線築造工事を行い事業促進を図った。また、亀場町の大川尻雨水ポンプ場の建設に着工し、早期運転開始できるように事業促進を図った。また、水質改善下水道事業として、平成23年度に増設工事予定である本渡浄化センターの水処理施設脱臭設備及び污泥処理ホッパー設備の実設計業務委託及び本渡浄化センター長寿命化計画策定業務委託を行い、施設増改築の計画的な事業推進を図った。平成22年度末の本渡処理区域内での公共下水道事業の進捗状況は、処理区域面積600ha、処理区域内人口25,256人で、事業認可に対して面積で91.0%、人口では98.7%の普及となった。

8. 特定環境保全公共下水道事業特別会計 (決算書311頁～322頁)

(単位：千円・%)

区 分	21年度	22年度	伸 率
歳 入 総 額	833,170	629,769	24.4
歳 出 総 額	833,132	629,665	24.4
差 引 額	38	104	173.7
翌年度へ繰越すべき財源	0	0	-
翌年度への繰越額	38	104	173.7

本会計では、歳入総額629,769千円から歳出総額629,665千円を差引いた形式収支の104千円を翌年度に繰り越すことになりました。歳入歳出総額がともに減となったのは、高浜浄化センター建設工事が減となったことが主な要因です。

歳入の主なものは、使用料22,223千円(構成比3.5%)、事業に伴う市債が212,000千円(同33.7%)、国庫支出金202,631千円(同32.2%)、また一般会計からの繰入金は181,300千円(同28.8%)です。

歳出の内訳は、下水道総務費32,012千円(同5.1%)、下水道施設管理費38,455千円(同6.1%)、下水道建設費405,857千円(同64.4%)で特定環境保全公共下水道事業費全体では476,324千円(同75.6%)となります。さらに、公債費が153,341千円(同24.4%)となっています。

[進 捗 状 況]

処理区	区分	全体計画(A)	事業認可(B)	22年度末現在(C)	(C)/(A)	(C)/(B)
一町田 (河浦)	処理面積	53.5 ha	53.5 ha	(供用) 53.5 ha	100.0%	100.0%
	処理人口 (戸数)	1,360 人 (575 戸)	1,360人 (575 戸)	1,013 人 (428 戸)	74.5%	74.5%
	事業費	3,636,000千円 (H8～H25)	3,636,000千円 (H8～H18)	3,378,801千円	92.9%	92.9%
下田 (天草)	処理面積	22 ha	22 ha	(供用) 22 ha	100.0%	100.0%
	処理人口 (戸数)	800 人 (356 戸)	800人 (356 戸)	557人 (248 戸)	69.6%	69.6%
	事業費	1,212,000千円 (H8～H27)	1,212,000千円 (H8～H24)	1,203,000千円	99.3%	99.3%
高浜 (天草)	処理面積	39 ha	39 ha	未供用	-	-
	処理人口 (戸数)	1,000 人 (446 戸)	1,000 人 (446 戸)	未供用	-	-
	事業費	2,715,400千円 (H8～H33)	2,715,400千円 (H8～H24)	1,761,607千円	64.9%	64.9%

(1) 特定環境保全公共下水道事業費

(1) 特定環境保全公共下水道事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
320 └ 321	2 下水道施設管理 費	下水道施設管理事業	38,454	その他（分担金） 1,883 その他（使用料） 15,563 一般財源 21,008	年間有収水量 164千m ³ （事業費内訳） 需用費 13,428,012円 役務費 2,257,985円 委託料 22,021,417円 使用料及び賃借料 114,000円 備品購入費 633,150円 計 38,454,564円	本事業は、河浦町一町田地区及び天草町下田地区で実施しており、汚水処理施設の適正な運転管理を行い、公共水域の水質保全に努めることができた。

(1) 特定環境保全公共下水道事業費

(1) 特定環境保全公共下水道事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
3 2 1 }	3 下水道建設費	下水道建設事業	414,821	国庫支出金	(事業費内訳)	生活環境の改善、公共用水域の水質改善の事業推進を図った。なお、高浜地区特定環境保全公共下水道事業は平成23年4月1日に供用開始となった。 補助事業 399,452,000円 単独事業 15,369,411円
3 2 2				202,631	人件費(1.下水道総務費支出分) 8,964,363円 需用費(事務費) 1,658,893円 役務費(事務費) 567,686円 使用料及び賃借料(事務費) 289,058円 委託料(事務費) 120,000円 委託料 213,751,650円 工事請負費 187,119,163円 補償費及び賠償金 2,350,598円 計 414,821,411円	
				地方債		
				212,000		
				一般財源		
				190		
					【補助】	
					事務費(人件費含む) 11,600,000円	
					委託費 213,751,650円	
					工事請負費 172,865,844円	
					補償費 1,234,506円	
					計 399,452,000円	
					(事業箇所内訳)：高浜地区	
					管渠布設工事3件 64,000,909円	
					マンホールポンプ場設備工事3件 70,455,000円	
					浄化センター場内整備工事 33,011,895円	
					舗装復旧工事 5,398,040円	
					高浜浄化センター建設委託 208,800,000円	
					管渠設計等委託2件 4,951,650円	
					簡易水道管移設補償工事 1,234,506円	
					【単独】	
					工事請負費 14,253,319円	
					補償費 1,116,092円	
					計 15,369,411円	
					(事業箇所内訳)：高浜地区	
					管渠・柵布設工事3件 5,496,508円	
					浄化センター場内整備工事 8,756,811円	
					簡易水道管移設補償工事 1,116,092円	

9. 農業集落排水事業特別会計 (決算書323頁～333頁)

(単位：千円・%)

区 分	21年度	22年度	伸 率
歳 入 総 額	53,238	49,780	6.5
歳 出 総 額	53,134	49,711	6.4
差 引 額	104	69	33.7
翌年度へ繰越すべき財源	0	0	
翌年度への繰越額	104	69	33.7

本会計では、歳入総額49,780千円から歳出総額49,711千円を差引いた形式収支の69千円を翌年度に繰り越すことになりました。

歳入の主なものは、使用料14,602千円(構成比29.3%)、分担金525千円(同1.1%)、また一般会計からの繰入金は34,550千円(同69.4%)です。

歳出の内訳は、農業集落排水総務費9,363千円(同18.8%)、農業集落排水施設管理費12,933千円(同26.0%)で農業集落排水事業費全体では22,296千円(同44.9%)となります。さらに、公債費が27,415千円(同55.1%)となっています。

[進捗状況]

処理区	区分	区域内人口(戸数) 及び総事業費(A)	22年度末現在(B)		(B)/(A)
棚底 (倉岳)	処理人口 (戸数)	1,080 人 (442 戸)	(水洗化人口)	755 人 (300 戸)	69.9%
	事業費	1,671,880千円 (H6～H10)	1,671,880千円		100.0%
新町 (倉岳)	処理人口 (戸数)	121 人 (51 戸)	(水洗化人口)	88 人 (36 戸)	72.7%
	事業費	186,783千円 (H6～H18)	186,783千円		100.0%

(1) 農業集落排水事業費

(1) 農業集落排水事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
332 ┆ 333	2 農業集落排水施設管理費	農業集落排水施設管理事業	12,933	その他（使用料） 12,933	年間有収水量 82千m ³ （事業費内訳） 需用費 3,653,921円 役務費 443,618円 委託料 8,757,047円 工事請負費 78,750円 計 12,933,336円	本事業は、倉岳町棚底地区及び新町地区で実施しており、汚水処理施設の適正な運転管理を行い、公共水域の水質保全に努めることができた。

10. 漁業集落排水事業特別会計 (決算書334頁～346頁)

(単位：千円・%)

区 分	21年度	22年度	伸 率
歳 入 総 額	1,257,160	741,391	41.0
歳 出 総 額	1,257,025	741,243	41.0
差 引 額	135	148	9.6
翌年度へ繰越すべき財源	0	0	-
翌年度への繰越額	135	148	9.6

本会計では、歳入総額741,391千円から歳出総額741,243千円を差引いた形式収支の148千円を翌年度へ繰り越すこととなりました。

歳入歳出総額がともに減となったのは、船津地区及び佐伊津地区漁業集落排水事業費が減となったことが主な要因です。

歳入の主なものは、使用料36,334千円(構成比4.9%)、事業に伴う市債が198,800千円(同26.8%)、県支出金208,000千円(同28.1%)、また一般会計からの繰入金は160,800千円(同21.7%)、減債基金繰入金77,806千円(同10.5%)です。

歳出の内訳は、漁業集落排水総務費57,572千円(同7.8%)、漁業集落排水施設管理費74,458千円(同10.0%)、漁業集落排水施設整備費429,556千円(同58.0%)で漁業集落排水事業費全体では561,586千円(同75.8%)、公債費が179,445千円(同24.2%)となっています。

[進捗状況]

処理区	区分	区域内人口(戸数) 及び総事業費(A)	22年度末現在(B)	(B)/(A)
本郷 (御所浦)	処理人口(戸数)	694人 (304戸)	(水洗化人口) 623人 (270戸)	89.8%
	事業費	390,200千円 (S53～S59)	390,200千円	100.0%
宮田 (倉岳)	処理人口(戸数)	1,138人 (452戸)	(水洗化人口) 559人 (205戸)	49.1%
	事業費	1,390,848千円 (H6～H17)	1,390,848千円	100.0%
通詞島 (五和)	処理人口(戸数)	604人 (184戸)	(水洗化人口) 364人 (99戸)	60.3%
	事業費	1,043,880千円 (H8～H18)	1,043,880千円	100.0%
崎津 (河浦)	処理人口(戸数)	610人 (275戸)	(水洗化人口) 328人 (138戸)	53.8%
	事業費	1,082,003千円 (H8～H17)	1,082,003千円	100.0%
船津 (河浦)	処理人口(戸数)	供用開始区域 677人(313戸)	(水洗化人口) 208人 (78戸)	30.7%
	事業費	1,311,056千円 (H9～H22)	1,311,056千円	100.0%
佐伊津 (本渡)	処理人口(戸数)	供用開始区域 1,794人(684戸)	(水洗化人口) 815人 (323戸)	45.4%
	事業費	4,328,900千円 (H16～H25)	3,247,750千円	75.0%

(1) 漁業集落排水事業費

(1) 漁業集落排水事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
343 ↳ 344	2 漁業集落排水施設管理費	漁業集落排水施設管理事業	74,458	その他 39,766 一般財源 34,692	年間有収水量 223千m ³ (事業費内訳) 需用費 18,545,244円 役務費 6,068,640円 委託料 39,804,950円 使用料及び賃借料 516,276円 工事請負費 6,033,395円 備品購入費 799,825円 負担金補助及び交付金 2,689,446円 計 74,457,776円	本事業は、御所浦町本郷地区、倉岳町宮田地区、五和町二江地区、河浦町崎津地区・宮野河内地区、佐伊津地区で、汚水処理施設の適正な運転管理を行い、公共水域の水質保全に努めた。
345	3 漁業集落排水施設整備費	船津地区漁業集落排水事業	26,853	県支出金 12,065 地方債 13,600 その他(分担金) 1,170 一般財源 18	【補助事業】 補助率 5/10 (事業費内訳) 工事請負費 24,130,000円 汚水管路整備工事(1件) L=166.1m 汚水管路舗装本復旧工事(2件) L=1,464.9m 計 24,130,000円 【単独事業】 (事業費内訳) 工事請負費 2,382,710円 汚水管路整備工事(1件) L=50.2m 事務費 340,170円 計 2,722,880円	汚水管路の未整備区域を計画的に管路整備促進を図り、平成22年度末で313戸、677人の使用が可能となり、事業が完了した。 事業期間：平成9年度～平成22年度 事業費：1,311,056千円 (うち補助分1,274,530千円) 【事業内容】 汚水管路整備・・・L=7,864m (うち単独分L=1,369m) 汚水処理施設・・・1箇所 太陽光発電設備・・・40kw 1式 計画処理人口・・・677人 H23年3月末の進捗率・・・100.0%

1 1. 浄化槽市町村整備推進事業特別会計 (決算書347頁～358頁)

(単位：千円・%)

区 分	21年度	22年度	伸 率
歳 入 総 額	151,653	154,223	1.7
歳 出 総 額	151,652	154,103	1.6
差 引 額	1	120	11,900.0
翌年度へ繰越すべき財源	0	0	-
翌年度への繰越額	1	120	11,900.0

本会計では、歳入総額154,223千円から歳出総額154,103千円を差引いた形式収支の120千円を翌年度へ繰り越すこととなりました。

歳入の主なものは、使用料43,530千円(構成比28.2%)、事業に伴う市債が10,900千円(同7.1%)、国県支出金8,458千円(同5.5%)、また一般会計からの繰入金は87,266千円(同56.6%)、減債基金繰入金は1,653千円(同1.1%)です。

歳出の内訳は、浄化槽市町村整備推進総務費26,924千円(同17.5%)、浄化槽市町村整備推進管理費68,709千円(同44.6%)、浄化槽市町村整備推進事業費18,434千円(同11.9%)で浄化槽市町村整備推進事業費全体では114,067千円(同74.0%)となります。さらに、減債基金積立金が1,501千円(同1.0%)、公債費が38,535千円(同25.0%)となっています。

[進 捗 状 況]

区分	全体計画 (A)	22年度末現在 (B)	(B) / (A)
倉岳	H14～ 165基	135基	81.8%
新和	H11～ 772基	610基	79.0%
天草	H14～ 900基	289基	32.1%
計	1,837基	1,034基	56.3%

(1) 浄化槽市町村整備推進事業費

(1) 浄化槽市町村整備推進事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
357	1	浄化槽市町村整備推進事業 分担金納期前納付報奨金	152	一般財源 152	分担金を納期前納付した者に、納期数に応じた割合で報奨金を支給。(天草町処理区のみ) 報償費 152,000円	平成22年度調定に対して納期前納付率80.0%であった。 全体調定10件 納期前納付8件
357 358	2	浄化槽市町村整備推進管理 事業	68,708	県支出金 1,508 その他(使用料) 43,530 一般財源 23,670	年間有収水量 238千m ³ (事業費内訳) 共済費 187,402円 賃金 1,328,655円 需用費 1,994,259円 役務費 4,646,330円 委託料 60,552,061円 計 68,708,707円	本事業は、倉岳町、新和町、天草町で実施しており、浄化槽の適正な維持管理を行い、公共水域の水質保全に努めることができた。
358	3	倉岳浄化槽市町村整備推進 事業	3,089	国庫支出金 945 地方債 1,750 その他(分担金) 392 一般財源 2	【補助事業】 補助率1/3 ・浄化槽設置 5人槽：1基、7人槽：3基 (事業費内訳) 工事請負費(補助) 2,742,631円 〃(単独) 251,969円 設置工事(4件) 4基 事務費(補助) 94,447円 計 3,089,047円	トイレ等の生活排水を水洗化することにより、生活環境改善、公衆衛生の向上及び公共水域の水質保全を図った。 【倉岳地区】 事業期間：平成14年度～平成27年度 事業費：183,266千円 (うち単独分21,000千円)
		新和浄化槽市町村整備推進 事業	7,742	国庫支出金 2,409 地方債 4,450 その他(分担金) 860 一般財源 23	【補助事業】 補助率1/3 ・浄化槽設置 5人槽：6基、7人槽：3基 (事業費内訳) 工事請負費(補助) 6,984,543円 〃(単独) 512,457円 設置工事(9件) 9基 事務費(補助) 245,000円 計 7,742,000円	・浄化槽設置計画基数 165基 浄化槽設置済基数 135基(設置率81.8%) 【新和地区】 事業期間：平成11年度～平成27年度 事業費：711,544千円 (うち単独分51,597千円)
		天草浄化槽市町村整備推進 事業	7,603	国庫支出金 2,097 地方債 4,700 その他(分担金) 791 一般財源 15	【補助事業】 補助率1/3 ・浄化槽設置 5人槽：6基、7人槽：2基 (事業費内訳) 工事請負費(補助) 6,074,339円 〃(単独) 1,315,850円 設置工事(8件) 8基 事務費(補助) 213,213円 計 7,603,402円	・浄化槽設置計画基数 772基 浄化槽設置済基数 610基(設置率79.0%) 【天草地区】 事業期間：平成14年度～平成27年度 事業費：732,541千円 (うち単独120,946千円)
					・浄化槽設置計画基数 900基 浄化槽設置済基数 289基(設置率32.1%)	

12. 簡易水道事業特別会計 (決算書359頁～371頁)

(単位：千円・%)

区 分	21年度	22年度	伸 率
歳 入 総 額	2,363,050	1,935,434	18.1
歳 出 総 額	2,241,381	1,831,853	18.3
差 引 額	121,669	103,581	14.9
翌年度へ繰り越すべき財源	84,800	55,030	35.1
翌年度への繰越額	36,869	48,551	31.7

簡易水道特別会計では、歳入総額 1,935,434千円から歳出総額 1,831,853千円を差し引いた形式収支は 103,581千円で、この額から繰越明許費のために翌年度に繰り越すべき財源 55,030千円を差し引いた 48,551千円を翌年度に繰り越すことになりました。

歳入の主なものは、使用料 488,797千円(構成比 25.3%)、国庫支出金 185,805千円(構成比 9.6%)、一般会計繰入金 733,220千円(構成比 37.9%)及び市債 382,100千円(構成比 19.7%)です。

歳出の主なものは、一般管理費 195,185千円(構成比 10.7%)、維持管理費 183,747千円(構成比 10.0%)、建設改良費 667,624千円(構成比 36.4%)及び公債費 785,297千円(構成比 42.9%)です。

[給水状況]

簡易水道名	21年度			22年度		
	給水区域内人口	給水人口	給水区域面積	給水区域内人口	給水人口	給水区域面積
牛深簡易水道	3,205	3,170	7.2km ²	3,135	3,080	7.2km ²
有明東簡易水道	1,981	1,981	7.1km ²	1,939	1,939	7.1km ²
有明西簡易水道	3,557	3,557	6.1km ²	3,477	3,477	6.1km ²
倉岳簡易水道	3,395	3,065	15.5km ²	3,340	2,985	15.7km ²
栖本簡易水道	2,668	2,595	7.0km ²	2,585	2,517	7.0km ²
新和簡易水道	3,622	3,622	13.5km ²	3,577	3,577	13.5km ²
五和簡易水道	588	570	1.5km ²	573	570	1.5km ²
御領山浦簡易水道	106	59	0.9km ²	102	55	0.9km ²
天草簡易水道	3,629	3,524	6.6km ²	3,511	3,421	6.6km ²
一町田簡易水道	2,972	2,268	5.3km ²	2,901	2,222	5.3km ²
宮野河内簡易水道	902	860	1.1km ²	897	869	1.1km ²
富津簡易水道	1,000	971	1.5km ²	981	960	1.5km ²
合 計	27,625	26,242	73.3km ²	27,018	25,672	73.5km ²

(1) 簡易水道事業費

(1) 簡易水道総務費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
368 } 369	1 一般管理費	一般管理費	195,185	一般財源 195,185	(事業費内訳) 給料 57,494,776円 職員手当等 32,175,033円 共済費 19,064,661円 需用費 1,798,596円 役務費 9,892,211円 委託料 29,745,035円 使用料及び賃借料 78,645円 負担金補助及び交付金 37,130,759円 補償補填及び賠償金 1,100,000円 公課費 6,705,300円 計 195,185,016円	一般管理について 事務の効率化を図るため、簡易水道使用料等の徴収事務について、水道課に業務委託している。また、収納率の向上を図るため、納入期日を2月経過したものについては、給水停止処分を実施した。 予告通知発送件数 2,036件 通知後の納入件数 1,930件 給水停止執行通知件数 106件
369 } 370	2 維持管理費	維持管理費	183,747	一般財源 183,747	(事業費内訳) 賃金 1,038,200円 需用費 95,422,094円 役務費 2,219,375円 委託料 48,330,907円 使用料及び賃借料 805,168円 工事請負費 29,259,841円 原材料費 3,947,227円 備品購入費 2,491,550円 負担金補助及び交付金 233,000円 計 183,747,362円 (工事請負費の内訳は次ページのとおり)	維持管理について 施設の維持管理について、上島地区においては遠方監視装置を整備したことで中央(本庁)で施設の運転状況が把握でき、異常時に対する確認と早急な対応が可能となり、管理業務の効率化が図られた。また、老朽化施設等の維持補修等工事の実施により施設の充実を図り、より安全で安定した水道水の供給に努めた。 なお、防災交通課と連携し、消火栓を設置し、消防水利の充実を図っている。

(1) 簡易水道事業費

(1) 簡易水道総務費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果		
369 }	2 維持管理費	維持管理費 (つづき)			(工事請負費の内訳)			
370						簡水単第3号 河浦町久留 地区舗装工事	666,750円	配水施設工 舗装工 アスファルト A=84㎡
					簡水単第6号 下田浄水場 2号活性炭ろ過機ろ材入替 工事	3,549,000円	浄水施設工 活性炭ろ過機ろ材入替工 1式	
					簡水単第7号 深海浄水場 前処理ろ過機ろ材入替工事	1,176,000円	浄水施設工 前処理ろ過機ろ材入替工 1式 アフタークーラ取替工 1式	
					簡水単第8号 深海町白浜 地区配水管本舗装工事	966,000円	配水施設工 本舗装工 アスファルト A=150㎡ コンクリート A=0.5㎡	
					簡水単第16号 河浦町久 留地区配水管移設工事	377,863円	配水施設工 配水管工 DCIP(ダクタイル鉄管) 100・75、HIVP(水道用耐衝撃硬質塩化ビニール管) 50 L=8.2m(既設管撤去)	
					簡水単第17-2号 高添 橋橋梁補修に伴う配水管切 替工事	1,123,500円	配水施設工 橋梁添架管布設替工 VLP-VD 100 L=28.3m	
					簡水単第21号 新和町須 田道川橋梁添架管布設替工 事	693,000円	配水施設工 橋梁添架管布設替工 DCIP 75 1式	
					簡水単第22号 河浦町宮 野河内浄水場場内整備工事	2,689,559円	浄水場場内整備工事 1式	
					簡水単第23号 河浦町一 町田簡易水道配水池流量計 取替工事	9,395,891円	流量計取替 1式 (一町田配水池・新合第1配水池)	
	簡水単第24号 県道碓石 中田線道路改良に伴う水道 管布設替工事	2,669,596円	配水施設工 配水管工 1工区 配水管 HIVP RR 100・50 1式 仕切弁 3箇所 2工区 配水管 HIVP RR 100 1式 空気弁 1箇所					
		工事費 計	23,307,159円					

(1) 簡易水道事業費

(1) 簡易水道総務費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果	
369 }	2 維持管理費	維持管理費 (つづき)			(工事請負費の内訳)		
370							
					簡水単第9号 新和町消火 栓設置工事	1,092,358円	消火栓工 地上式消火栓 2基
					簡水単第10号 天草町消 火栓設置工事	581,601円	消火栓工 地上式消火栓 1基
					簡水単第11号 有明町消 火栓設置工事	1,002,750円	消火栓工 地上式消火栓 1基 地下式消火栓 1基
					簡水単第12号 倉岳町消 火栓設置工事	278,083円	消火栓工 地上式消火栓 1基
					簡水単第14号 栖本町消 火栓設置工事	1,184,090円	消火栓工 地下式消火栓 2基
					簡水単第15号 二浦町消 火栓設置工事	651,000円	消火栓工 地下式消火栓 1基
					簡水単第18号 新和町消 火栓設置その2工事	478,339円	消火栓工 地上式消火栓 1基
					簡水単第20号 河浦町消 火栓設置工事	655,280円	消火栓工 地下式消火栓 2基
					消火栓工事 計	5,923,501円	地上式 6基 地下式 6基 合計 12基

(1) 簡易水道事業費

(2) 簡易水道建設改良費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
370) 371	2 建設改良費	建設改良費	667,624	国庫支出金 185,805 地方債 382,100 その他 99,719	(事業費内訳) 共済費 173,499円 賃金 1,035,570円 旅費 195,390円 需用費 1,532,508円 委託料 14,679,000円 工事請負費 586,029,426円 公有財産購入費 12,978,600円 負担金補助及び交付金 51,000,000円 計 667,623,993円 【事業の内容】 (補助繰越事業) 簡水補第12号 河浦町一町田地区配水管布 設その4工事 (工事請負費) 34,680,916円 (工事内容) 配水施設 配水管布設工 DCIPNS(耐震型ダクタイル鋳鉄管) 200 L=687.1m WEET(鋼帯がい装ポリエチレン管) 200 L=19.6m 簡水補第13号 河浦町一町田地区配水管布 設その5工事 (工事請負費) 54,611,032円 (工事内容) 配水施設 配水管布設工 DCIP 250~75 L=893.4m WEET 200 L=22.8m H1VP(耐衝撃性硬質塩化ビニル管) 40 L=56.5m	一町田簡易水道再編推進事業 県営路木ダム建設事業に参画して、路木ダムの貯 水を水源とする新たな水道施設の建設と、老朽化し た既設の施設や管路の整備及び水道未普及地区の解 消のための拡張工事を進めていき、長期的かつ安全 で安定した水道水を供給する。 事業期間 平成5年度～平成25年度

(1) 簡易水道事業費

(2) 簡易水道建設改良費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
370) 371	2 建設改良費	建設改良費 (つづき)			<p>(補助現年度事業)</p> <p>簡水補第5号 河浦町一町田簡易水道配水管 布設その1工事</p> <p>(工事請負費) 53,985,159円</p> <p>(工事内容)</p> <p>配水施設工 配水管布設 DCIP(NS) 200~75、HIVP 150~40 L=1,505.8m</p> <p>簡水補第6号 河浦町一町田簡易水道配水管 布設その2工事</p> <p>(工事請負費) 6,975,430円</p> <p>(工事内容)</p> <p>配水施設工 配水管布設 HIVP 150~40、WEET 150 L=224.2m</p> <p>簡水補第7号 河浦町一町田簡易水道配水管 布設その3工事</p> <p>(工事請負費) 4,221,000円</p> <p>(工事内容)</p> <p>配水施設工 配水管布設 HIVP 75~40、SGP 40 L=202.8m</p> <p>簡水補第8号 河浦町一町田簡易水道配水管 布設その4工事</p> <p>(工事請負費) 3,263,887円</p> <p>(工事内容)</p> <p>配水施設工 配水管布設 DCIP(NS) 100L=0.7m HIVP 50~40 L=147.7m</p> <p>簡水補第9号 河浦町一町田簡易水道配水管 布設その5工事</p> <p>(工事請負費) 17,646,441円</p> <p>(工事内容)</p> <p>配水施設工 配水管布設 HIVP 100~30 L=1,002.6m WEET 100 L=11.6m SGP 40 L=17.1m</p>	

(1) 簡易水道事業費

(2) 簡易水道建設改良費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
370) 371	2 建設改良費	建設改良費 (つづき)			<p>簡水補第10号 河浦町一町田簡易水道配水管 管布設その6工事 (工事請負費) 35,238,526円 (工事内容) 配水施設工 配水管布設 HIVP 150~75 L=1,535.0m WEET 150~75 L=23.1m</p> <p>簡水補第11号 河浦町一町田簡易水道配水管 管布設その7工事 (工事請負費) 15,994,428円 (工事内容) 配水施設工 配水管布設 DCIP(NS) 150 L=103.2m、WEET 150 L=45.0m HIVP 150~50 L=207.4m</p> <p>簡水補第12号 河浦町一町田簡易水道配水管 管布設その8工事 (工事請負費) 15,994,428円 (工事内容) 配水施設工 配水管布設 DCIP(NS) 75 L=2.4m HIVP 50 L=362.5m</p> <p>路木ダム建設負担金 (負担金) 51,000,000円 (積算内容) 850,000千円×6%=51,000千円</p> <p>簡水補第13号 河浦町一町田浄水場造成及 び場内整備工事 《平成23年度へ繰越》 (工事内容) 浄水施設 浄水場築造工 一町田浄水場造成工 1式、浄水場場内整備工 1式</p> <p>工事費37,170,000円のうち平成22年度前払金支払 なし。37,170,000円を繰越明許費に計上。</p>	<p>一町田地区簡易水道再編推進事業の取水源として 利用する県営路木ダム建設事業に伴う負担金とし て、事業費の6%を負担する。</p>

(1) 簡易水道事業費

(2) 簡易水道建設改良費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
370) 371	2 建設改良費	建設改良費 (つづき)			<p>簡水補第1号 倉岳町登尾地区水道管布設その1工事 (工事請負費) 5,428,500円 (工事内容) 送水施設工 送水管布設 PEP WE 40 L=351.0m 操作線布設 L=194.0m</p> <p>簡水補第2号 倉岳町登尾地区水道管布設その2工事 (工事請負費) 9,047,992円 (工事内容) 送水施設工 送水管布設 PEP WE 40 L=950.0m 配水施設工 配水管布設 PEP WE 40 L=208.0m 操作線布設 L=650.0m</p> <p>簡水補第3号 倉岳町登尾地区加圧所、配水場築造工事 (工事請負費) 15,708,000円 (工事内容) 加圧所築造工(第1送水ポンプ設備)1箇所 第1配水場築造工(第2送水ポンプ設備)1箇所 送水施設工 送水管布設 PEP WE 40 L=130.0m 操作線布設工L=110.0m</p> <p>簡水補第4号 倉岳町登尾地区加圧所、配水場電気計装工事 (工事請負費) 19,740,000円 (工事内容) 加圧所電気計装工1式 第1・2配水場電気計装工1式 中央監視装置設置 1式</p>	<p>倉岳簡易水道未普及地域解消事業</p> <p>倉岳簡易水道の既設給水区域から分岐し、加圧ポンプ所を設置、また送配水管を布設し、安全で安定した水道水の供給を平成23年4月から開始。</p>

(1) 簡易水道事業費

(2) 簡易水道建設改良費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
370 ） 371	2 建設改良費	建設改良費 (つづき)			<p>(補助繰越事業) 簡水補第 9 号 河浦町宮野河内浄水場改築その 1 工事 (建築) (工事請負費) 55,143,081円 (工事内容) 宮野河内浄水場 建築工事 1 式 工事費 85,143,081 円のうち 30,000,000 円を前年度前払い</p> <p>簡水補第 10 号 河浦町宮野河内浄水場改築その 2 工事 (機械) (工事請負費) 89,108,417円 (工事内容) 宮野河内浄水場 機械設備 1 式 工事費 141,108,417 円のうち 52,000,000 円を前年度前払い</p> <p>簡水補第 11 号 河浦町宮野河内浄水場改築その 3 工事 (電気) (工事請負費) 43,962,195円 (工事内容) 宮野河内浄水場 電気設備 1 式 工事費 66,962,195 円のうち 23,000,000 円を前年度前払い</p> <p>(単独繰越事業) 簡水単第 19 号 有明町楠雨浄水場改修その 1 工事 (工事請負費) 7,539,000円 (工事内容) 薬品沈澱池 傾斜板装置設置工 2 組</p>	<p>宮野河内簡易水道生活基盤近代化事業</p> <p>平成 20 年度には宮野河内浄水場からの浄水を配水している配水管と連結し、加圧ポンプにて女岳地区の配水池に送水することにより、施設の維持管理運営の効率化と、安定した水道水の供給が図られた。</p> <p>平成 21・22 年度には水質向上のため、宮野河内地区に膜ろ過処理施設を設置し、両地区に対応できる浄水場を整備し、平成 23 年 4 月から、より安全で安定した水道水の供給が行われた。</p> <p>事業期間 平成 20 年度～平成 22 年度</p> <p>有明東・西簡易水道整備事業</p> <p>老朽化した有明町の各浄水場等の施設整備を実施し、より安全で安定した飲料水を供給して、地域住民の文化的かつ衛生的生活に寄与する。水資源建設基金の事業は平成 23 年度に終了する。</p>

(1) 簡易水道事業費

(2) 簡易水道建設改良費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
370) 371	2 建設改良費	建設改良費 (つづき)			<p>簡水単第2号 有明町楠浦浄水場改修その2 工事 (工事請負費) 74,515,002円 (工事内容) 薬品沈澱池改修 1式、急速ろ過機改修 1式 制御盤改修 1式</p> <p>(補助現年度事業) 簡水単第1号 有明町大浦・楠浦地区連絡管 本舗装工事 (工事請負費) 6,712,930円 (工事内容) 舗装工 本管部 A=1,239㎡、給水管部 A=12㎡</p> <p>簡水単第5号 島子地区水道管布設工事 (工事請負費) 985,080円 (工事内容) 配水管工 1工区 PEP 30 L=91.0m 2工区 HIVP 50 L=40.8m</p> <p>簡水単第17号 有明東簡易水道施設整備工 (工事請負費) 4,300,052円 (工事内容) 大浦浄・配水場 舗装工 1式 須子配水場 フェンス、門扉、舗装、擁壁、張 芝工 1式</p> <p>(単独現年度事業) 簡水単第13号 倉岳町宮田地区小辻漏配水 管布設替工事 (工事請負費) 8,814,782円 (工事内容) 配水管工 A路線 HIVP 75 L=214.7m B路線 HIVP 75・50 L=108.03m C路線 HIVP 50 L=67.38m 地下式消火栓 1基、給水管工 27箇所</p>	<p>倉岳簡易水道整備事業・新和簡易水道事業</p> <p>配水管の老朽化が進み漏水が多発し有収率が低下 していたので、既設管VPをHIVP等に布設替を 行い、安定した水道水の供給を行った。</p>

(1) 簡易水道事業費

(2) 簡易水道建設改良費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
370) 371	2 建設改良費	建設改良費 (つづき)			<p>簡水単第19号 新和町小宮地区配水管布 設替工事 (工事請負費) 6,825,000円 (工事内容) 配水管工 DCIP 200 L=5.0m HIVP 150 L=189.89m 橋梁添架工DCIP 150 L=10.11m 地下式消火栓 1基</p> <p>(単独現年度事業) 簡水単第25号 倉岳町登尾地区加圧所、配 水場内整備工事 (工事請負費) 882,000円 (工事内容) 加圧所場内整備 門扉・フェンスL=21.0m 舗装工 A=20.0㎡ 第1配水場場内整備工 門扉・フェンスL=22.0m 舗装工 A=19.0㎡</p> <p>簡水単第4号 河浦町一町田簡易水道配水管 布設その5 附帯工事 (工事請負費) 1,732,500円 (工事内容) 消火栓工 消火栓設置 5基</p> <p>簡水単第26号 河浦町一町田簡易水道配水 管布設その6 附帯工事 (工事請負費) 1,732,500円 (工事内容) 消火栓工 消火栓設置 6基</p>	<p>倉岳簡易水道事業 倉岳簡易水道未普及地域解消事業に関連する単独工 事分</p> <p>一町田簡易水道事業 一町田簡易水道再編推進事業に関連する単独工事分</p>

天草市簡易水道事業の概要

(平成23年3月31日現在)

簡易水道事業名	浄水場	配水池	年度	行政区域内 人口(人)	給水区域内 人口(人)	給水人口 (人)	普及率 (%)	年間総配水量 (m ³)	年間総有収水量 (m ³)	有収率 (%)
牛 深	5	8	21	3,233	3,205	3,170	98.1	265,041	218,087	82.3
			22	3,139	3,135	3,080	98.1	263,391	224,238	85.1
有 明 東	2	5	21	1,981	1,981	1,981	100.0	247,289	178,146	72.0
			22	1,939	1,939	1,939	100.0	233,613	174,820	74.8
有 明 西	4	6	21	3,870	3,557	3,557	91.9	451,439	322,932	71.5
			22	3,775	3,477	3,477	92.1	437,801	316,609	72.3
倉 岳	2	13	21	3,419	3,395	3,065	89.6	344,955	227,294	65.9
			22	3,340	3,340	2,985	89.4	322,800	223,368	69.2
栖 本	1	7	21	2,668	2,668	2,595	97.3	278,608	242,013	86.9
			22	2,585	2,585	2,517	97.4	273,654	234,771	85.8
新 和	2	19	21	3,622	3,622	3,622	100.0	433,741	291,110	67.1
			22	3,577	3,577	3,577	100.0	430,805	292,020	67.8
五 和	4	7	21	604	588	570	94.4	45,608	32,908	72.2
			22	623	573	570	91.5	46,910	33,315	71.0
五 和 御 領 山 浦	0	0	21	112	106	59	52.7	3,821	3,737	97.8
			22	105	102	55	52.4	3,271	3,189	97.5
天 草	6	19	21	3,996	3,629	3,524	88.2	500,263	360,190	72.0
			22	3,878	3,511	3,421	88.2	427,189	355,991	83.3
一 町 田	1	5	21	3,434	2,972	2,268	66.0	361,083	241,293	66.8
			22	3,345	2,901	2,222	66.4	366,110	244,826	66.9
宮 野 河 内	2	3	21	1,124	902	860	76.5	110,342	69,400	62.9
			22	1,111	897	869	78.2	109,634	69,965	63.8
富 津	1	2	21	1,045	1,000	971	92.9	105,147	86,168	82.0
			22	1,016	981	960	94.5	104,567	84,395	80.7
合 計	30	94	21	29,108	27,625	26,242	90.2	3,147,337	2,273,278	72.2
			22	28,433	27,018	25,672	90.3	3,019,745	2,257,507	74.8

13. 国民健康保険診療施設特別会計 (決算書372頁～384頁)

(単位：千円・%)

区 分	21年度	22年度	伸 率
歳 入 総 額	197,038	194,368	1.4
歳 出 総 額	189,398	172,514	8.9
差 引 額	7,640	21,854	186.0
翌年度へ繰越すべき財源	0	0	-
翌年度への繰越額	7,640	21,854	186.0

本会計では、歳入総額194,368千円から歳出総額172,514千円を差し引いた形式収支21,854千円を翌年度へ繰り越すことになりました。
 歳入の主なものは、診療収入109,962千円(構成比56.6%)、一般会計繰入金69,719千円(同35.9%)、繰越金7,640千円(同3.9%)、諸収入6,018千円(同3.1%)です。
 歳出の内訳は、総務管理費138,457千円(同80.3%)、医業費27,995千円(同16.2%)、公債費6,061千円(3.5%)の順に多くなっています。

(1) 総務管理費 (1) 総務管理費 (単位：千円)

決算書 対応頁	目	施 策 名	決算額	財源内訳	施 策 の 概 要	施 策 の 成 果
381 } 383	1 一 般 管 理 費	専門診療対策事業	6,834	一般財源 6,834	専門医(代謝内科・眼科・整形外科等)による診療及び検査の実施。診療延べ日数年間97日 (事業費内訳) 医療業務委託料 6,099,000円 使用料及び賃借料 735,000円 計 6,834,000円	高齢者などが、島外の医療機関を受診する際は、乗船・下船時の事故や、経済的な負担が伴うなど様々な問題がある。 このため、常勤医師では提供できない診療科の医師を確保し、引き続き地元(御所浦診療所)で診療できる体制を維持できたことは、御所浦住民の健康増進と福祉の向上に大きく貢献した。

(2) 医業費 (1) 医業費 (単位：千円)

決算書 対応頁	項	施 策 名	決算額	財源内訳	施 策 の 概 要	施 策 の 成 果
383 } 384	1 医 業 費	医業費	27,995	一般財源 27,995	22年度外来患者数(本診) 22,103人 " (北診) 2,393人 計 24,496人 (事業費内訳) 医業費 医療用機器修繕料 87,549円 医療用機器等保守点検料 374,220円 医療用消耗機材借上料 1,165,395円 医療用機械器具備品費 222,600円 医薬品衛生材料費 23,929,742円 検査費 2,215,900円 計 27,995,406円	両診療所は、高齢者などの交通弱者にとって、身近に利用できる初期医療機関として欠かせないものとなっている。 一日平均の外来患者数は、御所浦診療所が91人、御所浦北診療所が17人であり、慢性疾患による定期的な通院患者が多い。 また、専門医への紹介・急患の二次救急病院への転送も臨機に行うことができた。

14. 歯科診療所特別会計 (決算書385頁～395頁)

(単位：千円・%)

区 分	21年度	22年度	伸 率
歳 入 総 額	47,946	53,596	11.8
歳 出 総 額	44,545	45,169	1.4
差 引 額	3,401	8,427	147.8
翌年度へ繰越すべき財源	0	4,505	皆増
翌年度への繰越額	3,401	3,922	15.3

本会計では、歳入総額53,596千円から歳出総額45,169千円を差し引いた形式収支は8,427千円で、この額から繰越明許費のために翌年度に繰り越すべき財源4,505千円を差し引いた3,922千円を翌年度へ繰り越すことになりました。

歳入の主なものは、歯科診療収入33,551千円(構成比62.6%)、一般会計繰入金14,910千円(同27.8%)、繰越金3,401千円(同6.3%)です。

歳出の内訳は、総務管理費が34,664千円(同76.7%)、歯科医業費10,505千円(同23.3%)となっています。

(2) 歯科医業費

(1) 歯科医業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	項	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
395	1 歯科医業費	歯科医業費	10,505	一般財源 10,505	22年度年間外来患者数 5,527人 (事業費内訳) 修繕料 157,500円 備品購入費 392,700円 医薬材料費 9,954,841円 計 10,505,041円 《平成23年度へ繰越》 備品購入費 4,505,000円	外来患者数は、一日平均23人を数えており、施設の維持管理を行いながら、御所浦島内唯一の歯科医療機関としての運営を行い、市民に欠かせない歯科医療を提供することができた。

15. 埠頭事業特別会計 (決算書396頁～404頁)

(単位：千円・%)

区 分	21年度	22年度	伸 率
歳 入 総 額	14,073	11,327	19.5
歳 出 総 額	14,053	11,276	19.8
差 引 額	20	51	155.0
翌年度へ繰越すべき財源	0	0	-
翌年度繰越額	20	51	155.0

本会計では、歳入総額 11,327千円から、歳出総額は 11,276千円を差し引いた 51千円を翌年度へ繰り越すこととなりました。

歳入の主なものは、使用料6,189千円(構成比54.6%)と一般会計からの繰入金5,100千円(同45.0%)です。

歳出の内訳は、一般管理費265千円(同2.4%)、公債費11,011千円(同97.6%)となりました。

(1) 総務費

(1) 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
404	1 一般管理費	港湾管理事業	265	その他 265	【棚底港・大宮地港の外灯等管理事業】 (事業費内訳) 電気料 209,965 円 修繕料 55,037 円 計 265,002	埠頭用地である棚底港、大宮地港の外灯管理と大宮地港外灯修繕を行った。

16. 斎場事業特別会計 (決算書 405頁 ~ 413頁)

(単位:千円・%)

区 分	21年度	22年度	伸び率
歳入総額	107,616	99,718	7.3
歳出総額	105,939	96,255	9.1
差引額	1,677	3,463	106.5
翌年度へ繰越すべき財源	0	0	-
翌年度繰越額	1,677	3,463	106.5

本会計では、歳入総額 99,718千円から、歳出総額は 96,255千円を差し引いた 3,463千円を翌年度へ繰越すこととなりました。
 歳入の主なものは、使用料4,522千円(構成比4.5%)と繰越金1,676千円(同1.7%)、一般会計からの繰入金93,480千円(同93.7%)です。
 歳出の内訳は、斎場事業費が43,286千円(同45.0%)、公債費52,969千円(同55.0%)となりました。

(1) 斎場事業費

(1) 斎場事業費

(単位:千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
413	2 斎場施設管理費	斎場施設管理費	43,286	その他 4,562 一般財源 38,724	(斎場施設管理費内訳) 天草本渡斎場 需用費 11,609,850円 役務費 32,629円 委託料 13,551,559円 備品購入費 594,300円 計 25,788,338円 牛深火葬場 需用費 4,206,116円 役務費 46,836円 委託料 3,408,636円 使用料及び賃借料 14,910円 計 7,676,498円 御所浦火葬場 需用費 1,485,509円 役務費 62,598円 委託料 2,162,160円 使用料及び賃借料 14,910円 計 3,725,177円	天草本渡斎場、牛深火葬場、御所浦火葬場及び天草火葬場4施設の運営、管理を行った。 天草本渡斎場は、平成21年度から平成23年度(3年間)まで指定管理者により運営、管理を行っている。 牛深火葬場、御所浦火葬場及び天草火葬場は、受付案内、火葬業務及び施設の清掃等の業務を委託し、サービスの向上を図ることができた。 平成22年度利用件数 1,441件 (施設毎内訳) 天草本渡斎場 948件(市内 917件、市外31件) 牛深火葬場 332件(市内 327件、市外 5件) 御所浦火葬場 54件(市内 52件、市外 2件) 天草火葬場 107件(市内 104件、市外 3件) 老朽化した設備は、保守点検に基づき修繕等を行い、機能を維持し、適正に火葬業務を行うことができた。

(1) 斎場事業費

(1) 斎場事業費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
413	2 斎場施設管理費	斎場施設管理費 (つづき)			天草火葬場 需用費 2,279,913円 役務費 86,281円 委託料 3,711,487円 使用料及び賃借料 14,910円 負担金補助及び交付金 3,600円 計 6,096,191円	主な修繕、委託 ・天草本渡斎場 熱交換器取替修繕 9,765,000円 空調機取替修繕 708,750円 斎場予約システム導入業務委託 3,251,559円 ・牛深火葬場 火葬炉内耐火レンガ等取替修繕 2,677,500円 ・御所浦火葬場 再燃焼炉焼塵スクリーン積替修繕 262,500円 ・天草火葬場 耐火台車ベッド取替修繕 483,000円

(2) 公債費

(1) 公債費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
413	1 元	償還金元金	50,274	一般財源 50,274	天草本渡斎場建設事業償還金 50,273,600円	天草本渡斎場の償還金を、償還計画に基づいて返済した。
	2 利	償還金利子	2,695	一般財源 2,695	天草本渡斎場建設事業償還金 利子 2,695,456円	

17. 一町田財産区特別会計 (決算書414頁～422頁)
 (1)款 総務費 (1)項 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
422	1 財産区管理費	財産区管理事業	78	一般財源 78	【財産区管理会の開催】 ・管理委員数 7人 ・開催回数 2回(1人欠席) (事業費内訳) 報酬 <u>78,000円</u> 78,000円	一町田財産区では、管理会を開催し財産の管理及び保全に努めた。

18. 新合財産区特別会計 (決算書423頁～431頁)
 (1)款 総務費 (1)項 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
431	1 財産区管理費	財産区管理事業	48	一般財源 48	【財産区管理会の開催】 ・管理委員数 4人 ・開催回数 2回 (事業費内訳) 報酬 <u>48,000円</u> 48,000円	新合財産区では、管理会を開催し財産の管理及び保全に努めた。

19. 富津財産区特別会計 (決算書432頁～440頁)
 (1)款 総務費 (1)項 総務管理費

(単位：千円)

決算書 対応頁	目	施策名	決算額	財源内訳	施策の概要	施策の成果
440	1 財産区管理費	財産区管理事業	30	一般財源 30	【財産区管理会の開催】 ・管理委員数 3人 ・開催回数 2回(1人欠席) (事業費内訳) 報酬 <u>30,000円</u> 30,000円	富津財産区では、管理会を開催し財産の管理及び保全に努めた。